

2018.4 > 2018.9

研修サービスガイド



Topics 1 働き方改革を支援する
人財育成

Topics 2 IoTシステム技術検定
対策講座を強化

Topics 3 PMコンピテンシー向上に
対応した実践的
プロジェクトマネジメント講座の
拡充

Topics 4 デジタルトランス
フォーメーションを推進する
人財の育成

COURSE

日立製品 講座

JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IoT 講座

ビッグデータ 講座
クラウド/サーバ仮想化 講座
ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座

UNIX/Linux Microsoft ネットワーク
セキュリティ データベース

IT戦略・IS企画/システム設計 講座

IT戦略・IS企画 システム設計

アプリケーション開発 講座

Webアプリケーション スマートデバイス
オブジェクト指向/UML 言語

IT基本 講座

IT基本 ハードウェア
情報処理資格

情報リテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座
コンプライアンス 講座
ビジネス/ヒューマン 講座
グローバル 講座

はじめに

平素は、株式会社 日立製作所(以下、「日立」といいます。)および人財育成サービス会社である株式会社 日立インフォメーションアカデミー(以下、「日立IA」といいます。)の各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立および日立IAは、経済産業省が策定するIT人財育成のための各種スキル標準に対応する研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス(以下、「日立講習会」といいます。)にてお客様の人財育成をご支援いたします。

日立講習会のうち、日立製品研修*1は日立が提供する研修サービスです。またIT/ビジネス研修*2は日立IAが提供する研修サービスです。なお、日立は日立製品研修サービスの実施および運営を日立IAに委託しておりますので、ご了承ください。

本ガイドは、日立および日立IAが提供する2018年4月から2018年9月までの研修サービスを紹介します。

お客様の人財育成に日立および日立IAをご活用いただければ幸いです。

*1: 日立製品研修は、本ガイドのP.18の日立製品研修に指定されているコース群
*2: IT/ビジネス研修は、本ガイドのP.18のIT/ビジネス研修に指定されているコース群

2018年1月
株式会社 日立製作所
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先:
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

| | | |
|-------|------------------|------------------|
| 東京地区 | TEL 03-5471-8962 | FAX 03-5471-2564 |
| 大阪地区 | TEL 06-4797-7360 | FAX 06-4797-7361 |
| 名古屋地区 | TEL 052-269-8940 | FAX 052-261-8276 |
| 広島地区 | TEL 082-546-6172 | FAX 082-546-6173 |
| 福岡地区 | TEL 092-844-7522 | FAX 092-844-7580 |

日立講習会標準開催時間のお知らせ **開始時間 9:30** **終了時間 16:30**

※標準時間と異なる講習会は、日立インフォメーションアカデミーのホームページに掲載しております各コース詳細の備考欄に開催時間をご案内しています。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。



(株)日立インフォメーションアカデミーの学習サービス全般について、学習サービス事業者向け国際規格ISO29990の認証をJAMOTE(一般社団法人人財育成と教育サービス協議会)より取得しています。

本ガイドに記載している内容および金額は、2018年1月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

- Topics 1 働き方改革を支援する人財育成
- Topics 2 IoTシステム技術検定対策講座を強化
- Topics 3 PMコンピテンシー向上に対応した実践的プロジェクトマネジメント講座の拡充
- Topics 4 デジタルトランスフォーメーションを推進する人財の育成

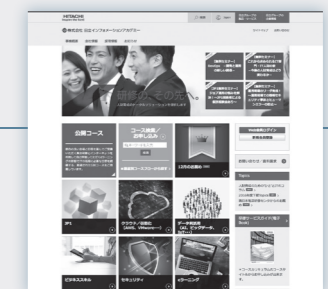
| | | |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例 | 12 |
| 2 | 開催コース/スケジュール一覧 | 18 |
| 3 | 講座別コースフロー/コースカリキュラム | 54 |
| 4 | 研修会場 | 246 |
| 5 | お申込方法 | 248 |
| 6 | 受講規約 | 250 |

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客様のご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立インフォメーションアカデミーのホームページでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



| | | | | |
|--------------------|----------------|----------------|---------------|------------|
| コース最新情報 | お薦めコース | 臨時開催コース | 話題のコース | 人気コースランキング |
| 講座別コース紹介 (PDFファイル) | ITSS対応研修コースマップ | UISS対応研修コースマップ | iCD対応研修コースマップ | |

働き方改革を支援する人財育成

「長時間労働の是正」や「時短」に関心が集まりがちな“働き方改革”。

労働集約型から知識集約型への移行の遅れ、採用難や定着率の低止まり、管理職やプロジェクトマネージャーなどの責任ある役割を避ける若手社員の増加、社会問題化している過労死・過労自殺、身近に起きているメンタル不全など、職場が過度なストレスを抱えたままでは変革は進みません。

企業が社員に働きやすさを提供し、能力発揮や価値創出を促していくことが本質的な取り組みです。当社は、御社の“働き方改革”推進を人財育成でご支援します。

働き方改革を効果的に支援する人財育成とは

WHO[※]では、働く人の心の健康の定義を「個人の持つ能力を発揮し、生活のストレスに対処でき、生産的で充実して働くことができ、地域にも貢献できる状態」としています。つまり、“ワーク”も“ライフ”も充実した、“働きやすく、働きがいがあり、仕事にポジティブ”な状態であるワーク・エンゲージメントが重視されています。

企業には、経営方針を見直し、雇用の制度や慣行を変えていくと同時に、従業員の生産性とワーク・エンゲージメントの両方を向上させていく方が求められています。

この両面に効果的にアプローチしていく最適な方法が人財育成なのです。

※WHO：世界保健機関

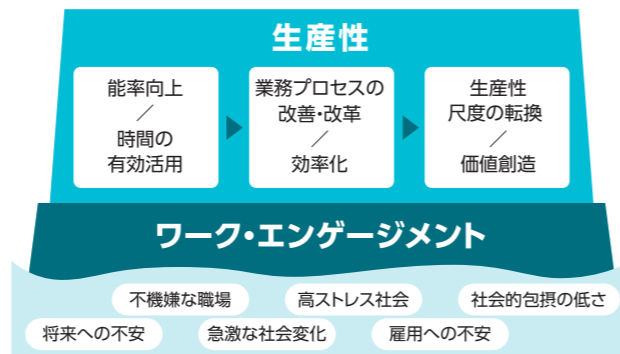


生産性とワーク・エンゲージメントの関係

生産性とワーク・エンゲージメントは、ちょうど建物と土台の関係にあたります。

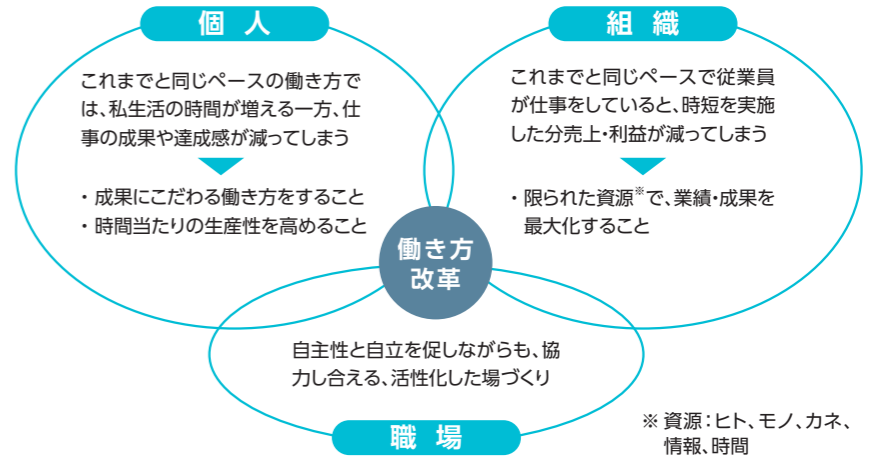
働く人にとって、不安定な心理を招くさまざまな要因が、現代社会には渦巻いています。ワーク・エンゲージメントは、従業員の仕事に対するポジティブで充実した心理状態を指す概念であり、心身が健康な職場の基礎や土台として機能します。

また、ネガティブな心理状態の人に、イノベティブな思考や積極的な行動を喚起することは非常に困難です。環境変化や新しい取り組みを受容できるのは、自立的で前向きなワーク・エンゲージメントが高い従業員です。



取り組み施策の検討例

生産性の向上とワーク・エンゲージメントの向上を実現するために、組織（会社）・職場（部門）・個人のそれぞれのレベルで取り組む施策（項目）を検討した例が以下の表です。



| | 生産性向上 | | | ワーク・エンゲージメントの向上 |
|--------|--|--|---|--|
| | 能率向上 / 時間の有効活用 | 業務プロセスの改善・改革 / 効率化 | 生産性尺度の転換 / 価値創造 | |
| 個人 | 仕事の能率向上 (1) 担当業務のスキルアップ (2) タイムマネジメント (3) MS-Office ツールの使いこなし | 仕事の効率化 (1) WBSの洗い出し・見直し (2) 業務の見える化（質改善） (3) 業務プロセスを把握する能力の向上 (4) 若手の報連相の改善 | 担当業務→価値の向上へ (1) 目標・ゴール設定の改善 (2) 契約に対する概念、就業観のレベルアップ（若手向け） (3) 面談のスキル向上（管理者・上長向け） | (1) キャリアプランの見直し（仕事観、価値の置き方、主体性を含む） (2) EQ / マインドフルネス向上 (3) テレワークの心得・スキルの習得 |
| 職場（部門） | 共同作業の改善 (1) 会議の効率化 (2) タイムマネジメント (3) 適材適所 | 業務プロセス改善 (1) WBSの洗い出し・見直し (2) 作業・業務分担の見直し (3) 業務の見える化（質改善） | 業務→価値の提供へ (1) 目的管理の質的向上 (2) 目標・ゴール設定の改善（管理者・上長向け） (3) 業務のデジタル・トランスフォーメーション推進 | (1) 風土・規範の改善 (2) チームワーク向上 (3) 職場内のコミュニケーション改善 (4) ダイバーシティの推進 |
| 組織（会社） | 総労働時間の適正化 (1) 正しい労働時間管理 (2) 労働時間制度の見直し (3) 人員配置の適正化 | 業務改革 (1) ビジネスアナリシスの活用 (2) 業務の組み替え (3) 戦略的業務削減、業務の切り離し（アウトソース） (4) 情報共有・情報連携の改善 | 売上・利益→価値の創造へ (1) 戦略の見直し (2) ビジネスモデルの革新 (3) ビジネスのデジタル・トランスフォーメーション推進 | (1) 組織文化の変革 (2) ダイバーシティ推進 (3) 柔軟な働き方の制度 |

：人財育成で支援できる対象範囲

人財育成で働き方改革の推進を支援するには、従業員のワーク・エンゲージメントと生産性との両面の向上に対して、効果的にアプローチすることがポイントです。

日立講習会では、これらの施策に対応するコースをご用意しています。

| 分野 | コースコード | コース名 | 受講者対象者像 |
|-----------------|------------------|---|-------------------|
| 時間の有効活用 | HSJ148 | (PDU) 会議 / プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 | 若手管理者 / メンバーリーダー層 |
| | OAJ048 | Excelによるデータ可視化 - Excelでビジュアルに強くなる - | 全階層 / 全職種 |
| | OAJ047 | Excelによる売上データ分析 - Excelではじめるデータ活用の第一歩 - | 全階層 / 全職種 |
| | OAJ046 | Excelで業務データを使いこなす - 関数とピボットテーブルを利用して - | 全階層 / 全職種 |
| | オーダー専用 | タイムマネジメント | 全階層 / 全職種 |
| | オーダー専用 | 効率を上げるOfficeツールの各種活用法 | 全階層 / 全職種 |
| 生産性向上 | CTJ059 | (PDU) ビジネスアナリシスの基礎 | 企画業務 / 超上流SE |
| | CTJ060 | (PDU) 要求の引き出しとマネジメント | 企画業務 / 超上流SE |
| | CTJ054 | IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 | 企画業務 / 情報システム部門 |
| | CTJ053 | 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 | 全職種 / 情報システム部門 |
| | PMJ065 | プロジェクトマネジメント基礎 | メンバーリーダー層 / 若手SE |
| | HSJ126 | 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 | 新入社員～入社3年程度 |
| 生産性尺度の転換 / 価値創造 | CTJ056 | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 | 企画業務 / 超上流SE |
| | HSJ159 | 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン | 企画業務 / 超上流SE |
| | CTJ055 | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 | 企画業務 / 情報システム部門 |
| | HSJ147 | (PDU) 目標達成のためのコーチング実践 | 若手管理者 / リーダー層 |
| | オーダー専用 | 管理職活性化道場（面談を通して自己とチームを活性化させる） | 若手管理者 |
| | オーダー専用 | 企業人としての基礎 | 新入社員～入社3年程度 |
| ワーク・エンゲージメントの向上 | HSJ125 | (PDU) アサーティブ・コミュニケーション - 職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上 - | 管理者 / リーダー層 |
| | HSJ166 | マインドフルリーダーシップ基礎 | 若手管理者 / リーダー層 |
| | HSJ056 | (PDU) リーダー向け チームを活性化させるコミュニケーション - 対人関係における思い込みの視点を取り除く - | リーダー層 |
| | SPJ045 | (PDU) [リーダー向け] アジャイル開発における自律型チーム運営 | リーダー層 |
| | HSJ052 | メンバーシップとチームワーク - チーム力向上のために大切なこと - | メンバー層 |
| | オーダー専用 | キャリアプラン / ジョブ・クラフティング / スキル | 全階層 / 全職種 |
| オーダー専用 | 自己理解 / 他者理解 / EQ | 全階層 / 全職種 | |

網掛けの「オーダー専用」コースは、お客様個別のご注文に対応して実施させていただく研修です。斜体で記載した研修は、職場ぐるみ研修 または 階層別研修として実施することをお薦めします。より高い効果を見込むことができます。

IoT技術者育成を目的として「IoTシステム技術検定（MCPC：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム主催）」が幅広く活用されています。従来開催されている「中級検定」に続いて、2017年12月より、IoT初級者の育成を目的とした「基礎検定」が新たに開催されることになりました。

当社はMCPC認定校として、中級検定の対策講座と同様に、基礎検定の対策講座を開催します。

IoTシステム技術検定の特徴

IoTシステム技術検定は、IoTシステム構築・活用に関する技術知識レベルを基礎・中級・上級の3段階で認定します。（上級検定は今後開催予定）。

| 資格の種類 | 必要とするレベル | 適用可能な実務レベル |
|----------------------|--|---|
| 上級 (IoTプロフェッショナル) | IoTのシステム構築・活用に関する、より実践的な専門技術 | IoTシステムについて顧客の要求を理解し、課題の整理のうえ、システムの企画、計画し戦略的提案をおこないます。また、IoTシステム構築のリーダーとして活動できます。 |
| 中級 (IoTエキスパート) | IoTシステムを構成する基本技術習得 ①IoTシステム構成と構築技術 ②センサ/アクチュエータ技術と通信方式 ③IoTデータ活用技術 ④IoT情報セキュリティ対策技術 ⑤IoTシステムのプロトタイピング技術 | IoTシステム全体を俯瞰することができ顧客の要求または提案の要点を的確に把握でき、システム構成の概要が描けます。 |
| 基礎 (IoTアドバイザー) | IoTに関する基礎知識の理解 | IoT、BD(ビッグデータ)、AI(人工知能) |

● 基礎検定の出題カテゴリ

- IoTシステム構成と構築技術：IoTシステムアーキテクチャ、IoTサービスプラットフォーム
- センサ/アクチュエータ技術と通信方式：IoTデバイス、ネットワーク、LPWA、プロトコル
- IoT活用技術(AI)：ビッグデータ分析技術、活用事例
- IoT技術とセキュリティ対策技術：脅威と脆弱性、セキュリティ対策技術、情報セキュリティの標準と法制度
- IoTシステムのプロトタイピング：プロトタイピング活用

※ MCPC ホームページより抜粋 <http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/gaiyou.html>

日立インフォメーションアカデミーIoTシステム技術検定対策の特徴

IoTシステム技術検定（基礎検定・中級検定）の合格はもとより、受検後の業務活用を円滑に進めるために、講義内ではIoTシステムのデモンストレーションや、業務に役立つ関連情報を掲載した補助資料を活用して講義を行います。

- IoTシステムを体感するデモンストレーション
- ノウハウが沢山つまったオリジナル模擬試験や補助資料
- テキストはMCPC監修の公式ガイド（IoT技術テキスト 基礎検定・中級検定）

● IoTシステム技術検定対策講座一覧

IoTシステム技術検定の基礎検定と中級検定に対応した以下のような対策講座を用意しています。

| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|---|----|--|
| IOJ008 |  IoTシステム技術検定(基礎検定)対策講座 | 1日 | IoTシステム技術検定(基礎検定)に合格できる技術を修得するとともに、IoTシステムに関する顧客の要望を理解し、関連者に説明することができるようになります。 |
| IOJ004 | IoTシステム技術検定(中級検定)対策講座 | 2日 | IoTシステム技術検定(中級検定)に合格できる技術を修得するとともに、IoTシステムに関する顧客の要望を理解し、概要図を描くことができるようになります。 |

プロジェクトマネジャーの能力向上には、基礎となる知識修得が必要です。日立講習会では、プロジェクトマネジメントのトレンドを踏まえた最新の知識修得講座を用意しています。

知識修得に加えて、能力向上には実践力を養う必要があります。実践力は実プロジェクトで知識を活用することで養われます。しかし、近年は各種プロジェクトの難易度が全体的に上がっており、そのような経験値を十分積む時間がない状態でプロジェクトに臨むことが多くなっています。

経験値を補うためには、疑似体験が有効だと言われています。そこで、疑似体験を短時間で効果的に積むための講座を拡充しました。

ケースメソッドを用いた実践力強化コース

ケースメソッドは、ケースを用いて受講者が討議を繰り返すことで、実践力を身につける育成方法です。実際に使用するケースは、過去の教訓、実体験、またさまざまな組織の事例等から構成される事実（または仮想）に基づいた教材となります。

ケースメソッドでは、知識や理論を学習する前に、受講者がその状況に応じて、自ら考えて構造化していきます。将来のさまざまな場面において、「最適な判断をし、行動に移すことができる」ために、ケースによる気づきを得た後に、受講者のこれまでの活動と知識や理論とを紐づけていきます。そして、複数のケースを使って上記の取り組みを繰り返し行うことを通して、より多くの疑似体験を積むことをめざしています。

日立講習会では、ケースメソッドを活用した反復型の研修を拡充しました。さまざまなケースを短時間で学び、経験値を補いたい方にお勧めします。

● 実践力強化コース一覧



| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|--|----|---|
| PMJ059 | (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 —複数ケースを短時間で学びPM力向上— | 1日 | プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。 |
| PMJ062 | (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 (上流工程編)—PJの成功・失敗分岐点を学ぶ— | 1日 | プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程(企画-基本設計)を主なテーマとして、数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。 |

プロジェクトマネジメントのトレンドを踏まえた知識修得コース

実践力のベースとなるのは知識です。プロジェクトマネジメント方法論を体系的に学んでおかないと、実践力を効果的に強化することはできません。代表的なプロジェクトマネジメント方法論として、PMBOK®ガイドがあります。

PMBOK®ガイドは2017年第3四半期に第6版に改訂されました。変化の激しいシステム開発等のプロジェクトに適用するために、主にアジャイルへの対応が追加されています。最新の知識修得にご活用ください。

● 実践力強化コース一覧

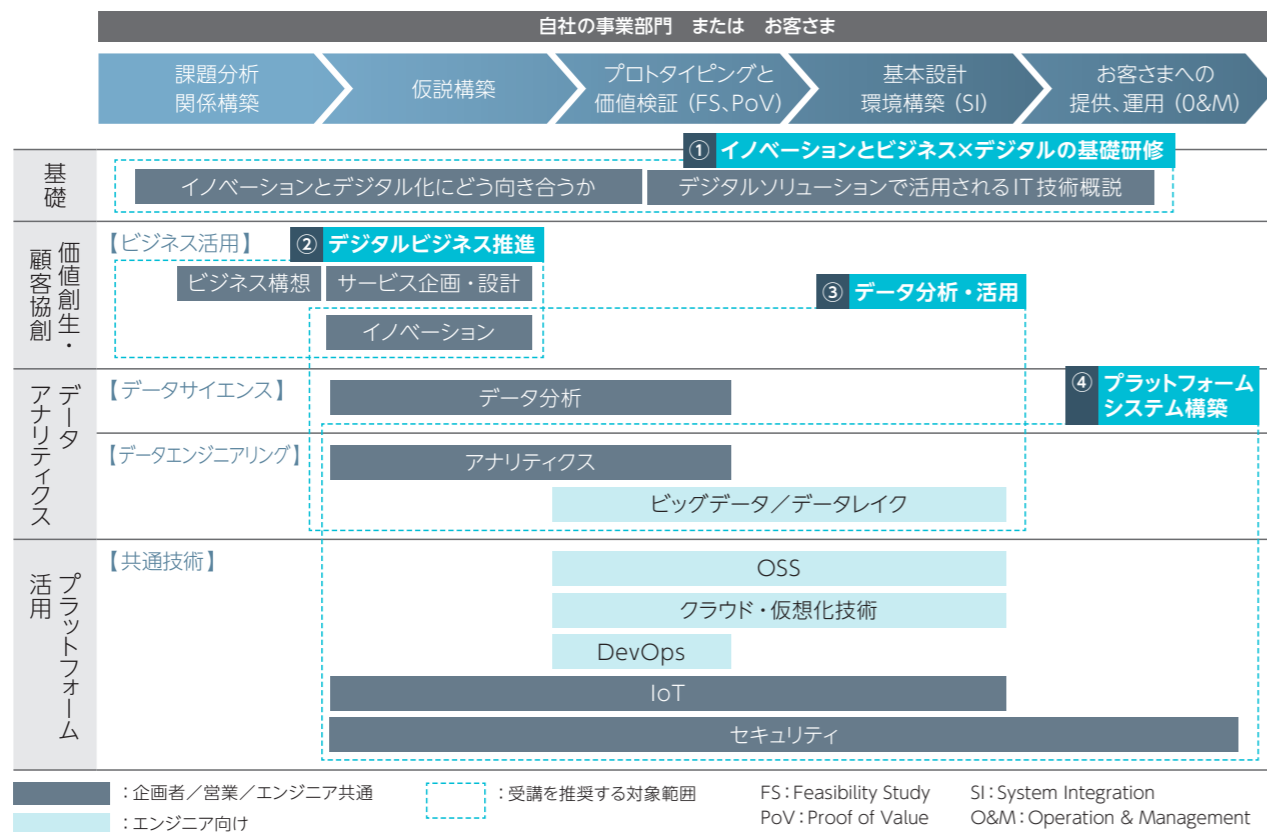
| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|---|------|---|
| PMJ064 |  (PDU)PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 —半日でわかる第6版— | 0.5日 | PMBOK®第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。PMBOK®第5版と比較してどの程度改訂され、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。 |
| PMJ063 |  (PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー | 2日 | プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「PMBOK®ガイド」の内容を学習します。本コースは、PMP対策講座受講の前提講座となります。 |

デジタルトランスフォーメーションを推進する人財の育成

ビジネス×デジタルによるイノベーションを推進する人財

デジタルトランスフォーメーション(DX)の構想から提供までのフェーズごとにキーとなる人財・スキルがあります。

- ① 共通 : イノベーションとビジネスのデジタル化の意義と技術の概要を理解する
- ② デジタルビジネス推進 : 自社ビジネスやお客さまの課題の解決策を協創する
- ③ データ分析・活用 : データ分析により価値を創出し、ソリューションを企画する
- ④ プラットフォームシステム構築 : IoTプラットフォームを活用してソリューションを構築する



DX関連研修メニュー体系の概要

人財の役割ごとに必要となるスキルに対応した、研修メニューを体系化しました。

| 体系 | 主な対象者 | コース体系概要 |
|--------------------------|-----------------------------|--|
| ① イノベーションとビジネス×デジタルの基礎研修 | DXの推進に関わる全ての方 | イノベーションを理解し、ビジネスのデジタル化やITの利活用に関する基礎知識を学びます。 |
| ② デジタルビジネス推進関連研修 | 事業部門や顧客との協創によりソリューションを推進する方 | 事業部門や顧客との協創により、新たな価値を創出するための思考法、及びソリューションを提供するために必要となるサービスやデジタル技術のポイントを学びます。 |
| ③ データ分析・活用関連研修 | PoC/PoV推進者及び関連する営業、エンジニア | ビッグデータを活用して、新たなアイデア創出を行うために利用可能なデータアナリティクスの手法や効果などを、データ分析スキルを中心に学びます。 |
| ④ プラットフォームシステム構築関連研修 | デジタル化のソリューションを構築するエンジニア | 効率的な開発を行うために必要な技術やツール、及びデジタル化のソリューションに必要な共通技術を含めて体系化しています。 |

ビジネス×デジタルの進行が産業・社会インフラの再編を加速する現在、デジタル技術活用の巧拙がイノベーションの鍵を握っています。

デジタル技術を活用して新しい価値を生み出す「デジタルトランスフォーメーション*」。社内外で推進するためには、さまざまな人財が、事業部門やお客さまと協創しながら新たな価値を創出し続けることが必要です。

当社では、「デジタルビジネス推進者」や「デジタルエンジニア」などの人財に着目した研修メニューや、デジタル化のソリューションに必要なスキルに着目した研修メニューなど、目的別に整備を進めています。

*以下、デジタルトランスフォーメーションを、所々「DX」と表記します。英語表現では、しばしば接頭語の「trans-」や「ex-」を「X」に置き換える慣例があり、一般的に「DT」ではなく「DX」という省略形が使われています。

① イノベーションとビジネス×デジタルの基礎研修

DXに関わる人財が、推進のために共通的に理解しておかなければならない知識を修得し、認識を拡大したり、認識を共有する際にお役に立てるコースです。

| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|-------------------------------------|-----|--|
| オーダー専用 | New イノベーションとデジタル化にどう向き合うか | 1日 | ITの利活用は技術分野/事業分野を超え、デジタルトランスフォーメーションとして社会のあらゆるシーンで検討される時代になりました。本コースは、イノベーションを理解し、IT利活用の本質を感じ取り、ITとの向き合い方について気づきを促します。職場の推進メンバーの共通認識づくりの場としてご利用ください。 |
| IOE001 | New <eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説 | 90日 | ITを活用したビジネスを企画・提案される方に必要となるIT技術の概要を、網羅的に学習します。 |

② デジタルトランスフォーメーションを企画・推進・提案する人財の強化

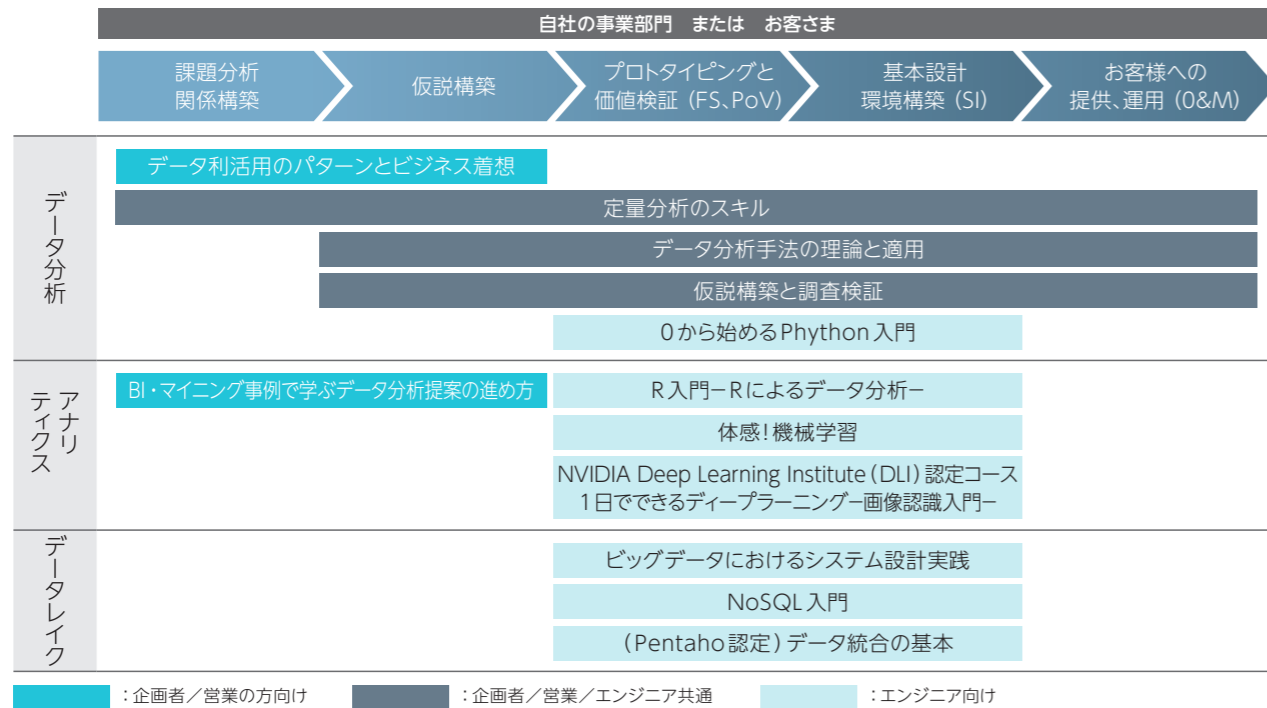
事業部門やお客さまとの協創による新たな価値を創出するには、いろいろな人を巻き込んでイノベティブに考え、価値あるビジネスモデルを構想し、サービスとして倍化することを実践する、などのスキルが必要です。今までにない提案や価値創出を実現したい方にお薦めです。

● ビジネスの革新や価値創造を企画・提案するためのコース概要

| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|---------|---|----|--|
| HSJ 163 | クリエイティブシンキング | 1日 | イノベーションを切り開くために必須となるクリエイティブなアイデアをひらめくためのプロセスを体験・学習します。 |
| HSJ 170 | イノベティブ思考 - 単なるアイデアで終わらないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた | 2日 | イノベティブ思考が従来の思考と違う点(確からしさよりも可能性を重視、分析よりも共感を重視、要素よりも関係性を重視など)を対比させながら、イノベティブな発想に必要な進め方、手法を演習主体で学習します。 |
| HSJ 158 | イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング | 1日 | 顧客ビジネスや要素技術の将来動向と捉え、顧客の真のニーズを引き出すために、シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。 |
| HSJ 159 | 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン | 2日 | ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。お客様の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。 |
| HSJ 165 | ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 - イノベーション実現のために - | 1日 | ポジショニングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論を、自らの事業に適用できるようにするまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。 |
| CTJ055 | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 | 1日 | DX・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社にてこのような取り組みを進めるうえでの実践的な最重要ポイントを、ビジネス系システムを中心にお伝えします。 |
| CTJ056 | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 | 2日 | AIやIoTなどデジタル化の効果享受するためには「顧客に価値を提供し普及させ、組織に利益をもたらす斬新なビジネスモデル」を実現することが大前提となります。本コースでは、斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を、ワークショップを通して学びます。 |
| CTJ057 | これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 - いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジー - | 2日 | お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX(カスタマーエクスペリエンス)を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められています。本コースでは、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を、ワークショップを通して学びます。 |
| CTJ058 | ビジネスモデリングから始める要求分析モデリング | 2日 | 本コースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。加えて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせることで、「もれがなくだぶりがない」要求分析モデルの実現もめざします。 |
| IOJ006 | New IoTソリューションにおける顧客価値とROI - ビジネスモデルキャンバスを使ってIoTビジネスをデザインする - | 1日 | 本コースでは、さまざまな産業インフラに対するIoTシステムの適用に焦点を当てながら、想定する領域における課題を発見し、ヒト、モノ、データを結び付けていくためのIoTサービスのラフデザインをしていきます。また、成果を定量的に把握するための、IoTソリューション導入によるROI算定に必要な要素を学習します。 |

③ デジタルの価値を開花させるデータ分析・活用

データ活用するためには、分析手法を理解して分析モデルを設計する能力と、AIやBIなどの分析ツールを活用して、実際に価値を検証する能力、及び分析モデルに従って、有効なデータを用意する能力など、さまざまな能力が必要です。新たな価値を発見するための基本を学ぶコースをメニュー化しました。



● データ分析・活用の基礎コース概要

| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|--|------|--|
| HSJ175 | データ活用のパターンとビジネス着想 | 0.5日 | 具体的なデータ活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ活用のアイデア発想をします。 |
| HSJ108 | 定量分析のスキル -問題解決の精度を高める- | 2日 | 問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客様の課題を捉え、提案・解決する能力を学習します。演習での失敗、気づき、成功体験を通じて、大量データに自身が惑わされず何を読み取り、どう扱うか学習します。 |
| HSJ109 | データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり- | 2日 | データ分析の理論や作業スキル、各分析手法を適用する際の考え方を学習します。データを手に入ってからレポートとするまでの一連の頭と手の動かし方をExcel利用の演習を通じて学習します。 |
| HSJ112 | 仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く- | 2日 | すでにある事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造化する考え方を学習します。また、構造化した仮説に合わせたデータの収集、分析、分析結果の解釈等のサイクルについて演習を通じ学習します。 |
| DBJ107 | 0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして- | 2日 | データ分析の一連の流れをテーマとしてPythonの基本的な構文やデータ構造を修得します。 |
| HSJ162 | BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方 | 2日 | データ活用提案をする際には、顧客要望やお客様の持つデータのパターンに応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを、事例の紹介と実際にツールを使った演習を交えて学習します。 |
| DBJ099 | R入門 -Rによるデータ分析- | 1日 | OSSの統計解析向けのプログラミング言語およびその開発実行環境であるRのインストール、基本操作を学習します。 |
| DBJ088 | 体感! 機械学習 -ビッグデータ時代のシステムを支える技術- | 1日 | ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースではデータ活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。 |
| DBJ110 | NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース 1日できるディープラーニング画像認識入門 | 1日 | ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLIのGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。 |
| DBJ106 | ビッグデータにおけるシステム設計実践 -多様なデータを統合しビッグデータとして活用する- | 1日 | ITアーキテクトに必要な要素技術の全体像と、ビッグデータシステムに必要なシステム設計やデータの登録方法およびデータ設計を、グループディスカッションを通して学習します。 |
| DBJ089 | NoSQL入門 -ビッグデータ時代のデータベース- | 1日 | NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通じて学習します。 |
| PTD005 | (Pentaho 認定) データ統合の基本 | 3日 | Pentahoのデータ統合機能(ETL)について、マシン実習を通じて学習します。 |

④ デジタルトランスフォーメーションを支えるプラットフォームシステム構築

お客様と仮説構築したものを短期間で価値検証するプロトタイプ開発では、従来のウォーターフォール型ではなくDevOpsを使用したアジャイル型の開発手法が適します。また、OT/ITのビッグデータ処理では、イベント駆動型で分散処理するシステム開発のスキルが必要です。

IoT、アナリティクス、共通技術の側面から、それぞれの基本を学ぶコースをメニュー化しました。



● プラットフォームシステム構築関連のコース概要

| コースコード | コース名 | 日数 | コース概要 |
|--------|---|------|--|
| CLJ003 | クラウドコンピューティング技術解説 | 1日 | クラウドコンピューティングの概要と要素技術、クラウドソリューションの全体像について学習します。 |
| CLJ012 | クラウドアプリケーション開発 | 2日 | クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計するうえで、必須となる「スケール」について学習します。従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。 |
| UXJ068 | オープンソースソフトウェア(OSS)概説 | 0.5日 | OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を半日で学習します。 |
| SPJ050 | 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門 | 1日 | Lumadaでは、お客様とPoCを行いながらサービスを提供していきます。その際に必要となるスキルがDevOpsでのアプリケーション開発になります。本コースでは、Lumada Competency CenterのDevOps環境を使い、最新OSS (GitHub, REDMINE, RocketChat, Drone, Hubot, Heaven, Docker)を体験しながら学びます。 |
| SPJ057 | (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- | 1日 | Redmineを用いてバックログを管理し、GitLabを使ってBDD(振る舞い駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。 |
| IOJ001 | IoT概説 | 0.5日 | IoTの全体像(IoTを支えるハードウェア関連技術、IoTシステム構成、IoT技術動向)を学習します。 |
| IOJ007 | IoT技術解説 センサ編 | 0.5日 | IoTシステム全体中での詳細動作を解説し、センサをブラックボックスとして扱う考え方を学習します。また、センサの適用事例を複数紹介します。 |
| IOJ002 | IoT技術解説 セキュリティ編 | 0.5日 | IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。 |
| SCJ038 | 情報セキュリティマネジメント運用 | 1日 | 部門レベルの情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。 |

今後も最新の情報をメールマガジンまたはホームページでお知らせいたします。

それぞれの技術分野を深く学習したい方は、分野別研修メニューを参照してご利用ください。

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

● 情報システム部門の方向け推奨 IT 研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

| 項目 | 初級 | 中級 | 上級 |
|-------------------------|---|---|--|
| IS戦略 IS戦略評価 | HSJ156 / 1日間 ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- | CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- | IOJ006 / 1日間 IoTソリューションにおける顧客価値とROI -ビジネスモデルキャンバスを使ってビジネスをデザインする- |
| IS企画 IS企画評価 | | CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 CTJ050 / 1日間 情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の業務 | CTJ056 / 2日間 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 CTJ059 / 2日間 (PDU) ビジネスアナリシスの基礎 |
| システム開発 | SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎 SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 | SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析 | CTJ046 / 1日間 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント CTJ026 / 1日間 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備業務 |
| 要件定義 | SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法 CTJ053 / 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 | CTJ052 / 2日間 現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 | SPJ054 / 1日間 後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方 |
| 設計技法 | OJE007 / 16時間 eL OCUFファンダメンタル資格対策から学ぶUML NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の基礎 | SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出 | SPJ056 / 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 |
| アプリケーション開発 | CBE006 / 16時間 eL アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- SPJ028 / 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE012 / 5時間 eL Webシステムテストの考え方と技法 プログラミング言語ごとのコース群 | SPE016 / 8時間 eL 実践! テストケース設計 (テスト技法演習編) | SPJ051 / 1日間 実践! テストケース設計 (テスト設計実践編) SPJ038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 |
| IS導入 システム基盤 | UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門 | サーバ製品ごとのコース群 CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- | CLJ008 / 1日間 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 -Cloud Essentials- |
| セキュリティ | SCE701 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策- SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- | SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 -ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編- | SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 |
| ネットワーク | NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎 NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術 -高可用ネットワーク- NWE716 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術 -VPNサービスへの変遷- | NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析 | NWE704 / 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説 NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎 |
| データベース | DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験- DBJ055 / 1日間 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎 | データベース製品ごとのコース群 | DBJ054 / 2日間 データベース設計技法と演習 |
| プロジェクトマネジメント | PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎 | PMJ066 / 2日間 (PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 | CTJ022 / 2日間 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント プロジェクトマネージャ向けのコース群 CTJ037 / 2日間 (PDU) SEのためのベンダーマネジメント PMJ057 / 1日間 (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PMD009 / 2日間 (PDU) プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために- |
| ITサービスマネジメント 運用管理・保守 | ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- ITJ007 / 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防 | ITJ012 / 3日間 (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付) | ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ SPJ033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方 |
| システム監査 | | HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から- | HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために- |
| | | | HSJ105 / 2日間 システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価 |

● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけでなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人材の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人材育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や Cosminexus といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

| 項目 | 初 級 | 中 級 | 上 級 |
|-------------------------|--|--|--|
| IT 基本 | <ul style="list-style-type: none"> SJJ009 / 5日間: コンピュータ基礎 SJE701 / 8時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編- SJE702 / 8時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編- SJE703 / 4時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編- SJE704 / 4時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編- SCE701 / 4時間: 【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門-セキュリティの必要性と対策- NWJ103 / 2日間: ネットワーク基礎 DBJ045 / 1日間: データベース入門-解説と操作体験- | | |
| クラウド / サーバ仮想化 | <ul style="list-style-type: none"> CLJ005 / 1日間: 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門-Virtualware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- CLJ007 / 1日間: 実機で学ぶ！デスクトップ仮想化入門-Citrix XenDesktopとVirtualware vSphere- | <ul style="list-style-type: none"> 仮想化製品提供ベンダーごとのコース群 | |
| クラウド | <ul style="list-style-type: none"> UXE003 / 4時間: 【ナビ機能付き】クラウドコンピューティング入門 CLJ003 / 1日間: クラウドコンピューティング技術解説 CLJ008 / 1日間: 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門-Virtualware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- | <ul style="list-style-type: none"> CLD001 / 2日間: 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials- SPJ040 / 0.5日間: クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群 | |
| システム基盤 | | | |
| サーバOS | <ul style="list-style-type: none"> UNIX/Linux: <ul style="list-style-type: none"> UXJ061 / 2日間: UNIX/Linux 基礎-コマンド編- UXJ049 / 2日間: UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編- UXJ029 / 2日間: Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎- UXJ030 / 2日間: Linuxシステム管理 後編-Linuxシステム起動の仕組みとディスク管理技術- UXJ048 / 0.5日間: オープンソースソフトウェア(OSS)概説 Windows: <ul style="list-style-type: none"> MSJ042 / 2日間: Windows Server 2016 管理概説 MSE305 / 13時間: 【ナビ機能付き】[マシナ学習付き] Windows Server 2012 管理概説 Windows Serverの運用目的に応じたコース群 | <ul style="list-style-type: none"> UXJ062 / 2日間: Linuxトラブルシューティング MSJ044 / 2日間: 実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習-Active Directory, DNS, Samba, Apache, ファイアウォール- Windows Serverの運用目的に応じたコース群 | |
| データベース | <ul style="list-style-type: none"> DBJ055 / 1日間: 速習1日でわかるデータベース設計の基礎 DBJ043 / 2日間: 基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける- DBE706 / 4時間: 【ナビ機能付き】データベース概説 データベース製品ごとのコース群 | <ul style="list-style-type: none"> DBJ047 / 1日間: 脱初心者のためのSQL-SQLでここまでできる- DBJ054 / 2日間: データベース設計技法と演習 データベース製品ごとのコース群 | |
| ネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ネットワークシステムの要素技術: <ul style="list-style-type: none"> NWE715 / 8時間: 【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク NWE716 / 8時間: 【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷- NWJ117 / 1日間: ネットワークインフラ構築-基礎編- NWE705 / 4時間: 【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク概説-携帯電話・無線LANの基礎- ネットワーク設計: <ul style="list-style-type: none"> NWE028 / 4時間: 【ナビ機能付き】ネットワーク設計基礎 NWE703 / 12時間: 【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術 | <ul style="list-style-type: none"> NWJ133 / 2日間: ネットワークインフラ構築-スイッチ編- NWJ138 / 2日間: ネットワークインフラ構築-ルータ編- NWJ120 / 2日間: ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編- NWE708 / 4時間: 【ナビ機能付き】Software Defined Networking(SDN)概説-ネットワーク仮想化- | <ul style="list-style-type: none"> NWE026 / 4時間: 【ナビ機能付き】ネットワーク最新動向-モバイル技術とデータセンタネットワーク |
| セキュリティ | <ul style="list-style-type: none"> SCE706 / 8時間: 【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- SCE703 / 6時間: 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-企業技術(暗号、認証)編- SCE705 / 1日間: 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編- SCE704 / 4時間: 【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説 | <ul style="list-style-type: none"> SCJ038 / 1日間: 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 / 1日間: 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 SCD001 / 5日間: CEH (Certified Ethical Hacker) SCJ032 / 1日間: ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント | |
| システム設計 / システム開発 | <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアエンジニアリング: <ul style="list-style-type: none"> SJE707 / 4時間: 【ナビ機能付き】システム開発の基礎 SPJ088 / 2日間: 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方 ニーズ分析、要件定義: <ul style="list-style-type: none"> SPJ024 / 2日間: システムの要件定義技法 CTJ082 / 1日間: 現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 SPJ037 / 2日間: システムのユースケース分析 システム設計、業務アプリケーション設計: <ul style="list-style-type: none"> NWJ139 / 2日間: Webアプリケーション設計の基礎 NWJ113 / 1日間: スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方 SPE017 / 5時間: 【ナビ機能付き】構造化モデリングによるシステムの機能抽出 モデリング / オブジェクト指向: <ul style="list-style-type: none"> OJE007 / 6時間: 【ナビ機能付き】OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML OJJ024 / 2日間: UMLによるオブジェクト指向モデリング アプリケーション開発: <ul style="list-style-type: none"> Javaテクノロジー | <ul style="list-style-type: none"> PMJ006 / 1日間: ソフトウェア開発の品質管理と信頼性-日立の取り組み紹介- CTJ018 / 1日間: 非機能要求の考え方 SPJ054 / 1日間: 後工程で使えないユーザー・業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ059 / 2日間: (PDU)ビジネスアナリシスの基礎 CTJ051 / 1日間: ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック SPJ038 / 2日間: アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 SPJ036 / 2日間: システム化要求を実現するための業務設計 SPJ056 / 1日間: 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 SPJ039 / 0.5日間: 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント CLJ012 / 2日間: クラウドアプリケーション開発 SPJ050 / 1日間: 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門 SPJ057 / 1日間: (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に早く価値を届けるために- | <ul style="list-style-type: none"> CTJ060 / 2日間: (PDU)要求の引き出しとマネジメント CTJ021 / 2日間: 戦略的エンタープライズアナリシス |
| プログラミング | <ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム / プログラミング: <ul style="list-style-type: none"> CBJ001 / 2日間: アルゴリズムの基礎-フローチャート編- CBE006 / 13時間: 【ナビ機能付き】アルゴリズムの基礎-フローチャート編- プログラミング言語ごとのコース群 テスト技法: <ul style="list-style-type: none"> SPE701 / 4時間: 【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法 SPJ028 / 4日間: 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE016 / 4時間: 実践! テストケース設計(テスト技法演習編) SPJ051 / 4日間: 実践! テストケース設計(テスト設計実践編) | <ul style="list-style-type: none"> SPE012 / 5時間: 【ナビ機能付き】Webシステムテストの考え方と技法 SPJ024 / 1日間: Javaによるテスト駆動開発演習 SPJ025 / 1日間: SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習 | |
| 評価、改善、信頼性向上 / リスクマネジメント | | <ul style="list-style-type: none"> SPJ033 / 1日間: 保守開発におけるトラブル対策の考え方 HSJ062 / 1日間: 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために- | <ul style="list-style-type: none"> HSJ018 / 2日間: システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から- |
| プロジェクトマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> PMJ045 / 2日間: プロジェクトマネジメント基礎 | <ul style="list-style-type: none"> PMJ066 / 2日間: (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 CTJ037 / 2日間: (PDU) SEのためのベンダーマネジメント 知識エリアごとのコース群 | <ul style="list-style-type: none"> PMJ057 / 1日間: (PDU)PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PMO009 / 2日間: (PDU)プログラママネジメントより価値の高いプログラマーを育てるために- |

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

| 分野 | ITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力) | | | | | | | 項目 | 初級 | 中級 | 上級 | | | |
|------------------|------------------------------------|--------|---------|------|--------|--------|-------|--|--|--|---|--|--|--|
| | ITサービス戦略 | システム構想 | システム化計画 | 業務設計 | 業務詳細設計 | テスト・移行 | 投資対効果 | | | | | | | |
| 新事業・サービスの創成 | | | | | | | | 戦略/マーケティング | HSJ156 / 1日間 ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- | HSJ165 / 1日間 ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために- | HSJ017 / 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- | CTD006 / 2日間 IT経営ストラテジ | | |
| | | | | | | | | イノベーション | HSJ163 / 1日間 クリエイティブシンキング | HSJ157 / 2日間 システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあふ要素の「つながり」を可視化する- | HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- | HSJ159 / 2日間 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン | CTJ056 / 2日間 新時代に向けた ビジネスモデル創造の進め方 | HSJ158 / 1日間 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング |
| | | | | | | | | 超上流工程 | CTJ059 / 2日間 (PDU) ビジネスアナリシスの 基礎 | SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析 | CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック | CTJ040 / 2日間 (PDU) 要求の引き出しと マネジメント | CTJ021 / 2日間 (PDU) 戦略的エンタープライズ アナリシス | |
| サービス企画/開発 | | | | | | | | サービスプロデュース | IOJ006 / 1日間 IoTソリューションにおける顧客価値とROI -ビジネスモデルキャンバスを使ってIoTビジネスをデザインする- | CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現する ための構想立案とIT化企画的な作り方 | CTJ058 / 2日間 ビジネスモデリングから始める 要求分析モデリング | | | |
| | | | | | | | | サービスレベル設計 | ITE006 / 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎 | CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方 | | | | |
| システム化企画/導入 | | | | | | | | システム企画 | SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ!情報システムの 役割と開発の進め方 | CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法 | SPJ036 / 2日間 システム化要求を 実現するための業務設計 | CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法 | | |
| | | | | | | | | 要件定義 | CTJ053 / 1日間 現場主導で現状業務の見える化を 推進するための業務フロー作成技法 | CTJ052 / 1日間 現行システムのリリース/改修における現状洗い 出しを確実にするための業務フロー作成技法 | SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法 | CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方 | | |
| | | | | | | | | 運用テスト・移行 | SPJ028 / 1日間 品質確保のための ソフトウェアテスト | CTJ026 / 1日間 情報システムのユーザーテストと 移行・切替・本番稼働の準備業務 | | | | |
| ITサービス運用 | | | | | | | | ITシステム運用 | ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- | ITJ009 / 1日間 IT運用における ヒューマンエラー予防 | ITE006 / 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎 | | | |
| | | | | | | | | クラウド | UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング 入門 | CLJ008 / 1日間 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- | CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウド への移行と管理-Cloud Essentials- | SPJ040 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向 | SPJ039 / 0.5日間 事例から学ぶ SaaS活用提案のポイント | |
| | | | | | | | | セキュリティ | SCE701 / 4時間 eL [ナビ機能付き]情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策- | SCE706 / 8時間 eL [ナビ機能付き]情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- | SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 | SCJ032 / 1日間 ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント | | |
| | | | | | | | | ネットワーク | NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎 | NWE715 / 8時間 eL [ナビ機能付き] LANの技術-高可用ネットワーク- | NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析 | NWE704 / 6時間 eL [ナビ機能付き] ネットワーク管理概説 | NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決 | |
| | | | | | | | | UNIX/Linuxサーバ | UXJ041 / 2日間 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- | UXJ049 / 2日間 UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編- | UXJ029 / 2日間 Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎- | UXJ030 / 2日間 Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術- | UXJ042 / 2日間 Linuxトラブルシューティング | |
| | | | | | | | | Windowsサーバ | MSJ042 / 2日間 Windows Server 2016 管理概説 | MSE001 / 8時間 eL Windowsサーバー管理 入門 | MSJ045 / 2日間 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編- | MSJ047 / 1日間 実践! Windows PowerShellを用いたシステム 管理の効率化-Windows Server 2016編- | MSJ048 / 2日間 実践! Windows Server 2016によるインフラ 構築演習-Windows Server 2016編- | |
| | | | | | | | | DB | DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験- | DBJ063 / 2日間 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける- | SCE704 / 4時間 eL [ナビ機能付き] データベースセキュリティ概説 | データベース製品ごとの コース群 | | |
| | ITサービスの評価 | | | | | | | | IT投資評価 | CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- | | | SPJ008 / 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える- | |
| | | | | | | | | ITサービスの品質向上 | HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために- | | | HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から- | | |
| ITサービスのライフサイクル全体 | | | | | | | | ITJ012 / 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション (認定試験付) | ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ | | | | | |

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

All Rights Reserved, Copyright© 2018 Hitachi Information Academy Co., Ltd.

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT／ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修は(株)日立インフォメーションアカデミーが提供する研修サービスです。また、(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施運営を行い、また、日立製品研修の申し込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

● JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● VOS3 / VOS1 / VOSK

日立メインフレームOSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● XDM / PDM II

日立メインフレームDB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

● OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

IT／ビジネス研修

IoT

IoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)の全体像とシステム構築についての詳細技術を理解できます。

ビッグデータ

ビッグデータの有益性及び既存技術との違いを理解し、ITプラットフォーム技術や分析技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

● UNIX/Linux

UNIX/Linuxの機能や操作法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

● Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

IT戦略・IS企画／システム設計

システム計画／システム設計を行うために必要な知識・技術が修得できます。

● IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● システム設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

アプリケーション開発

システム開発／アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

● Webアプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

● スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

● オブジェクト指向／UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

● 言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

IT基本

社会人としての基本動作、IT基礎力および情報処理資格取得のために必要な知識や技術が修得できます。

● IT基本

IT技術者の前提として求められる知識が修得できます。

● ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● 情報処理資格

資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

情報リテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

ビジネス／ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

 新設コース

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* | |
|---------------------------|---------------------|--|---|------|
| ● 日立製品 | | | | |
| JP1 | JPE015 | <eラーニング>JP1エンジニア-機能概説-(Version 11) | 90日 | |
| | JPE321 | <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11) | 21日 | |
| ● IoT | | | | |
| IoT | IOJ007 | IoT技術解説 センサ編 | 0.5日 | |
| | IOJ008 | 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座 | 1日 | |
| | IOJ010 | IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして- | 0.5日 | |
| | IOJ009 | IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション、システム開発演習を通して- | 2日 | |
| | IOE001 | <eラーニング>デジタルソリューションで活用するIT技術概説 | 90日 | |
| | IOJ006 | IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする- | 1日 | |
| ● ビッグデータ | | | | |
| ビッグデータ | DBJ110 | NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日のできるディープラーニング-画像認識入門- | 1日 | |
| | PTD006 | (Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本 | 2日 | |
| ● クラウド / サーバ仮想化 | | | | |
| クラウド / サーバ仮想化 | VMJ006 | VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編- | 2日 | |
| ● システム基盤 | | | | |
| UNIX/Linux | Linux | UXJ073 | <研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築-BIND、Apache編- | 1日 |
| | | UXJ074 | <研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境 | 1日 |
| | OSS | UXJ072 | OSS-DB PostgreSQL 導入と運用 | 2日 |
| Microsoft | Windows Server 2016 | MSE307 | <演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編- | 21日 |
| | | SCE707 | <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編- | 90日 |
| | | MSE308 | <演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編- | 21日 |
| | SharePoint | OAE026 | <eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門 | 90日 |
| セキュリティ | 情報セキュリティ | SCJ041 | セキュリティ最新動向 | 0.5日 |
| データベース | 共通 | DBE339 | <演習環境>SQL操作入門 | 21日 |
| | Oracle | DBE340 | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription | 365日 |
| ● IT戦略・IS企画/システム設計 | | | | |
| システム設計 | SJE707 | <eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎 | 90日 | |
| | UXJ070 | gitによるソフトウェア構成管理 | 1日 | |

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。

【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

【PDU】: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* |
|-----------------------|--|--|------|
| ● アプリケーション開発 | | | |
| 言語 | Java | OJE020 <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(前編) スマートデバイス対応 | 90日 |
| | | OJE021 <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(後編) スマートデバイス対応 | 90日 |
| | OJJ021 | ハンズオン Java8/9新機能 | 2日 |
| ● IT基本 | | | |
| 情報処理資格 | 春秋期実施試験対策 | SJE275 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITパスポート試験【IP】 | 90日 |
| | | SJE277 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 基本情報技術者試験【FE】 | 90日 |
| | | SJE278 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 応用情報技術者試験【AP】 | 90日 |
| | | SJE276 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 | 90日 |
| | | SJE279 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 | 90日 |
| | 秋期実施試験対策 | SJE280 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 | 90日 |
| | | SJE281 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】 | 90日 |
| | | SJE282 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】 | 90日 |
| | | SJE283 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】 | 90日 |
| | | | |
| ● プロジェクトマネジメント | | | |
| プロジェクトマネジメント | PME007 <eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎 | 90日 | |
| | PMJ063 (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU | 2日 | |
| | PMJ064 (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版- PDU | 0.5日 | |
| ● ビジネス/ヒューマン | | | |
| ビジネス/ヒューマン | 思考法 | HSJ175 データ活用のパターンとビジネス着想 | 0.5日 |
| | | HSE302 <eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く スマートデバイス対応 | 90日 |
| | プレゼンテーション | HSE301 <eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン スマートデバイス対応 | 90日 |
| | 定量的分析 | OAJ048 Excelによるデータ可視化-Excelでビジュアルに強くなる- | 1日 |
| | | OAJ047 Excelによる売上データ分析-Excelではじめるデータ活用の第一歩- | 1日 |
| | | DBJ107 0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして- | 2日 |
| | 2Wayコミュニケーション | HSJ174 (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える- PDU | 1日 |

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。
スマートデバイス対応:パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* | 改訂のポイント |
|---------------------------|-----------------|--|-----|--------------------------------|
| ● クラウド / サーバ仮想化 | | | | |
| クラウド / サーバ仮想化 | UXE003 | <eラーニング>クラウドコンピューティング入門 旧コースコードおよび名称>> UXE002 <eラーニング>クラウドコンピューティング入門 | 90日 | コースコードの変更 |
| | | クラウドアプリケーション開発 旧コースコードおよび名称>> CLJ006 クラウドアプリケーション開発 | 2日 | 内容の改訂 |
| ● ITサービスマネジメント | | | | |
| ITサービスマネジメント | ITIL® ITJ012 | (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU 旧コースコードおよび名称>> ITJ010 (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU | 3日 | 受講料の改定 |
| ● システム基盤 | | | | |
| UNIX/Linux | Linux UXJ071 | Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編- 旧コースコードおよび名称>> UXJ066 Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編- | 2日 | ソフトウェアのバージョンアップにより改訂 |
| ネットワーク | NWE715 | <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク- 旧コースコードおよび名称>> NWE701 <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク- | 90日 | 操作性向上のため改訂 |
| | | <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷- 旧コースコードおよび名称>> NWE702 <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷- | 90日 | 操作性向上のため改訂 |
| ● IT戦略・IS企画/システム設計 | | | | |
| IT戦略・IS企画 | CTJ059 | (PDU)ビジネスアナリシスの基礎 PDU 旧コースコードおよび名称>> CTJ019 (PDU)ビジネスアナリシスのイントロダクション PDU | 2日 | BABOK V3に対応し、コース名称の変更、および内容を改訂 |
| | | (PDU)要求の引き出しとマネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> CTJ020 (PDU)要求の引き出しと文書化 PDU | 2日 | BABOK V3に対応し、コース名称の変更、および内容を改訂 |
| | CTJ054 | IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ049 ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで- | 1日 | コース名称の変更、および内容の改訂 |
| | CTJ055 | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 旧コースコードおよび名称>> CTJ030 ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方、および CTJ049 ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで- | 1日 | コース名称の変更、および内容の改訂 |
| | CTJ053 | 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ048 現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方- | 1日 | コース名称の変更、および内容の改訂 |
| | CTJ052 | 現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ048 現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方- | 1日 | コース名称の変更、および内容の改訂 |
| | CTJ056 | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 旧コースコードおよび名称>> CTJ040 ビッグデータ×人工知能で創造するデジタルビジネス構想企画の進め方、および CTJ041 新しい収益を生み出すICTサービス事業構想企画の進め方入門 | 2日 | コース名称の変更、および内容の改訂 |

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* | 改訂のポイント |
|-----------|--------|--|-----|-----------------------|
| IT戦略・IS企画 | CTJ057 | これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジー- 旧コースコードおよび名称>> CTJ038 これからのICT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザイン・メソッドロジー- | 2日 | コース名称の変更、 および内容の改訂 |
| | CTJ058 | ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング 旧コースコードおよび名称>> CTJ039 クラウド・SaaS時代のビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング | 2日 | コース名称の変更、 および内容の改訂 |
| システム設計 | SPJ058 | 演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 旧コースコードおよび名称>> SPJ026 演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 | 2日 | 開発技術変化に対応し、 内容の改訂 |
| | SPE017 | <eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出 旧コースコードおよび名称>> SPE013 <eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出 | 90日 | 操作性向上のため改訂 |
| | SPJ057 | (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- (PDU) 旧コースコードおよび名称>> SPJ052 実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- | 1日 | PDU対象コースに改訂 |
| | SPJ054 | 後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ 旧コースコードおよび名称>> SPJ048 後工程での仕様変更/仕様追加を未然に防ぐ要件定義のコツ | 1日 | コース名称の変更、 および内容の改訂 |
| | SPJ055 | 業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント 旧コースコードおよび名称>> SPJ047 開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法 | 1日 | コース名称の変更、 および内容の改訂 |
| | SPJ056 | 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 旧コースコードおよび名称>> SPJ047 開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法 | 1日 | コース名称の変更、 および内容の改訂 |

● アプリケーション開発

| | | | | | |
|--------------|--------|--|--|---------|-----------|
| オブジェクト指向/UML | OJJ024 | UMLによるオブジェクト指向モデリング 旧コースコードおよび名称>> OJJ011 UMLによるオブジェクト指向モデリング | 2日 | 開催時間を変更 | |
| | OJJ025 | UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング 旧コースコードおよび名称>> OJJ012 UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング | 2日 | 開催時間を変更 | |
| 言語 | 共通 | CBE006 | <eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編- 旧コースコードおよび名称>> CBE001 <eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編- | 90日 | コースコードの変更 |
| | Java | OJJ026 | Javaによるデータベース・プログラミング 旧コースコードおよび名称>> OJJ019 Javaによるデータベース・プログラミング | 2日 | 開催時間を変更 |

● プロジェクトマネジメント

| | | | | |
|--------------|--------|--|----|---------------------------|
| プロジェクトマネジメント | PMJ065 | プロジェクトマネジメント基礎 旧コースコードおよび名称>> PMJ022 プロジェクトマネジメント基礎 | 2日 | PMBOK®ガイド第6版に 対応した版に改訂 |
| | PMJ066 | (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 (PDU) 旧コースコードおよび名称>> PMJ011 (PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践 (PDU) | 2日 | PMBOK®ガイド第6版に 対応した版に改訂 |
| | PMD014 | (PDU) PRINCE 2®ファンデーション(認定試験付き) (PDU) 旧コースコードおよび名称>> PMD010 (PDU) PRINCE 2®ファンデーション (認定試験付き) (PDU) | 3日 | 受講料の改定 |

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。
【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。
【PDU】: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| | | | | |
|--------------|--------|---|----|--------|
| プロジェクトマネジメント | PMD015 | (PDU) PRINCE 2®プラクティショナ(認定試験付き) (PDU) | 2日 | 受講料の改定 |
| | | 旧コースコードおよび名称>> PMD011 (PDU) PRINCE 2®プラクティショナ (認定試験付き) (PDU) | | |

● ビジネス/ヒューマン

| | | | | | |
|------------|----------|--------|---|-----|------------------------|
| ビジネス/ヒューマン | 思考法 | HSJ170 | イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- 旧コースコードおよび名称>> HSJ164 デザインシンキング実践ワークショップ | 2日 | コース名称の変更、 および受講料の改定 |
| | ネゴシエーション | HSE711 | <eラーニング>【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編) 旧コースコードおよび名称>> HSE702 <eラーニング>【ナビ機能付き】 協創を生みだす交渉(基礎知識編) | 90日 | 操作性向上のため改訂 |

📌 廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* |
|--------------------------------|--------|--|-----|
| ● 日立製品 | | | |
| JP1 | JPE007 | <eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定資格試験 統合管理 問題集 (Version 11) | 90日 |
| | JPE008 | <eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定資格試験 ジョブ管理 問題集 (Version 11) | 90日 |
| | JPE009 | <eラーニング>JP1プロフェッショナル認定資格試験 ネットワーク管理 問題集 (Version 11) | 90日 |
| | JPE010 | <eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定試験 パフォーマンス管理問題集 (Version 11) | 90日 |
| uCosminexus Application Server | CSJ017 | uCosminexus Application Server 入門-構築基礎- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CSE302 <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎- | 1日 |
| | CSJ018 | uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CSE303 <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築- | 2日 |

● システム基礎

| | | | | |
|------------|-------|--------|---|----|
| UNIX/Linux | Linux | UXJ065 | Linuxで実現! DNS、メール、Webサーバの構築-BIND、Postfix、Apache、Squid編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> UXJ073 <研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 -BIND、Apache編- | 3日 |
| | | UXJ058 | Linuxで構築するKVM仮想化環境 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> UXJ074 <研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境 | 2日 |

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* |
|-----------|---------------------|--|-----|
| Microsoft | Windows Server 2012 | MSJ031 Windows Server 2012管理概説 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSE305 <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説 | 2日 |
| | | MSJ037 Active Directoryの基礎 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSE304 <eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎 | 2日 |
| | | MSD037 Active Directoryの管理 | 2日 |
| | SharePoint | MSD038 グループポリシーによるユーザーデスクトップ環境の管理 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SCE707 <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化～Windows Server 2016編～ | 1日 |
| | | OAJ045 SharePointによる社内ポータル作成入門 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE026 <eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門 | 1日 |
| | | MSE303 <eラーニング>【マシン演習付き】IISによるWebサーバー構築 | 21日 |
| セキュリティ | セキュリティ技術 | SCD002 CHF1(Computer Hacking Forensic Investigator) | 5日 |
| | | SCD003 ECSP(EC-Council Certified Secure Programmer) | 3日 |

● IT戦略・IS企画/システム設計

| | | |
|-----------|---|-----|
| IT戦略・IS企画 | CTD005 CCBA®/CBAP® 試験対策コース PDU | 3日 |
| | CTJ047 情報システム部門におけるビジネス視点からのITプロフェッショナル養成-育て方・育ち方- | 1日 |
| システム設計 | SJE011 <eラーニング>システム開発の基礎 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE707 <eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎 | 90日 |
| | SPJ049 顧客に新しいユーザーエクスペリエンスをもたらすサービスデザインのためのプロトタイプとテストの進め方 | 2日 |

● アプリケーション開発

| 言語 | VB/VC# | コース名 | 日数* |
|----|--------|--|-----|
| | | VBE002 <eラーニング>初心者のためのVisual Basic .NET操作と文法 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> VBJ038 Visual Basic プログラミング | 90日 |
| | | VBE003 <eラーニング>初心者のためのVisual Basic 2005操作と文法 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> VBJ038 Visual Basic プログラミング | 90日 |

● IT基本

| | | | |
|--------|-----------|---|-----|
| 情報処理資格 | 春秋期実施試験対策 | SJE267 <eラーニング>集中演習 2018年春期 ITパスポート試験【IP】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE275 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 ITパスポート試験【IP】 | 90日 |
| | | SJE269 <eラーニング>集中演習 2018年春期 基本情報技術者試験【FE】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE277 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 基本情報技術者試験【FE】 | 90日 |
| | | SJE270 <eラーニング>集中演習 2018年春期 応用情報技術者試験【AP】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE278 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 応用情報技術者試験【AP】 | 90日 |

| 分野 | コースコード | コース名 | 日数* |
|--------|-----------|---|-----|
| 情報処理資格 | 春秋期実施試験対策 | SJE268 <eラーニング>集中演習 2018年春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE276 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 | 90日 |
| | | SJE274 <eラーニング>集中演習 2018年春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE279 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 | 90日 |
| | 春期実施試験対策 | SJE272 <eラーニング>集中演習 2018年春期 データベーススペシャリスト試験【DB】 | 90日 |
| | | SJE271 <eラーニング>集中演習 2018年春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】 | 90日 |
| | | SJE273 <eラーニング>集中演習 2018年春期 システム監査技術者試験【AU】 | 90日 |

● プロジェクトマネジメント

| | | |
|--------------|---|-----|
| プロジェクトマネジメント | PME003 <eラーニング>プロジェクトマネジメント基礎 | 90日 |
| | PMJ052 (PDU) PMBOK®ガイド 第5版セミナー PDU | 2日 |
| | PME006 <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド 第4版と第5版の差分講座-半日でわかる第5版- PDU | 90日 |

● ビジネス/ヒューマン

| | | | |
|------------|------|--|----|
| ビジネス/ヒューマン | 業務知識 | HSJ167 アカウントティングと経営分析の基礎 | 2日 |
| | | HSJ168 (PDU)実践で身に付ける原価計算 PDU | 1日 |

● セールス

| | | |
|------|--------------------|----|
| セールス | SLJ004 セールス活動基礎 | 2日 |
|------|--------------------|----|

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。

【スマートデバイス対応】:パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

開催コース/スケジュール一覧

日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。)

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------|------------------|------|---|---------------------|-----------|-----------------|---------------------|-----------------------|------------------------------|----|---------------------------|-----|-----------------------|
| JP 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | JPJ085 (JPJ085T) | | JP1エンジニア機能概説-(Version 11) | ¥43,200 (¥49,680) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 19 28 18 | 28 | | 3 7 | 7 | 6 |
| | JPE015 | New | <eラーニング> JP1エンジニア機能概説-(Version 11) | ¥30,240 | 5時間 | eラーニング | | | | | | | 5, 12, 19 |
| | JPJ084 | | JP1操作入門 (Version 11) | ¥43,200 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 20 17 | 18 | | 30 3 | | 3 |
| | JPJ086 | | JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-(Version 11) | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 21~22 19~20 | | 31~1 | | 4~5 25~26 |
| | JPE315 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-(Version 11) | ¥108,000 | 16時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ087 (JPJ087T) | | JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-(Version 11) | ¥108,000 (¥116,640) | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 23~24 21~22 | | | 2~3 | 6~7 27~28 |
| | JPE316 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定-(Version 11) | ¥108,000 | 16時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ088 (JPJ088T) | | JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11) | ¥194,400 (¥203,040) | 4日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 21~24 19~22 | | 31~3 | | 4~7 25~28 |
| | JPJ090 | | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 11) | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 23~24 | 14~15, 28~29 12~13, 26~27 | | 9~10, 24~25 6~7, 27~28 | | 11~12, 25~26 11~12 |
| | JPE313 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 11) | ¥108,000 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ091 (JPJ091T) | | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 11) | ¥108,000 (¥116,640) | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 25~26 16~17, 30~31 | 14~15, 28~29 11~12, 26~27 | | 8~9, 29~30 | | 13~14, 27~28 13~14 |
| | JPE314 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 11) | ¥108,000 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ092 (JPJ092T) | | JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 11) | ¥194,400 (¥203,040) | 4日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 23~26 14~17, 28~31 | 12~15, 26~29 9~12, 24~27 | | 6~9, 27~30 | | 11~14, 25~28 11~14 |
| | JPJ102 | | JP1/AJS3 エキスパート育成講座-開発編- | ¥54,000 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 9 | | |
| | JPJ103 | | JP1/AJS3 エキスパート育成講座-運用編- | ¥54,000 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 10 | | |
| | JPJ093 | | JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 11) | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 5~6 | | |
| | JPJ096 | | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基礎-(Version 11) | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | 21~22 20~21 | | 23~24 27~28 | | 29~30 |
| | JPJ097 (JPJ097T) | | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-(Version 11) | ¥54,000 (¥62,640) | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | 23 | | 22 25 | | 29 31 |
| | JPJ098 (JPJ098T) | | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11) | ¥140,400 (¥149,040) | 3日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | 21~23 20~22 | | 23~25 27~29 | | 29~31 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|------------------|------|--|---------------------|-----------|-----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| | JPJ094 (JPJ094T) | | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11) | ¥108,000 (¥116,640) | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 5~6 | 23~24 | |
| | JPJ101 (JPJ101T) | | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥62,640) | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 21 | |
| | JPJ089 (JPJ089T) | | JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) | ¥108,000 (¥116,640) | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | 24~25 | | 2~3 | | 10~11 |
| | JPE321 | New | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) | ¥108,000 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | | | | | | 4 |
| | JPE308 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 -システム監視-(Version 10) | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPE309 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 -システム設定-(Version 10) | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPE310 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM (Version 10) | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ100 (JPJ100T) | 休講 | JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥62,640) | 1日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ211 (JPJ211T) | | JP1コンサルタント ジョブ管理 -チューニング編-(Version 11) | ¥54,000 (¥64,800) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | 22 | | | 7 |
| | JPJ210 | | JP1コンサルタント ジョブ管理 -システム設計編-(Version 11) | ¥54,000 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | 21 | | | 6 |
| | JPJ212 (JPJ212T) | | JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥64,800) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | | 12 |
| | JPJ208 (JPJ208T) | | JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥64,800) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | | 4 |
| | JPJ209 (JPJ209T) | | JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥64,800) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | | 3 |
| | JPJ213 (JPJ213T) | | JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11) | ¥54,000 (¥64,800) | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | 24 | |
| | JPJ065 | 休講 | JP1操作入門 (Version 10) | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPE006 | | <eラーニング> JP1機能概説 (Version 10) | ¥27,540 | 6時間 | eラーニング | | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | JPJ067 | 休講 | JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ068 | 休講 | JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ069 | 休講 | JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 10) | ¥151,200 | 4日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ070 | 休講 | JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理 (Version 10) | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ071 | 休講 | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ072 | 休講 | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPJ073 | 休講 | JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 10) | ¥151,200 | 4日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | JPE311 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 10) | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPE312 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 10) | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |

New : 新設コース 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応 : ハンズオン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態 : 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例 (P.55) を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------------------------|--------|------|--|----------|-----------|------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| | JPE302 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 -ジョブ定義・監視-(Version 9) | ¥86,400 | 12時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | JPJ080 | 休講 | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -ソフトウェア配布・資産管理-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | | | | | | | | |
| | JPJ075 | 休講 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基礎-(Version 10) | ¥86,400 | 2日 | | | | | | | | |
| | JPJ076 | 休講 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理-(Version 10) | ¥43,200 | 1日 | | | | | | | | |
| | JPJ077 | 休講 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース(Version 10) | ¥108,000 | 3日 | | | | | | | | |
| | JPJ079 | 休講 | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 -情報漏えい防止-(Version 10) | ¥43,200 | 1日 | | | | | | | | |
| | 11653 | | 【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 11) | ¥24,840 | 1日 | | 東京(大森) | | 18 | | 23 | | |
| uCosminexus Application Server | | | | | | | | | | | | | |
| | CSE302 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 -構築基礎- | ¥32,400 | 6時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CSE303 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 -設計・構築- | ¥86,400 | 12時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CSE304 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 -トラブルシューティング- | ¥43,200 | 6時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CSE001 | | <eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 -性能設計・性能対策- | ¥32,940 | 6時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 [CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-]
 [CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-]
【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

| HiRDB | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|------|--|----------|-----------|------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| | DBJ064 | | HiRDB入門 -データベース構築編- | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | 23 | | 29 | | | |
| | DBE338 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 HiRDB入門-データベース構築編- | ¥32,400 | 7時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBE307 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門 -GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編- | ¥32,400 | 7時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBE015 | | <eラーニング>HiRDB機能解説 | ¥26,460 | 7時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBJ092 | | HiRDBデータベース管理 | ¥64,800 | 2日 | | 東京(大森) | 7~8 | | 23~24 | | | |
| | DBE305 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理 | ¥64,800 | 12時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBJ093 | | HiRDBアプリケーションプログラミング | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | | | | 6 | | |
| | DBE306 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング | ¥32,400 | 6時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBE026 | | <eラーニング> HiRDBデータベースチューニング | ¥30,240 | 6時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBJ095 | | HiRDBアプリケーションチューニング | ¥86,400 | 2日 | | 東京(大森) | | | | 2~3 | | |
| | DBE318 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング | ¥86,400 | 13時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------------------|--------|------|---|----------|-----------|------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| | DBE330 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング | ¥86,400 | 12時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBE329 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築 | ¥86,400 | 13時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| OpenTP1 | | | | | | | | | | | | | |
| | DBJ009 | | OpenTP1基礎 | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | | 18 | | | | |
| | DBE709 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎 | ¥20,520 | 6時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBJ041 | | OpenTP1の設計と運用-Server Base編- | ¥86,400 | 2日 | | 東京(大森) | | | | 19~20 | | |
| | DBE023 | | <eラーニング> OpenTP1の設計と運用-MCF編- | ¥19,440 | 6時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBE014 | | <eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説 | ¥10,800 | 4時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| VOS3/VOS1/VOSK | | | | | | | | | | | | | |
| | - | | オペレーティングシステム入門(自習テキスト) | ¥2,160 | 15時間 | | | | | | | | |
| | VSJ016 | | VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム- | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) 大阪 | | | | 9 | 6 | 3 |
| | VSE003 | | <eラーニング> VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム- | ¥18,360 | 8時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | VSJ015 | | VOS3基礎2-JCL- | ¥60,480 | 2日 | | 東京(大森) 大阪 | | | | 10~11 | 7~8 | 4~5 |
| | VSE002 | | <eラーニング> VOS3基礎2-JCL- スマートデバイス対応 | ¥35,640 | 16時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | VSJ011 | | VOS3システム解説 | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | | | | 12 | | 6 |
| | VSJ017 | | VOS3応用-VSAMデータセットの活用- | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | | | | | | 7 |
| | VSJ018 | 休講 | VOS3ジョブ管理解説 | ¥60,480 | 2日 | | | | | | | | |
| | - | | VOS1使用法(自習テキスト) | ¥8,640 | 12時間 | | | | | | | | |
| | - | | VOS1機能解説(自習テキスト) | ¥8,640 | 12時間 | | | | | | | | |
| | - | | VOSK使用法(自習テキスト) | ¥8,640 | 12時間 | | | | | | | | |
| | - | | VOSKシステム運用と管理(自習テキスト) | ¥8,640 | 12時間 | | | | | | | | |
| XDM/PDMII | | | | | | | | | | | | | |
| | DBE016 | | <eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定-環境構築編- | ¥15,336 | 4時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBE017 | | <eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 -データベース作成編- | ¥15,336 | 4時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBE018 | | <eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定-運用編- | ¥15,336 | 4時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | DBJ104 | 休講 | XDMリレーショナル DB機能と設定 | ¥54,000 | 2日 | | | | | | | | |
| | DBE024 | | <eラーニング>XDM構造型DB機能と設定 | ¥54,000 | 18時間 | | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |

New : 新設コース **修正** : 改訂コース **休講** : 今期の定期開催はありません
スマートデバイス対応 : パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU** : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--|--------|------|---|----------------------|-----------|--------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| | DBJ105 | 休講 | XDM構造型DB機能と設定 | ¥81,000 | 3日 | レクチャ | | | | | | | |
| | DBE025 | | <eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用 | ¥36,720 | 12時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4. 11, 18, 25 | 9. 16, 23, 30 | 6. 13, 20, 27 | 4. 11, 18, 25 | 1. 8, 22, 29 | 5. 12, 19 |
| | DBJ103 | 休講 | XDM/DCCM3機能解説とシステム運用 | ¥54,000 | 2日 | レクチャ | | | | | | | |
| | DBE028 | | <eラーニング>XDMシステムの設計と運用 | ¥77,220 | 18時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4. 11, 18, 25 | 9. 16, 23, 30 | 6. 13, 20, 27 | 4. 11, 18, 25 | 1. 8, 22, 29 | 5. 12, 19 |
| | - | | XDM RDBプログラミング(自習テキスト) | ¥2,700 | 15時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | XDM構造型DBプログラミング(自習テキスト) | ¥5,184 | 24時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | DCCM3入門(自習テキスト) | ¥3,456 | 15時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | DCCM3プログラミング(自習テキスト) | ¥4,104 | 25時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | PDMII入門(自習テキスト) | ¥2,160 | 10時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | PDMIIデータベース機能と設定(自習テキスト) | ¥8,640 | 15時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| | - | | PDMIIプログラミング(自習テキスト) | ¥4,536 | 20時間 | 自習テキスト | | | | | | | |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム | | | | | | | | | | | | | |
| | DBJ101 | | Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム 概説 | ¥21,600 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | 30 | |

IoT

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------|--------|------|--|----------------------|-----------|-------|---------------------|----|----------------|-----|-------|----|-------|
| IoT | | | | | | | | | | | | | |
| | IOJ001 | | IoT概説 | ¥20,520 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 24 | 24 | | 4 | 22 | |
| | IOJ002 | | IoT技術解説 セキュリティ編 | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 16 | | 6 | 22 | |
| | IOJ003 | | IoT技術解説 無線ネットワーク編 | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 | | 21 | 26 | 19 | | |
| | IOJ007 | New | IoT技術解説 センサ編 | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 | | 16 | | 9 | | |
| | IOJ008 | New | 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座 | ¥32,400 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | 6 | | | |
| | IOJ004 | | 「IoTシステム技術検定」対策講座 | ¥90,720 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 | | 30~31 28~29 | 7~8 | | | |
| | IOJ005 | | 実践! Node-REDによるIoTシステムの実装 -Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断、保守まで- | ¥41,040 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 11 | | 27 | | |
| | IOJ010 | New | IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による 故障予知診断を例にして- | ¥21,600 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | 24 | | | 22 | |
| | IOJ009 | New | IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による アプリケーション、システム開発演習を通して- | ¥82,080 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 12~13 | | 12~13 |

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|--------|------|--|----------------------|-----------|--------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| | IOE001 | New | <eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説 | ¥19,440 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4. 11, 18, 25 | 9. 16, 23, 30 | 6. 13, 20, 27 | 4. 11, 18, 25 | 1. 8, 22, 29 | 5. 12, 19 |
| | IOJ006 | New | IoTソリューションにおける顧客価値とROI -ビジネスモデルキャンバスを使って IoTビジネスをデザインする- | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | 20 | | | | | |

ビッグデータ

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------|--------|------|--|----------------------|-----------|-----------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| ビッグデータ | | | | | | | | | | | | | |
| | DBJ081 | | ビッグデータ概説 | ¥21,600 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 24 | 15 | | 20 | 23 | 18 |
| | DBE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 ビッグデータ概説 | ¥19,440 | 5時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4. 11, 18, 25 | 9. 16, 23, 30 | 6. 13, 20, 27 | 4. 11, 18, 25 | 1. 8, 22, 29 | 5. 12, 19 |
| | DBJ089 | | NoSQL入門 -ビッグデータ時代のデータベース- | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 17 | 20 | |
| | DBJ088 | | 体感! 機械学習 -ビッグデータ時代のシステムを支える技術- | ¥43,200 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 30 | 21 | 12 |
| | DBJ110 | New | NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング-画像認識入門- | ¥86,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 4, 23 | | |
| | DBE317 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 Hadoop プログラミング | ¥32,400 | 6時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBJ106 | | ビッグデータにおけるシステム設計実践 -多様なデータを統合しビッグデータとして活用する- | ¥47,250 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 18 | 7 | 10 |
| | DBJ099 | | R入門 -Rによるデータ分析- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 9 | |
| | DBD046 | | データサイエンティスト入門研修 Rによる統計解析 -分析結果を統計的に正しく理解し、 次の意思決定に向けた提案へ- | ¥216,000 | 2.5日 | マシン実習 | 白台 (BrainPad) | | | 6~8 | | | 10~12 |
| | DBD047 | | データサイエンティスト入門研修 SQLによる集計・ 分析-分析の基本的なプロセスを修得し、 自社DBデータの活用へ- | ¥129,600 | 1.5日 | マシン実習 | 白台 (BrainPad) | | | 4~5 | | | 6~7 |
| | DBD053 | | データサイエンティスト入門研修 機械学習による問題解決実践 -機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出- | ¥216,000 | 2日 | マシン実習 | 白台 (BrainPad) | | | 11~12 | | | 13~14 |
| | DBD056 | | ソリューション別研修 統計・分析のためのデータ加工入門 | ¥75,600 | 1日 | マシン実習 | 白台 (BrainPad) | | | | 11 | | 5 |
| | PTD001 | | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール | ¥108,000 | 1日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 14 | | 2 | | 3 |
| | PTD002 | | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー | ¥205,200 | 2日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 15~16 | | 3~4 | | 4~5 |
| | PTD003 | | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング | ¥205,200 | 2日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 17~18 | | 5~6 | | 6~7 |
| | PTD004 | | (Pentaho認定) CToolsの基本 | ¥205,200 | 2日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 24~25 | | 26~27 | | 13~14 |
| | PTD005 | | (Pentaho認定)データ統合の基本 | ¥302,400 | 3日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 21~23 | | 23~25 | | 10~12 |
| | PTD006 | New | (Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本 | ¥205,200 | 2日 | マシン実習 | 薬地(KSK) | | 28~29 | | 30~31 | | 18~19 |

New: 新設コース 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

クラウド/サーバ仮想化

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------------|--------|---------|---|----------|-----------|----------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| クラウド/サーバ仮想化 | | | | | | | | | | | | | |
| | CLE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説 | ¥11,880 | 3時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | CLJ005 | | 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 11 | | 12 | 28 | |
| | CLJ007 | | 実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 14 | 18 | 19 | 3 | 7 |
| | CLJ008 | | 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | 23 | | | 27 | | |
| | CLE702 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説 | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | UXE003 | Renewal | <eラーニング> クラウドコンピューティング入門 | ¥7,560 | 4時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | CLJ003 | | クラウドコンピューティング技術解説 | ¥37,800 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 25 | | 14 19 |
| | CLJ012 | Renewal | クラウドアプリケーション開発 | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 24~25 | | 3~4 |
| | CLD001 | | 事業と技術の観点から検討する クラウドへの移行と管理-Cloud Essentials- | ¥118,800 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | 19~20 | | | | 2~3 | |
| | CLJ011 | | Microsoft Azure 概説 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | 8 | | 7 31 9 | 4 |
| | CLJ009 | | Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 26 | | |
| | CLJ002 | | Hadoop入門-インストールと操作体験- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 25 | | | | |
| | VMJ006 | New | VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編- | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 24~25 | | 2~3 | | 3~4 |
| | VMD007 | | VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5] | ¥534,600 | 5日 | マシン実習 | 東京(大森) | 16~20 | | 4~8 | | 27~31 | |
| | VMD008 | | VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5] | ¥320,760 | 3日 | マシン実習 | 別途ご案内いたします | | | | | | |
| | VMD009 | | VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2] | ¥534,600 | 5日 | マシン実習 | 別途ご案内いたします | | | | | | |
| | VMJ005 | | VMware vSphere システム構築実習 [V6.0] -実装編- | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 10~11 | | 5~6 | | |

ITサービスマネジメント

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|--------|------|---------------------------------|----------|-----------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------|
| ITサービスマネジメント | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | ITE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 運用管理概説 | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | ITJ008 | | 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- | ¥32,400 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | 2 | |
| | ITJ009 | | IT運用におけるヒューマンエラー予防 | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 1 | 13 | | 13 31 |
| | ITE006 | | <eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習 開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「IT」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|--------|---------|------------------------------------|----------|-----------|--------|--------------|----|----|-------|----|--------------|-----|
| ITIL* | ITJ004 | | システム運用の現状分析・設計力 養成ワークショップ | ¥82,080 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 13~14 | | | 4~5 |
| | ITJ012 | Renewal | (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU | ¥168,480 | 3日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 | | | 11~13 | | 27~29 7~9 | |

システム基盤

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------|--------|---------|--|----------|-----------|----------------|---------------------|----|---------------|-----------------------|-------|------------|-----------------------|
| UNIX/Linux | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | UXJ061 | | UNIX/Linux 基礎-コマンド編- | ¥64,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | 16~17 9~10 | | 5~6 | | |
| | UXJ049 | | UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編- | ¥64,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 21~22 | 4~5 | 9~10 | 1~2 | 3~4 |
| | UXE303 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 UNIX/Linux 基本使用法 | ¥37,800 | 8時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | UXJ069 | | UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 20~21 | |
| Linux | UXJ029 | | Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールと システム/ネットワーク管理の基礎- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 28~29 | 11~12 19~20 5~6 | 23~24 | 6~7 | |
| | UXJ030 | | Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 30~31 | 13~14 | 25~26 | 8~9 7~8 | |
| | UXJ062 | | Linuxトラブルシューティング | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 30~31 | | 12~13 11~12 |
| | UXJ073 | New | <研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築- BIND、Apache編- | ¥37,800 | 1日 | 研修室自習 | 東京(大森) | | | | | 3 | 14 |
| | UXJ063 | | Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要基実習 | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | | 3~4 |
| | UXJ031 | | Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 -LDAP/Sambaによる Windowsネットワークとの統合- | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 9~10 | | |
| | UXJ064 | | Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視 | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | 21~22 | | | |
| | UXJ074 | New | <研修室自習型> Linuxで構築するKVM仮想化環境 | ¥37,800 | 1日 | 研修室自習 | 東京(大森) | | | | | 3 | 14 |
| | UXJ071 | Renewal | Linuxで構築するクラウド基盤 -OpenStack編- | ¥90,720 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 12~13 | | 10~11 20~21 4~5 |
| OSS | UXJ068 | | オープンソースソフトウェア(OSS)概説 | ¥21,600 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | 18 | | | | 7 |
| | UXJ028 | | OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 27~28 | |
| | UXE302 | | <eラーニング>【マシン演習付き】 OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP- | ¥75,600 | 13時間 | eラーニング ナビ機能 | 学習 開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | UXJ072 | New | OSS-DB PostgreSQL 導入と運用 | ¥86,400 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | | 18~19 |
| AIX | UXD037 | | AIX 7 システム管理-基礎編 | - | 3日 | マシン実習 | 別途ご案内いたします | | | | | | |
| | UXD038 | | AIX 7 システム管理-実践編 | - | 3日 | マシン実習 | 別途ご案内いたします | | | | | | |

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------|--------|---|---|----------------------|-----------|---------------------|---------------------------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------------|-----------|
| Microsoft | | | | | | | | | | | | | |
| Windows Server 2016 | MSJ043 | | ここが新しい! Windows Server 2016新機能 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 13 | | |
| | MSJ042 | | Windows Server 2016管理概説 | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | 19~20 | | 25~26 | 24~25 | | 10~11 |
| | MSE306 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】マシンの演習付き】Windows Server 2016管理概説 | ¥81,000 | 13時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | MSJ045 | | 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 福岡 | | | 11~12 14~15 | | 2~3 21~22 2~3 | |
| | MSE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編- | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | MSE307 | New | <演習環境>Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編- | ¥21,600 | 4時間 | 演習環境 マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | SCE707 | New | <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編- | ¥9,720 | 4時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | | | | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | MSE308 | New | <演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編- | ¥21,600 | 4時間 | 演習環境 マシン実習 | 学習開始日 | | | | 3 | 7 | 4 |
| | MSJ047 | | 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 -Windows Server 2016編- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 30 31 | | 12 |
| | CLJ010 | | 実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 18 | | | 20 | |
| MSJ048 | | 実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習 -Windows Server 2016編- | ¥91,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | | 23~24 | 20~21 13~14 | |
| Windows Server 2012 | MSE305 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】マシンの演習付き】Windows Server 2012管理概説 | ¥81,000 | 13時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | MSE304 | | <eラーニング>【マシンの演習付き】Active Directoryの基礎 | ¥81,000 | 13時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | MSJ039 | | Microsoft フェールオーバークラスター構築 | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 29~30 | | |
| | MSE302 | | <eラーニング>【マシンの演習付き】Windows PowerShellの基礎 -Windowsシステム管理の効率化- | ¥37,800 | 6時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| Windows 10 | MSJ046 | | Windows 10機能概説 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 18 | | | 4 |
| | MSE001 | | <eラーニング>Windowsサーバー管理入門 | ¥18,360 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| Windows | MSJ044 | | 実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習 -Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク- | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 22~23 | | 27~28 |
| | OAE026 | New | <eラーニング> SharePointによる社内ポータル作成入門 | ¥10,800 | 3時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------|--------|------------------------------|--|----------------------|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------------|--------------|----------------|
| ネットワーク | | | | | | | | | | | | | |
| | NWJ103 | | ネットワーク基礎 | ¥54,000 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | 18~19 24~25 | | 25~26 | | 8~9 | |
| | NWE706 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I -イーサネットの仕組み- | ¥41,040 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWE707 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み- | ¥41,040 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWE715 | Renewal | <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術 -高可用ネットワーク- | ¥21,600 | 8時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWE714 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説 -ルーティング編- | ¥21,600 | 8時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWJ099 | | TCP/IPプロトコル解析 | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 広島 福岡 | | | 21~22 6~7 | 5~6 | 28~29 | 20~21 |
| | NWE716 | Renewal | <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術 -VPNサービスへの変遷- | ¥21,600 | 8時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWE001 | | <eラーニング>インターネット技術入門 | ¥16,200 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWJ085 | | インターネットプロトコル(DNS, メール, HTTP) 解説とサーバ構築 | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | 28~29 | | 2~3 | |
| | NWE028 | | <eラーニング>ネットワーク設計基礎 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | NWJ117 | | ネットワークインフラ構築-基礎編- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | 20 | 18 | 20 | 13, 27 | 3 | 5 |
| | NWJ138 | | ネットワークインフラ構築-ルータ編- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 10~11 11~12 | | 3~4 |
| | NWJ133 | | ネットワークインフラ構築-スイッチ編- | ¥79,920 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 30~31 | | 18~19 26~27 |
| | NWJ120 | | ネットワークインフラ構築-冗長化・負分散編- | ¥79,920 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | 28~29 | | | 6~7 |
| NWJ134 | | ネットワークインフラ構築-VPN編- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 19~20 | 7~8 | 4~5 27~28 | |
| NWE703 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術 | ¥41,040 | 12時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |
| NWJ084 | | ネットワークトラブル解決 | ¥79,920 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | | | 25~26 | 26~27 | 23~24 2~3 8~9 | 13~14 6~7 | |
| NWE704 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理概説 | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング マシン実習 | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

New: 新設コース 改訂: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------|--------|------|---|----------|-----------|----------------|---------------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|------------|-------------------------|
| | NWE705 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク概説 -携帯電話・無線LANの基礎- | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWJ109 | | 無線LAN環境構築 | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 15~16 31~ | | | 30~31 | |
| | NWE708 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説 -ネットワーク仮想化- | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWE026 | | <eラーニング>ネットワーク最新動向 -モバイル技術とデータセンタネットワーク- | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWE713 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク最新動向 | ¥39,960 | 10時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWE712 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理 | ¥39,960 | 12時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| セキュリティ | | | | | | | | | | | | | |
| 情報セキュリティ | SCE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策- | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCJ041 | New | セキュリティ最新動向 | ¥30,240 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | 11 | | 13 | | |
| | SCE706 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- | ¥21,600 | 8時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCJ032 | | ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | 13 | | 1 | | | 14 |
| | SCJ038 | | 情報セキュリティマネジメント運用 | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | 8 | | | |
| | SCJ039 | | 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | 20 | | | |
| セキュリティ技術 | SCE703 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 -要素技術(暗号、認証)編- | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCE705 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 -ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編- | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCJ040 | | ネットワークセキュリティ対策実習 | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | 12~13 24~25 | 21~22 7~8 | 21~22 7~8 | 2~3, 26~27 | 30~31 | 10~11 13~14 20~21 |
| | SCE704 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説 | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCE010 | | <eラーニング>IPsecによるVPN構築 | ¥10,800 | 3時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SCJ037 | | インターネットにおける電子認証技術-PKI- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 31 | | |
| | SCD001 | | CEH(Certified Ethical Hacker) | ¥537,840 | 5日 | マシン実習 | | 別途ご案内いたします | | | | | |
| データベース | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | DBJ045 | | データベース入門-解説と操作体験- | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | | 26 | 18 | 6 | 1, 22 | |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------|--------|------|---|----------|-----------|-----------------|---------------------------------|-------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----------------|
| 共通 | DBE711 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎 | ¥20,520 | 8時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBJ063 | | 基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける- | ¥64,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 福岡 | | 15~16 5~6 | 27~28 5~6 | | 23~24 | |
| | DBE703 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門 | ¥19,440 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBE339 | New | <演習環境>SQL操作入門 | ¥21,600 | 3時間 | 演習環境 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBJ055 | | 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎 | ¥32,400 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 31 | | 31 | | 11 |
| | DBE710 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説-入門・設計・SQL編- | ¥38,880 | 12時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBE708 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎 | ¥29,700 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBJ054 | | データベース設計技法と演習 | ¥71,280 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | | | 4~5 28~29 | 25~26 | | |
| | DBE707 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎 | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBE304 | | <eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング -体感! 埋め込みSQL- | ¥32,400 | 6時間 | マシン演習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | DBJ067 | | 脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる- | ¥43,200 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | 12 | 13 | 29 | 28 |
| | DBJ090 | | データ分析に使えるSQL -SQLでビッグデータに立ち向かう- | ¥43,200 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 6 | 5 | 7 | 11 |
| | DBE704 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説 | ¥21,600 | 7時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBE706 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | DBE705 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説 | ¥21,600 | 6時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| SQL Server | DBE337 | | <eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理 | ¥81,000 | 14時間 | マシン演習 | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| Oracle | DBE316 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能 | ¥385,560 | 35時間 | Oracle マシン演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBD048 | | Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 I | ¥231,336 | 3日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 25~27 18~20 | | 29~31 |
| | DBE333 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎 II | ¥154,224 | 14時間 | Oracle マシン演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBD049 | | Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート | ¥154,224 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | | 30~31 6~7 | 25~26 11~12 |
| | DBD050 | | Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ | ¥231,336 | 3日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 9~11 | | 25~27 |
| | DBE332 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎 | ¥154,224 | 14時間 | Oracle マシン演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |

New: 新設コース | 修正: 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 | PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|------|---|----------|-----------|--------|--------------|----|----|----|----|----|--------------|
| Oracle | DBE309 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発 | ¥231,336 | 21時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBD052 | | Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ | ¥231,336 | 3日 | マシン実習 | 東京(大森) 大阪 | | | | | | 3-5 19-21 |
| | DBE308 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ | ¥385,560 | 35時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE310 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング | ¥385,560 | 35時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE311 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード | ¥154,224 | 14時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE315 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II | ¥385,560 | 35時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE319 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ | ¥642,600 | 35時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE324 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ | ¥481,680 | 35時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE323 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault | ¥154,224 | 14時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE325 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ | ¥154,224 | 14時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE322 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理 | ¥385,344 | 28時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE321 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理 | ¥192,672 | 14時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE331 | | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理 | ¥385,344 | 28時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE019 | | <eラーニング> Oracleではじめる統計入門 | ¥77,112 | 7時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE334 | | <eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Bronze 12c | ¥28,728 | 8時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE335 | | <eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Silver 12c | ¥28,728 | 8時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE336 | | <eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Gold 12c | ¥28,728 | 8時間 | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | DBE340 | New | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription | ¥906,552 | - | グループ演習 | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |

IT戦略・IS企画/システム設計

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|--------|------|---|----------|-----------|--------|--------------|----|----|----|-------|-------|----|
| IT戦略・IS企画 | | | | | | | | | | | | | |
| | HSJ017 | | (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- | ¥32,400 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | 5 | | | 10 |
| | SPJ008 | | (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える- | ¥81,000 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 23-24 | | |
| | CTJ016 | | (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | | 6 | 21 |
| | CTJ005 | | (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- | ¥108,000 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 27-28 | |
| | SPJ033 | | 保守開発におけるトラブル対策の考え方 | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | 28 | | | 7 | |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています。)
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービス費が必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|--------|---------|---|----------|-----------|--------|-----------|-------|-------|----|-------|-------|-----|
| | CTD006 | | IT経営ストラテジ | ¥64,800 | 2日 | グループ演習 | 六本木(FXLI) | | | | 26-27 | | 6-7 |
| | CTD007 | | ITC資格試験対策 | ¥43,200 | 1日 | レクチャ | 六本木(FXLI) | | | | 2 | | |
| | CTJ059 | Renewal | (PDU)ビジネスアナリシスの基礎 | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 2-3 | |
| | CTJ060 | Renewal | (PDU)要求の引き出しとマネジメント | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 30-31 | |
| | CTJ021 | | (PDU)戦略的エンタープライズアナリシス | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | 18-19 | | | | | |
| | CTJ050 | | 情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の実務 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | 14 | | | | |
| | CTJ046 | | 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | 11 | | | |
| | CTJ026 | | 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 2 | | |
| | CTJ022 | | 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント | ¥75,600 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 26-27 | | |
| | CTJ037 | | (PDU) SEのためのベンダーマネジメント | ¥86,400 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 26-27 | | |
| | CTJ054 | Renewal | IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 27 | | |
| | CTJ055 | Renewal | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | | 14 |
| | CTJ053 | Renewal | 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 6 | |
| | CTJ052 | Renewal | 現行システムのリブレース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 20 | | |
| | CTJ051 | | ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 30 | |
| | CTJ056 | Renewal | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 | ¥129,600 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | 19-20 | | | | | |
| | CTJ057 | Renewal | これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザインメソッド- | ¥129,600 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | 17-18 | | | | |
| | CTJ058 | Renewal | ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング | ¥129,600 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 26-27 | | |

| システム設計 | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|---------------------------|----------|-----------|----------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------------|
| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| | SPJ058 | Renewal | 演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 | ¥64,800 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | 9-10 | | | | 23-24 |
| | SJE707 | New | <eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | SPJ037 | | システムのニーズ分析 | ¥81,000 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 2-3 | | 18-19 7-8 6-7 |
| | SPJ036 | | システム化要求を実現するための業務設計 | ¥81,000 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | 12-13 | 10-11 |
| | SPJ024 | | システムの要件定義技法 | ¥69,120 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 26-27 | 6-7 | 6-7 28-29 |
| | CTJ018 | | 非機能要求の考え方 | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | 8 | | 3 | |
| | SPE702 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】待ち行列理論 | ¥21,600 | 7時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありませぬ
 *スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|--------|---------|---|----------|-----------|--------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| | SPE017 | Renewal | <eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出 | ¥19,440 | 5時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | CTE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 アプリケーション・アーキテクチャ基礎 | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SPJ038 | | アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 2~3 | |
| | SPJ039 | | 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント | ¥29,160 | 0.5日 | レクチャ | 別途ご案内いたします | | | | | | |
| | SPJ040 | | クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向 | ¥29,160 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | 18 | | | | |
| | SPJ050 | | 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門 | ¥41,040 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | 20 | 25 | | | 8 | 6 |
| | UXJ070 | New | gitによるソフトウェア構成管理 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | | 5 |
| | SPJ057 | Renewal | (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- | ¥41,040 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 23 | | 7 |
| | SPJ054 | Renewal | 後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを 未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | 23 | | |
| | SPJ055 | Renewal | 業務要件とユーザビリティを確保するための 要件定義のポイント | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | 3 | |
| | SPJ056 | Renewal | 開発での手戻りを最小限にする 要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | | 10 |
| | SPJ028 | | 品質確保のためのソフトウェアテスト | ¥32,400 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | 18 | | 24 | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | 6 | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | | 27 | |
| | | | | | | | 広島 | | | | | | 11 |
| | SPE016 | | <eラーニング> 実践! テストケース設計(テスト技法演習編) | ¥18,360 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SPJ051 | | 実践! テストケース設計(テスト設計実践編) | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 30 | | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | 18 | | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | | | 10 |
| | SPE012 | | <eラーニング> Webシステムテストの考え方と技法 | ¥18,360 | 5時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SPJ032 | | Javaモジュールテスト演習 | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 29 | |
| | SPJ034 | | Javaによるテスト駆動開発演習 | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 25 | |
| | SPJ035 | | Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習 | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 9 | |
| | SPE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 プログラムのテスト技法 | ¥20,520 | 7時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

アプリケーション開発

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------------|--------|------|--------------------------------------|----------|-----------|--------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| Webアプリケーション | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | NWE711 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 Webシステム入門 | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWJ139 | | Webアプリケーション設計の基礎 | ¥64,800 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) | 16~17 | | | | 6~7 | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | 7~8 | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | 25~26 | | |
| コンテンツ | NWE709 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作 | ¥20,520 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|--------|---------|---|----------|-----------|--------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| コンテンツ | NWE710 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 HTMLによるWebコンテンツ制作 | ¥20,520 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWJ115 | | JavaScriptプログラミング -基礎からAjaxまで- | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 9~10 | | | 23~24 | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | 23~24 | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | | | 20~21 |
| | NWJ114 | | HTML5プログラミング | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 22 | |
| | NWJ140 | | HTML5/JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践 | ¥108,000 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | | 18~19 |
| Java | OJJ014 | 休講 | Struts2フレームワークによる Webアプリケーションプログラミング | ¥81,000 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| スマートデバイス | | | | | | | | | | | | | |
| | NWE029 | | <eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説 | ¥10,800 | 3時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | NWJ113 | | スマートフォンの特性を踏まえた Webアプリケーション設計の考え方 | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | 11 | | 31 | |
| | NWJ135 | | 体験! Androidアプリケーションの開発 | ¥32,400 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 9 | |
| | NWJ129 | | 体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 28 | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | 11 | |
| | NWJ131 | | 体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発 | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | 25 | | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | | 12 |
| オブジェクト指向/UML | | | | | | | | | | | | | |
| | OJE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 オブジェクト指向概説 | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJE005 | | <eラーニング> UML 2.0入門 | ¥7,560 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJE007 | | <eラーニング> OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML | ¥24,840 | 16時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJJ024 | Renewal | UMLによるオブジェクト指向モデリング | ¥64,800 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | 2~3 | |
| | OJJ025 | Renewal | UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング | ¥64,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 21~22 | |
| 言語 | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | CBJ001 | 休講 | アルゴリズムの基礎-フローチャート編- | ¥54,000 | 2日 | レクチャ | | | | | | | |
| | CBE006 | Renewal | <eラーニング> アルゴリズムの基礎-フローチャート編- | ¥11,016 | 16時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| Java | OJJ016 | | Javaプログラミング1(基本文法編) | ¥97,200 | 3日 | マシン実習 | 東京(大森) | | | | | 4~6 | |
| | | | | | | | 大阪 | | | | | 11~13 | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | | 11~13 | |
| | | | | | | | 福岡 | | | | | 10~12 | |
| | OJE702 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1(基本文法編) | ¥59,400 | 24時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJE020 | New | <eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1(前編) 【スマートデバイス対応】 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJE021 | New | <eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1(後編) 【スマートデバイス対応】 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJJ017 | | Javaプログラミング2(基本クラス編) | ¥64,800 | 2日 | マシン実習 | 東京(大森) | | 31~ | 1 | 9~10 | | 10~11 |
| | | | | | | | 大阪 | | | | 24~25 | | |
| | | | | | | | 名古屋 | | | | | 2~3 | |
| | | | | | | | 広島 | | | | 19~20 | | |

New : 新設コース 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません
 【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|---------|---|----------------------|-----------|------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|----------------|
| Java | OJE703 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2-基本クラス編- | ¥39,960 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OJJ021 | New | ハンズオン Java8/9新機能 | ¥75,600 | 2日 | | 東京(大森) | | | | | | 12~13 |
| | OJJ026 | Renewal | Javaによるデータベース・プログラミング | ¥64,800 | 2日 | | 東京(大森) 大阪 | | | 28~29 | | | 25~26 |
| | OJJ018 | | サーバサイド Javaプログラミング (Servlet/JSP編) | ¥97,200 | 3日 | | 東京(大森) 大阪 名古屋 福岡 | | | 13~15 | | | 18~20 12~14 |
| | OJJ020 | | 実践! Javaプログラミング | ¥64,800 | 2日 | | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 | | | | | 20~21 21~22 | 27~28 2~3 |
| | OJE018 | | <eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー | ¥28,728 | 7時間 | | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | OJE017 | | <eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー(移行試験) | ¥28,728 | 7時間 | | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | OJE016 | | <eラーニング> OCJP Silver SE 8 資格取得準備セミナー | ¥28,728 | 7時間 | | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | OJE019 | | <eラーニング> Java EE 6 Web Component Developer 資格取得準備セミナー | ¥28,728 | 7時間 | | 学習開始日 | 5 | 10 | 7 | 5 | 9 | 6 |
| | XML | XME001 | | <eラーニング> XML基礎 | ¥16,200 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 |
| XME002 | | | <eラーニング> XMLデータの設計 | ¥16,200 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| XME003 | | | <eラーニング> XMLデータの利用 | ¥16,200 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| COBOL | - | | PAD入門(自習テキスト) | ¥1,620 | 6時間 | | | | | | | | |
| | CBJ002 | | COBOLプログラミング基礎編(PAD) | ¥81,000 | 3日 | | 東京(大森) | | | | 17~19 | | |
| | CBJ004 | 休講 | COBOLプログラミング応用編(PAD) | ¥105,840 | 4日 | | | | | | | | |
| | CBJ007 | | COBOLプログラミング基礎編(フローチャート) | ¥81,000 | 3日 | | 東京(大森) | | | | 17~19 | | |
| | CBJ008 | 休講 | COBOLプログラミング応用編(フローチャート) | ¥105,840 | 4日 | | | | | | | | |
| | CBE301 | | <eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(PAD) | ¥97,200 | 24時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CBE302 | | <eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(PAD) | ¥122,040 | 32時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CBE303 | | <eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(フローチャート) | ¥97,200 | 24時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CBE304 | | <eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(フローチャート) | ¥122,040 | 32時間 | | 学習開始日 | 3 | 8 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| | CBE002 | | <eラーニング> COBOLプログラミング基礎編(PAD) | ¥24,840 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | CBE003 | | <eラーニング> COBOLプログラミング応用編(PAD) | ¥24,840 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | CBE004 | | <eラーニング> COBOLプログラミング基礎編(フローチャート) | ¥24,840 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|------|--|----------------------|-----------|------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|----------|
| COBOL | CBE005 | | <eラーニング> COBOLプログラミング応用編(フローチャート) | ¥24,840 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | - | | COBOLプログラミング基礎編(PAD)(自習テキスト) | ¥4,104 | 18時間 | | | | | | | | |
| | - | | COBOLプログラミング応用編(PAD)(自習テキスト) | ¥4,104 | 18時間 | | | | | | | | |
| | - | | COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)(自習テキスト) | ¥4,104 | 18時間 | | | | | | | | |
| | - | | COBOLプログラミング応用編(フローチャート)(自習テキスト) | ¥4,104 | 18時間 | | | | | | | | |
| C/C++ | CCJ009 | | C言語プログラミング1-基本マスタ編- | ¥97,200 | 3日 | | 東京(大森) | | | | 4~6 | | |
| | CCJ014 | | C言語プログラミング2-ポインタ実践編- | ¥97,200 | 3日 | | 東京(大森) | | | | 11~13 | | |
| | CCE005 | | <eラーニング> C言語プログラミング2-ポインタ実践編- | ¥77,220 | 24時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | CCE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(前編)-制御文と関数を学ぶ- | ¥20,520 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | CCE702 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(後編)-データ構造とポインタを学ぶ- | ¥39,960 | 16時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | ESJ001 | | リアルタイム OS を利用したソフトウェアプログラミング | ¥64,800 | 2日 | | 東京(大森) | | | | | 6~7 | |
| VB/VC# | VBJ038 | | Visual Basic プログラミング | ¥75,600 | 2日 | | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 14~15 | | | 1~2 21~22 | |
| | VBJ037 | | ASP.NET プログラミング | ¥75,600 | 2日 | | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | | 30~31 | | 10~11 |
| | VCJ010 | | Visual C# プログラミング | ¥75,600 | 2日 | | 東京(大森) | | | | | 8~9 | |
| | | | | | | | | | | | | | 4~5 |

IT基本

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込) [*] | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------|--------|------|--|----------------------|-----------|------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| IT基本 | | | | | | | | | | | | | |
| | SJJ009 | | コンピュータ基礎 | ¥129,600 | 5日 | | 東京(大森) | 9~13 | | | | | |
| | SJE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編- | ¥19,440 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE702 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編- | ¥19,440 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE703 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編- | ¥9,720 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE704 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編- | ¥9,720 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJJ030 | | アプリケーション開発者のための文字コード入門-アプリケーションの文字化けを防ぐ- | ¥32,400 | 1日 | | 東京(大森) | | | | | | 14 |
| | ESE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】組込みシステムとは | ¥20,520 | 7時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------|--------|------|---|----------|-----------|--------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| ハードウェア | | | | | | | | | | | | | |
| | SJE705 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】SAN概説 | ¥21,600 | 5時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE016 | | <eラーニング>Fibre Channel概説 -日立ストレージ・ホストの接続を理解するために- | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE017 | | <eラーニング>SATA入門 | ¥10,800 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | SJE018 | | <eラーニング>SAS(Serial Attached SCSI)入門-ストレージインタフェースを理解するために- | ¥10,800 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| 情報処理資格 | | | | | | | | | | | | | |
| 春秋期実施試験対策 | SJE275 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITパスポート試験【IP】 | ¥6,480 | 80時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE277 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 基本情報技術者試験【FE】 | ¥18,360 | 200時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE278 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 応用情報技術者試験【AP】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE276 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 | ¥10,800 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE279 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| 秋期実施試験対策 | SJE280 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE281 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE282 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |
| | SJE283 | New | <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】 | ¥18,360 | 162時間 | eラーニング | 学習開始日 | | | | | 2.23, 30 | 13 |

情報リテラシ

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------|--------|------|--------------------------------------|----------|-----------|--------|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| 情報リテラシ | | | | | | | | | | | | | |
| Office 2010 | OAE018 | | <eラーニング>2時間でわかる! Excel 2010 基礎編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAE019 | | <eラーニング>2時間でわかる! Excel 2010 応用編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAJ046 | | Excelで業務データを使いこなす -関数とピボットテーブルを利用して- | ¥37,800 | 1日 | マシン実習 | 東京研修センタへお問い合わせください | | | | | | |
| | OAE020 | | <eラーニング>2時間でわかる! Word 2010 基礎編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAE021 | | <eラーニング>2時間でわかる! Word 2010 応用編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAE022 | | <eラーニング>2時間でわかる! Access 2010 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAE023 | | <eラーニング>2時間でわかる! PowerPoint 2010 基礎編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | OAE024 | | <eラーニング>2時間でわかる! PowerPoint 2010 応用編 | ¥6,480 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

プロジェクトマネジメント

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------|--------|---------|--|----------|-----------|--------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|
| プロジェクトマネジメント | | | | | | | | | | | | | |
| | PMJ065 | Renewal | プロジェクトマネジメント基礎 | ¥64,800 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | 20~21 | | | 12~13, 13~14 |
| | PME007 | New | <eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎 | ¥13,176 | 7時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | PMJ066 | Renewal | (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 PDU | ¥75,600 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 23~24 | | 4~5, 6~7 |
| | PMJ038 | | (PDU)プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU | ¥86,400 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 30~31 | | 21~22 |
| | PMJ059 | | (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 -複数ケースを短時間で学びPM力向上- PDU | ¥48,600 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | 21 | | | | |
| | PMJ062 | | (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ- PDU | ¥48,600 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | | 5 |
| | PMJ003 | | (PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 PDU | ¥86,400 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 20~21 | | |
| | PMJ040 | | (PDU)トラブルプロジェクトのアクセス PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | 22~23 | | | 22~23 | |
| | PMJ060 | | (PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント PDU | ¥32,400 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | 15, 22 | | | |
| | PMJ042 | | (PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント -プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために- PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 26~27 | | |
| | PMJ057 | | (PDU)PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PDU | ¥43,200 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | 22 | | | |
| | PMJ023 | | (PDU)プロジェクトマネジメントのコミュニケーション PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | 4~5 | | 21~22 | |
| | PMJ024 | | (PDU)プロジェクトマネジメントのリーダーシップ PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | 19~20, 5~6 | | 20~21 | |
| | PMJ054 | | (PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング PDU | ¥81,000 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | 21~22 | | | | 23~24 |
| | PMJ025 | | (PDU)プロジェクトマネジメントのネゴシエーション PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 5~6, 23~24 | | |
| | PMJ048 | | (PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | 9~10 | | |
| | PMJ032 | | (PDU)プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | 23~24 | | | | 27~28 | |
| | PMD009 | | (PDU)プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために- PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 六本木(FXLI) | | | | 23~24 | | |
| | PMJ039 | | (PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) 大阪 | | | | | 6~7 | 2~3 |
| | PMJ006 | | ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 -日立の取り組み紹介- | ¥32,400 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | 20 | | |
| | PMJ041 | | (PDU)プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU | ¥97,200 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) | | | | | | 10~11 |
| | PMJ033 | | (PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU | ¥34,560 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | 9 | |
| | PME701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | PMJ014 | | (PDU)ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング-カスタムマネジメント実践- PDU | ¥75,600 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) | | | | | 6~7 | |
| | PME005 | | <eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU | ¥8,640 | 2時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

New: 新設コース | Renewal: 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|--------|---------|---|----------|-----------|--------|---------------------------|----|-------|--------------|-------|------------------------------|--------------------|
| | PMJ053 | 休講 | (PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント PDU | ¥75,600 | 2日 | マシン実習 | | | | | | | |
| | PMJ063 | New | (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU | ¥90,720 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | 14~15 7~8 | | 29~30 | |
| | PMJ064 | New | (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版- PDU | ¥32,400 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | 19 | | | | | |
| | PMJ056 | | PMP®対策講座(2日間) | ¥86,400 | 2日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 | | | 18~19 | | 1~2 5~6 30~31 17~18 | |
| | PMJ028 | | PMP®直前講座(模試)(1日間) | ¥48,600 | 1日 | レクチャ | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 | | | | 20 | | 3 7 25 10 |
| | SPJ044 | | アジャイル開発プロセスの基礎知識 | ¥45,360 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | 25 | | 17 | | |
| | SPJ043 | | (PDU)スクラムの基礎と実践 PDU | ¥54,000 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | 19 | | | | |
| | SPJ045 | | (PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営 PDU | ¥45,360 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | 28 | |
| | PMJ061 | | (PDU) マネージャのための1日でわかるアジャイルプロジェクトマネジメントの効用 PDU | ¥37,800 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | 24 | |
| | PMD012 | | [EXIN アジャイル スクラム ファンデーション] 資格対策 | ¥154,440 | 2日 | レクチャ | 麹町 (ITフレース) | | 28~29 | | 12~13 | | |
| | PMD013 | | (PDU)1日でわかるPRINCE2® PDU | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | 29 | | | |
| | PMD014 | Renewal | (PDU) PRINCE2® ファンデーション(認定試験付き) PDU | ¥287,280 | 3日 | グループ実習 | 麹町 (ITフレース) | | | | 17~19 | 1~3 | 25~27 |
| | PMD015 | Renewal | (PDU) PRINCE2® プラクティショナ(認定試験付き) PDU | ¥251,640 | 2日 | グループ実習 | 麹町 (ITフレース) | | | 14~15 | | 28~29 | |

コンプライアンス

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------------|--------|------|--|----------|-----------|--------|----------------|----|----|----|-------|----|-----|
| コンプライアンス | | | | | | | | | | | | | |
| | HSD011 | | (半日研修)コンプライアンス研修~組織における不祥事防止 | ¥13,000 | 0.5日 | レクチャ | 神保町 (インゾース) | 27 | | | 30 | | |
| | HSD012 | | (半日研修)コンプライアンス研修~個人情報保護、情報セキュリティ、SNSのリスクを知る編 | ¥13,000 | 0.5日 | レクチャ | 神保町 (インゾース) | | | 15 | 24 | | |
| システム運用管理 | | | | | | | | | | | | | |
| | HSJ062 | | 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために- | ¥37,800 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 4 | | 26 | 11 |
| 業務処理統制 | | | | | | | | | | | | | |
| モニタリング | HSJ018 | | システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から- | ¥75,600 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | | | 3~4 |
| | HSJ105 | | システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価 | ¥81,000 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | 18~19 | | |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「IT」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

ビジネス/ヒューマン

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------------------|--------|---------|--|----------|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------|--------------------------|--------------------------------|-------------|-----------|---------------|
| ビジネス/ヒューマン | | | | | | | | | | | | | |
| 思考法 | HSJ116 | | ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- | ¥81,000 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡 | 25~26 30~31 | 13~14, 25~26 17~18 | 25~26 19~20 23~24 2~3 | 29~30 | 12~13 | |
| | HSJ157 | | システムシンキング基礎-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する- | ¥95,040 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | 11~12 | 30~31 | | 13~14 |
| | HSE066 | | <eラーニング>思考技法の概要 | ¥9,720 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSE036 | | <eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方-マトリクス表を使って「決める」を考える- | ¥9,720 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSE037 | | <eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン-科学的な強制発想法- | ¥9,720 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSJ158 | | イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング | ¥48,600 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | 23 | | 1 | | | |
| | HSJ159 | | 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン | ¥64,800 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | 14~15 | 18~19 | | | 6~7 |
| | HSJ163 | | クリエイティブシンキング | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) | 24 | 9 | 6 | 17 | 9 | |
| | HSJ175 | New | データ活用のパターンとビジネス着想 | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ | 東京(大森) | | | 29 | 20 | | |
| | HSJ170 | Renewal | イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- | ¥95,040 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | | 23~24 | 21~22 | 18~19 |
| | HSE302 | New | <eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く【スマートデバイス対応】 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング スキル定着 | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| ライティング | HSE070 | | <eラーニング>文書作成力向上トレーニング | ¥18,360 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSJ161 | | 文書作成力向上トレーニング(演習編) | ¥32,400 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) 広島 福岡 | | 7 | | 4 | 2 | 7 4 |
| | HSE064 | | <eラーニング>ロジカルライティング(基礎知識編) | ¥18,360 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSJ160 | | ロジカルライティング(演習編) | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 広島 | | | 25 | | | 3 18 21 |
| | HSJ153 | | リーダ向け「文書添削と指導法」 | ¥43,200 | 1日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 | | 23 | 20 | 23 | 21 | |
| | HSJ154 | | ロジカルプレゼンテーション基礎 | ¥73,440 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) 大阪 | | | 25~26 | 12~13 | 6~7 | 10~11 |
| | HSE708 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】グラフィカルトレーニング-思考を図解で強化する- | ¥10,800 | 2時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSE701 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本-魅力的なビジュアル資料を作る- | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング ナビ付き | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| | HSJ155 | | プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法-相手を惹きつけるための資料作成- | ¥24,300 | 0.5日 | マシン実習 | 東京(大森) | 20 | | 21 | 17 | 22 | |
| | HSE301 | New | <eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン【スマートデバイス対応】 | ¥10,800 | 4時間 | eラーニング スキル定着 | 学習開始日 | 4.11.18, 25 | 9.16.23, 30 | 6.13.20, 27 | 4.11.18, 25 | 1.8.22.29 | 5.12.19 |
| 定量的分析 | HSJ162 | | BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方 | ¥81,000 | 2日 | グループ実習 | 東京(大森) | | | 7~8 | 2~3 | | |

New: 新設コース 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン(凡例(P.55))を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
|-------------------|--------|---------|--|--|-----------|--------|---------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------------|-----------|
| 定量的分析 | HSJ108 | | 定量分析のスキル -問題解決の精度を高める- | ¥81,000 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 24~25 | 21~22 | 14~15 4~5 | 3~4 | 8~9 | 10~11 11~12 | |
| | OAJ048 | New | Excelによるデータ可視化 -Excelでビジュアルに強くなる- | ¥36,720 | 1日 | マシン学習 | 東京(大森) | | | | | 20 | | |
| | OAJ047 | New | Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩- | ¥36,720 | 1日 | マシン学習 | 東京(大森) | | | | 12 | | | |
| | HSJ109 | | データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がりに- | ¥81,000 | 2日 | マシン学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 28~29 | 26~27 | 31~ 1, 27~28 | | 25~26 25~26 4~5 | |
| | HSE048 | | <eラーニング> データ分析手法の理論と適用 | ¥35,640 | 14時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |
| | DBJ100 | | データビジュアライゼーション基礎 | ¥52,920 | 1日 | マシン学習 | 東京(大森) | | | 8 | 18 | | | |
| | HSJ112 | | 仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く- | ¥81,000 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | 11~12 | 2~3 | 30~31 2~3 | | 13~14 |
| | DBJ107 | New | 0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして- | ¥75,600 | 2日 | マシン学習 | 東京(大森) | | | | | 21~22 | | |
| | 意思決定 | HSE072 | | <eラーニング>意思決定のスキル -合理と心理を理解したうえでの意思決定- | ¥8,640 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | | HSJ137 | | 意思決定のスキル II -ディジショナルマネジメントを実践するために- | ¥37,800 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | | | | 3 | | |
| ネゴシエーション | HSE711 | Renewal | <eラーニング>【ナビ機能付き】 協創を生みだす交渉(基礎知識編) | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |
| | HSJ145 | | 協創を生みだす交渉(基礎演習編) | ¥27,000 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 20 | 16 | 20 | 17 | | 7 | |
| | HSJ146 | | 協創を生みだす交渉(実践演習編) | ¥81,000 | 1.5日 | グループ学習 | 東京(大森) | | 8~9 | 28~29 | 30~31 | | 18~19 | |
| 2Way コミュニケーション | HSE049 | | <eラーニング>ビジネススキル基礎 | ¥18,360 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |
| | HSJ126 | | 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 | ¥32,400 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | 23 | | | | 29 | | |
| | HSJ127 | | 情報を整理して伝えるコミュニケーション技法 -ロゴス・パトス・エトスを高める- | ¥81,000 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 | | 7~8 | 27~28 | | 8~9 22~23 | | |
| | HSJ056 | | (PDU)リーダー向け チームを活性化させる コミュニケーション-対人関係における 思い込みの視点を取り除く- PDU | ¥43,200 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | | 22 | 2 | 23 | | |
| | HSJ174 | New | (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション -会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・ 理解する・考える- PDU | ¥43,200 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | | | | 10 | 22 | 3 | |
| | HSJ124 | | リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ -職場に活かせる 建設的コミュニケーションスキルの向上- | ¥37,800 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 | | | | | 11 | 23 | 18 |
| | HSJ125 | | (PDU)アサーティブ・コミュニケーション -職場に活かせる 建設的コミュニケーションスキルの向上- PDU | ¥37,800 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | | 21 | 19 | 24 | 29 | 12 | |
| リーダーシップ | HSJ052 | | メンバーシップとチームワーク -チーム力向上のために大切なこと- | ¥32,400 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 | | | | 5 | | 5 | |
| | HSJ114 | 休講 | リーダーシップの原理・原則 | ¥43,200 | 1日 | グループ学習 | | | | | | | | |
| | HSJ166 | | マインドフルリーダーシップ基礎 | ¥54,000 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | | 16 | | | | 12 | |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています。)
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------|----------------|------------------------------------|--|--|-----------|--------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| リーダーシップ | HSJ071 | 休講 | 個人と組織のマネジメント -部長・課長コース- | ¥102,600 | 1泊3日 | グループ学習 | | | | | | | |
| | HSJ123 | | 新任/若手マネージャのためのリーダーシップと マネジメント-個人と組織の効率と 成果を最大化するチーム作りのために- | ¥81,000 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) | | | 5~6 | | | |
| | HSJ079 | | コーチング基礎 | ¥32,400 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 | 20 26 | 9, 22 | 8, 29 | 11, 30 | 7, 27 | 3, 12 |
| | HSJ147 | | (PDU)目標達成のためのコーチング実践 PDU | ¥86,400 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) | | | 27~28 | 30~31 | | 6~7 |
| | HSJ148 | | (PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるための ファンリテーション・スキル向上 PDU | ¥86,400 | 2日 | グループ学習 | 東京(大森) | | | | 3~4 | 8~9 | |
| | HSJ152 | | SEのためのサービスマインド醸成 -顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る- | ¥43,200 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | 26 | 17 | 25 | 20 | 20 | |
| | 戦略・ マーケティング | HSE028 | | <eラーニング>知っておくべきビジネスモデルの 基本-顧客のビジネスをより理解するために- | ¥42,120 | 10時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 |
| HSJ156 | | | ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- | ¥37,584 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) | | 8 | 18 | 18 | 20 | 11 |
| HSJ165 | | | ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために- | ¥54,000 | 1日 | グループ学習 | | 別途ご案内いたします | | | | | |
| 業務知識 | HSE709 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウントティング(基礎知識編) | ¥19,440 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSJ122 | | WHYで学ぶアカウントティング(実践演習編) | ¥32,400 | 1日 | グループ学習 | 東京(大森) 大阪 名古屋 | 23 | 18 | 6, 27 | 4 | 1, 27 | 19 |
| | HSE710 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門 | ¥21,600 | 8時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE705 | | <eラーニング>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU | ¥11,880 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE052 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ ミクロ経済 1-経済学の思考、費用分析、 市場経済、ゲーム理論- PDU | ¥21,600 | 5時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE053 | | <eラーニング>(PDU)よくわかる ビジネス・ミクロ経済 2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU | ¥17,496 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE054 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済 1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU | ¥17,496 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE055 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済 2 -GDP、為替、財政- PDU | ¥25,704 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE056 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済 3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、 シュンペーター- PDU | ¥17,496 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE057 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済 4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU | ¥21,600 | 5時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| ビジネスセンス アップ | HSE058 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス 1 -投資の判断、リスクとリターン- PDU | ¥25,704 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE059 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス 2 -企業価値評価- PDU | ¥17,496 | 4時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE060 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス 3 -資金調達の方法- PDU | ¥25,704 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| | HSE061 | | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス 4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- PDU | ¥25,704 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 |
| HSE031 | | <eラーニング> (PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU | ¥42,120 | 10時間 | eラーニング | 学習開始日 | 4, 11, 18, 25 | 9, 16, 23, 30 | 6, 13, 20, 27 | 4, 11, 18, 25 | 1, 8, 22, 29 | 5, 12, 19 | |

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------|--------|------|--|----------|-----------|------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| ビジネスセンスアップ | HSE033 | | <eラーニング>(PDU)「真観政要」に学ぶリーダーの心得 PDU | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE034 | | <eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE032 | | <eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 PDU | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE030 | | <eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学 | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE029 | | <eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE073 | | <eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU | ¥42,120 | 10時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| 英語 | HSE006 | | <eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 470 | ¥12,960 | - | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE007 | | <eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 650 | ¥12,960 | - | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE008 | | <eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 730 | ¥12,960 | - | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

グローバル

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|--------|------|---|----------|-----------|------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| グローバル | | | | | | | | | | | | | |
| | GBE010 | | <eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU | ¥21,600 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE006 | | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編 | ¥5,400 | 3時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE007 | | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編 | ¥5,400 | 2時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE008 | | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編 | ¥5,400 | 3時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE009 | | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編 | ¥5,400 | 3時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBD001 | | 情理と論理のグローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考- | ¥54,000 | 1日 | | 東京(大森) | 17 | | | | | |
| | GBE013 | | <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 1 -社会や産業の特徴- PDU | ¥21,600 | 5時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE014 | | <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 2 -国有企業、民間企業、外資系企業- PDU | ¥21,600 | 5時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE011 | | <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 1 -歴史と文化- PDU | ¥25,704 | 6時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | GBE012 | | <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 2 -人材、交渉- PDU | ¥21,600 | 5時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています。)
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービス費が必要となります(一部コースは対象外)。ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

学び直しシリーズ eラーニング

| 分野 | コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------|--------|------|--|----------|-----------|------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----------|
| ビッグデータ | | | | | | | | | | | | | |
| | DBE027 | | <eラーニング>【学び直し】R入門-Rによるデータ分析- | ¥19,440 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| クラウド/サーバ仮想化 | | | | | | | | | | | | | |
| | VME001 | | <eラーニング>【学び直し】VMware vSphere システム構築技術 [v5.5]-基礎編- | ¥24,300 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | VME002 | | <eラーニング>【学び直し】VMware vSphere システム構築技術 [v5.5]-高信頼編- | ¥24,300 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| ビジネス/ヒューマン | | | | | | | | | | | | | |
| 思考法 | HSE035 | | <eラーニング>【学び直し】ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント- | ¥18,360 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| プレゼンテーション | HSE039 | | <eラーニング>【学び直し】ロジカルプレゼンテーション基礎 | ¥18,360 | 8時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| 2Way コミュニケーション | HSE041 | | <eラーニング>【学び直し】報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 | ¥9,720 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE042 | | <eラーニング>【学び直し】リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ | ¥10,800 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE043 | | <eラーニング>【学び直し】アサーティブ・コミュニケーション | ¥10,800 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| リーダーシップ | HSE045 | | <eラーニング>【学び直し】メンバーシップとチームワーク | ¥8,640 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE046 | | <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則 | ¥10,800 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |
| | HSE047 | | <eラーニング>【学び直し】コーチング基礎 | ¥10,800 | 4時間 | | 学習開始日 | 4.11, 18.25 | 9.16, 23.30 | 6.13, 20.27 | 4.11, 18.25 | 1.8.22, 29 | 5.12, 19 |

New: 新設コース **Revised**: 改訂コース **休講**: 今期の定期開催はありません
Smart Device対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU**: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

↓ eラーニングコースのご紹介

ナビ機能付きeラーニングコース

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャンク)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャンクは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモ書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

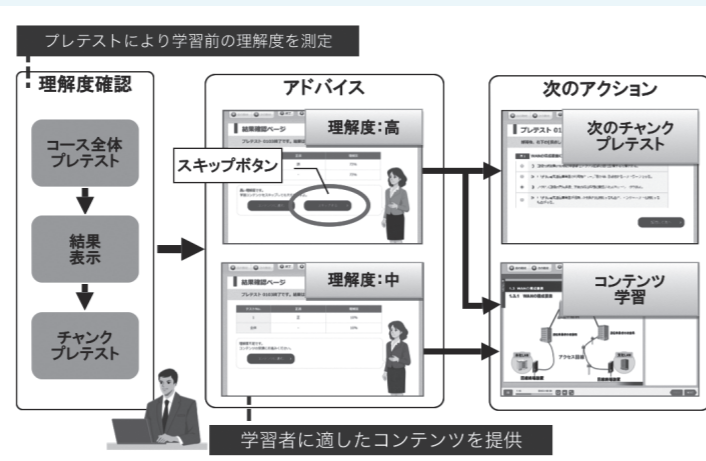
○ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャンク*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

*チャンク:5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を、判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ることで、学習への動機が明確になります。



学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/naviel/index.html>

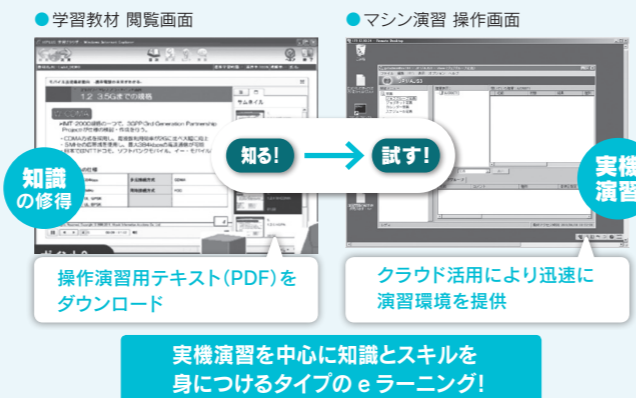
マシン演習付きeラーニングコース

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○マシン演習付きeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着できます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。



学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/enshuel/index.html>

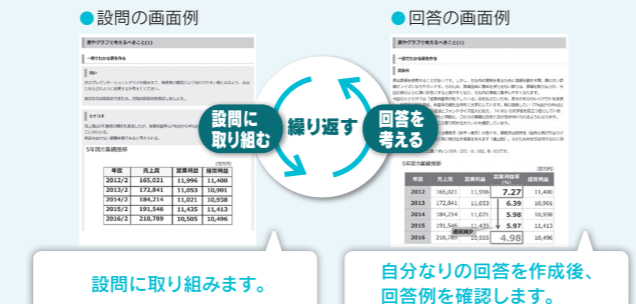
スキル定着を支援するeラーニングコース

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

○スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識をスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。



学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/skillel/index.html>

従来型eラーニングコース

従来から提供しているeラーニングです。説明画面、音声テキスト、ナレーション音声で構成されています(ナレーション音声がないコースもあります)。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/usualel/index.html>

動画型eラーニングコース

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にてお届けするeラーニングです。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/movingel/index.html>

学び直しシリーズ eラーニングコース

すでに業務で実践経験があり、知識・スキルを体系的に学ぶことにより、さらに意識を高めたり、業務の効果・効率を向上したい方のためのeラーニングです。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/relel/index.html>

Oracle トレーニング・オンデマンド

Oracle トレーニング・オンデマンドは、日本オラクル社より提供いたします。
お申込責任者およびご受講者は、日本オラクル社の以下サイトと、下記の学習利用環境をご確認いただいたうえでお申し込みください。

- Oracle University お申し込み規約 (ORACLE UNIVERSITY LEGAL TERMS & POLICIES) の「Oracle トレーニング・オンデマンド」
<http://www.oracle.com/jp/education/terms-policies/110112-1868787-ja.html>
- Oracle University Knowledge Center - ホスティング・アクセス・ポリシー
<http://www.oracle.com/jp/education/oukc/hosting-policies-172662-ja.html>

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/orael/index.html>

アイテック社 情報処理技術者試験対策eラーニングコース

情報処理技術者試験対策eラーニングは、アイテック社より提供いたします。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/itecel/index.html>

↓ ヘルプデスクサービスのご紹介

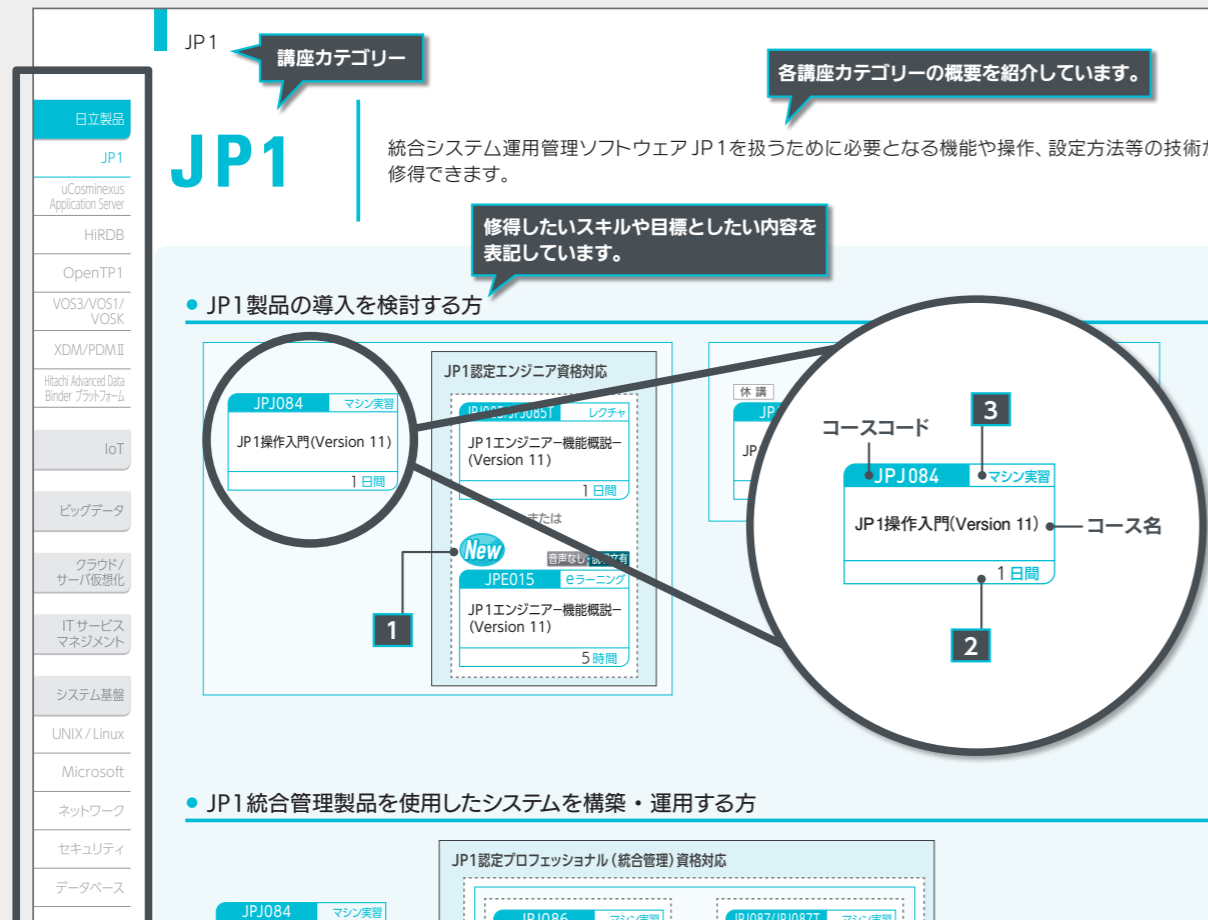
- ヘルプデスクサービスはeラーニングの学習期間中、当該コースのご受講者に対し、学習内容についてのご質問にチュータがお答えする付加サービスです。
(eラーニングの操作方法に関するお問い合わせは基本サービスとなっております、随時お受けしています)
*なお、本サービスを提供していないコースもありますので、ご注意ください。
- ご質問/回答はeラーニングシステムの質問機能、またはeメールで行います。
- ご質問に対するチュータからの回答は、原則1営業日以内とさせていただきますが、ご質問内容によっては数日かかる場合がありますことをご了承ください。
- お客様の作成されたプログラムの動作確認、業務に特化した内容など、学習範囲外のご質問は本サービスの対象外です。

↓ 受講レベル確認サービスのご紹介

いつでもどなたでもご利用できるサービスです。特に日立講習会を利用される方が事前にコースの前提知識を確認することにより、効果的にご受講することができます。また、実力の把握などに活用することもできます。詳細は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページからご利用ください。

お客様の人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。30の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の **POINT!**



講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品
 - ・JP1
 - ・uCosminexus Application Server
 - ・HiRDB
 - ・OpenTP1
 - ・VOS3/VOS1/VOSK
 - ・XDM/PDM II
 - ・Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IT/ビジネス研修

- IoT
- ビッグデータ
- クラウド / サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
 - ・UNIX/Linux
 - ・Microsoft
 - ・ネットワーク
 - ・セキュリティ
 - ・データベース
- IT 戦略・IS 企画 / システム設計
 - ・IT 戦略・IS 企画
 - ・システム設計
- アプリケーション開発
 - ・Web アプリケーション
 - ・スマートデバイス
 - ・オブジェクト指向 / UML
 - ・言語
- IT 基本
 - ・IT 基本
 - ・ハードウェア
 - ・情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

コースカリキュラム参照の **POINT!**

| コースコード | コース名 | 分野名 |
|--|----------------------------|---|
| JPJ085/JPJ085T JP1 | JP1エンジニア機能概説- (Version 11) | <eラーニング> [マシン演習付き] JP1プロフェッショナル 統合管理 1 - システム監視- (Version 11) |
| 1日 | 1日 | 平均16時間 |
| 3 | 2 | 1 |
| <p>すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1製品の特徴が説明できる。 ・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 ・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。 <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。 <p>前提知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。 <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 2. オートメーション 3. モニタリング 4. コンプライアンス <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード: JPJ085 (研修のみ) ・コースコード: JPJ085T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 | | |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セントラルコンソールとセントラルコープの概要を説明できる。 ・セントラルコンソール、セントラルコープを使って事後監視ができる。 ・イベント監視ページのカスタマイズができる。 ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 ・自動アクションの設定ができる。 ・重要イベントページのカスタマイズができる。 ・必要なイベントを検索できる。 ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 ・コマンド実行の操作ができる。 <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/IMを使用してシステムを監視する方。 ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 <p>前提知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JP1エンジニア機能概説 (Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統合管理の全体像 2. システム監視 <ol style="list-style-type: none"> (1) システム監視の基本操作 (2) 繰り返しイベントの表示抑制 (3) フィルターによるJP1イベントの絞り込み 3. システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自動アクション (2) ローカルアクション (3) 重要イベントページ (4) ビジュアル監視 (5) 監視ツリー 4. システム障害の調査・対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) ガイド情報の表示 (2) メモ情報の設定 (3) コマンド実行 5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義音源と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 | | |

アイコン凡例

1 開催区分

- New** 新設コース
- Renewal** 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、ホームページをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

【集合研修】

- マシン演習 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習 グループ演習を中心とした研修
- 座学による研修 座学による研修

【演習環境】

- 演習環境 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

【研修室自習型】

- 研修室自習 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

【自習テキスト】

- 自習テキスト 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

【eラーニング】

| 種別 | サービス有効期間 |
|--------------------------|--|
| 従来型eラーニング | 90日間 |
| マシン演習付きeラーニング | 21日間 |
| 動画型eラーニング | 90日間 |
| ナビ機能付きeラーニング | 90日間 |
| スキル定着eラーニング | 90日間 |
| Oracle トレーニング・オンデマンド | コースにより90日・180日・365日間となります。詳細は、各コースカリキュラムの備考欄をご覧ください。 |
| アイテック社 情報処理技術者試験対策eラーニング | 開始日によって異なります。詳細は、各コースカリキュラムの備考欄をご覧ください。 |

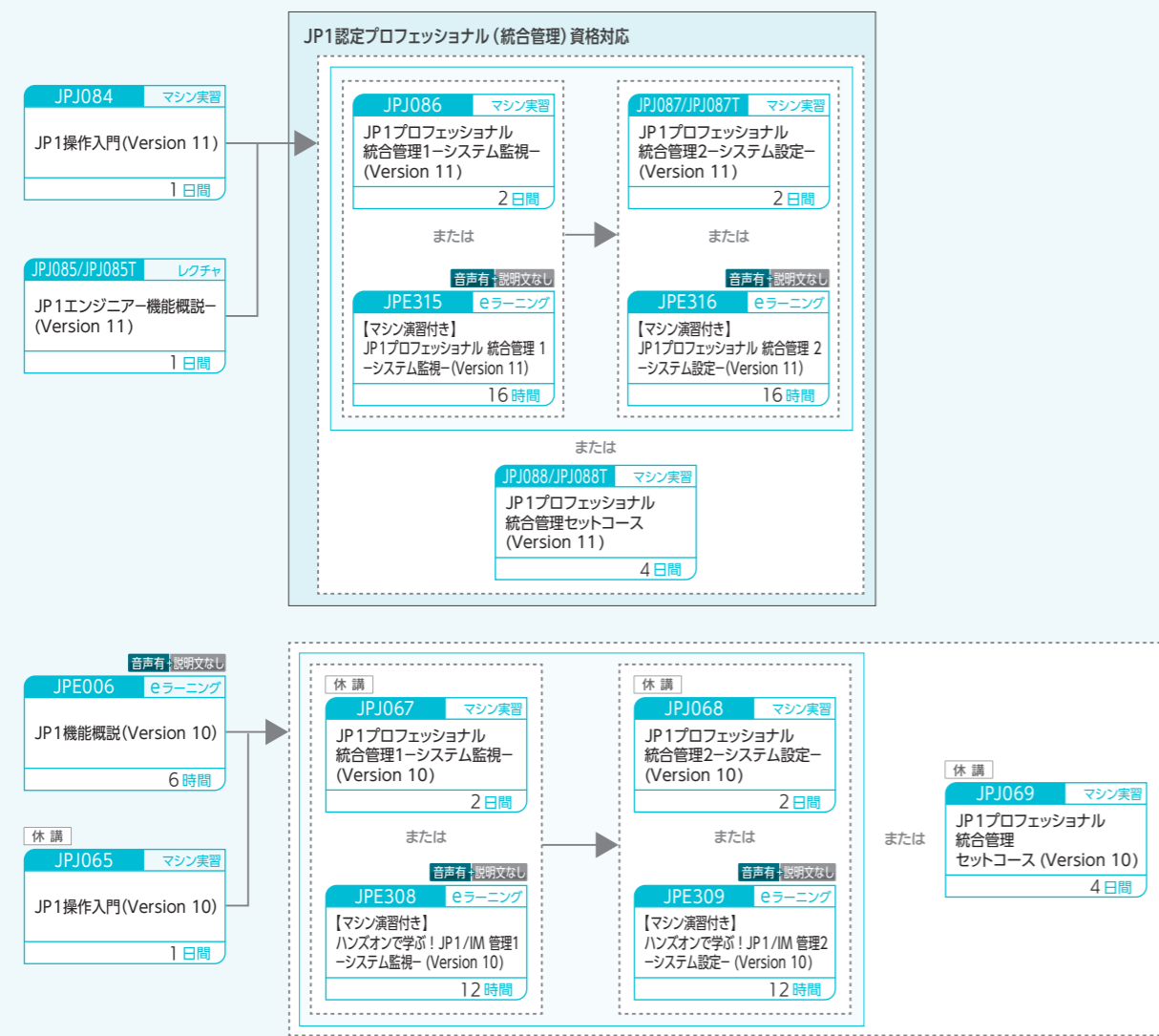
JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。
 JP1 Version 11 対応の研修は、JP1 Version 10 までの製品をご利用の方もご受講できます。

● JP1 製品の導入を検討する方



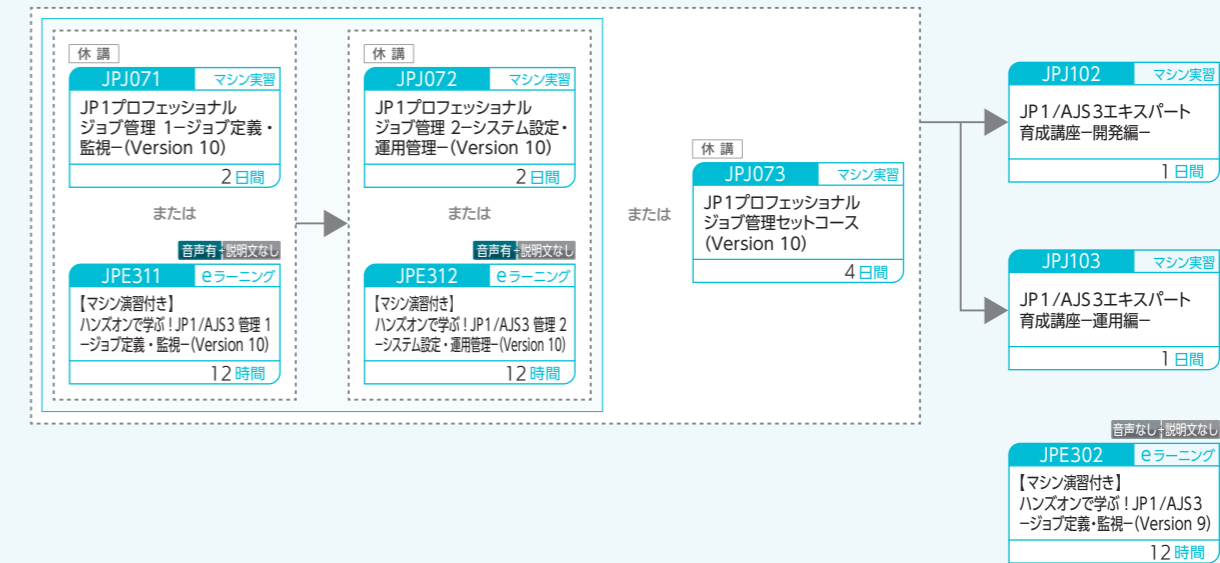
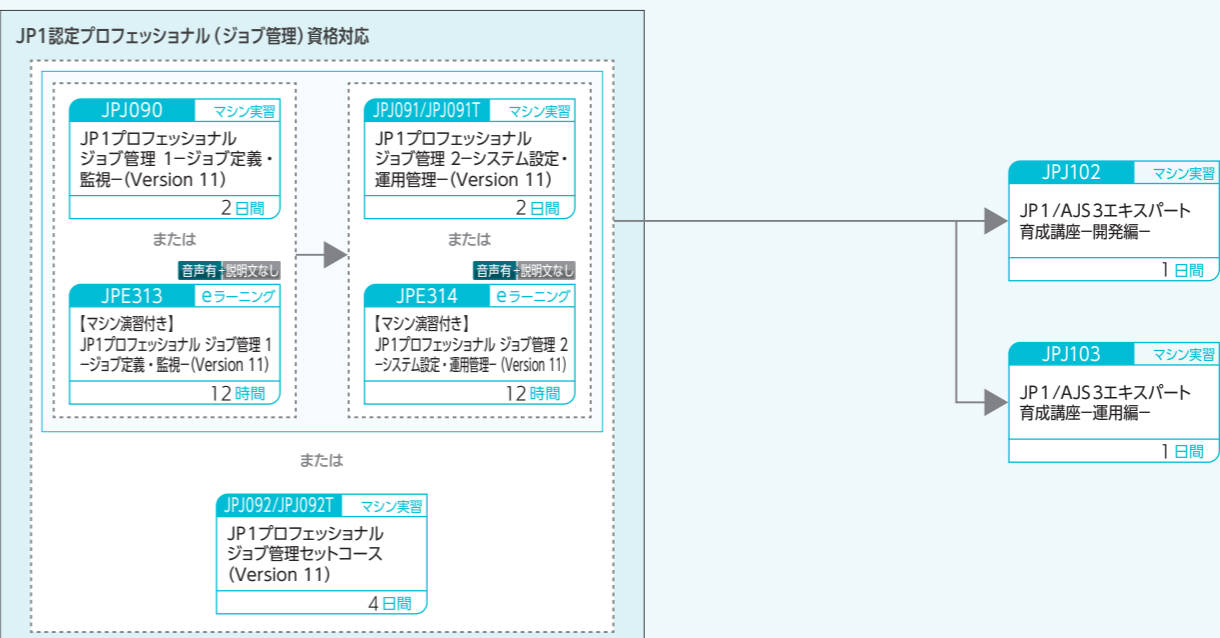
● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPJ093 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 IT運用自動化
 (Version 11)
 2日間

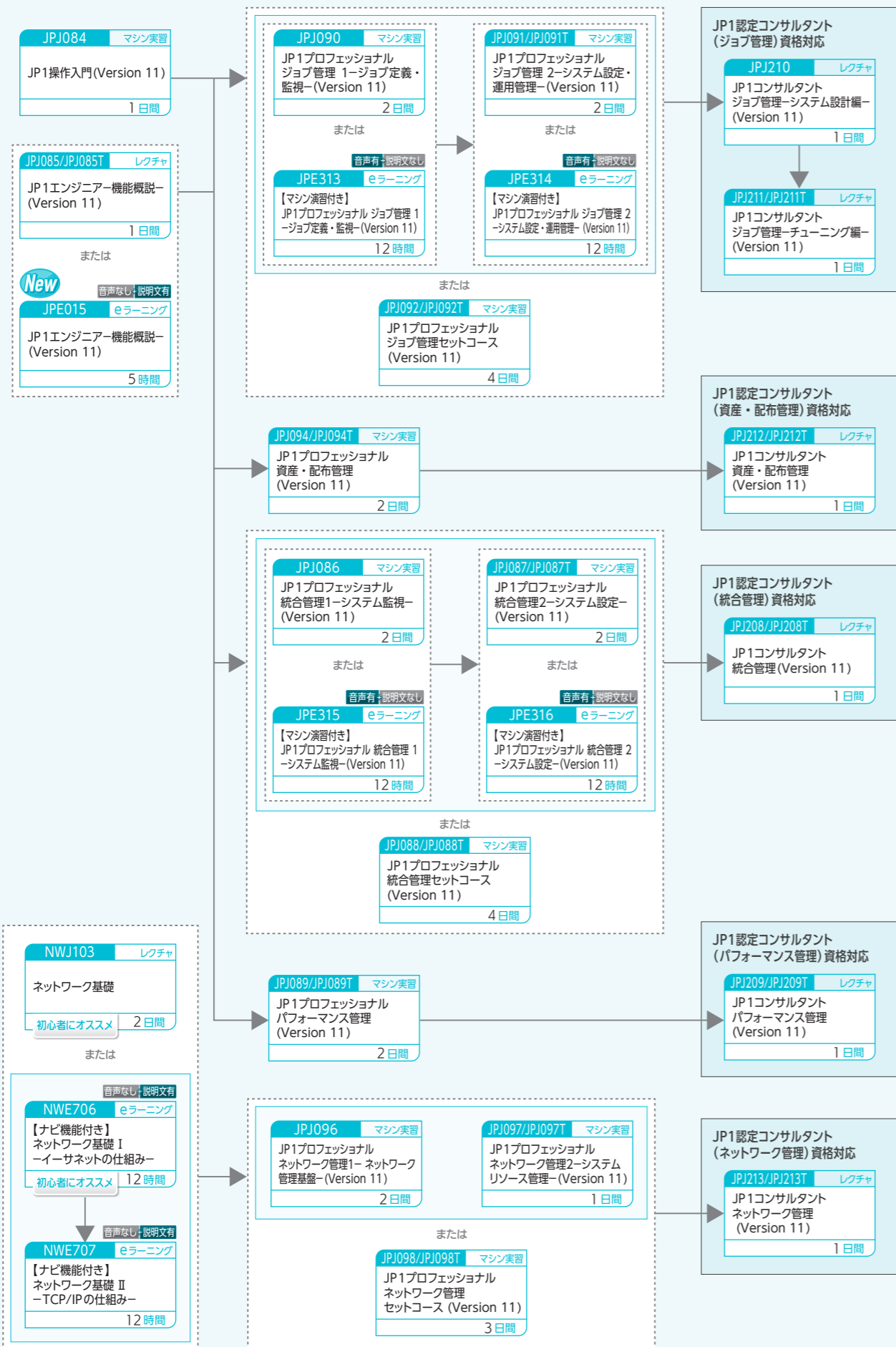
● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声なし・説明文なし : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。) また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

| 試験名 | 試験内容 | 認定基準 | 試験時間 |
|------------------------------|---------|---------|------|
| JP1認定エンジニア | 試験問題20問 | 70%以上正解 | 40分 |
| JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定) | 試験問題30問 | 70%以上正解 | 60分 |
| JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定) | 試験問題30問 | 70%以上正解 | 60分 |
| JP1認定セールスコーディネーター* | 試験問題20問 | 70%以上正解 | 30分 |

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 日立 当社で研修とともに受験できる試験

*日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。運営は、(株)日立インフォメーションアカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www.8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

自習テキスト 自習書による自己学習
 休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

JP1技術者資格認定制度（Version 11対応）

※Version 10については日立オープンモデルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

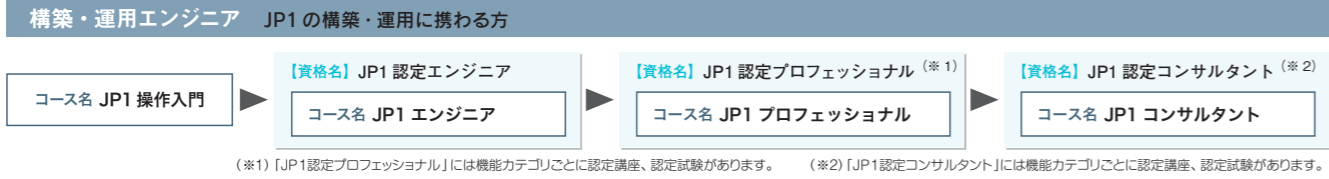
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

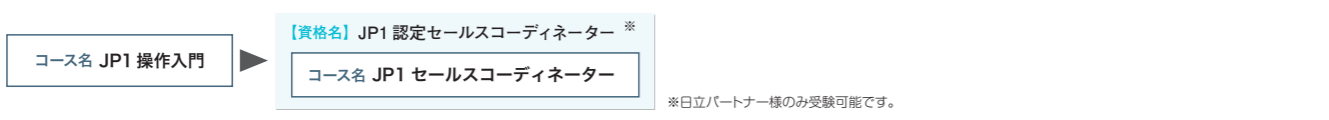
| 資格名 | 認定スキル |
|--|--|
| JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer> | JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。 |
| JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> ・統合管理 ・セキュリティ管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理 ・バックアップ管理 ・資産・配布管理 </div> | JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。 |
| JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理 </div> | JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。 |
| JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator>* | お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。 |

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方



JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

| 試験名 | 試験の出題範囲 |
|--------------------------|---|
| JP1認定エンジニア | 「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル 統合管理 | 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理 | 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理 | 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1－ジョブ定義・監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2－システム設定・運用管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理 | 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理 | 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1－ネットワーク管理基盤－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2－システムリソース管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理 | 「JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理 | 「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント 統合管理 | 「JP1コンサルタント 統合管理(Version 11)」、「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理 | 「JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント ジョブ管理 | 「JP1コンサルタント ジョブ管理－システム設計編－(Version 11)」、「JP1コンサルタント ジョブ管理－チューニング編－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1－ジョブ定義・監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2－システム設定・運用管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント 資産・配布管理 | 「JP1コンサルタント 資産・配布管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント ネットワーク管理 | 「JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 11)」、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1－ネットワーク管理基盤－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2－システムリソース管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題 |
| JP1認定セールスコーディネーター* | 「JP1セールスコーディネーター (Version 11)」のテキスト内容から出題 ※日立パートナー様のみ受験可能です。 |

| | | | | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| マシン実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習 |
|------------------------|--------------------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------|

| JPJ085/JPJ085T JP1 |
|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> JP1エンジニア機能概説－(Version 11) 1日間 </div> </div> |
| すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1製品の特徴が説明できる。 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。 <p>対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1の基礎知識 オートメーション モニタリング コンプライアンス <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ085(研修のみ) コースコード：JPJ085T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 |

| JPE015 JP1 |
|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> <eラーニング>JP1エンジニア機能概説－(Version 11) New 平均5時間 </div> </div> |
| すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1製品の特長が説明できる。 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。 <p>対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、またはJP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1の基礎知識 オートメーション モニタリング コンプライアンス 修了試験(JP1認定資格試験ではありません) <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| JPJ084 JP1 |
|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> JP1操作入門 (Version 11) 1日間 </div> </div> |
| JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1の主要5製品の特徴を説明できる。 JP1/Automatic Job Management System3(ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。 JP1/IT Desktop Management2(資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。 JP1/Network Node Manager(ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。 JP1/Performance Management(パフォーマンス管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。 JP1/Integrated Management(統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。 <p>対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があり、かつWindowsの操作経験があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> システム運用管理とJP1 ジョブ管理の操作入門 資産・配布管理の操作入門 統合管理の操作入門 パフォーマンス管理の操作入門 ネットワーク管理の操作入門 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| JPJ086 JP1 |
|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11) 2日間 </div> </div> |
| JP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 イベント監視ページのカスタマイズができる。 セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 自動アクションの設定ができる。 重要イベントページのカスタマイズができる。 必要なイベントを検索できる。 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 コマンド実行の操作ができる。 <p>対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」コース、または「JP1操作入門(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の全体像 システム監視 <ol style="list-style-type: none"> システム監視の基本操作 繰り返しイベントの表示抑止 フィルターによるJP1イベントの絞り込み システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> 自動アクション ローカルアクション 重要イベントページ ビジュアル監視 監視ツリー システム障害の調査・対応 <ol style="list-style-type: none"> ガイド情報の表示 メモ情報の設定 コマンド実行 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースには、資格認定試験はありません。 学習教材は、セキュリティ認定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1－システム監視－(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講の方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| JPE315 JP1 |
|--|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11) 平均16時間 </div> </div> |
| 自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通してJP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 IMデータベースを構築できる。 認証カー/を構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャー・エージェント構成を構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 イベントメッセージの変換ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 <p>対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の概要 統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none"> インストール IMデータベースの構築 サービスの起動・終了 JP1イベントの集中管理設定 構成管理設定 <ol style="list-style-type: none"> JP1イベントの転送設定 リモート監視構成管理の設定 JP1イベントに固有の拡張属性を付加する設定 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none"> ユーザー認証の設定 認証サーバの構築 ユーザーマッピングの設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションが出力するログの監視 Windowsイベントログの監視 リモート監視ホストのログ監視 メッセージ変換 イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none"> セントラルスコープのセットアップ 監視ツリー画面の設定 ビジュアル監視画面の設定 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ087(試験付) コースコード：JPJ087T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| JPJ087/JPJ087T JP1 |
|--|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－(Version 11) 2日間 </div> </div> |
| JP1/Integrated Management(JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。 |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 IMデータベースを構築できる。 認証カー/を構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャー・エージェント構成を構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 イベントメッセージの変換ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 <p>対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の概要 統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none"> インストール IMデータベースの構築 サービスの起動・終了 JP1イベントの集中管理設定 構成管理設定 <ol style="list-style-type: none"> JP1イベントの転送設定 リモート監視構成管理の設定 JP1イベントに固有の拡張属性を付加する設定 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none"> ユーザー認証の設定 認証サーバの構築 ユーザーマッピングの設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションが出力するログの監視 Windowsイベントログの監視 リモート監視ホストのログ監視 メッセージ変換 イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none"> セントラルスコープのセットアップ 監視ツリー画面の設定 ビジュアル監視画面の設定 <p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ087(試験付) コースコード：JPJ087T(試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--|
| JPE316 JP1 |
| <eラーニング>[マシン演習付き] JP1プロフェッショナル 統合管理2 ーシステム設定ー (Version 11) |
| <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習をおとしてJP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャ・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツールの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 |
| 対象者 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/IMのシステム構築をする方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の概要 統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none"> インストール IMデータベースの構築 サービスの起動・終了 JP1イベントの集中管理設定 <ol style="list-style-type: none"> 構成管理設定 JP1イベントの転送設定 リモート監視構成管理の設定 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none"> ユーザー認証の設定 認証サーバの閉塞 ユーザーマッピングの設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションが出力するログの監視 Windowsイベントログの監視 リモート監視ホストのログ監視 イベントシステム発生時のイベント転送停止設定 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none"> セントラルスコアのセットアップ 監視ツリー画面の設定 ビジュアル監視画面の設定 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 |
| <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必要となります。 このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースには、資格認定試験はありません。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー (Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|--|
| JPJ088/JPJ088T JP1 |
| JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 11) |
| <p>JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、セットコースのご案内となります。 各コースの詳細情報をご参照ください。 |
| <JPJ086> JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー (Version 11) |
| <JPJ087/JPJ087T> JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー (Version 11) |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ088 (研修のみ) コースコード：JPJ088T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ090 JP1 |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー (Version 11) |
| <p>JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JP1/AJS3の概要 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> ジョブ定義 即時実行登録 ジョブ実行状況の監視 スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> カレンダー情報の設定 スケジュール設定 計画/確定実行登録 実行スケジュールの確認 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> ファイル更新契機のジョブの実行 起動条件の設定 業務の実行監視 |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|--|
| JPE313 JP1 |
| <eラーニング>[マシン演習付き] JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー (Version 11) |
| <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習をおとしてJP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> ジョブ定義 ジョブ実行状況の監視 スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> カレンダー情報の設定 スケジュール設定 計画/確定実行登録 実行スケジュールの確認 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> ファイル更新契機のジョブの実行 起動条件の設定 業務の実行監視 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 |
| <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースには、資格認定試験はありません。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1ージョブ定義・監視ー (Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必要となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ091/JPJ091T JP1 |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー (Version 11) |
| <p>JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/AJS3製品のインストールができる。 エージェントの追加・変更ができる。 JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。 ジョブネットの定義の遡還・回復、運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> エージェント管理機能の設定 ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none"> JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング JP1/AJS3システムの運用 <ol style="list-style-type: none"> 複数スケジューラサービスでの運用 スケジューラサービス参照制限 実行エージェント制限 スケジューラサービスの同時接続制限 IPアドレスによる接続元ホスト制限 ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> ジョブネットの遡還・回復 ジョブネット定義の変更 業務の運用状況の確認 |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ091 (研修のみ) コースコード：JPJ091T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPE314 JP1 |
| <eラーニング>[マシン演習付き] JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー (Version 11) |
| <p>JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/AJS3のインストールができる。 ジョブ実行環境のセットアップができる。 JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。 JP1/AJS3スケジューラサービス別の分割および参照制限ができる。 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制御ができる。 JP1ユーザーの同時接続監視ができる。 ジョブネットの定義の遡還・回復、運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> エージェント管理機能の設定 ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none"> JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング JP1/AJS3システムの運用 <ol style="list-style-type: none"> 複数スケジューラサービスでの運用 スケジューラサービス参照制限 実行エージェント制限 スケジューラサービスの同時接続制限 IPアドレスによる接続元ホスト制限 ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> ジョブネットの遡還・回復 業務の運用状況の確認 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 |
| <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースには、資格認定試験はありません。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2ーシステム設定・運用管理ー (Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ 座学による研修 |

| |
|--|
| 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |

| |
|-----------------------------------|
| eラーニング インターネット接続による自己学習 |
| eラーニング |
| マシン演習 |
| 演習 |
| 文字起こし |
| 音声転写 |
| Oracle |
| マイクロソフト |

| |
|-----------------------------|
| 自習テキスト 自習書による自己学習 |
| 休講 今期の定期開催はありません |

| |
|---|
| JPJ092/JPJ092T JP1 |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース (Version 11) |
| <p>JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、セットコースのご案内となります。 各コースの詳細情報をご参照ください。 |
| <JPJ090> JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー (Version 11) |
| <JPJ091/JPJ091T> JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー (Version 11) |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|--|
| JPJ102 JP1 |
| JP1/AJS3 エキスパート育成講座 ー開発編ー |
| <p>ジョブ管理 (JP1/AJS)を使用した業務開発で困っていることを、業務開発のノウハウとお勧め機能を使って解決する方法を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> ジョブ管理の業務設計・開発/ノウハウを活用できる。 効率的なテスト設計により、短期間でのテストができる。 問題点や注意点を活かした移行ができる。 メンテナンスしやすい業務設計・開発ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3 (JP1/AJS2)を使用した業務開発 (ジョブ定義)の課題に対して解決策を検討される方。 |
| 前提知識 |
| 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2ーシステム設定・運用管理」コースを修了しているか、または、同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> 業務設計のコツ 業務開発のコツ テスト効率化のコツ 業務移行のコツ |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、JP1 Version 11 対応です。 JP1 Version 11以前のバージョンをご利用の方でもご受講できます。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|--|
| JPJ103 JP1 |
| JP1/AJS3 エキスパート育成講座 ー運用編ー |
| <p>ジョブ管理 (JP1/AJS)を使用したシステム運用で困っていることを、運用のノウハウとお勧め機能を使って解決する方法を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> ジョブ管理の本番適用/リリース時のノウハウを活用できる。 業務運用および監視の便利な機能を活用できる。 コンプライアンスを守るためのオペレータ負荷の軽減や操作ミスの防止ができる。 カレンダー、スケジュールの設定、変更時の注意点を活用できる。 |
| 対象者 |
| JP1/AJS3 (JP1/AJS2)を使用したシステム運用 (ジョブ運用)の課題に対して解決策を検討される方。 |
| 前提知識 |
| 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2ーシステム設定・運用管理」コースを修了しているか、または、同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> 本番適用/リリースのコツ 業務監視、操作のコツ カレンダー/スケジュール運用のコツ セキュアな運用設計のコツ |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、JP1 Version 11 対応です。 JP1 Version 11以前のバージョンをご利用の方でもご受講できます。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| JPJ093 JP1 |
| JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 11) |
| <p>JP1/AOを使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/AOの概要が説明できる。 JP1/AOのインストールができる。 サービスの登録、設定、実行の操作ができる。 サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。 JP1/Navigation Platformと連携した運用ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方、Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 前提知識 |
| JP1/AOの概要 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> インストールとセットアップ JP1/AOによるオペレーションの自動化 サービステンプレートの作成 人を介す自動化 |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| JPJ096 JP1 |
| JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 ーネットワーク管理基盤ー (Version 11) |
| <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager (JP1/NNMi)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/NNMiのインストール後のセットアップができる。 監視環境の構築 (検出、ポーリング設定)ができる。 インシデントの管理ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II-TP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理の概要 <ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理 ネットワーク管理オプション製品 JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> システム構成 ユーザーアカウントの作成 通信の基本設定 監視対象の登録 <ol style="list-style-type: none"> ノードの登録 管理モード ノードグループの作成 障害監視・性能監視 <ol style="list-style-type: none"> 障害監視の動作 監視設定 性能情報の利用 インシデント管理 <ol style="list-style-type: none"> インシデントの監視 インシデントへの対応 インシデント管理の設定 |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ097 (研修のみ) コースコード：JPJ097T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ097/JPJ097T JP1 |
| JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 ーシステムリソース管理ー (Version 11) |
| <p>JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JP1/SSOシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/SSOのインストールができる。 システムリソースの参照、収集設定ができる。 プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。 JP1/NNMiとの連携設定ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1ーネットワーク管理基盤ー (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JP1によるリソース管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> システム構成 監視サーバのセットアップ リモート操作端末のセットアップ SSOコンソールの設定 システムリソース管理 <ol style="list-style-type: none"> システムリソースの収集 収集したシステムリソースの参照 レポート機能 プロセスおよびサービス監視 <ol style="list-style-type: none"> プロセスおよびサービス監視設定 プロセスおよびサービス状態の参照 JP1/NNMiとの連携設定 <ol style="list-style-type: none"> リソース収集でJP1/SSOが発行するイベント プロセスおよびサービス監視でJP1/SSOが発行するイベント マップ連携、アクション連携 |
| 備考 |
| <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ097 (研修のみ) コースコード：JPJ097T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| iCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシー |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--|
| JPJ098/JPJ098T JP1 |
| JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11) |
| 3日間 |
| ネットワーク接続機器の監視を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。または、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。 |
| ●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。 |
| <JPJ096> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 –ネットワーク管理基盤– (Version 11) |
| <JPJ097/JPJ097T> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 –システムリソース管理– (Version 11) |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ098 (研修のみ) ・コースコード：JPJ098T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ094/JPJ094T JP1 |
| JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11) |
| 2日間 |
| JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2)を使用した資産管理、配布管理、セキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通じて学習します。 |
| 到達目標 |
| ・コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。 ・ハードウェア資産やソフトウェアライセンスを過剰な状態を把握できる。 ・セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。 ・パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。 |
| 対象者 |
| JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2)を使用してコンピュータの資産管理、配布管理、セキュリティ管理を実施する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 |
| 1. 資産・配布管理の概要 (1) JP1 の概要 (2) JP1 による資産・配布管理の概要 (3) JP1/IT Desktop Management 2 で管理できる情報 2. JP1/ITDM2 の基本操作 (1) ログイン操作 (2) 操作画面の利用 3. 機器管理 (1) 機器管理の概要 (2) 管理対象機器の設定 (3) 最新機器情報の取得 (4) 機器情報の手動登録 4. 資産管理 (1) 資産管理の概要 (2) ハードウェア資産の管理 (3) ソフトウェアライセンスの管理 (4) 契約情報の管理 5. 配布管理 (1) 配布管理の概要 (2) リモートインストール (3) いろいろなソフトウェア配布 (4) インストーラを使用したソフトウェア配布 6. セキュリティ管理 (1) セキュリティ管理の概要 (2) セキュリティポリシーの作成 (3) セキュリティ状況の確認 7. リモートコントロール機能 (1) リモートコントロール機能の概要 (2) コンピュータのリモートコントロールをするための準備 (3) リモートコントロールの基本操作 8. スマートデバイス管理 (1) スマートデバイス管理の概要 (2) スマートデバイス管理機能 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ094 (研修のみ) ・コースコード：JPJ094T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ101/JPJ101T JP1 |
| JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11) |
| 1日間 |
| JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・JP1/秘文のシステムのシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 ・秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。 ・秘文DEIによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 ・秘文 Server の設定と操作ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 |
| 1. JP1/秘文の概要 2. 秘文 DC、秘文 Server の主要機能 3. 秘文 DE の主要機能 4. 秘文 DE(FS)、秘文 Server(ファイルサーバ)の主要機能 5. 秘文 Server(秘文LM) 6. 秘文 DP の主要機能 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、「JP1 Version 11対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ101 (研修のみ) ・コースコード：JPJ101T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPJ089/JPJ089T JP1 |
| JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) |
| 2日間 |
| ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/PFMシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。 |
| 内容 |
| 1. パフォーマンス管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 (1) 監視コンソールサーバのログイン (2) サーバの稼働監視 (3) アラームによる稼働監視 (4) レポートによるパフォーマンスデータの参照 3. JP1/PFMのシステム構築 (1) JP1/PFMシステム構築 (2) JP1/PFMのインストールとセットアップ (3) JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成) (4) JP1/PFMの起動と停止 (5) ユーザーアカウントの管理 4. 監視エージェントの設定 (1) エージェント階層の設定 (2) パフォーマンスデータの収集設定 5. レポート定義 (1) レポートの定義の概要 (2) クイックガイドを使用したレポート作成 (3) レポート定義のカスタマイズ (4) 新規レポートの定義 6. アラーム定義 (1) アラームの概要 (2) クイックガイドでのアラームの作成 (3) アラーム階層でのアラーム作成 (4) プロセス・サービスの稼働状況監視 (5) 複数アラームテーブルの監視 (6) 稼働状況のサマリ表示 7. 統合コンソールとの連携 (1) 統合コンソールとの連携の概要 (2) サーバ稼働管理と統合コンソールの連携 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ089 (研修のみ) ・コースコード：JPJ089T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|--|
| JPE321 JP1 |
| <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) |
| 平均12時間 |
| ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。 |
| 内容 |
| 1. パフォーマンス管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 3. JP1/PFMのシステム構築 4. 監視エージェントの設定 5. レポート定義 6. アラーム定義 7. 統合コンソールとの連携 |
| 備考 |
| 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|--|
| JPE308 JP1 |
| <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 –システム監視– (Version 10) |
| 平均12時間 |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 ・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 ・イベント監視ページのカスタマイズができる。 ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 ・自動アクションの設定ができる。 ・重要イベントページのカスタマイズができる。 ・必要なイベントを検索できる。 ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 ・コマンド実行の操作ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/IMを使用してシステムを監視する方。 |
| 前提知識 |
| JP1機能監視 (Version 10)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| 1. 統合管理の概要 2. システム監視 (1) イベントコンソール、監視ツリーによる監視 (2) フィルター機能 3. システム障害の検知 (1) 自動アクション (2) 重要イベント監視 (4) システム障害の調査・対応 (1) ガイド機能 (2) イベント検索 (3) モニター起動 (4) 統合機能メニュー (5) コマンド実行 5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 |
| 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視– (Version 10)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|---------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ 座学による研修 |

| |
|--|
| 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |

| |
|-----------------------------------|
| eラーニング インターネット接続による自己学習 |
|-----------------------------------|

| |
|-----------------------------|
| 目標テキスト 自習書による自己学習 |
| 休講 今期の定期開催はありません |

| |
|---|
| JPE309 JP1 |
| <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 –システム設定– (Version 10) |
| 平均12時間 |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・インストールする上で必要な製品情報を説明できる。 ・検証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 ・マネージャ・エージェントを構築できる。 ・ログファイル監視の設定ができる。 ・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ・ビジュアル監視の設定ができる。 |
| 対象者 |
| JP1/IMのシステム構築をする方。 |
| 前提知識 |
| 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1–システム監視– (Version 10)「eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| 1. 統合管理の導入 (1) インストール (2) IMデータベースの構築 2. イベントの集中管理 3. ユーザー管理機能 (1) ユーザー認証設定 (2) ユーザーマッピング設定 4. 監視対象の設定 (1) イベント変換設定 (2) リモート監視 (3) 監視画面の設定 (2) ビジュアル監視画面設定 6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 |
| 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2–システム設定–」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|--|
| JPJ211/JPJ211T JP1 |
| JP1コンサルタント ジョブ管理 –チューニング編– (Version 11) |
| 1日間 |
| JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を中心としたジョブ管理基盤を設計するための基本的な知識を学習します。要件の確認からシステム構成設計、ジョブ運用設計までの一連の流れを学習します。 |
| 到達目標 |
| ・顧客要件に応じたJP1/AJS3の設計ができる。 ・JP1/AJS3の性能等のトラブルを考慮したJP1/AJS3の設計ができる。 |
| 対象者 |
| JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1コンサルタント ジョブ管理–システム設計編– (Version11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| 1. 環境に関するチューニング 2. 機能に関するチューニング 3. 運用に関するチューニング 4. 性能に関するチューニング 5. 運用上の注意事項 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ211 (研修のみ) ・コースコード：JPJ211T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---|
| JPE310 JP1 |
| <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM (Version 10) |
| 平均12時間 |
| ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。 ・監視エージェントの設定 4. 監視エージェントとの連携 |
| 対象者 |
| JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。 |
| 前提知識 |
| オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。 |
| 内容 |
| 1. アペラビリティ管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 3. JP1/PFMのシステム構築 4. 監視エージェントの設定 5. レポート定義 6. アラーム定義 7. 統合コンソールとの連携 |
| 備考 |
| 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル アペラビリティ管理 (Version 10)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|---|
| JPJ100/JPJ100T JP1 |
| JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11) |
| 1日間 |
| JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。 ・JP1/VERITAS NetBackupのアーキテクチャを説明できる。 ・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構築を説明できる。 ・JP1/VERITAS NetBackupのインストールとセットアップができる。 |
| 対象者 |
| JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。 |
| 内容 |
| 1. JP1/VERITAS NetBackup概要 (1) バックアップとリストアの基礎知識 (2) JP1/VERITAS NetBackupの製品概要 (3) JP1/VERITAS NetBackupのシステム構築 2. インストールと環境設定 (1) JP1/VERITAS NetBackupのインストール (2) JP1/VERITAS NetBackupの環境設定 3. バックアップとリストア (1) JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ (2) JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア 4. 高度なバックアップ |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。 |

| |
|--|
| JPJ210 JP1 |
| JP1コンサルタント ジョブ管理 –システム設計編– (Version 11) |
| 1日間 |
| JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を中心としたジョブ管理基盤を設計するための基本的な知識を学習します。要件の確認からシステム構成設計、ジョブ運用設計までの一連の流れを学習します。 |
| 到達目標 |
| JP1/AJS3を中心としたジョブ管理基盤を設計するための基本的な知識を修得できる。 |
| 対象者 |
| JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視– (Version 11)」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2–システム設定・運用管理– (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| 1. はじめに 2. 顧客要件の確認 3. ジョブ管理構成設計 4. ジョブ管理機能設計 5. ジョブ管理運用設計 6. ジョブネット設計方針策定 7. 基本設計以降の工程 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ210 (研修のみ) ・コースコード：JPJ210T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|--|
| JPJ212/JPJ212T JP1 |
| JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11) |
| 1日間 |
| JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。 |
| 到達目標 |
| JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。 |
| 対象者 |
| JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(資産・配布管理)の取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| 1. システム要件とシステム構成 2. 設計 3. 構築 4. 運用時の注意事項、事例紹介 |
| 備考 |
| ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・コースコード：JPJ212 (研修のみ) ・コースコード：JPJ212T (試験付) ・試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシー |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--|
| 日立製品 |
| <p>JP1</p> |
| <p>uCosminexus Application Server</p> |
| <p>HIRDB</p> |
| <p>OpenTP1</p> |
| <p>VOS3/VOS1/VOSK</p> |
| <p>XDM/PDM II</p> |
| <p>Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム</p> |
| <p>IoT</p> |
| <p>ビッグデータ</p> |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p> |
| <p>IT サービス マネジメント</p> |
| <p>システム基盤</p> |
| <p>UNIX / Linux</p> |
| <p>Microsoft</p> |
| <p>ネットワーク</p> |
| <p>セキュリティ</p> |
| <p>データベース</p> |

| | |
|---|---|
| JPJ065 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1操作入門 (Version 10) | |
| 1日間 | |
| JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1の主要5製品の特徴を説明できる。 JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。 JP1/IT Desktop Management2 (資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。 JP1/Cm2/Network Node Manager i (ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。 JP1/Performance Management (アベイラビリティ管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。 JP1/Integrated Management Manager (統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。 |
| 対象者 | JP1を使用してシステム運用管理をする方、JP1の導入を検討する方。 |
| 前提知識 | オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があり、かつWindowsの操作経験があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">システム運用管理とJP1 ジョブ管理の操作入門 資産・配布管理の操作入門 ネットワーク管理の操作入門 アベイラビリティ管理の操作入門 統合管理の操作入門 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| | |
|--|---|
| JPE006 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| <eラーニング> JP1機能概説 (Version 10) | |
| 平均6時間 | |
| すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1製品の特徴が説明できる。 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。 |
| 対象者 | JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。 |
| 前提知識 | オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">JP1の基礎知識 統合管理 サービスレベル管理 アベイラビリティ管理 IT運用自動化 ジョブ管理 資産・配布管理 セキュリティ管理 ネットワーク管理 ストレージ管理 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、JP1 Version 10対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースには、資格認定試験はありません。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 このコースは、旧「JP1エンジニア 機能概説」(Version 10)コースと同等の内容です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|--|--|
| JPJ067 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル 統合管理 1 –システム監視– (Version 10) | |
| 2日間 | |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システム3の統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 イベント監視ページのカスタマイズができる。 セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 自動アクションの設定ができる。 重要イベントページのカスタマイズができる。 必要なイベントを検索できる。 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 コマンド実行の操作ができる。 |
| 対象者 | JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1エンジニア機能概説」(Version10)コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version10)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">統合管理の概要 システム監視 <ol style="list-style-type: none">イベントコンソール、監視ツリーによる監視 フィルター機能 システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none">自動アクション 重要イベント監視 システム障害の調査・対応 <ol style="list-style-type: none">ガイド機能 イベント検索 モニター起動 統合機能メニュー コマンド実行 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| | |
|--|--|
| JPJ208/JPJ208T JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11) | |
| 1日間 | |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)を中心としたJP1統合管理製品を導入・設計・構築するための基本的な知識を学習します。要件の確認から、監視運用設計、構築までの一連の流れを学習します。 | |
| 到達目標 | JP1/IMを中心としたJP1統合管理製品を導入・設計・構築するための基本的な知識を修得できる。 |
| 対象者 | JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視– (Version 11)」および「JP1プロフェッショナル 統合管理 2–システム設定– (Version11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">想定するシステム構成と顧客要件 顧客要件の整理 各種ナレッジ(導入事例、運用に向けた留意事項、障害事例) |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定コンサルタント(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 コースコード：JPJ208 (研修のみ) コースコード：JPJ208T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| | |
|--|---|
| JPJ209/JPJ209T JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11) | |
| 1日間 | |
| JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。 | |
| 到達目標 | JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。 |
| 対象者 | JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">想定するシステム構成と顧客要件 顧客要件の整理 各種ナレッジ(導入事例、運用に向けた留意事項、障害事例) |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 コースコード：JPJ209 (研修のみ) コースコード：JPJ209T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| | |
|---|--|
| JPJ213/JPJ213T JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11) | |
| 1日間 | |
| JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。 | |
| 到達目標 | JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。 |
| 対象者 | JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(ネットワーク管理)の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1–ネットワーク管理基盤– (Version 11)」および「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2–システムリソース管理– (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">想定するお客様環境例 監視要件の整理 構築・運用に関するノウハウ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定コンサルタント(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 コースコード：JPJ213 (研修のみ) コースコード：JPJ213T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16：30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 |

| | |
|---|--|
| JPJ068 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル 統合管理 2 –システム設定– (Version 10) | |
| 2日間 | |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">インストールするうえで必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築しJP1ユーザーを管理できる。 マネージャ・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 |
| 対象者 | JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視– (Version10)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none">インストール IMデータベースの構築 イベントの集中管理 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none">ユーザー認証設定 ユーザーマッピング設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none">イベント変換設定 リモート監視 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none">監視ツリー設定 ビジュアル監視画面設定 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| | |
|---|--|
| JPJ069 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 10) | |
| 4日間 | |
| JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">インストールするうえで必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築しJP1ユーザーを管理できる。 マネージャ・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 |
| 対象者 | JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視– (Version10)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none">インストール IMデータベースの構築 イベントの集中管理 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none">ユーザー認証設定 ユーザーマッピング設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none">イベント変換設定 リモート監視 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none">監視ツリー設定 ビジュアル監視画面設定 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視– (Version 10)」および「JP1プロフェッショナル 統合管理 2–システム設定– (Version 10)」コースと合同クラスで開催します。 このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| | |
|---|--|
| JPJ070 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理 (Version 10) | |
| 2日間 | |
| ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 パフォーマンスデータの収集ができる。 レポート、アラームの作成、操作ができる。 統合コンソールとの連携設定ができる。 |
| 対象者 | JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。 |
| 前提知識 | オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">アベイラビリティ管理の概要 JP1/PFMによる稼働情報の監視 JP1/PFMのシステム構築 監視エージェントの設定 レポート定義 アラーム定義 統合コンソールとの連携 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |


| | |
|--|--|
| JPJ071 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 –ジョブ定義・監視– (Version 10) | |
| 2日間 | |
| JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。 |
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">JP1/AJS3の概要 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none">ジョブ定義 即時実行登録 ジョブ実行状況の監視 スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none">カレンダー情報の設定 ユーザー管理機能の設定 計画/確定実行登録 実行スケジュールの確認 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none">ファイル更新契機のジョブの実行 起動条件の設定 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |


| | |
|--|---|
| JPJ072 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 –システム設定・運用管理– (Version 10) | |
| 2日間 | |
| JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1/AJS3製品のインストールができる。 エージェントの追加・変更ができる。 JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報(JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。 JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。 ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視– (Version 10)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none">JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none">エージェント管理機能の設定 ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none">JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none">ジョブネット定義の退避・回復 運用状況の監視 運用中のジョブネット変更 システムのバックアップとリカバリー <ol style="list-style-type: none">JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |


| | |
|---|---|
| JPJ073 JP1 | 休講 |
| マシン実習 | |
| JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 10) | |
| 4日間 | |
| JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">JP1/AJS3製品のインストールができる。 エージェントの追加・変更ができる。 JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報(JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。 JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。 ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視– (Version 10)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none">JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none">JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none">エージェント管理機能の設定 ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none">JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none">ジョブネット定義の退避・回復 運用状況の監視 運用中のジョブネット変更 システムのバックアップとリカバリー <ol style="list-style-type: none">JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視– (Version 10)」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2–システム設定・運用管理– (Version 10)」コースと合同クラスで開催します。 このコースは、JP1 Version 10対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |


| |
|--|
| 日立製品 |
| <p>JP1</p> |
| <p>uCosminexus Application Server</p> |
| <p>HIRDB</p> |
| <p>OpenTP1</p> |
| <p>VOS3/VOS1/VOSK</p> |
| <p>XDM/PDM II</p> |
| <p>Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム</p> |
| <p>IoT</p> |
| <p>ビッグデータ</p> |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p> |
| <p>IT サービス マネジメント</p> |
| <p>システム基盤</p> |
| <p>UNIX / Linux</p> |
| <p>Microsoft</p> |
| <p>ネットワーク</p> |
| <p>セキュリティ</p> |
| <p>データベース</p> |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p> |
| <p>IT戦略・IS企画</p> |
| <p>システム設計</p> |
| <p>アプリケーション 開発</p> |
| <p>Web アプリケーション</p> |
| <p>スマートデバイス</p> |
| <p>オブジェクト指向/UML</p> |
| <p>言語</p> |
| <p>IT 基本</p> |
| <p>IT 基本</p> |
| <p>ハードウェア</p> |
| <p>情報処理資格</p> |
| <p>情報リテラシ</p> |
| <p>プロジェクト マネジメント</p> |
| <p>コンプライアンス</p> |
| <p>ビジネス/ヒューマン</p> |
| <p>グローバル</p> |


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| | |
|--|---|
| JPE311 JP1 | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 –ジョブ定義・監視– (Version 10) |
| <div></div> <p>平均12時間</p> | |
| <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習をおとしてJP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。 ・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。 ・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行われる方。 |
| 前提知識 | Microsoft Windowsの基本的な操作ができること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録 3. ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定 (3) 計画/確定実行登録 (4) 実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ファイル更新契機のジョブの実行 (2) 起動条件の設定 |
| 備考 | <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |


| | |
|--|---|
| JPE312 JP1 | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 –システム設定・運用管理– (Version 10) |
| <div></div> <p>平均12時間</p> | |
| <p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/AJS3製品のインストールができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報(JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。 ・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。 ・ジョブネットの定義の選定・回復、運用状況監視の操作ができる。 ・運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。 |
| 前提知識 | 「ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1-ジョブ定義・監視-(Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング 4. ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブネット定義の選定・回復 (2) 運用状況の監視 (3) 運用中のジョブネット変更 5. システムのバックアップとリカバリー <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー (2) JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー 6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません) |
| 備考 | <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |


| | |
|---|---|
| JPE302 JP1 | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 –ジョブ定義・監視– (Version 9) |
| <div></div> <p>平均12時間</p> | |
| <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通してJP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなどの)設定ができる。 ・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 |
| 対象者 | JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。 |
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定 (3) 計画/確定実行登録 (4) 実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ファイル更新契機のジョブの実行 (2) 起動条件の設定 |
| 備考 | <p>【お申し込み前に必ずご確認ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 9対応です。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。音声はありません。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |


| | |
|---|--|
| JPJ080 JP1 | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 –ソフトウェア配布・資産管理– (Version 10) |
| <div></div> <p>2日間</p> | 休 講 |
| <p>JP1/NETM/DMを使用した資産管理、ソフトウェア配布、クライアント管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/NETM/DMのシステム構成と機能を説明できる。 ・JP1/NETM/DMのインストールができる。 ・監視対象のシステム構成を設定できる。 ・資産情報(ハードウェア、ソフトウェア、ユーザーイベント)の取得操作ができる。 ・資産情報の集計、CSV出力の操作ができる。 ・ソフトウェアの稼働監視の設定、監視操作ができる。 ・リモートインストールのパッケージ作成、実行内容の設定、実行操作ができる。 ・リモートコントロールの操作、環境設定ができる。 |
| 対象者 | JP1/NETM/DMを使用して資産管理、クライアント管理を行う方。 |
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 資産・配布管理の概要 2. JP1/NETM/DMのインストールとセットアップ 3. 資産管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資産情報の取得 (2) 資産情報の管理 4. クライアント管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 稼働監視機能 (2) 操作ログ参照機能 (3) メッセージ通知 5. ソフトウェア配布管理 6. リモートコントロール機能 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p> |

| | |
|---|--|
| JPJ075 JP1 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 –ネットワーク管理基盤– (Version 10) |
| <div></div> <p>2日間</p> | 休 講 |
| <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Cm2/Network Node Manager 1(JP1/Cm2/NNMI)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/Cm2/NNMi のシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/Cm2/NNMi のインストールとセットアップができる。 ・監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。 ・インシデントの管理ができる。 |
| 対象者 | JP1/Cm2/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-I」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1によるネットワーク管理の概要 2. インストールとセットアップ 3. 監視対象の登録 4. 障害監視・性能監視 5. インシデント管理 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p> |

| | |
|--|--|
| JPJ076 JP1 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 –システムリソース管理– (Version 10) |
| <div></div> <p>1日間</p> | 休 講 |
| <p>JP1/Cm2/SNMP System Observer (JP1/Cm2/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/Cm2/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/Cm2/SSOのインストールができる。 ・システムリソースの参照、収集設定ができる。 ・プロセスリソースの状態監視、監視設定、自動アクション設定ができる。 |
| 対象者 | JP1/Cm2/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。 |
| 前提知識 | 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 10)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/Cm2/SSOの概要 2. JP1/Cm2/SSOのインストール 3. システムリソース管理 4. プロセスおよびサービス監視 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p> |

| | | |
|---|--|------------|
| JPJ077 JP1 | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 10) | 休 講 |
| <div></div> <p>3日間</p> | | |
| <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Cm2/Network Node Manager 1(JP1/Cm2/NNMI)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/Cm2/SNMP System Observer (JP1/Cm2/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> | | |
| ●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。 | | |
| <JPJ075> | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 –ネットワーク管理基盤– (Version 10) | |
| <JPJ076> | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 –システムリソース管理– (Version 10) | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 10)」および「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 10)」と合同クラスで開催する場合があります。 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・3日目は、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p> | |

| | | |
|---|---|------------|
| JPJ079 JP1 | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 –情報漏えい防止– (Version 10) | 休 講 |
| <div></div> <p>1日間</p> | | |
| <p>JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 ・秘文ICによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 ・秘文IFによる持出制御の操作ができる。 ・JP1/秘文サーバの設定と操作ができる。 | |
| 対象者 | JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。 | |
| 前提知識 | セキュリティの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。 | |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/秘文の概要 2. 秘文IC、秘文ODEの主要機能 3. 秘文IF、秘文サーバの主要機能 4. 秘文IS、秘文ファイルサーバの主要機能 5. 秘文LM | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p> | |

| | |
|---|--|
| 11653 JP1 | 【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター (Version 11) |
| <div></div> <p>1日間</p> | |
| <p>お客様に対し最適なJP1システムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・JP1製品概要が説明できる。 ・お客様の要望に対し製品を提案できる。 ・JP1製品の価格見積りができる。 ・お客様に対し最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。 ・JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。 |
| 前提知識 | コンピュータの基礎知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 (JP1の特徴、製品体系など) 2. JP1の製品概要 (JP1各製品の紹介など) 3. サービス商品 (運用管理のサービス商品の紹介など) 4. 拡張ツールの紹介 (拡張ツールとその活用場面など) 5. 見積りりの基礎知識 (JP1製品の提供形態とライセンス体系など) 6. 提案する製品の特定と見積り方法 7. JP1認定セールスコーディネーター資格試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、9：30～17：20の開催とさせていただきます。 ・試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・認定試験の受験料は、受講料に含まれます。 |

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
|  マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 |  グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 |  レクチャ 座学による 研修 |  演習環境 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |  eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|--|--|---|---|---|--|

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

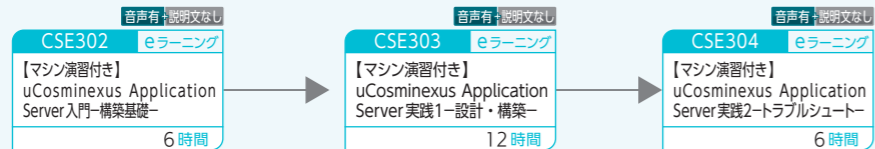
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

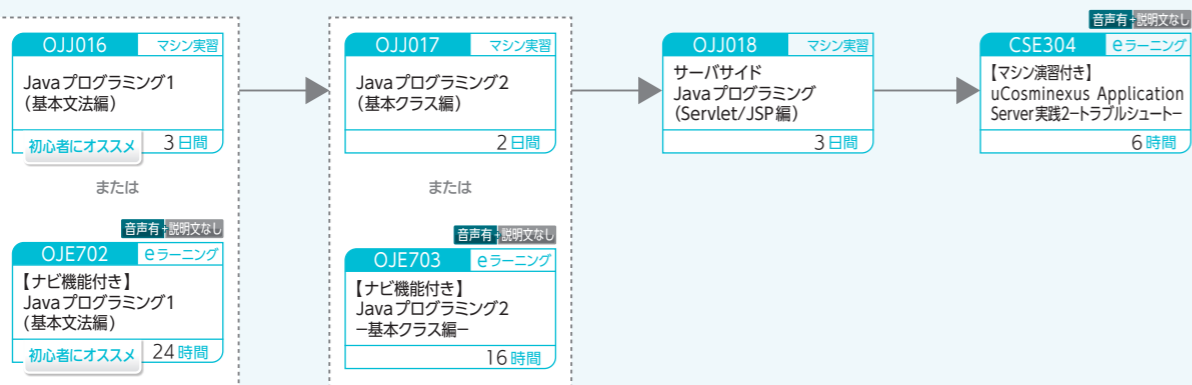
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

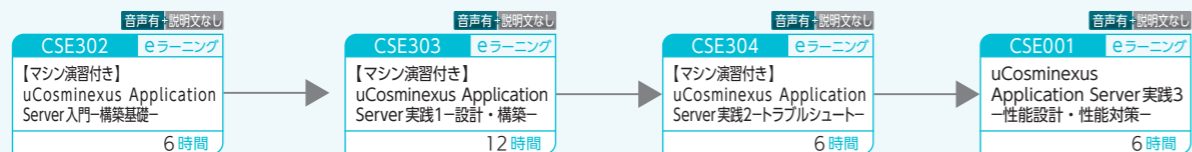
uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンモデルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 「CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-」
 「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-」
 【日立オープンモデルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

- 音声有・説明文なし：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文あり：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server
<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
入門-構築基礎-
 平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標
 ・ uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
 ・ システム構築に使用するパラメータを設計できる。
 ・ システムの構築・運用ができる。

対象者
 uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識
 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。

内容
 1. アプリケーションサーバ概要
 2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
 3. uCosminexus Application Serverのインストール
 4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
 5. 運用管理ツールを用いた操作・設定
 6. 修了試験

備考
 【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング> uCosminexus Application Server実践2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE303 uCosminexus Application Server
<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
実践1-設計・構築-
 平均12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標
 ・ 要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
 ・ システム構築に使用するパラメータを設計できる。
 ・ システムの構築・運用ができる。

対象者
 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識
 「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容
 1. 作業概要とシステム基本構成
 2. システム基本設計
 3. システム詳細設計
 4. システム構築
 5. 修了試験

備考
 【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE304 uCosminexus Application Server
<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
実践2-トラブルシューター-
 平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシューターについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標
 ・ トラブルシューターの流れを説明できる。
 ・ 代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者
 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識
 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容
 1. トラブルシューター概要
 2. トラブルシューター手順
 3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
 4. 修了試験

備考
 【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE001 uCosminexus Application Server
<eラーニング>
uCosminexus Application Server
実践3-性能設計・性能対策-
 平均6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標
 ・ 性能設計と性能検証の関係について説明できる。
 ・ 要件を満たす性能設計ができる。
 ・ ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者
 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識
 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. 性能設計と性能検証
 2. 性能設計
 3. 性能検証とチューニング
 4. 修了試験

備考
 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/サーバ仮想化

IT サービス マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

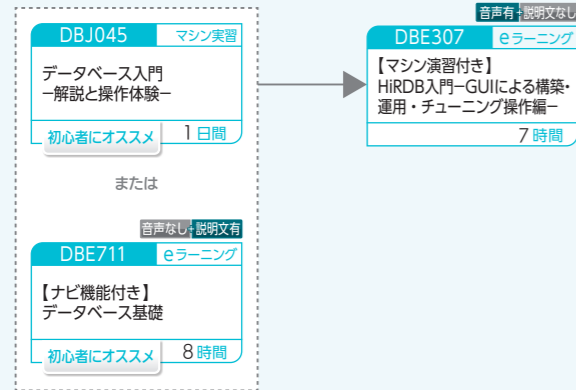
ビジネス/ヒューマン

グローバル

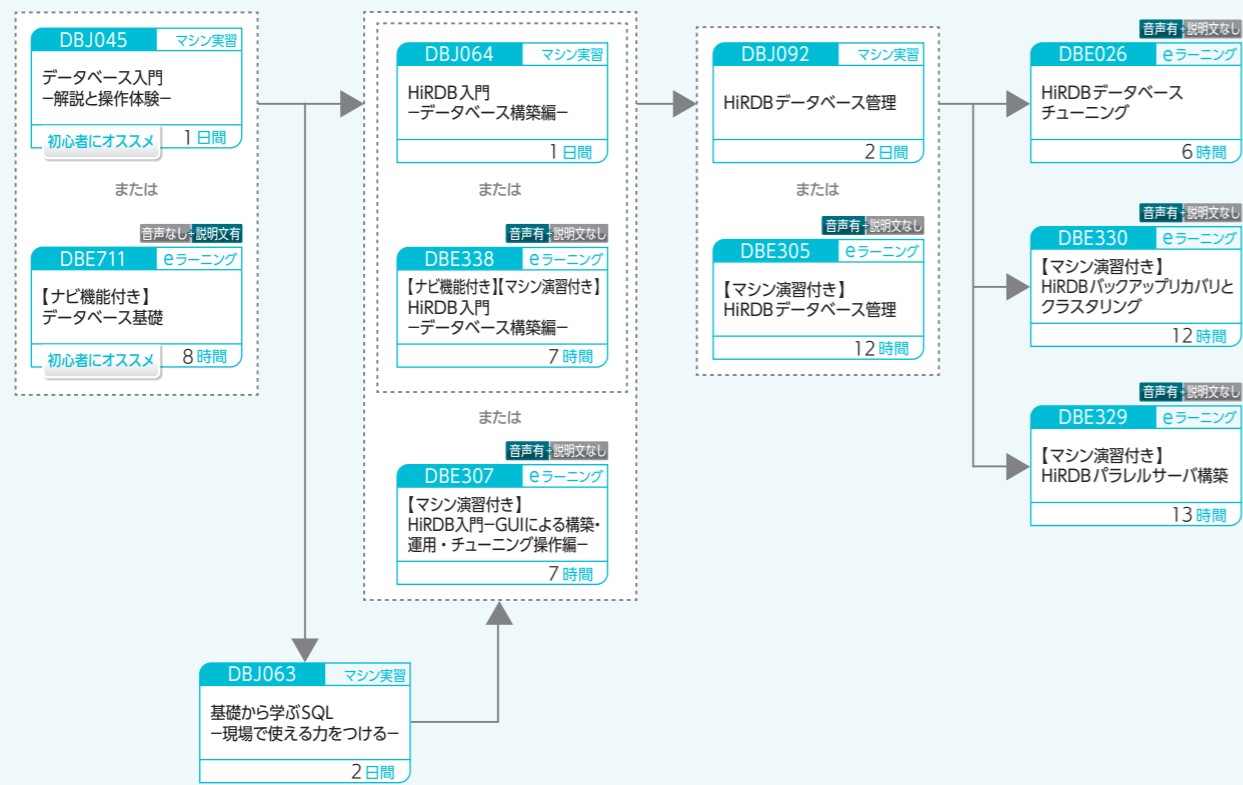
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



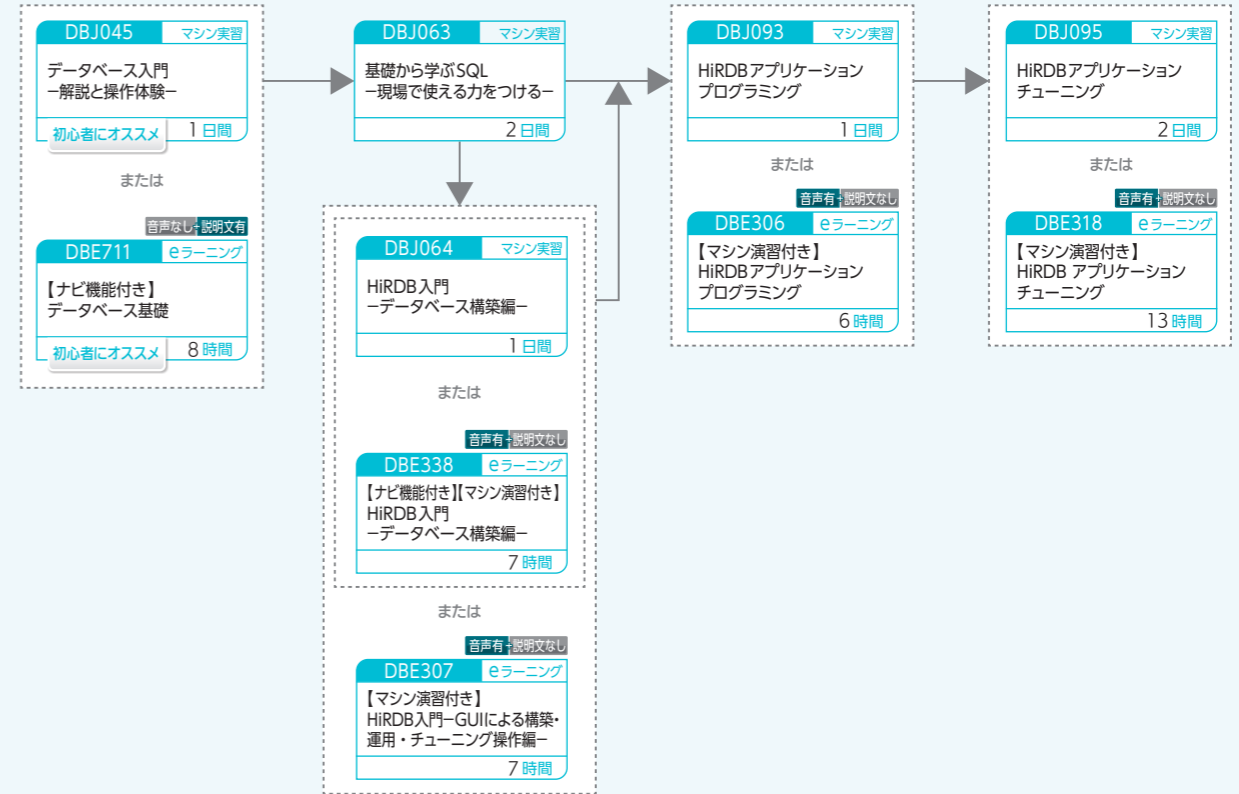
● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



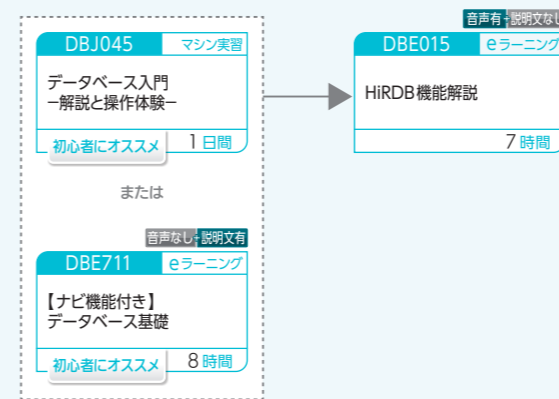
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方





● HiRDBの機能概要を修得したい方





| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HiRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| | |
|---|--|
| DBE015 | HiRDB |
|  | <eラーニング>HiRDB機能解説 |
| 平均7時間 | |
| HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。 | |
| 到達目標 | ・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。 ・HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。 |
| 対象者 | HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。 |
| 前提知識 | 「データベース入門―解説と操作体験―」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 並列データベースの技術 2. HiRDBの概要 3. データベースの構造 4. HiRDBの各種機能 5. 修了試験 |
| 備考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|--|
| DBJ092 | HiRDB |
|  | HiRDBデータベース管理 |
| 2日間 | |
| HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 | ・HiRDBシステムの設計を行える。 ・HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。 |
| 対象者 | HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL―現場で使える力をつける―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング |
| 備考 | ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニア―データベース管理―」コースの名称を変更したものです。 |

| | |
|--|---|
| DBE305 | HiRDB |
|  | <eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理 |
| 平均12時間 | |
| HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | ・HiRDBシステムの設計を行える。 ・HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。 |
| 対象者 | HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL―現場で使える力をつける―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング 8. 修了試験 |
| 備考 | 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HiRDBデータベース管理」コース(DBJ092)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDB プラットフォームエンジニア―データベース管理―」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| | |
|---|--|
| DBJ093 | HiRDB |
|  | HiRDBアプリケーションプログラミング |
| 1日間 | |
| HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を学習します。 | |
| 到達目標 | 各種アプリケーション開発技術を用いHiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。 |
| 対象者 | HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL―現場で使える力をつける―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要 3. 表のデータ型 4. アプリケーションプログラムの実装 5. ストアドプロシジャ、ストアドファンクションとトリガー 6. データベースセキュリティ |
| 備考 | ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「HiRDBアプリケーションエンジニア―データベースプログラミング―」コースの名称を変更したものです。 |

| | |
|---|--|
| DBE306 | HiRDB |
|  | <eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング |
| 平均6時間 | |
| HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。 |
| 対象者 | HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL―現場で使える力をつける―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要 3. 表のデータ型 4. アプリケーションプログラムの実装 5. ストアドプロシジャ、ストアドファンクションとトリガー 6. データベースセキュリティ 7. 修了試験 |
| 備考 | 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBアプリケーションエンジニア―データベースプログラミング―」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| | |
|---|--|
| DBE026 | HiRDB |
|  | <eラーニング>HiRDBデータベースチューニング |
| 平均6時間 | |
| HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。 | |
| 到達目標 | HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。 |
| 対象者 | HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. パフォーマンスチューニング概要 2. データベース設計 3. グローバルバッファのチューニング 4. ログバッファのチューニング 5. SQLオブジェクトバッファのチューニング 6. 修了試験 |
| 備考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |



| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HiRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

DBE329 HIRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築
平均13時間

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を学習します。

到達目標

- ・HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
- ・HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
- ・HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者

HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識

「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
 - (1) HiRDBパラレルサーバの構成 (2) HiRDBパラレルサーバの特長 (3) HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
 - (1) 要件確認の目的 (2) 要件確認項目一覧
 - (3) 項目の確認および調査
 - (4) BES数見積りに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
 - (1) 基本的なサーバの配置方 (2) BESの配置および必要台数の決定
 - (3) FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
 - (1) リソースの配置方針 (2) 容量見積り
5. データベース構築
 - (1) データベース構築手順
 - (2) サーバマシン環境・データベース環境の決定
 - (3) システム定義ファイルの作成 (4) HiRDBファイルシステム領域の作成
 - (5) システムファイルの作成
 - (6) RDIエリアの作成とHiRDBシステムの開始 (7) 表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
 - (1) 高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
 - (2) HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
7. 修了試験

備 考

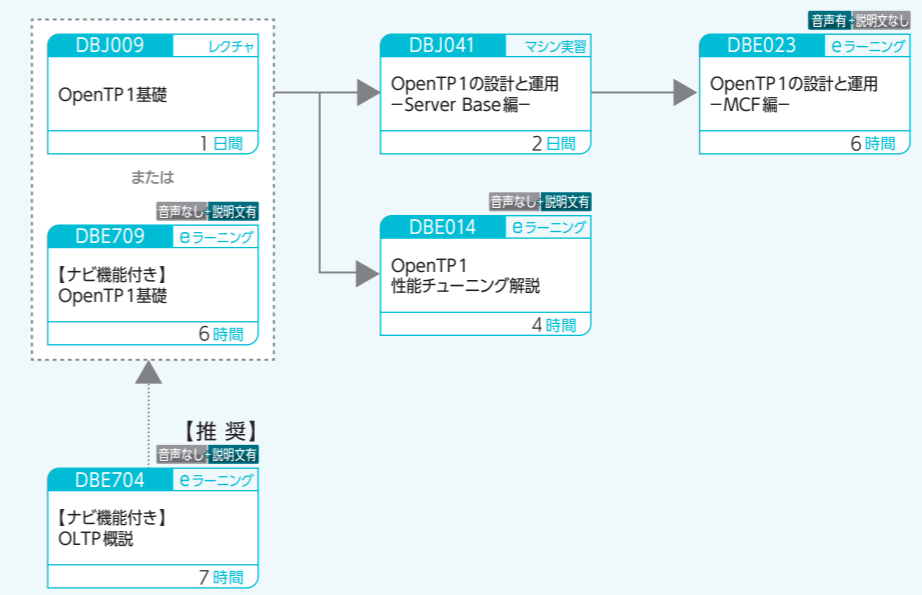
【お申し込み前に必ずご確認ください】

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

DBJ009 OpenTP1

OpenTP1基礎

1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標

- トランザクションの定義を説明できる。
- OLTPを説明できる。
- OpenTP1の機能を説明できる。

対象者

OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識

OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容

- OLTPの基礎知識
 - クライアントサーバシステム
 - OLTPの基礎知識
 - インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - アプリケーション間の通信形態
 - リモートプロシジャコール (RPC)
 - メッセージ送受信形態
 - メッセージキューイング形態
 - OpenTP1のプロセス制御
 - トランザクション制御
- OpenTP1の日常的な運用
 - システムファイル
 - OpenTP1の開始および終了

DBE709 OpenTP1

<eラーニング> [ナビ機能付き] OpenTP1基礎

平均6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標

- トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者

OpenTP1システムを構築及び管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識

【ナビ機能付き】OLTP概説/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OLTPの基礎知識
 - クライアントサーバシステム
 - OLTPの基礎知識
 - インターネット連携
 - OpenTP1の特徴
 - インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - アプリケーション間の通信形態
 - リモートプロシジャコール
 - メッセージ送受信形態
 - メッセージキューイング形態
 - OpenTP1のプロセス制御
 - トランザクション制御
 - OpenTP1のソフトウェア製品
- OpenTP1の日常的な運用
 - システムファイル
 - OpenTP1の運用

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ041 OpenTP1

OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-

2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者

OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識

「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OpenTP1の概要
- OpenTP1システム構築
- システムファイルの作成
- システム定義の作成
- リソースマネージャの登録
- OpenTP1の運用
- ユーザーの設定と運用
- システムファイルの障害対策
- OpenTP1クライアントの設定

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE023 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 -MCF編-

平均6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者

OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識

「OpenTP1設計と運用-Server Base編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- メッセージ送受信形態
- OpenTP1システムの構築
- ネットワークコミュニケーション定義の作成
- OpenTP1の運用
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE014 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

平均4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
- さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者

OpenTP1システムを管理する方。

前提知識

「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OpenTP1の通信性能
- OpenTP1のトランザクション性能
- OpenTP1のプロセス・メモリ性能
- OpenTP1の性能全般
- 修了試験

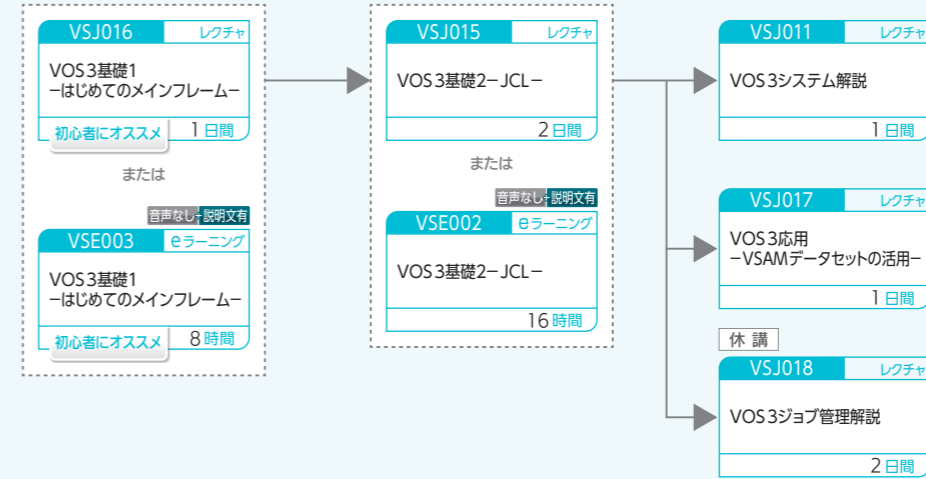
備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

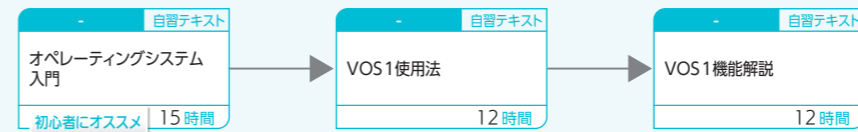
VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

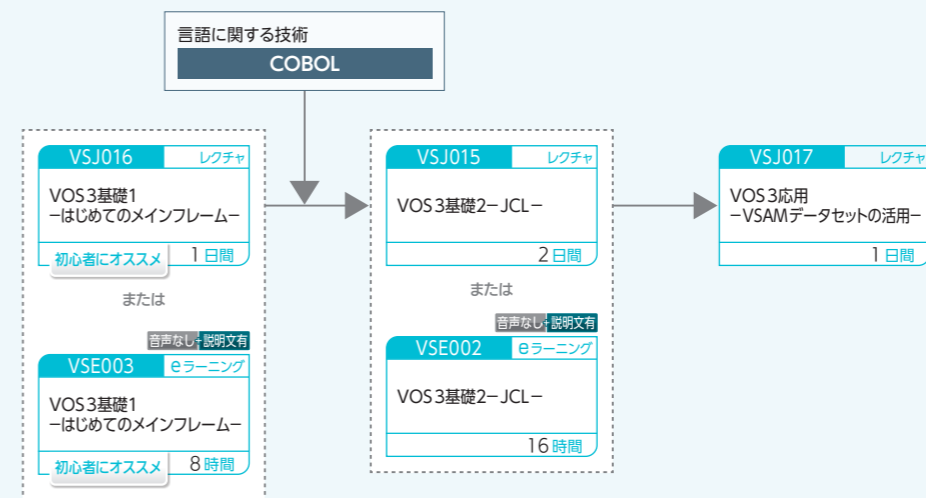
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

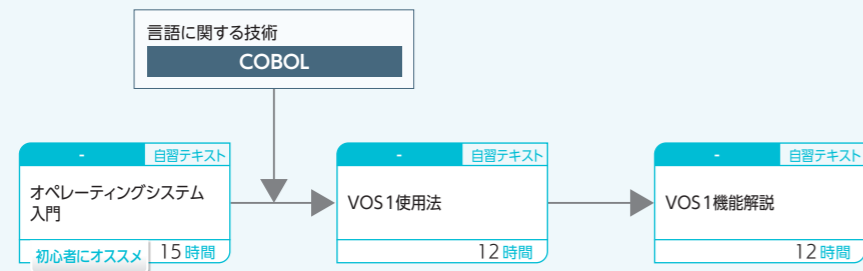
自習テキスト 自習書による自己学習
休講 休講
休講 休講 (今期の定期開催はありません)

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

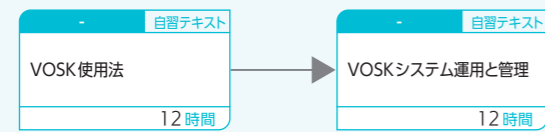
| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習
研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング インターネット接続による自己学習

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK

オペレーティングシステム入門

平均15時間

オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。

到達目標

- ・オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。
- ・プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。
- ・入力リダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。
- ・入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。
- ・ファイル編成とアクセス方法を説明できる。
- ・マルチプログラミングのしくみを説明できる。

対象者 VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. オペレーティングシステムとはなにか
2. プログラムの翻訳、結合・編集
3. ジョブの実行過程
4. データ入出力のしくみ
5. マルチプログラミングのしくみ

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎1

－はじめてのメインフレーム－

1日間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>

VOS3基礎1

－はじめてのメインフレーム－

平均8時間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備考 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます）
 ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1－はじめてのメインフレーム－」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎2

－JCL－

2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前置知識 「VOS3基礎 1－はじめてのメインフレーム－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考 このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。

VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>

VOS3基礎2

－JCL－ **【スマートデバイス対応】**

平均16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前置知識 「VOS3基礎 1－はじめてのメインフレーム－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
 ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）、または「VOS3基礎2－JCL－」コース（VSJ015）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースはスマートデバイス（iPad推奨）に対応しています。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

VOS3/VOS1/VOSK

VOS3システム解説

1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- ・VOS3システムの処理形態を説明できる。
- ・仮想空間の構成について説明できる。
- ・仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- ・TRUSTの機能について説明できる。
- ・システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前置知識 「VOS3基礎 2－JCL－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内容

1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
 - (1) パッチ
 - (2) TSS
 - (3) DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
 - (1) LPAの利用
 - (2) XPL
 - (3) VSAM HAF
 - (4) VIO
 - (5) SAM ESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
 - (1) AOMPLUS
 - (2) HOPSS3
 - (3) JP1との連携

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

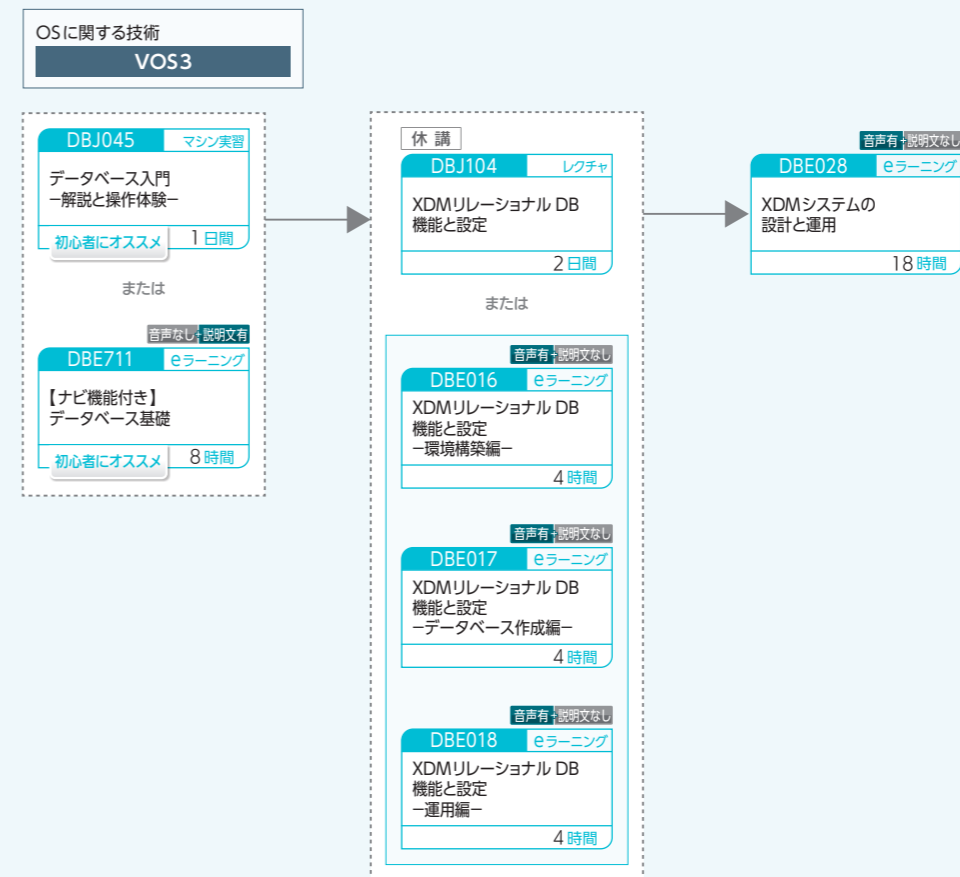
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

| | |
|---|--|
| 日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービスマネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース | VOS3/VOS1/VOSK VOS3応用 -VSAMデータセットの活用- 1日間 VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> VSAMデータセットの特長を説明できる。 VSAMユーティリティの機能を説明できる。 ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。 カタログの役割、機能を説明できる。 対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。 前提知識 「VOS3基礎 2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> データセットとディスクボリューム VSAMデータセットの特長 ライブラリ管理システム LIME E2の機能 データセットのカタログ機能 VSAMユーティリティの機能 |
| | VOS3/VOS1/VOSK VOS3ジョブ管理解説 2日間 VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> JSS3の機能を説明できる。 JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。 ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。 ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。 対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。 前提知識 「VOS3基礎 2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> JSS3の概要 JSS3の起動と初期設定 <ol style="list-style-type: none"> JSS3起動用カタログプロシジャ JSS3初期設定パラメタ ジョブの実行管理 <ol style="list-style-type: none"> ジョブの流れ ジョブの入力 ジョブの実行スケジュール ジョブの実行制御 ジョブ結果の出力 スプールとジョブキューの管理 備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。 |

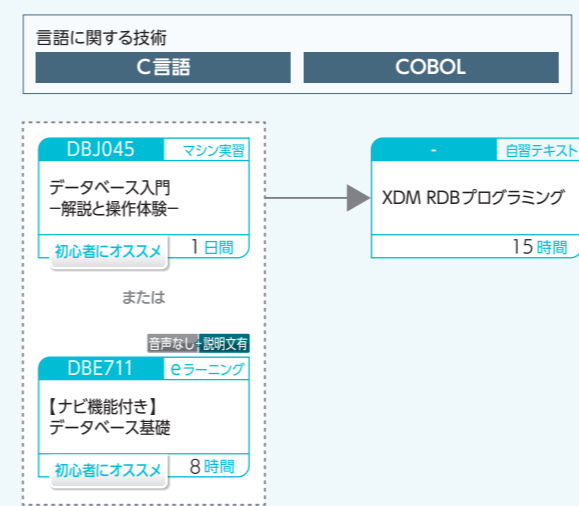
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

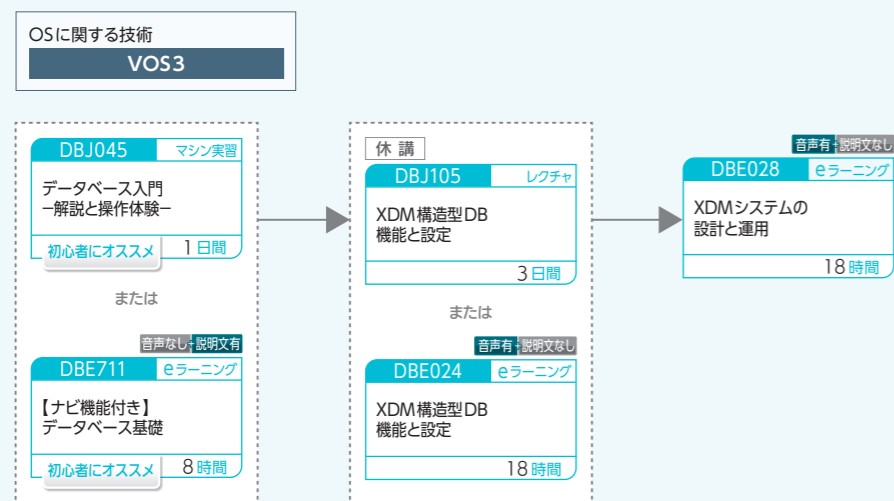
| | |
|---|--|
| IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクトマネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル | VOS3/VOS1/VOSK VOS1機能解説 平均12時間 VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ジョブの実行環境の設定ができる。 対話処理環境の設定ができる。 ボリュームとファイルの運用ができる。 システムの操作ができる。 対象者 VOS1システムを運用・管理する方。 前提知識 「VOS1使用方法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> ジョブの実行環境の設定 対話処理環境の設定 ボリュームとファイルの運用 システムの操作 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。 |
| | VOS3/VOS1/VOSK VOSK使用方法 平均12時間 VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> VOSKシステムの概要を説明できる。 VOSKの基礎知識を説明できる。 ワークステーションの基本操作ができる。 ファイルの取扱いができる。 ジョブの作成と実行ができる。 ジョブの実行結果の出力ができる。 対象者 VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。 前提知識 コンピュータに関する基礎知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> VOSKシステムの概要 VOSKの基礎知識 VOSKでの業務の開始と終了(ワークステーションの基本操作) ファイルの取扱い ジョブの作成と実行 ジョブの実行結果の出力 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。 |

| |
|--|
| VOS3/VOS1/VOSK VOS1使用法 平均12時間 VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ワークステーションの操作ができる。 プログラムの作成ができる。 JCLプロシジャの作成ができる。 ジョブの実行ができる。 メンバの操作ができる。 ファイルの操作ができる。 パッチジョブの実行ができる。 パネルの作成ができる。 対象者 VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。 前提知識 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> ワークステーションの操作 プログラムの作成 JCLプロシジャの作成 ジョブの実行 メンバの操作 ファイルの操作 パッチジョブの実行 パネルの作成 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。 |
|--|

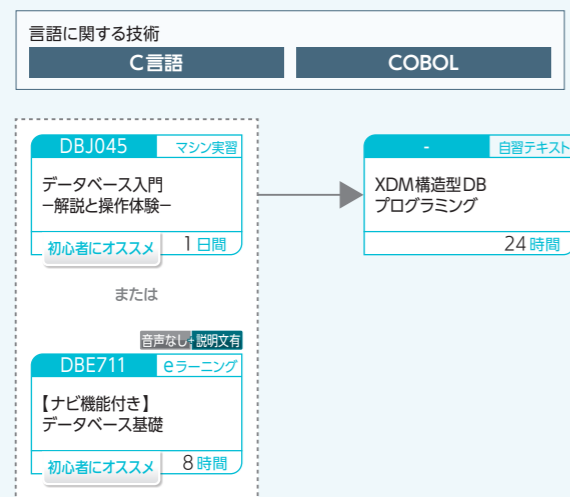
| |
|--|
| VOS3/VOS1/VOSK VOSKシステム運用と管理 平均12時間 VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> システムの運用と管理の概要を説明できる。 使用者管理ができる。 ファイルシステムの運用と管理ができる。 ジョブ実行環境の設定ができる。 システムの操作ができる。 システムの管理ができる。 対象者 VOSKシステム全体を運用管理する方。 前提知識 「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> システムの運用と管理の概要 使用者管理 ファイルシステムの運用と管理 ジョブ実行環境の設定 システムの操作 システムの管理 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。 |
|--|

| |
|--|
| 日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービスマネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクトマネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル |
|--|

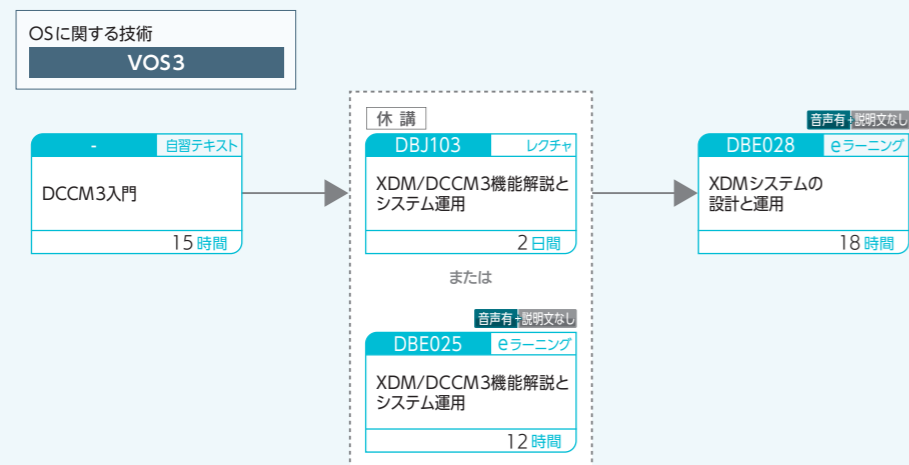
● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

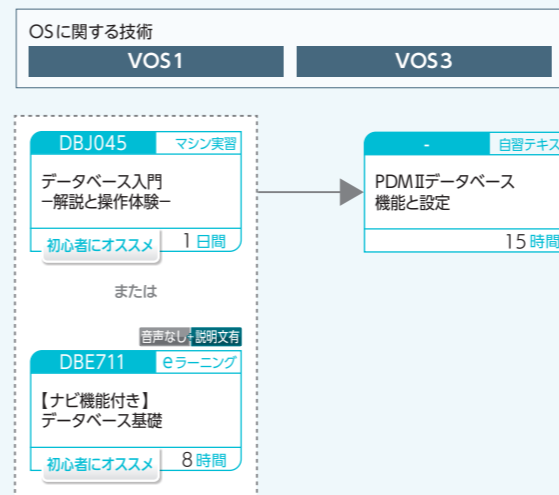
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

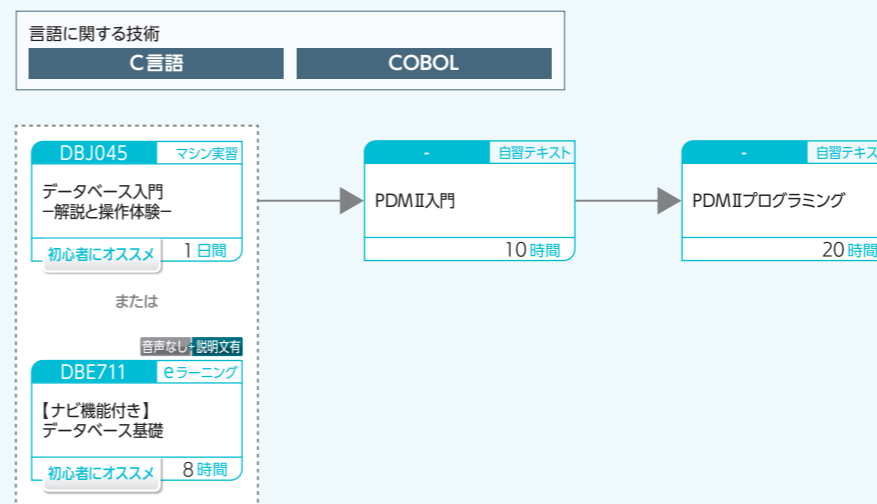
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

DBE016 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDMリレーショナルDB機能と設定
—環境構築編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・RD初期設定ユーティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
(1) データベースの論理構造
(2) データベースの物理構造
3. XDM/RDシステムの作成
(1) XDM/RDシステムの作成手順
(2) XDM/RDシステムの作成の準備
(3) XDM/RDシステムの環境設定
4. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE017 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDMリレーショナルDB機能と設定
—データベース作成編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベースシステム (XDM/RD) を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・表およびインデックスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
(1) データベースの論理構造
(2) データベースの物理構造
3. データベースの作成
(1) 表の定義
(2) インデックスの定義
(3) データの初期ロードとインデックスの作成
(4) ビュー表の定義
4. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE018 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDMリレーショナルDB機能と設定
—運用編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・機密保護、排他制御を理解し説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
(1) データベースの論理構造
(2) データベースの物理構造
3. データベースの管理と保守
(1) データデイクジョナリ
(2) 機密保護
(3) 排他制御
4. データベースの運用
(1) XDM/RDシステムの起動と停止
(2) データベースの再編成
5. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE025 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

平均12時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標 ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
(1) メッセージ受信/送信処理
(2) UAPのローディング方式
(3) メッセージ編集など
3. オンラインの運用
(1) XDMシステムの開始と終了
(2) センタ運用
(3) 端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ103 XDM/PDM II

 **XDM/DCCM3機能解説とシステム運用**

2日間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標 ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。


対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
(1) メッセージ受信/送信処理
(2) UAPのローディング方式
(3) メッセージ編集など
3. オンラインの運用
(1) XDMシステムの開始と終了
(2) センタ運用
(3) 端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE028 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDMシステムの設計と運用

平均18時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。

到達目標 ・XDM空間を起動できる。
・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。
・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。

対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。

前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コースまたは「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース(3コースすべての)のいずれかと、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。

内容 1. 概要
2. XDMシステムの構築と運用
(1) XDM運用のポイント
3. XDMシステムの管理を支援するツール
(1) XDM/AOF E2
(2) XDM/PAF
4. XDMの設計指針
(1) 性能設計
(2) 信頼性設計
(3) DB設計
(4) DC設計

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ104 XDM/PDM II

 **XDMリレーショナルDB機能と設定**

2日間

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
・表およびインデックスを定義できる。
・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
(1) データベースの論理構造
(2) データベースの物理構造
(3) XDM/RDシステムの作成
3. データベースの管理と保守
(1) データデイクジョナリ
(2) 機密保護
(3) 排他制御
4. データベースの運用
(1) XDM/RDシステムの起動と停止
(2) データベースの再編成

備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE024 XDM/PDM II

 **<eラーニング>**
XDM構造型DB機能と設定

平均18時間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
(1) 仮想構造
(2) データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
(1) 排他制御
(2) コミット(同期点)処理
(3) データベースの障害回復

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)

・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ105 XDM/PDM II

 **XDM構造型DB機能と設定**

3日間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
(1) 仮想構造
(2) データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
(1) 排他制御
(2) コミット(同期点)処理
(3) データベースの障害回復

備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

- XDM/PDM II

 **XDM RDBプログラミング**

平均15時間

XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。

到達目標 ・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。
・検索処理プログラムを作成できる。
・更新処理プログラムを作成できる。
・追加/削除処理プログラムを作成できる。

対象者 XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。

前提知識 COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。

内容 1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点
2. 検索処理プログラムの作成方法
3. 更新処理プログラムの作成方法
4. 追加、削除処理プログラムの作成方法

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

- XDM/PDM II

 **XDM構造型DBプログラミング**

平均24時間

XDM構造型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。

到達目標 ・構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。
・検索処理プログラムを作成できる。
・更新処理プログラムを作成できる。
・切り離し、組み入れおよび再組み入れ処理プログラムを作成できる。


対象者 XDM構造型DBを使用する業務プログラムを開発する方。

前提知識 COBOL言語を修了し、かつXDM構造型DBの基礎知識があること。

内容 1. 構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点
2. 検索処理プログラムの作成方法
3. 更新処理プログラムの作成方法
4. 切り離し、組み入れ処理プログラムの作成方法

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

- XDM/PDM II

 **DCCM3入門**

平均15時間

DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なとなるメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。

到達目標 ・DCCM3の目的および特長を説明できる。
・メッセージの処理方法を説明できる。
・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。

対象者 DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴
2. メッセージの処理方法
3. オンラインの運用

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

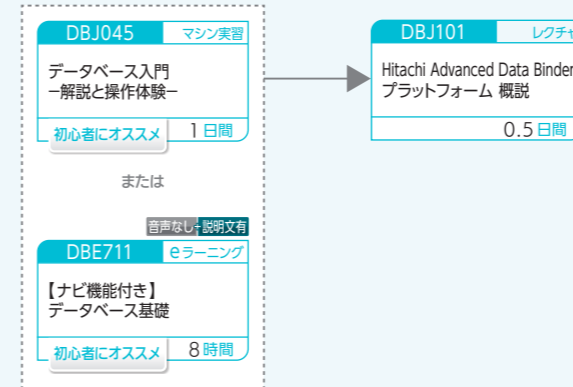
| | | | |
|---------------------------------------|--|------------|---|
| 日立製品 | JP1 | XDM/PDM II | <p>平均25時間</p> <p>DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。 <p>対象者 DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。</p> <p>前提知識 COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 パネル定義 <p>備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。</p> |
| | uCosminexus Application Server | | |
| | HIRDB | | |
| | OpenTP1 | | |
| | VOS3/VOS1/VOSK | | |
| XDM/PDM II | <p>平均10時間</p> <p>PDM II データベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> PDM II システムのねらいを理解し説明できる。 PDM II システムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 データベース構造を理解し説明できる。 PDM II システムが提供する機能を理解し説明できる。 <p>対象者 PDM II データベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。</p> <p>前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> PDM II の基本機能 PDM II データベースの構造 データベースの操作機能 <p>備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。</p> | | |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム | | | |
| IoT | | | |
| ビッグデータ | | | |
| クラウド/サーバ仮想化 | | | |
| ITサービスマネジメント | | | |
| システム基盤 | | | |
| UNIX/Linux | | | |
| Microsoft | | | |
| ネットワーク | | | |
| セキュリティ | | | |
| データベース | | | |

| | | | |
|--------------|------------------|------------|--|
| 日立製品 | IT戦略・IS企画/システム設計 | XDM/PDM II | <p>平均20時間</p> <p>PDM II データベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> PDM II とプログラムのインターフェースを理解し説明できる。 検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。 <p>対象者 PDM II データベースを使用した業務プログラムを開発する方。</p> <p>前提知識 COBOL、PL/IまたはNHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDM II 入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> PDM II の機能概要 プログラムとPDM II のインターフェース データベースの作成方法 データベースの検索方法 データベースの更新方法 <p>備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。</p> |
| | IT戦略・IS企画 | | |
| | システム設計 | | |
| | アプリケーション開発 | | |
| | Webアプリケーション | | |
| スマートデバイス | | | |
| オブジェクト指向/UML | | | |
| 言語 | | | |
| IT基本 | | | |
| IT基本 | | | |
| ハードウェア | | | |
| 情報処理資格 | | | |
| 情報リテラシ | | | |
| プロジェクトマネジメント | | | |
| コンプライアンス | | | |
| ビジネス/ヒューマン | | | |
| グローバル | | | |

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし+説明文なし** : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

DBJ101 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム



Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム 概説

0.5日間

Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要、導入から保守までの作業概要(WBS)および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

- 到達目標**
- ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの導入から保守までの作業概要(WBS)を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

対象者 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォームの導入をご検討中の方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. HADB PFの概要
 2. HADB PFの設計
 3. HADB PFの構築の概要
 4. HADB PFのテストおよびチューニングの概要

備考 このコースは、13:00~17:20の開催とさせていただきます。

IoT

IoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)の全体像とシステム構築についての詳細技術を理解できます。また、MCPC主催「IoTシステム技術検定」合格の支援を行います。

IoT/M2Mシステムの基礎知識を修得したい方

| | |
|--------|------|
| IOJ001 | レクチャ |
| IoT概説 | |
| 0.5 日間 | |

IoT/M2Mシステム構築のポイントとなる技術を修得したい方

| | |
|-----------------|------|
| IOJ002 | レクチャ |
| IoT技術解説 セキュリティ編 | |
| 0.5 日間 | |

| | |
|-------------------|------|
| IOJ003 | レクチャ |
| IoT技術解説 無線ネットワーク編 | |
| 0.5 日間 | |

| | | |
|--------------|--------|------|
| New | IOJ007 | レクチャ |
| IoT技術解説 センサ編 | | |
| 0.5 日間 | | |

MCPC主催IoTシステム技術検定の合格をめざす方

<基礎検定受検者向け>

<中級検定受検者向け>

| | | |
|------------------------|--------|------|
| New | IOJ008 | レクチャ |
| IoTシステム技術検定 (基礎検定)対策講座 | | |
| 1 日間 | | |

| | |
|------------------|------|
| IOJ004 | レクチャ |
| IoTシステム技術検定 対策講座 | |
| 2 日間 | |

OSSを活用したIoTシステムを開発したい方

| | |
|--|-------|
| IOJ005 | マシン実習 |
| 実践! Node-REDによるIoTシステムの実装-Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断、保守まで- | |
| 1 日間 | |

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 IoTシステム技術検定

IoTシステム技術検定は、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)が主催し、新ビジネス推進やIoTで活躍が期待されている方々を対象とした資格制度です。IoTシステム構築・活用に関する知識を中心に、その習熟度を検定することで、IoTシステムに関係する技術者の対応力向上を目的としています。IT/ICT業界はもとより、環境エネルギー、運輸交通、製造業、農業、医療ヘルスケアなどIoTシステムに関連するあらゆる分野の技術者にお薦めの検定です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/iot/index.html>



自習テキスト
自音音による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発

Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

● イベント駆動型システム開発を行いたい方

New

IOJ010 レクチャ

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門
-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による開発事例を解説-

0.5日間

New

IOJ009 マシン実習

IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践
-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション/システム開発を体験-

2日間

● デジタルビジネスで活用する技術を知りたい方

New

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8時間

● IoTビジネスの企画にあたり、まず着想したい方

New

IOJ006 グループ演習

IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする-

1日間

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

IOJ001 IoT

IoT概説

0.5日間

IoTの全体像を理解します。

到達目標

- IoTとは何かを理解することができる。
- IoTのシステム構成を理解することができる。
- 各社のIoTの動向を理解することができる。
- IoTの技術的なポイントを理解することができる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- IoTとは
- IoTシステムと関連技術
- IoT技術動向
- 各社の動向

備考 このコースは、9:00~12:00の開催とさせていただきます。

IOJ002 IoT

IoT技術解説 セキュリティ編

0.5日間

IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。

到達目標

- IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
- IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
- IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- IoTシステムでのセキュリティの重要性
- IoTシステムでのセキュリティの考え方や適用事例
- IoTシステムでのセキュリティ技術解説

備考

- このコースの開催時間は以下の通りです。
【東京(大森)地区】
5/16 13:00~15:30
7/ 6 9:30~12:00
8/22 13:00~15:30
【大阪地区】
8/24 13:00~15:30
【名古屋地区】
7/ 3 13:00~15:30
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ003 IoT

IoT技術解説 無線ネットワーク編

0.5日間

IoTシステムでのネットワークについて、種類、特徴、システム構成を学習します。

到達目標

- IoTネットワークの基礎知識(無線LAN、キャリア系)を理解できる。
- IoTシステムで使用されるネットワークの種類、構成を理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 無線ネットワーク基礎知識
- IoTで使用されるネットワークの種類と構成
 - キャリア系、無線LAN、LPWA(Low Power Wide Area)
 - ZigBee、Bluetooth、Wi-SUNなど
 - MQTT、CoAP
- IoTネットワークのセキュリティ
- その他
関連法令、ISMバンドなど

備考

- このコースは、9:30~12:00の開催とさせていただきます
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ007 IoT

IoT技術解説 センサ編

0.5日間

IoTシステム全体の中での詳細動作を解説し、センサをブラックボックスとして扱えるようにする。また、センサの適用事例を学習することで、OTの適用能力を向上させる。

到達目標 センサを使用したIoTシステムを設計できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- センサの基本知識
 - センサの種類
 - センサの実装(システム構成例)
 - センサの動作概要
- IoTシステムでの適用事例
 - 適用事例(農業・交通など)
 - 今後のセンサ

備考 このコースの開催時間は以下の通りです。
【東京(大森)地区】
5/16 9:00~12:00
7/ 9 9:00~12:00
【大阪地区】
6/14 13:00~16:00

IOJ008 IoT

「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座

1日間

IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」「座学」「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識(考え方・用語)を紹介します。なお、このコースは「MCPC主催 IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標

- 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」に合格する。
- IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者 IoT基礎知識の保有を認定する「IoTシステム技術検定(基礎検定)」の合格をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- デモンストレーション(IoTデバイスなど)
- 技術ポイント解説
 - IoTシステム構築
 - センサ・アクチュエータ
 - IoTデータ活用(ビッグデータ・AI)
 - IoTセキュリティ
 - IoTシステムプロトタイプング
- 模擬試験

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- テキストとして、IoT技術テキスト 基礎編【MCPC IoTシステム技術検定基礎対応】公式ガイドを配布します。(受講料に含まれます)

IOJ004 IoT

「IoTシステム技術検定」対策講座

2日間

検定出題分野における技術力の向上と試験対策を学習します。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定(中級)」に合格できる技術力を修得する。

対象者 「IoTシステム技術検定(中級)」の合格をめざす方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- 試験の概要
- IoTシステム構築と構築技術
 - IoTシステムアーキテクチャ
 - IoTサービスプラットフォーム
- センサ/アクチュエータと通信方式
 - IoTデバイス
 - ネットワーク
 - プロトコル
- AI分析とデータ活用
 - ビッグデータ分析技術
 - IoTデータ活用事例
- セキュリティ対策とプライバシー保護
 - セキュリティ対策
 - 情報セキュリティと法制度
- IoTのプロトタイプング
 - プロトタイプング

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDMII |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

IOJ005 IoT

実践！Node-REDによるIoTシステムの実装 - Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断、保守まで

1日間

ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学びます。IoTシステムのエンジニアとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ収集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。

到達目標

- IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。
- Node-RED上で簡単なフローを作成できる。
- Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。

対象者

Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。

前提知識

Windowsの操作ができること。

内容

- 全体概要
 - Lumadaにおける位置づけ
 - Node-REDの概要
- Node-REDとRaspberry PiによるIoTシステムのデモ
- Node-REDによるIoTシステムの実装
 - はじめてのNode-RED
 - ノードの紹介
 - フローの作成
 - 独自ノードの作成
- Node-REDとRaspberry Piの連携
 - Raspberry Piとは
 - センサを用いたRaspberry Piによるデータ収集
- 演習
 - 異常の診断、通知機能の実装
 - 稼働時間の可視化
 - 週次レポートの作成
 - その他の機能追加(オプション)

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ010 IoT

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 - Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして

0.5日間

分散処理に対応したイベント駆動型システムで何が出来るのかを理解し、IoTの大量データを高速で柔軟に分析するための開発や運用の概要を学習します。HAF/EDC(※)の活用により、如何に効率よくイベント駆動型システムが開発できるかを学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。

到達目標

- 分散処理に対応したイベント駆動型システムの概要や効果を説明できる。
- HAF/EDCを用いたシステム開発の概要を説明できる。

対象者

イベント駆動型システムの開発に携わる方。

前提知識

システム開発に関する基礎知識をお持ちのこと。

内容

- イベント駆動型システムとは
 - イベント駆動型システムが求められる背景
 - イベント駆動型システムの特徴
- HAF/EDCを用いたシステムの一例(産業機器の故障予知診断のデモ)
- 核となるHAF/EDCエンジン
 - HAF/EDCの全体像
 - 分散処理基盤の概要
 - イベント処理制御機能の概要
 - HAF/EDCのまとめ
- HAF/EDCの開発・運用支援環境
 - 高い生産性を実現する開発フレームワーク
 - 設計・実装支援ツールの紹介とデモ
 - 開発支援OSS群の活用

備考

- このコースは、13:00~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ009 IoT

IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 - Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション、システム開発演習を通して

2日間

LumadaのコアテクノロジーであるHAF/EDC(※)を用いた、イベント駆動型アプリケーション開発およびIoTシステム開発の概要を紹介いたします。さらにHAF/EDCの導入方法や、HAF/EDCが提供する開発フレームワークを活用した設計・実装のポイントをマシン演習を通して学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。

到達目標

- イベント駆動型のアプリケーションの設計や実装ができる。
- HAF/EDCを活用したIoTシステム開発の設計や実装ができる。

対象者

HAF/EDCの利用を検討されている方。HAF/EDCを用いたアプリケーションやIoTシステムを開発される方。

前提知識

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門]コースを修了しているか、同等の知識をお持ちのこと。

内容

- HAF/EDCの概要
 - HAF/EDCとは
 - 分散処理
 - イベント処理
 - 開発フレームワーク
- HAF/EDCの導入
 - 前提環境の準備
 - HAF/EDCのインストール
 - HAF/EDCのセットアップと環境構築の勘所
- HAF/EDCによるアプリケーション開発演習
 - イベント駆動型アプリケーションの開発概要
 - アダプタの設計・実装
 - メッセージプロセッサの設計・実装
 - ディスプレイの設定
 - サンプルアプリケーションの設計・実装
- IoT共通フレームワークによるIoTシステム開発
 - IoT共通フレームワークを使ったデータ処理
 - 格納機能
 - 分析連携機能
 - 参照機能
- IoT共通フレームワークによるシステム開発演習
 - 演習題材
 - データレイクへのデータ格納
 - データレイクからのデータ抽出
 - 分析エンジンとの連携
 - 分析結果の登録
 - OSSを活用した分析結果の可視化
 - 演習題材のエンハンス

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOE001 IoT

<eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説

平均8時間

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案される方に必要となるIT技術の概要を学習します。

到達目標

- 各ビジネス領域でIT化を実現するためにどのようなIT技術が活用されているかを説明できる。
- ビジネスに活用される主なIT技術を説明できる。
- IT化を実現するための体制、プロセス、提供モデルが説明できる。

対象者

- 業務にITを活用する方。
- ITを活用したビジネスを企画・提案する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- IT活用の変遷とビジネスへのかかわり
 - ITとは何か
 - ソリューションの変遷
- 各種ビジネス領域で活用されるIT
 - ITシステムのアーキテクチャ
 - IoT
 - クラウドコンピューティング
 - ビッグデータ
 - AI, BI
 - セキュリティ
- 提供形態
 - ソリューション
 - 提供形態
 - サービス
- 提供プロセス
 - 開発プロセス
 - デジタルソリューション開発プロセス
 - PoC
 - アジャイル開発
- まとめ
 - 技術の整理

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

IOJ006 IoT

IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする

1日間

さまざまなモノやモノがインターネットを介してつながる「IoT(Internet of Things)」。IoTは、私たちの生活やビジネスを大きく変えるポテンシャルを秘めています。このコースでは、産業、商業、公共、社会インフラに対するIoTシステムの適用に焦点を当てながら、想定する領域における課題(望ましい成果とその成果を阻む障害や制約)をプロセスから発見し、その課題を解決するために、ヒト、モノ、データを適切に結び付けていくためのIoTサービスデザインのラフデザインを行います。また、成果を定量的に把握するための、IoTソリューション導入によるROI算定に必要な要素までを明確にしていきます。学習の進め方として、一方的なレクチャーではなく、さまざまな可視化ツールを活用することによって、グループワークにおける参加者の議論を活性化するとともに、プレゼンテーションによる参加者間の情報共有を図ります。

到達目標

- IoTビジネスの素案となる一枚絵とそのレビューのポイントを持ち帰り、自部署での検討が進めやすくなる。具体的には、
 - 対象とした領域(産業、商業、公共、社会インフラ)のプロセスから、課題・仮説を整理できる
 - 上記プロセスに関連するヒト、モノ、データを洗い出せる
 - 重要な課題を解決するサービスデザインのスケッチ方法を体験できる
 - ROI推定に必要な要素を整理できる

対象者

IoTビジネスに携わるすべての方(事業企画者、エンジニア、サービス担当者、マーケティング担当者、オペレーション担当者など)、ビジネスモデルの一枚絵をどう描き、投資対効果をどう見積り、内外のリソースを使った実現計画をどう立てるか、その進め方・考え方に悩みの方。

前提知識

- IoT・ビジネスモデルキャンパスに関する基礎的な知識(インターネット上の情報収集レベル)を持っていることが望ましい。
- 自分がターゲットとする領域(産業、商業、公共、社会インフラのいずれか)に関する基礎知識があることが望ましい。

内容

- ビジネスモデルを考えるうえで必要な要素(ビジネスモデルキャンパス)
- IoTの4つの潜在能力を理解する
- IoTの4つの柱を理解する
- 対象とするプロセス内の課題を整理する(IoTジョブマップ)
- 課題解決のためにヒト、モノ、データを結び付ける(IoTトライアングル)
- データを知性に変換する(IoTピラミッド)
- ROI算定の基礎を生成する

備考

- このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ビッグデータ

ビッグデータの有益性や既存技術との違いを理解し、ITプラットフォーム技術や分析技術が修得できます。

● ビッグデータとは何か?や既存技術との違いを理解し、関連するIT技術/分析技術の概要を修得したい方

DBJ081 レクチャ

ビッグデータ概説

初心者にオススメ 0.5 日間

または

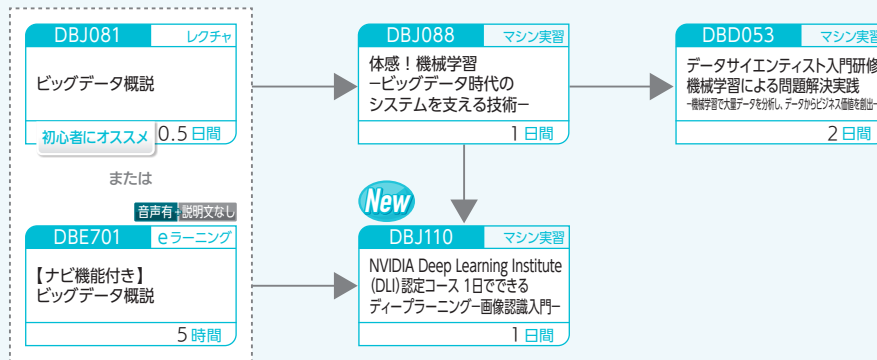
音声有 説明文なし

DBE701 eラーニング

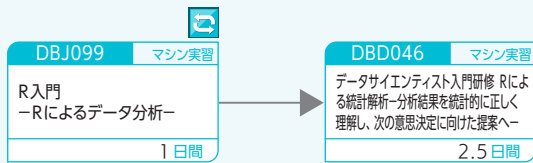
【ナビ機能付き】
ビッグデータ概説

5 時間

● 機械学習・ディープラーニング技術を利用し、データを活用したシステムの提案をする方



● データ分析向けプログラミング言語「R」を修得したい方



📺 : 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。

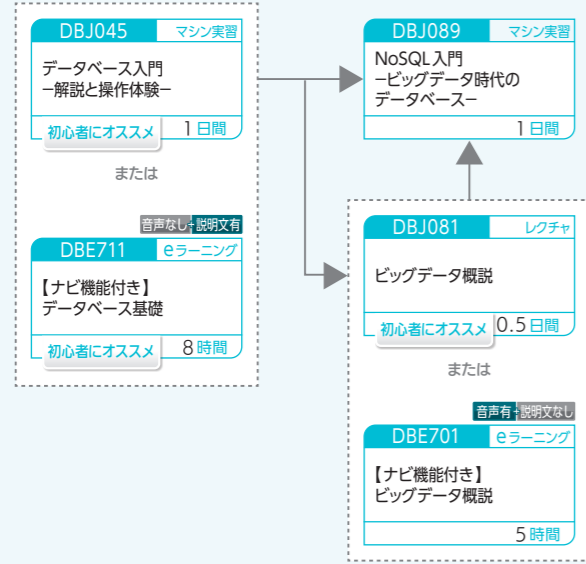
過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋シグイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし + 説明文なし** : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

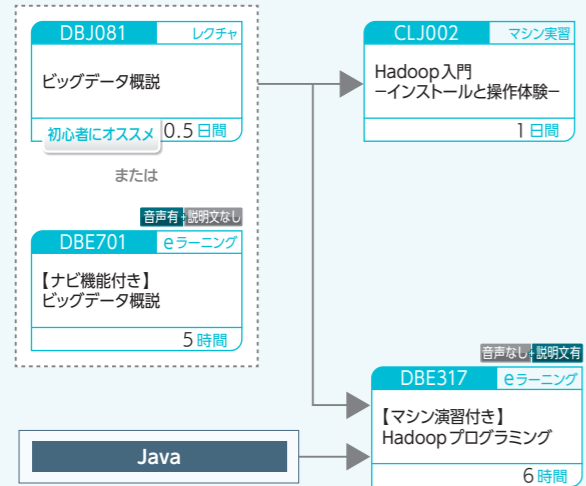
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- UNIX / Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画 / システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション 開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向 / UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

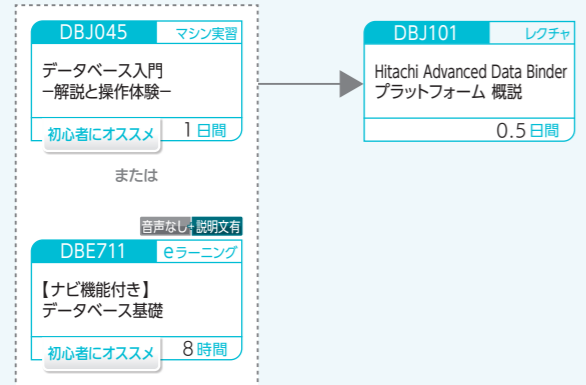
● NoSQLを使用したシステムを設計・開発する方



● Hadoopを使用したシステムを設計・開発する方



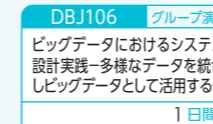
● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



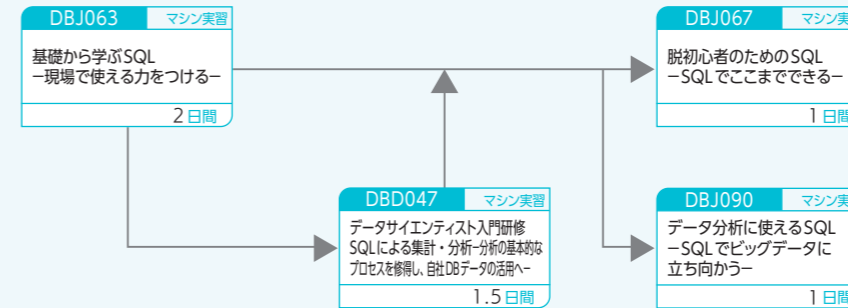
● データウェアハウスの概要や設計技術を修得したい方



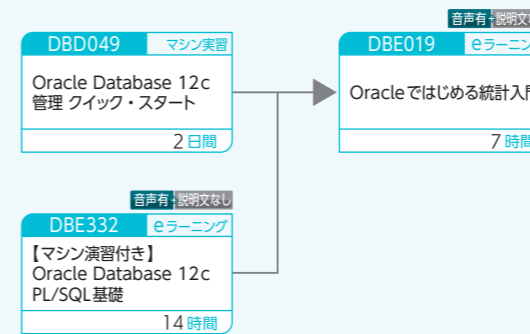
● 様々な技術を組み合わせ、データを活用するシステムの構成を設計する方



● ビッグデータの分析に役立つSQLを修得したい方



● Oracleを使用してデータ分析をしたい方



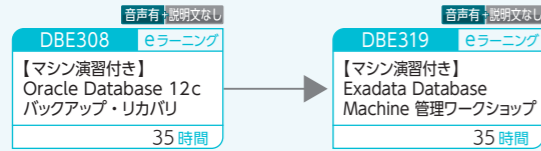
音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

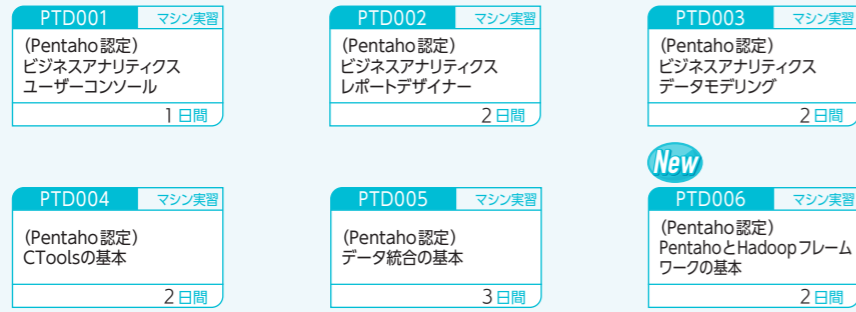
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

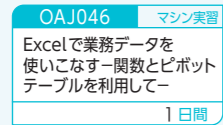
● Oracle Exadataを使用したシステムを管理・運用する方



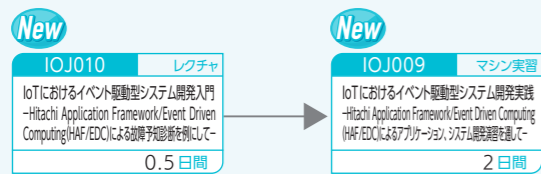
● Pentahoソフトウェアを使用してデータ分析をしたい方



● Excelを使用してデータ活用したい方



● Hitachi Application Framework/Event Driven Computingを使用したシステムを設計・開発する方



DBJ081 ビッグデータ

ビッグデータ概説

0.5日間

ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標

- ビッグデータの概要を説明できる。
- ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ビッグデータの活用方法を説明できる。

対象者

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ビッグデータ概要
 - ビッグデータで何ができるのか
 - ビッグデータとは
 - なぜ、ビッグデータが注目されているのか
- ビッグデータ関連技術
 - 並列・分散処理
 - NoSQL
 - ストリームデータ処理
 - 超高速データベースエンジン
- データの活用〜データ分析〜
 - データマイニング
 - 機械学習
- ビッグデータに求められる人材
 - ビッグデータに求められるスキル
 - 企業における取り組み

備考

- このコースは、13：00～17：20の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBE701 ビッグデータ

<eラーニング>【ナビ機能付き】ビッグデータ概説

平均55分間

ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標

- ビッグデータの概要を説明できる。
- ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ビッグデータの活用方法を説明できる。

対象者

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ビッグデータ概要
 - ビッグデータで何ができるのか
 - ビッグデータとは
 - なぜ、ビッグデータが注目されているのか
- ビッグデータ関連技術
 - 並列・分散処理
 - NoSQL
 - ストリームデータ処理
 - 超高速データベースエンジン
- データの活用〜データ分析〜
 - データマイニング
 - 機械学習
- ビッグデータに求められる人材
 - ビッグデータに求められるスキル
 - 企業における取り組み
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ089 ビッグデータ

NoSQL入門

〜ビッグデータ時代のデータベース〜

1日間

NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- NoSQLのデータモデルを説明できる。
- さまざまなNoSQL製品の特長を説明できる。

対象者

これからNoSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方。

前提知識

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- NoSQLの概要
- データモデル
- データ分散
- NoSQL製品の紹介

備考

- このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ088 ビッグデータ

体感! 機械学習

〜ビッグデータ時代のシステムを支える技術〜

1日間

ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースでは、データ活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。

到達目標

- 機械学習の概要が説明できる。
- ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。

対象者

ビッグデータ関連事業に携わる方。

前提知識

基本的なプログラムの文法(言語は問いません)を理解しており、かつ「ビッグデータ概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 機械学習の概要
 - 機械学習とは
 - 機械学習の種類
 - 機械学習のプロセス
 - ビッグデータにおける機械学習の位置づけ
 - 機械学習とデータマイニング
- 分析ツールを利用した機械学習
 - Rの概要
 - 事例1 最適化
 - 事例2 異常検知
 - 事例3 数値予測
 - 精度の確認
- 機械学習の実装

備考

このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ110 ビッグデータ

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日でできる

ディープラーニング-画像認識入門-

1日間

ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLI のGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。ディープラーニングの基礎から精度向上のテクニックまでを紹介いたします。

到達目標

- ディープラーニングによるモデル構築の一連の流れを具体的に説明できる。
- CaffeとNVIDIA DIGITSを利用した画像認識の学習プロセスの概略を説明できる。

対象者

人工知能のブーム到来を受けて興味はあるが、ディープラーニングの適用イメージ、構築イメージが分からないITエンジニア(若手・中堅)の方。これからデータ活用案件において、ディープラーニング利用を要望されており、初歩・中級レベルで理解したい、使えるようにしたい方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ディープラーニング概論
 - ディープラーニングとは
 - ディープラーニングによる恩恵
 - ディープラーニングの適用領域
- ニューラルネットワーク
 - ニューラルネットワークとは
 - ディープラーニングにおける学習プロセス
 - 学習プロセスでの様々なテクニック
- 畳み込みニューラルネットワーク
 - 畳み込みニューラルネットワークとは
 - 畳み込み層
 - プーリング層
- ディープラーニング学習システム
 - DIGITS
 - Caffe
- ハンズオン
 - DIGITSによる画像分類

備考

このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

DBE317 ビッグデータ

<eラーニング>【マシン演習付き】Hadoopプログラミング

平均65分間

Hadoopの基本機能とHadoop MapReduceのプログラミング手順を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- 大量データ処理の誕生背景や特徴を説明できる。
- JavaによるHadoop MapReduceプログラムを作成できる。
- Pig、Hiveなど簡易開発ツールを利用することができる。

対象者

これからHadoop MapReduceプログラムを開発する方。「Javaプログラミング 2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

前提知識

特に必要としません。


内容


- Hadoop概要
- MapReduce概要
- MapReduceプログラミング
- Hadoop関連情報
- 修了試験


備考


- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「Hadoopプログラミング」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| | |
|--|--|
| DBJ106 | ビッグデータ |
|  | ビッグデータにおけるシステム設計実践 ―多様なデータを統合し ビッグデータとして活用する― |
| 1日間 | |
| ITアーキテクトに必要な要素技術の全体像と、ビッグデータシステムに必要なシステム設計やデータの登録方法およびデータ設計をグループディスカッションを通して修得します。 | |
| 到達目標 | ・システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。 ・ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。 ・ビッグデータシステムへのデータの登録方法やクレンジング方法が説明できる。 |
| 対象者 | ・若手ITエンジニア職の方・基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方 ・分析に適したデータ設計をする方。 |
| 前提知識 | ・データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。 ・基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. システムの全体像と課題 (1) 実現するサービス (2) データの種類・形式 (3) 課題 2. 利用する技術要素の概要 (1) データベース (2) ネットワーク (3) ETL (4) 分散処理 |
| 備考 | このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |


| | |
|---|--|
| DBJ099 | ビッグデータ |
|  | R入門 ―Rによるデータ分析― |
| 1日間 | |
| OSSの統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRのインストール、基本操作を学習します。 | |
| 到達目標 | ・Rの基本文法を修得し、基本的なデータ操作や、代表値(平均値、標準偏差など)を求めることができる。 ・Rを用いてデータを適切な図表で表現できる。 ・Rを用いて各種分析手法を用いることができる。 |
| 対象者 | データ分析におけるRの操作方法を学びたい方。 |
| 前提知識 | 「データ分析手法の理論と適用―ビジネスにおける統計的手法活用の広がり―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. Rの概要 2. Rによるデータ操作の基礎 3. Rによるデータ分析 (1) 重回帰分析 (2) ロジスティック回帰分析 (3) クラスター分析 |
| 備考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |


| | |
|--|---|
| DBD046 | ビッグデータ |
|  | データサイエンティスト入門研修 Rによる統計解析―分析結果を統計的に 正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ― |
| 2.5日間 | |
| 分析結果を統計的に正しく理解し、適切な意思決定支援を行うために必要なスキルを、ケーススタディを通じて学習します。分析の各プロセスに従いながら、モデル作成や評価の基本的な流れをRを通して実践的に学習します。 | |
| 到達目標 | ・検定などを用いて効果測定ができる (e.g. A/Bテスト、メールCTR比較)。 ・分析・効果測定の結果を統計的に正しく理解できる。 ・分析結果から意思決定に向けた施策提案ができる。 ・予測や分類など高度な解析手法の使い方がわかる (e.g. 回帰クラスタ分析)。 |
| 対象者 | 分析結果を統計的に正しく理解したい方、分析を活用して適切な意思決定支援をしたい方。 |
| 前提知識 | Rのインストールができること。さらに、高校数学程度(行列・ベクトルの概念、Σの意味など)があり、かつ「定量分析のスキル―問題解決の精度を高める―」および「データサイエンティスト入門研修 SQLによる集計・分析―分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 基礎知識の習得 (1) 分析のプロセス、基本統計量とデータの可視化 2. 統計・分析手法の基本と活用 (1) 確率分布、統計的仮説検定 (2) モデル作成と評価(回帰分析と結果の見方、予測精度の評価) (3) 他手法とパッケージの説明(クラスタ、連関規則、時系列解析) 3. 総合演習(新規事業担当者として、スマホアプリの欠損や不整合を含む実データ分析から、小売店の販促施策の提案を作成) (1) 集計、統計量算出による現状把握～仮説構築、分析課題設定 (2) モデル作成/評価―モデルの結果から、提案作成 (3) 中間/最終発表～発表/講師フィードバック/ディスカッション |
| 備考 | ・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更される場合があります。 ・このコースは、初日は14：00～18：00、2日目以降は9：00～18：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |


| | |
|---|--|
| PTD001 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール |
| 1日間 | |
| ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。 | |
| 到達目標 | インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。 |
| 対象者 | ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. インタラクティブレポートの主な機能と実習 2. アナライザの主な機能と実習 3. レポートデザイナーの主な機能と実習 4. ダッシュボードデザイナーの主な機能と実習 |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |


| | |
|---|--|
| PTD002 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー |
| 2日間 | |
| Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデータ分析要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。 | |
| 到達目標 | ・レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。 ・データソースに接続してクエリ―デザインツールによりレポートのためのクエリ―が書ける。 ・さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。 ・レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。 ・ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。 ・レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。 ・レポート内でリソースファイルを使うことができる。 ・レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。 |
| 対象者 | ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. レポートデザイナーの主な機能と実習 2. クエリ―デザインツール 3. 条件フォーマットの適用 4. ハイパーリンクとパラメーターの追加 5. チャートとサブレポート |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |


| | |
|---|--|
| PTD003 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング |
| 2日間 | |
| Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザで使用するデータモデルの作成を行います。 | |
| 到達目標 | ・データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成する。 ・Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定するためのビジネス言語定義が行える。 ・OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリングを説明できる。 ・Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。 ・Pentahoアナライザの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチのルールを使うことができる。 ・ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。 ・スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリ―を書ける。 ・Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのルールを使うか説明できる。 |
| 対象者 | ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. データモデル構築 2. CSVファイルからデータモデルの作成 3. Pentahoメタデータエディターによるビジネス言語定義 4. OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリング 5. Mondrianスキーマの機能と目的 6. スキーマワークベンチ |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |


| | |
|---|---|
| DBD047 | ビッグデータ |
|  | データサイエンティスト入門研修 SQLによる集計・分析―分析の基本的な プロセスを修得し、自社DBデータの活用へ― |
| 1.5日間 | |
| 分析の設計(指標やKPI、クロス集計の集計軸の考え方など)や、分析の際のデータハンドリング方法など、一連のデータ分析のプロセスを実例の紹介、実データベースの演習を通して、実践的に学習します。 | |
| 到達目標 | ・SQLを用いて大量データのハンドリングができる。 ・問題解決のための分析設計(集計軸の設計)ができる。 ・自社DB上のデータに対し集計・分析ができる。 ・集計・分析を通して、データに基づく改善提案ができる。 |
| 対象者 | データ分析のプロセスの知識を実践に結び付けたい方、DB上の自社データを活用したい方。 |
| 前提知識 | Excelでのピボットテーブル操作、またはAccessの利用経験があり、「定量分析のスキル―問題解決の精度を高める―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 分析の基本 (1) 分析とは?/基本的な分析プロセス 2. 分析とDB、SQL (1) Database/SQLとは? (2) 検索操作の基本 3. 分析視点でのSQL演習 (1) 分析プロセスのおさらい (2) 推移/利用/属性別集計 4. 総合演習(新規事業担当のビジネスケーススタディ) (1) 分析設計―現状把握と課題抽出 (2) 中間発表～課題の要因探索―改善提案作成 (3) 最終発表～発表/ディスカッション/まとめ |
| 備考 | ・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、実事例をもとに開発したケーススタディによる演習が中心です。データも、スマホアプリの実データ(欠損や不整合を含む)を利用します。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更される場合があります。 ・このコースは、初日は14：00～18：00、2日目は9：00～18：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| | |
|---|---|
| DBD053 | ビッグデータ |
|  | データサイエンティスト入門研修 機械学習による問題解決実践―機械学習で 大量データを分析し、データからビジネス価値を創出― |
| 2日間 | |
| ログ、センサー、ソーシャルなどの大量データの分析に有効な機械学習について、ケーススタディを通して学習します。SVM、ベイズ推定などの手法を用いて、機械学習によるビジネス課題解決のアプローチを実践的に学習します。 | |
| 到達目標 | ・機械学習の概念を理解し、ビジネス課題への適用方法がわかる。 ・モデルの解釈と、チューニングが理解できる(SVM、ベイズ推定/MCMCなど)。 ・オープンソース(R、JAGS)による機械学習の実装ができる。 |
| 対象者 | 大量データの分析に機械学習を活用し、ビジネスで成果を出したい方。 |
| 前提知識 | 高校数学程度(行列・ベクトルの概念、Σの意味など)の知識があり、「データサイエンティスト入門研修 Rによる統計解析―分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 分析のプロセス/機械学習入門 (1) 機械学習の流れ、アルゴリズムの種類 2. サポートベクトルマシン (1) カーネル法、実践SVM、交差妥当性 3. 解の推定 (1) ベイズ推定、マルコフ連鎖モンテカルロ法、収束判定 4. 機械学習の応用(モデリング) (1) 選択モデルの考え方 (2) RとJAGSの使い方、MCMCによる分析、結果の見方 5. 総合演習(新規事業担当者として、欠損や不整合を含むスマホアプリの実データの分析から、予測モデルを作成し、提案作成) (1) 集計、統計量算出による現状把握～仮説構築、分析課題設定 (2) モデル作成/評価―評価―モデルの結果から、提案作成 (3) 中間/最終発表～発表/講師フィードバック/ディスカッション |
| 備考 | ・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。 ・このコースは、9：00～18：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承の程、よろしくお願いたします。 |

| | |
|---|--|
| DBD056 | ビッグデータ |
|  | ソリューション別研修 統計・分析のためのデータ加工入門 |
| 1日間 | |
| ・統計・データ分析の基礎となる外部データの入出力、統合、集計、分析までの基本的な処理方法を学んでいきます。 ・分析手法の検討や結果分析に長い時間を確保するために、分析前の加工処理の迅速化を学びます。 ・より精度の高い分析を実現するために、データ加工の基礎技術を身につけます。 | |
| 到達目標 | ・データのインポートから加工までのデータハンドリングができる。 ・不揃いなデータを分析実務で使えるよう加工できる。 ・簡便な分析の設計ができる。 ・統計関数の使用方法、分析結果の読み方を修得できる。 |
| 対象者 | 大量データの分析のため、データのハンドリングや加工技術など前処理を迅速に行いたい方。 |
| 前提知識 | Excel等の集計ソフトの利用経験があること。 |
| 内容 | 1. ローデータの入出力 (1) CSV、Excel形式データの入出力 2. データ加工の基礎 (1) データ抽出/項目作成/割り当て、IF、ELSE文/検索/データの並べ替えと結合 3. SAS言語の基礎 (1) 基礎文法/データセットの管理 4. 度数の集計と関連分析 (1) カテゴリカル変数の度数集計および2変数間の関連性の分析 |
| 備考 | ・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースでは、分析環境としてWPS Softwareを使用します。WPS Softwareは、SAS言語を実行でき、データの加工や集計、レポートニング、統計処理、グラフ処理、データベースアクセス機能など豊富な機能を有し、国内および海外でユーザー数を拡大している英国World Programming社製のソフトウェアです。 ・WPS SoftwareおよびSAS言語の使用経験がなくても、基本操作から実施するため受講が可能ですが、このコースは、9：00～18：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| | |
|---|---|
| PTD004 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) CToolsの基本 |
| 2日間 | |
| リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。 | |
| 到達目標 | ・ダッシュボードデザインのためのトップ・ボトムアプローチが説明できる。 ・DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。 ・コアのCTools(CDA、CDE、CCC)が使って、その目的が説明できる。 ・CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。 ・CToolsトレーニング環境が説明できる。 ・CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。 ・CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。 ・CDEデータソースパースペクティブが説明できる。 ・Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。 ・CCCとCCC2が説明できる。 ・チャートや表がダッシュボードに追加できる。 ・チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。 ・パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。 ・セククターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。 |
| 対象者 | ビジネスアナリストをめざす方、 |
| 前提知識 | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクスコースを修了しているか、同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. ダッシュボードフレームワーク 2. CTools 3. Mondrianデータソース 4. CCCとCCC2 5. チャートカスタマイズ |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |

| | |
|---|--|
| PTD005 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) データ統合の基本 |
| 3日間 | |
| Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。 | |
| 到達目標 | ・ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。 ・データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。 ・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポートリを設定できる。 ・Pentahoエンタープライズレポートリを使用できる。 ・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。 ・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。 ・データ変換の作成が行える。 ・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。 ・パラメータや環境変数を使った繰り返しデータの作成ができる。 ・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。 ・異なるデータソースデータをロードできる。 ・ジョブを作成できる。 ・データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。 ・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。 |
| 対象者 | データアナリストをめざす方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行 2. メトリクスビューやログビュー 3. Pentahoエンタープライズレポートリ 4. エラーハンドリング 5. データベース接続 6. 各種データ変換 7. データ統合 8. ジョブの作成 |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |

| | |
|--|--|
| PTD006 | ビッグデータ |
|  | (Pentaho認定) Pentahoと Hadoopフレームワークの基本 |
| 2日間 | |
| HadoopフレームワークのテクノロジーとPentaho製品によるさまざまなビッグデータのコンソर्टについて紹介し、PentahoがどのようにHadoop関連テクノロジー(HDFS、MapReduce、YARNなど)と連携するかを学習します。 | |
| 到達目標 | ・コマンドラインやPentahoデータ統合から、Hadoopテクノロジーを使用できる。 ・データ変換ジョブ(データの取込み・加工)やデータ処理のベストプラクティスを用いることができる。 ・データアナリストをめざす方。 |
| 対象者 | データアナリストをめざす方。 |
| 前提知識 | 「(Pentaho認定) データ統合の基本」コースを修了しているか、または同等の知識をお持ちのこと。 |
| 内容 | 1. Pentahoとビッグデータ 2. ビッグデータソリューションのアーキテクチャ 3. Hadoop と HDFS 4. Hadoop DATA INGESTION TOOLS 5. MapReduceを使ったときのHadoopのデータプロセス 6. CARTE/YARNを使用したHadoopのデータプロセス 7. DATA PROCESSINGとPIG 8. PDIとOOZIEによるJOB ORCHESTRATION 9. HadoopでSQLを実行するベストプラクティス 10. HBASE概要 11. SPARK概要 12. BIG DATA 13. PDIとAmazon Hadoop |
| 備考 | ・研修で使用するPCは研修会場(株式会社KSKアナリティクス)側で準備いたします。(ご持参不要) ・テキストはトレーニング会場でご提供します。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。 ・トレーニング会場が変更になる場合がございます。その場合は、研修2週間前までにご連絡いたします。 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | |
|---|--------------------------|
|  | マシン演習 マシンを使用しながらの研修 |
|  | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 |
|  | レクチャ 座学による研修 |

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |
|  | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |

| | |
|---|----------------------------|
|  | eラーニング インターネット接続による自己学習 |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |
|  | eラーニング |

| | |
|---|----------------------|
|  | 自習テキスト 自習書による自己学習 |
|  | 休講 今期の定期開催はありません |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド / サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| | |
|---|--------------------------|
| CLJ011 | クラウド / サーバ仮想化 |
|  | Microsoft Azure概説 |
| 1日間 | |

Microsoft Azureの概要およびMicrosoft AzureのPaaS機能、IaaS機能について学習します。マシン実習によりMicrosoft AzureのPaaS、IaaSに対する理解を深めます。なお、演習では、2015年12月から正式提供が開始された新ポータルを使用します。

到達目標

- Microsoft Azureの概要を説明できる。
- 簡単なプログラムを開発しMicrosoft AzureのPaaS機能を利用できる。
- Microsoft AzureのIaaSを利用した仮想マシンを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅・Microsoft Azureを初めて学習する方。

前置知識 「クラウドコンピューティング入門」e-ラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Microsoft Azureの概要
2. Microsoft AzureによるPaaS
3. Microsoft AzureによるIaaS

備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

| | |
|---|--------------------------------------|
| CLJ012 | クラウド / サーバ仮想化 |
|  | Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門 |
| 1日間 | |

Microsoft AzureのWeb Appsやクラウドサービス上に、Webアプリを開発、配置する方法を、マシン実習を通して学習します。また、WebアプリのデータをSQLデータベースやストレージに保存する方法も学習します。

到達目標


- Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を説明できる。
- Microsoft Azure上でWebアプリを動作させるためのサービスの概要を説明できる。
- Microsoft Azure上で動作する簡単なWebアプリを開発できる。
- Microsoft Azure上のSQLデータベースと連携するWebアプリを開発できる。

対象者 Microsoft Azure上で動作するWebアプリを開発したい方。

前置知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. Microsoft Azureで動作するWebアプリの開発概要
2. Web Appsを利用したWebアプリ開発
3. クラウドサービスを使用したWebアプリ開発
4. ストレージサービスの利用
5. SQLデータベースの利用

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります

| | |
|--|-----------------|
| CLJ002 | クラウド / サーバ仮想化 |
|  | Hadoop入門 |
| 1日間 | |

Hadoopの概要、構築作業の実際について学習します。

到達目標

- Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。
- Linux上でHadoopを実装できる。

対象者 クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。

前置知識 「ビッグデータ概説」および「Linuxシステム管理 前編～Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎～」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Hadoopの概要
2. ネットワーク構成(演習)
3. Hadoopの構成(演習)
4. 問題判別
5. HBase演習(オプション)、Spark on YARN演習(オプション)

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます
・HadoopV2.7.x利用

到達目標

- クラウドの事業上の利点、考慮点を理解しお客様にクラウドサービスのコンサルテーションができるようになる。
- ITサービスマネジメントの観点からクラウド・コンピューティングへ移行する場合の検討事項を理解できる。

対象者 クラウドサービスの提案を行うPL/SE/営業の方。

前置知識 「クラウドコンピューティング技術解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. クラウド・コンピューティングの概要
2. 事業上の観点
3. 技術上の観点
4. クラウド・コンピューティングの導入
5. クラウド・コンピューティングの運用
6. クラウド・コンピューティングの管理

備考 ・このコースは、CompTIA社認定コースです。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

| | |
|---|---|
| VMD009 | クラウド / サーバ仮想化 |
|  | VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2] |
| 5日間 | |

VMware NSXのインストール、構築運用の基礎知識を修得します。

到達目標 VMware vSphere環境において、仮想サーバに求められる要件(セキュリティ/可用性)を満たす、ネットワーク仮想化環境を構築できる。

対象者 システムまたはネットワークの上位管理者の方。

前置知識 ・エンタープライズ環境におけるスイッチおよびルーティングについて理解していること。
・TCP/IPルーティングについて理解していること。
・ファイアウォールおよびファイアウォールルールについて理解していること。

内容 1. コースについて
2. Software-Defined Data Center
3. 管理プレーンおよび制御プレーンのコンポーネント
4. 論理スイッチ ネットワーク
5. NSX 論理ルーティング
6. NSX L2 ブリッジ
7. NSX Edge ゲートウェイ サービス
8. NSX のファイアウォールおよびセキュリティ サービス
9. Cross-vCenter VMware NSX

備考 ・このコースは、10：00～18：00の開催とさせていただきます。
・このコースは、VMware社の認定コースです。
・このコースは、VMware社の主催コースで、ウェイムウェア社の研修会場にて開催いたします。
・このコースは、VMware社が提供する電子教材を使用します。

※別途ご案内いたします。

到達目標 VMware vSphere 6.5を使用した仮想環境の構築方法を、マシン実習を通して学習します。

対象者 VMware vSphere 6.5を使用した仮想環境を構築できる。

前置知識 サーバやSANの基礎知識があること。

内容 1. VMware製品概要
2. VMware vSphere環境の構築
3. 仮想マシンの作成
4. VMware vSphereによる仮想化の仕組み
5. 仮想環境ならではの機能
6. リソースの管理と監視
7. ESXiホスト間の負分散
8. VMware vSphereシステムの運用、保守の概要を説明できる。

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースは、VMware社が提供する電子教材を使用します。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

※別途ご案内いたします。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

| | |
|---|---|
| <p>音声なし・説明文有</p> <p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におススメ</p> <p>6時間</p> | <p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 —運用からITサービスへ—</p> <p>1日間</p> |
|---|---|

● ITIL®に関する知識を修得したい方

| |
|---|
| <p>Renewal</p> <p>PDU</p> <p>ITJ012 レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p> |
|---|

● システム開発・運用を担当する方

| | |
|--|--|
| <p>音声なし・説明文有</p> <p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p> | <p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p> |
|--|--|

| | |
|---|---|
| <p>HSJ062 グループ演習</p> <p>事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 —高信頼性システム実現のために—</p> <p>1日間</p> | <p>HSJ018 グループ演習</p> <p>システムトラブルの予防と是正 —ISMS・システム監査の 視点から—</p> <p>2日間</p> |
|---|---|

| | |
|--|--|
| <p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p> | <p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 — Cloud Essentials —</p> <p>2日間</p> |
|--|--|

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



● JP1を使用してシステムを運用管理する方

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <p>JPJ084 マシン実習</p> <p>JP1操作入門 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ085/JPJ085T レクチャ</p> <p>JP1エンジニア機能概説— (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>New</p> <p>音声なし・説明文有</p> <p>JPE015 eラーニング</p> <p>JP1エンジニア機能概説— (Version 11)</p> <p>5時間</p> | <p>JPJ086 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1—システム監視— (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>音声有・説明文なし</p> <p>JPE315 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 —システム監視— (Version 11)</p> <p>16時間</p> |
| <p>JPJ087/JPJ087T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2—システム設定— (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>音声有・説明文なし</p> <p>JPE316 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 —システム設定— (Version 11)</p> <p>16時間</p> | <p>JPJ088/JPJ088T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11)</p> <p>4日間</p> | <p>JPJ089/JPJ089T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>JPJ090 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理1—ジョブ定義・ 監視— (Version 11)</p> <p>2日間</p> |
| <p>音声有・説明文なし</p> <p>JPE313 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 —ジョブ定義・監視— (Version 11)</p> <p>12時間</p> | <p>JPJ091/JPJ091T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・ 運用管理— (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>音声有・説明文なし</p> <p>JPE314 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 —システム設定・運用管理— (Version 11)</p> <p>12時間</p> | <p>JPJ092/JPJ092T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 11)</p> <p>4日間</p> | <p>JPJ102 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—開発編—</p> <p>1日間</p> |
| <p>JPJ103 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—運用編—</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ093 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>JPJ094/JPJ094T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)</p> <p>2日間</p> | <p>JPJ101/JPJ101T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ096 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1— ネットワーク 管理基盤— (Version 11)</p> <p>2日間</p> |
| <p>JPJ097/JPJ097T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2—システム リソース管理— (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ098/JPJ098T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11)</p> <p>3日間</p> | <p>休講</p> <p>JPJ100/JPJ100T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ208/JPJ208T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ209/JPJ209T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> |
| <p>JPJ210 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—システム設計編— (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ211/JPJ211T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—チューニング編— (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ212/JPJ212T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | <p>JPJ213/JPJ213T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p> | |

資格 ITIL®認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library] は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。


詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。


<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/itil/index.html>





コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>


- 日立製品
- JP1
- uCosminexus
Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/
VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/
サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX / Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション
開発
- Web
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/
UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/
ヒューマン
- グローバル


| |
|--|
| ITE701 共通 |
|  <eラーニング> 【ナビ機能付き】運用管理概説 |
| 平均45分間 |
| システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 ・運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。 ・システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。 |
| 対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・これから運用業務に携わる方。 ・システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。 |
| 前置知識 ITの基本用語を知っていること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービスマネジメント概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) サービスとは (2) ITサービスとITシステム 2. 運用管理概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運用管理の目的 (2) 有用性、保証 3. 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安定したサービスを提供するための活動 (2) サービスを安全に変更するための活動 (3) より良いサービスを提供するための活動 4. 修了試験 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。 |

| |
|--|
| ITJ008 共通 |
|  情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー |
| 1日間 |
| システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。 ・ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 |
| 対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・これから情報システムの運用業務に携わる方。 ・システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。 |
| 前置知識 ITの基本的な用語についての知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービスマネジメント概説 <ol style="list-style-type: none"> (1) サービスとITサービス <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスとは ・ ITサービスとは ・ サービスの有用性と保証 (2) ITサービスの管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ ITサービスのライフサイクル 2. 運用管理概説 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運用管理の目的 (2) 運用管理の対象 (3) 運用管理の体制 3. 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安定したITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の活動 ・ 障害発生時の対応 ・ 障害対策 ・ 災害対策 (2) ITサービスを安全に変更するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 変更管理、リリース・展開管理 ・ 資産・構成管理 (3) より良いITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運用改善サイクル、ナレッジ管理 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは、【【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコース(ITE701)と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。 |

| |
|--|
| ITJ009 共通 |
|  IT運用における ヒューマンエラー予防 |
| 1日間 |
| IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生メカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。 ・ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。 ・効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。 ・チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。 |
| 対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダーまたはリーダーになる方。 |
| 前置知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. IT運用の事故・トラブル 2. ヒューマンエラーとは 3. ヒューマンエラーの防止策 |
| 備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| |
|--|
| ITE006 共通 |
|  <eラーニング>SLAにおける サービスレベル設計の基礎 |
| 平均45分間 |
| ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。 ・キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。 |
| 対象者 ITサービスの設計を行う方。 |
| 前置知識 ITIL®の概要、用語の知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービスの設計の概要 2. 可用性管理の設計 3. キャパシティ管理の設計 4. 継続性管理の設計 5. 情報セキュリティの設計 6. 修了試験 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| |
|--|
| ITJ004 ITIL® |
|  システム運用の 現状分析・設計力養成ワークショップ |
| 2日間 |
| システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール(JP1)の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。 ・ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。 |
| 対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。 |
| 前置知識 【【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の項目をご存知のこと。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> (1) サービス改善のアプローチ 2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し <ol style="list-style-type: none"> (1) システムにより提供されるサービスの目的を確認 (2) 現状の運用を確認 3. 運用管理の改善 <ol style="list-style-type: none"> (1) サービスで提供すべきゴール(KPI)を設定 (2) ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準) 4. 改善後の運用設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) ゴールを達成するための運用の設計 (2) ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準) |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、運用ツールとしてJP1製品を活用し、運用業務の設計を行います。 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| |
|--|
| ITJ012 ITIL® |
|  (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付) PDU |
| 3日間 |
| ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:18ポイント)の修得が可能です。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ITサービスマネジメントの中核となる分野と概念を説明できる。 ・組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。 ・ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。 |
| 対象者 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. プラクティスとしてのサービスマネジメント 2. サービスライフサイクル 3. サービスストラテジ 4. サービスデザイン 5. サービスランジョン 6. サービスオペレーション 7. 継続的サービス改善 8. 技術とアーキテクチャ 9. 試験対策 10. 認定試験 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、認定試験[ITIL® Foundation]が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。 ・このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を受験機関に提供いたします。 ・このコースは、9:00~17:30の開催とさせていただきます。 ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

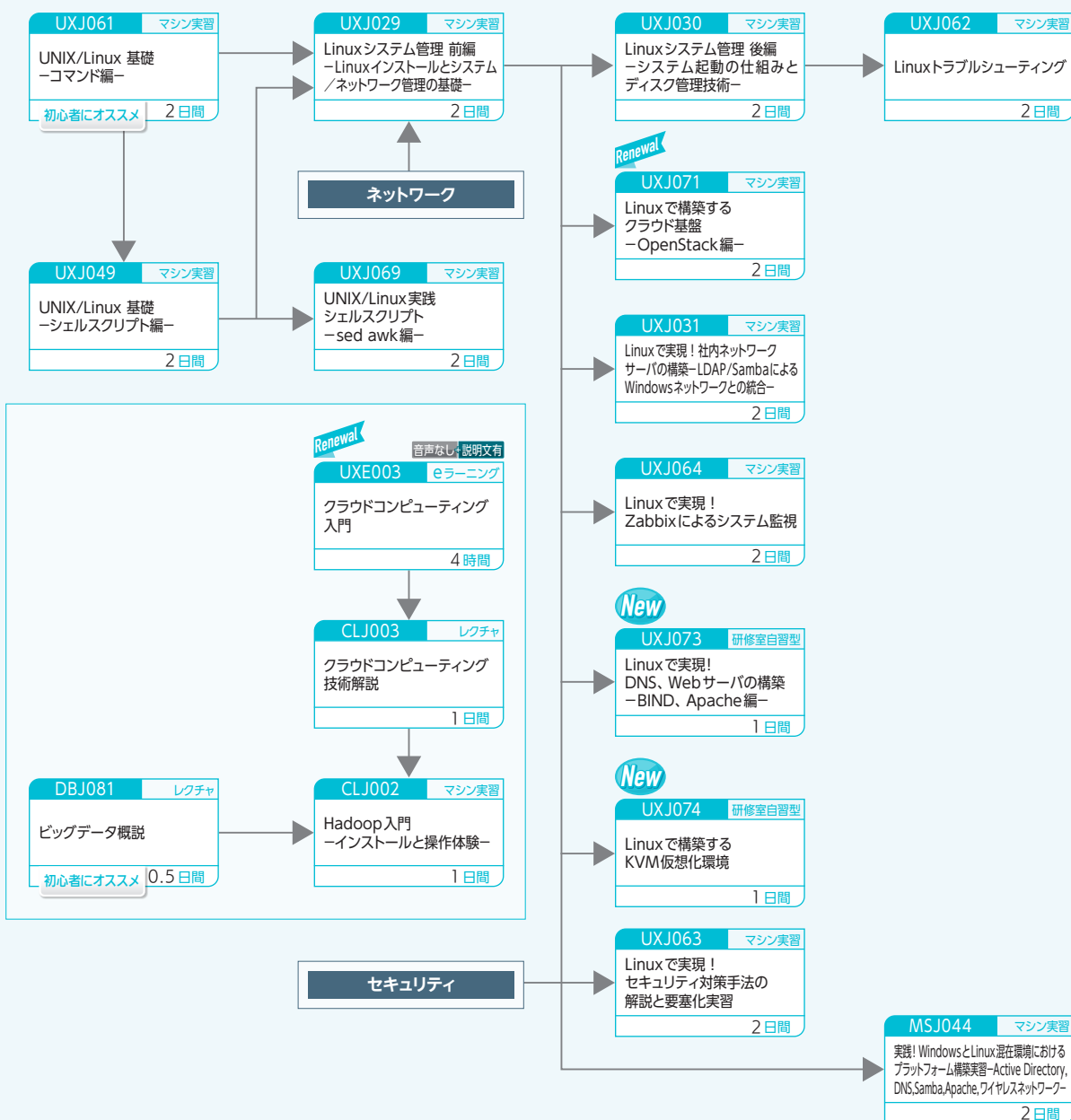
UNIX / Linux

UNIX/Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

| | |
|---|--|
| UXJ061 マシン実習 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- 初心者におすすめ 2日間 | 音声有・説明文有 UXE303 eラーニング 【ナビ機能付き】 【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法 初心者におすすめ 8時間 |
|---|--|

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



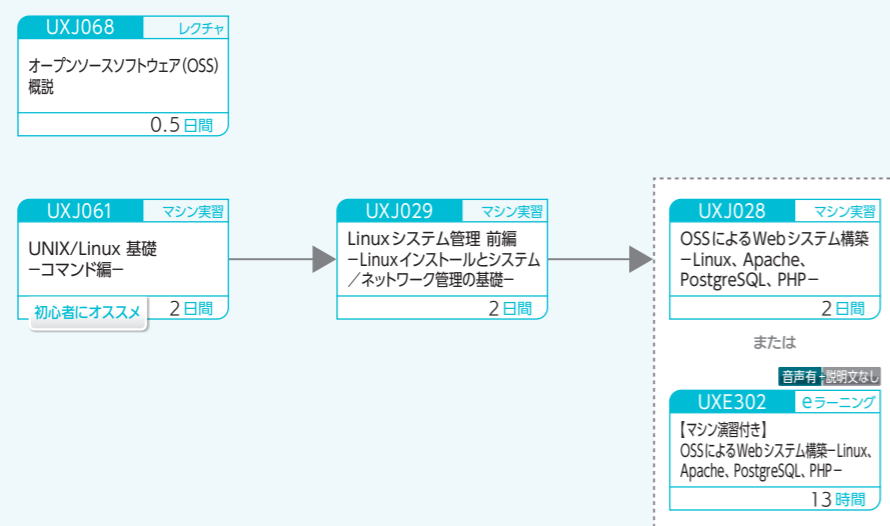
自習テキスト
自音倉による
自己学習

休講

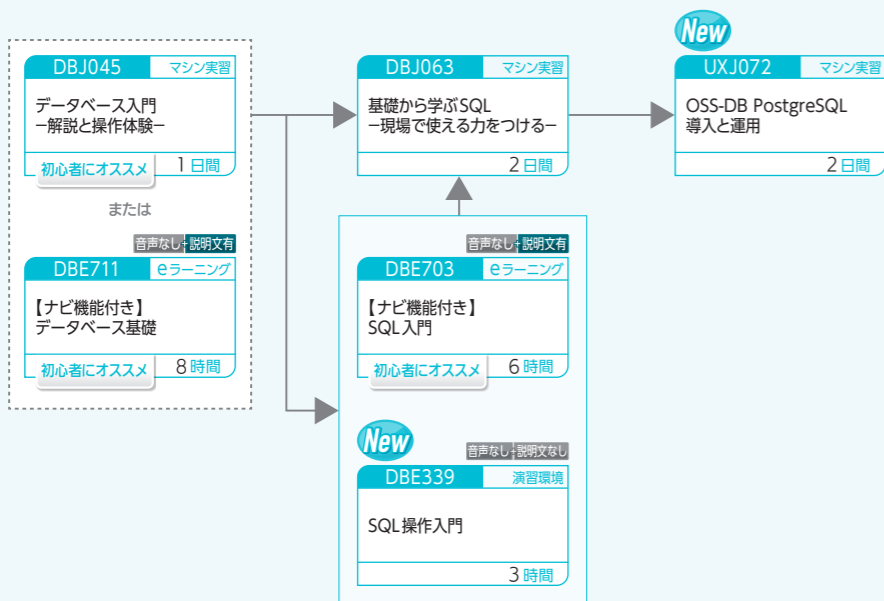
休講
今期の定期開催は
ありません

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus
Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/
VOSK
- XDM/PDMI
- Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/
サーバ仮想化
- IT サービス
マネジメント
- システム基盤
- UNIX / Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション
開発
- Web
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/
UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/
ヒューマン
- グローバル

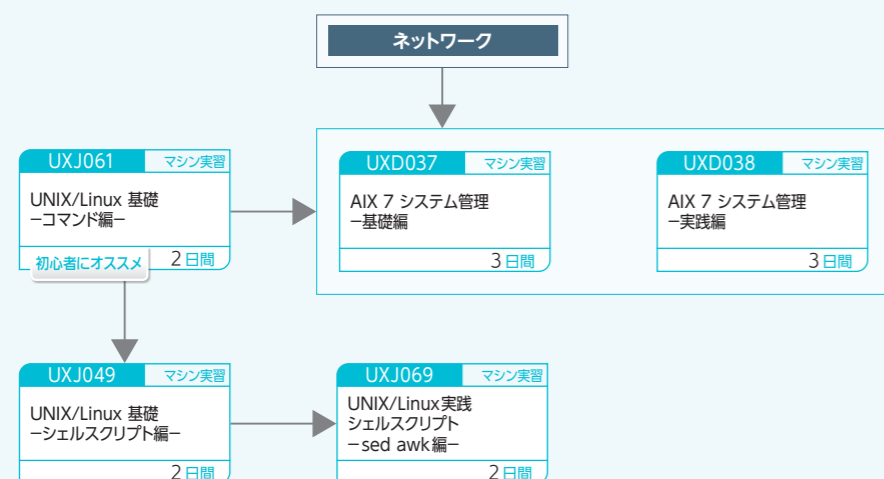
● OSS (オープンソースソフトウェア) を利用する方



● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



● UNIX (AIX) を使用してシステムを運用・管理する方



● LPI資格の取得をめざす方

<LPIレベル1>

【知識修得のための関連コース】

- UXJ061: UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- (2日間)
- UXJ049: UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編- (2日間)
- UXJ029: Linuxシステム管理 前編 (2日間)
- UXJ030: Linuxシステム管理 後編 (2日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ073: Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 (1日間)

<LPIレベル2>

【知識修得のための関連コース】

- UXJ029: Linuxシステム管理 前編 (2日間)
- UXJ030: Linuxシステム管理 後編 (2日間)
- UXJ062: Linuxトラブルシューティング (2日間)
- UXJ073: Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 (1日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ031: Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 (2日間)

<LPIレベル3>


【知識修得のための関連コース】


- UXJ031: Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 (2日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ074: Linuxで構築するKVM仮想化環境 (1日間)


音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし、説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| |
|---|
| UXJ061 共通 |
|  マシン実習 |
| UNIX/Linux 基礎—コマンド編— |
| 2日間 |
| UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| ・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。 |
| 対象者 |
| UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。 |
| 前置知識 |
| コンピュータの基礎知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. 概要 2. コマンドの基本操作 3. ファイルシステム 4. viエディタ 5. シェル 6. 知っておくと便利なシェルの機能 7. ネットワークの利用 |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |


| |
|--|
| UXJ049 共通 |
|  マシン実習 |
| UNIX/Linux 基礎—シェルスクリプト編— |
| 2日間 |
| シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。 |
| 到達目標 |
| ・シェルスクリプトの概要を説明できる。 ・変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。 ・制御文の基本を説明できる。 ・関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。 |
| 対象者 |
| UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。 |
| 前置知識 |
| 「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. シェルとシェルスクリプトの概要 2. パラメータの取り扱い 3. 算術評価と文字列操作 4. 制御文(分岐/繰り返しなど) 5. 関数の利用 6. 実践的なシェルスクリプト |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |


| |
|---|
| UXE303 共通 |
|  eラーニング |
| <eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法 |
| 平均8時間 |
| UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。 |
| 到達目標 |
| ・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。 |
| 対象者 |
| UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。 |
| 前置知識 |
| オペレーティングシステム及びネットワークに関する基本的な知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. UNIX/Linux概要 2. ファイルシステムとコマンド 3. ファイルとディレクトリのパーミッション 4. viエディタ 5. シェルの機能 6. UNIX/Linuxのネットワーク操作 7. 修了試験 |
| 備 考 |
| ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |


| |
|---|
| UXJ062 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxトラブルシューティング |
| 2日間 |
| Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。 |
| 到達目標 |
| ・トラブル発生時の対応手順を説明できる。 ・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。 ・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムを運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. トラブルシューティング概要 (1) トラブルの種類 (2) トラブルシューティングの流れ (3) 情報の収集手段 (4) バックアップとリストア (5) トラブル発生時のLinux起動 2. ブート時のトラブルシューティング (1) ブートの仕組み (2) ブートデバイス関連のトラブルシューティング (3) ブートローダ関連のトラブルシューティング (4) init/systemd関連のトラブルシューティング 3. システム稼働中のトラブルシューティング (1) ログインの仕組み (2) ログイン関連のトラブルシューティング (3) ファイルシステムの仕組み (4) ファイルシステム関連のトラブルシューティング 4. ネットワークのトラブルシューティング (1) ネットワークコマンドと設定ファイル (2) ネットワークトラブルの原因と調査方法 (3) ネットワーク設定関連のトラブルシューティング |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |


| |
|--|
| UXJ073 Linux |
|  研修室自習 |
| <研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築—BIND、Apache編— |
| 1日間 |
| このコースは、BIND環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。マシン実習内容：BIND(DNSサーバ)、Apache(Webサーバ)の構築や各サービスを起動、連携させるためのコマンド操作 |
| 到達目標 |
| ・DNSサーバ、Webサーバ、プロキシサーバの概要を説明できる。 ・BINDを使用してDNSサーバを設定できる。 ・Apacheを使用してWebサーバを設定できる。 ・Squidを使用してプロキシサーバを設定できる。 |
| 対象者 |
| ・実際の職場環境で試すことができない方。 ・演習で慣れた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. Linuxネットワークの基礎 2. DNSサーバの構築 3. Webサーバの構築 4. プロキシサーバの構築 |
| 備 考 |
| ・このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |


| |
|--|
| UXJ063 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と 要憲化実習 |
| 2日間 |
| Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。 |
| 到達目標 |
| ・SSHを利用して、安全な通信ができる。 ・Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。 ・Snortを利用して、IDSを実装できる。 ・Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムを運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策 2. SSHによるセキュアリモートアクセス 3. NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT 4. Snortによる侵入検知 5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |


| |
|---|
| UXJ069 共通 |
|  マシン実習 |
| UNIX/Linux実践シェルスクリプト—sed awk編— |
| 2日間 |
| システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。 |
| 到達目標 |
| ・正規表現が理解できる。 ・sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。 ・実践的なシェルスクリプトを作成できる。 |
| 対象者 |
| ・既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。 ・UNIX/Linuxシステムを管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「UNIX/Linux基礎—シェルスクリプト編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. パターンマッチングと正規表現 (1) シェルの種類とシェルスクリプト (2) 変数による文字列の取り扱い (3) 正規表現 2. sed (1) sedとは (2) sedを用いたテキスト編集 (3) sedの応用的な機能 3. awk (1) awkとは (2) 基本的なawkプログラミング (3) awkの編集処理の流れと制御文 (4) awkの関数 4. 実践的なシェルスクリプトの作成 |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| UXJ029 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎— |
| 2日間 |
| Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。 |
| 到達目標 |
| ・Linuxをインストールできる。 ・Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。 ・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。 ・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」および「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. Linuxシステム管理の基礎 2. Linuxのインストール 3. ネットワークの基本設定とサービス制御 4. ユーザ・グループ管理 5. パッケージ管理 6. ログの取得と管理 7. バックアップとリストア |
| 備 考 |
| ・Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースのご受講を推奨します。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| UXJ030 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術— |
| 2日間 |
| Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。 |
| 到達目標 |
| ・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。 ・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。 ・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムを運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. システムの起動 2. ファイルシステムの作成と管理 (1) ファイルシステムの作成手順 (2) ファイルシステムの修復 (3) ファイルシステムの管理 (4) ファイルシステムの使用量の制限 3. LVM概要と環境構築 4. LVMの管理 (1) LVMの特性変更 (2) LVMの拡張 (3) LVMの縮小 (4) LVMの削除 5. iSCSI (1) ストレージの共有 (2) iSCSIとは (3) iSCSIの設定 (4) iSCSIの冗長化 |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| UXJ031 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築—LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合— |
| 2日間 |
| Linuxシステムを社内ネットワークサーバとして利用するためのサーバ構築方法を学習します。マシン実習では、Samba、LDAP、DHCPのサーバ構築や、Windowsネットワークとの統合環境の構築を体験します。 |
| 到達目標 |
| ・Windowsネットワーク上でLinuxのファイルサーバを構築できる。 ・LDAPを利用して、ユーザ情報を一元管理できる。 ・DHCPを利用して、ネットワーククライアントへIPアドレスを配布できる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムを運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. Linuxネットワークの基礎 2. ネットワークアドレス構成の自動化(DHCP) 3. ディレクトリサーバの構築(LDAP) 4. ユーザ認証の一元管理 5. Windowsとのファイル共有(Samba) 6. Windowsネットワークとの統合 |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| UXJ064 Linux |
|  マシン実習 |
| Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視 |
| 2日間 |
| LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。 |
| 到達目標 |
| ・システム監視でよく使う監視項目について説明できる。 ・Zabbixによる監視システムを実装できる。 |
| 対象者 |
| Linuxシステムを運用・管理する方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. システム監視の概要 2. Zabbixの概要 3. Zabbixのインストールおよび設定 4. 運用監視 |
| 備 考 |
| ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|--|
| UXJ074 Linux |
|  研修室自習 |
| <研修室自習型> Linuxで構築するKVM仮想化環境 |
| 1日間 |
| このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。マシン実習内容：KVMを使用した仮想化環境の構築や運用管理のためのコマンド操作 |
| 到達目標 |
| ・仮想化の仕組みを説明できる。 ・KVMを使用した仮想化環境の構築・運用ができる。 |
| 対象者 |
| ・実際の職場環境で試すことができない方。 ・複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。 ・演習で慣れた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。 |
| 前置知識 |
| 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| 1. 仮想化とは 2. KVMの概要 3. KVMのインストール 4. KVMのネットワーク環境 5. 仮想マシンの作成と編集 6. 仮想NICの追加とVLAN設定 7. 仮想ディスク 8. バックアップとデータ抽出 9. マイグレーション |
| 備 考 |
| ・このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--|
|  マシン実習 |
| マシンを使用し ながらの研修 |
|  グループ演習 |
| グループ演習を 中心とした研修 |
|  レクチャ |
| 座学による 研修 |
|  演習環境 |
| 職場・ご自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 |
|  研修室自習型 |
| 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
|  eラーニング |
| インターネット接続 による自己学習 |

| |
|--|
|  自習テキスト |
| 自習書による 自己学習 |
| 休 講 |
| 休 講 |
| 今期の定期開催は ありません。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

UXE302 OSS <eラーニング>【マシン演習付き】OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-

OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみを使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP
6. 修了試験

備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

UXJ068 OSS オープンソースソフトウェア (OSS) 概説

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標 ・OSSの概要を説明できる。
・OSSの活用方法を説明できる。
・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者 ・OSSの概要を修得したい方。
・OSS関連事業に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備考 ・このコースは、13:00~17:20の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ028 OSS OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-

OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムの導入を検討している方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. オープンソースソフトウェア (OSS) 概要
2. Linuxとは
3. Apache
(1) Apacheのインストール
(2) Apacheの起動
(3) Apacheの設定
4. PostgreSQL
(1) PostgreSQLのアーキテクチャ
(2) PostgreSQLの環境構築
(3) psqlによる基本操作
(4) PostgreSQLの管理
5. PHP
(1) PHPのアーキテクチャ
(2) PHPの処理の流れ
(3) PHPの設定
(4) PHPプログラミングの基礎
(5) PostgreSQLとの連携

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXD038 AIX AIX 7 システム管理-実践編

AIXシステム運用管理と障害発生時のトラブルシューティングに必要な知識(ODM操作、起動しないシステムの復旧、ミラーリング、ディスク交換、エラーログ、システム診断など)を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・AIXシステムの起動の基本を理解し起動しないAIXシステムの復旧ができる。
・AIXシステムのディスク交換の手順を実践できる。
・エラーログの解析、システムダンプ、ハードウェア診断の手順を実践できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅・AIXシステムの運用・管理を行う方。

前提知識 「AIX 7 システム管理-基礎編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. ODM
2. システム・ブート・プロセス:ブート・イメージのロード
3. システム・ブート・プロセス:rc.boot と inittab
4. LVM情報の管理および障害対応
5. ディスク管理プロセス
6. rootvg のクローニング
7. オンライン・バックアップ
8. エラー・モニタリング
9. 診断
10. システム・ダンプ機能

備考 ・このコースは、アイ・ラーニング社(IBMパートナー)の主催コースで、アイ・ラーニング社の研修会場にて開催いたします。
※アイ・ラーニング社テキスト使用
「AIX 7 システム管理-実践編」
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容、受講料は予告なく変更になる場合があります。

※別途ご案内いたします。

UXJ072 OSS OSS-DB PostgreSQL 導入と運用

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識 データベースについての基礎知識をお持ちの方。

内容 1. オープンソースデータベースの一般の特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

備考 このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

UXD037 AIX AIX 7 システム管理-基礎編

AIXシステムの運用管理に必要な知識(システム管理ツール(SMIT)の操作、システムの始動と停止、LVM(論理ボリューム・マネージャ)の概念と操作、インストール、バックアップとリストアなど)を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・AIXシステムを利用するうえでの基本機能と特徴を説明できる。
・AIXシステムの始動と停止ができる。
・LVM(論理ボリューム・マネージャ)およびファイルシステムを管理できる。
・バックアップとリストア作業を実践できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅・AIXシステムの運用・管理を行う方。

前提知識 「UNIX/Linux基礎-コマンド編-」コースならびに「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. システムの管理
2. システム管理ツール (SMIT)
3. ソフトウェアのインストールと保守
4. システムの始動とシャットダウン
5. デバイス
6. システム記憶域の概要
7. 論理ボリューム・マネージャ
8. ファイルシステム
9. ファイルシステムの管理
10. ページング・スペース
11. バックアップとリストア
12. セキュリティーとユーザー管理
13. スケジューリング
14. AIX 7 のインストール
15. ネットワークの概要

備考 ・このコースは、アイ・ラーニング社(IBMパートナー)の主催コースで、アイ・ラーニング社の研修会場にて開催いたします。
※アイ・ラーニング社テキスト使用
「AIX 7 システム管理-基礎編」
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容、受講料は予告なく変更になる場合があります。

※別途ご案内いたします。

マシン実習 マシンを使用したからの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修

演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習
研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング インターネット接続による自己学習

自習テキスト 自習書による自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

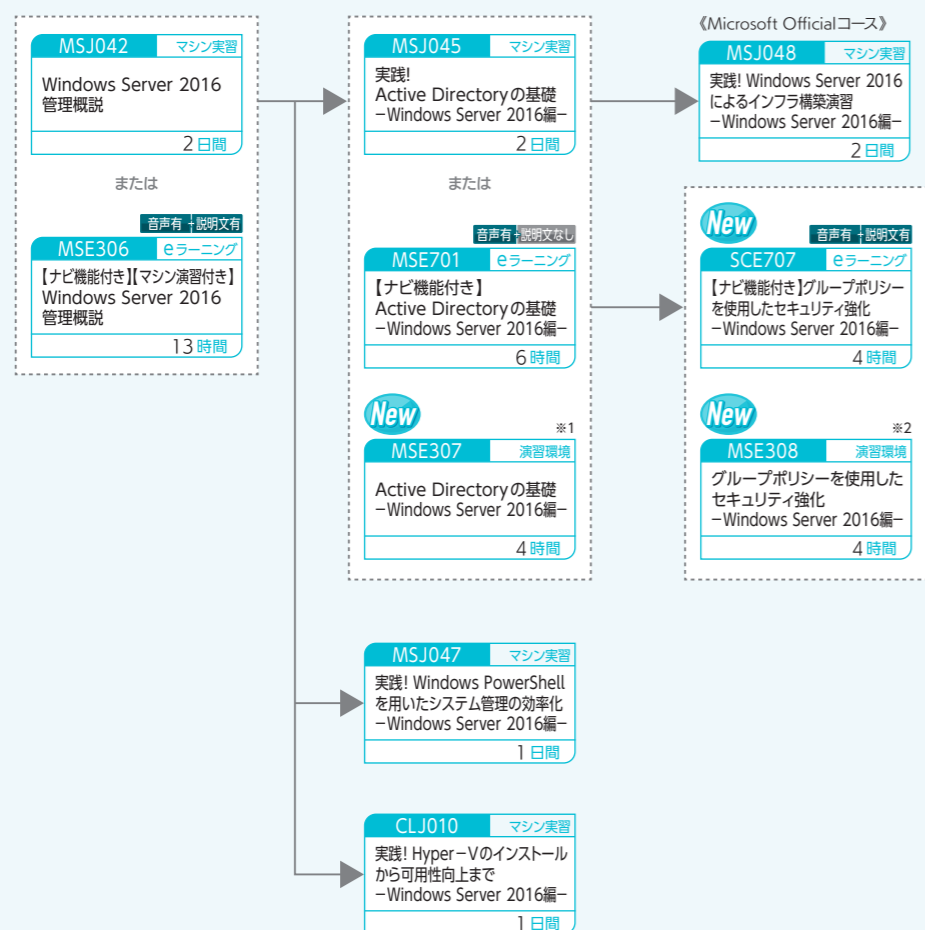
Windows Server 2016の新機能を知りたい方

MSJ043 マシン実習

ここが新しい!
Windows Server 2016新機能

1 日間

Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



※1: [MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-J]は [MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-J]の修了後のご受講をお勧めします。

※2: [MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-J]は [SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-J]の修了後のご受講をお勧めします。

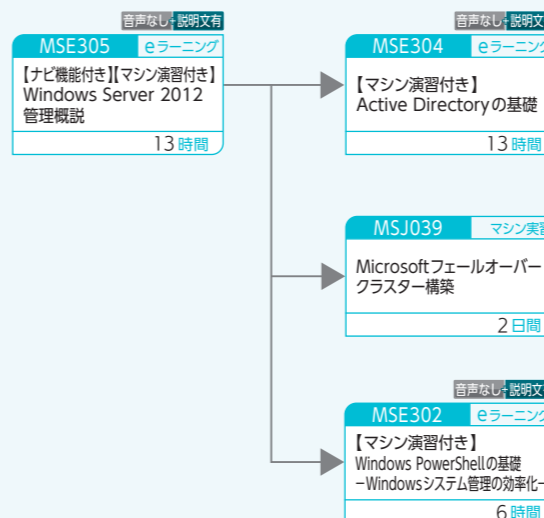
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方



Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



Windows (クライアント) OSを管理する方

MSJ046 マシン実習

Windows 10 機能概説

1 日間

● Windows Serverの管理の概要を知りたい方

音声なし・説明文有

MSE001 eラーニング

Windowsサーバー管理入門

8時間

● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方

New

音声有・説明文有

OAE026 eラーニング

SharePointによる社内ポータル作成入門

3時間

● WindowsとLinuxの混在環境を設計、構築する方

MSJ044 マシン実習

実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習-Active Directory, DNS,Samba,Apache,ワイヤレスネットワーク-

2日間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジにおける専門知識を証明するものです。マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/mcp/index.html>

Microsoft
CERTIFIED
Professional

MSJ043 Windows Server 2016

マシン実習

ここが新しい!
Windows Server 2016新機能

1日間

Windows Server 2016の新機能の概要について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 Windows Server 2016の新機能の概要が説明できる。
対象者 最新サーバーOSであるWindows Server 2016の新機能を学びたいITプロフェッショナルの方。

前提知識 Windows Server OS(Windows Server 2012(R2)、2008(R2))についての基礎知識、およびWindowsインターフェイスの基本的な操作経験があり、かつネットワークに関する基礎知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Nano Server
3. Hyper-Vの新機能
4. Windowsコンテナ
5. ストレージの新機能
6. その他の新機能

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSJ042 Windows Server 2016

マシン実習

Windows Server 2016管理概説

2日間

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・Windows Server 2016の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者 ・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-I】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE306 Windows Server 2016

eラーニング

【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
Windows Server 2016管理概説

平均13時間

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの学習項目は、「Windows Server 2016管理概説」コースと同一です。

到達目標 ・Windows Server 2016の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者 ・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-I】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ
12. 修了試験

備 考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ045 Windows Server 2016

マシン実習

実践! Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-

2日間

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。また、総合演習として与えられた要件をもとに、設計から実装まで行う演習を行います。なお、このコースの学習項目は、【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-I】eラーニングコースと同一です。

到達目標 ・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの実装ができる。
・Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方で、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。

前提知識 「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコース、または「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトの構成
7. 信頼関係の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE701 Windows Server 2016

eラーニング

<eラーニング>【ナビ機能付き】
Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-

平均6時間

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-I】コースと同一です。

到達目標 ・Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの管理について説明できる。
・Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。

対象者 ・Active Directoryを設計・構築・管理する方。
・Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
7. 複数ドメイン環境の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
9. 修了試験

備 考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

MSE307 Windows Server 2016

演習環境

<演習環境>
Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-

平均4時間

Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。
・Active Directoryの管理に関する操作スキルを身に付けたいが自身で構築することは困難な方。
・Active Directoryの管理に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コース、または【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016 管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの実装
2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
3. グループポリシーの実装と管理
4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
6. 複数ドメイン環境の構成
7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備 考 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

目録テキスト
学習書による
自己学習

休講
休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--|
| SCE707 Windows Server 2016 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-</div><div>平均4時間</div></div></div> |
| Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。 |
| 到達目標 グループポリシーを使用したWindows環境のセキュリティ向上を実装できる。 |
| 対象者 Windows環境のセキュリティ強化における、グループポリシーの活用方法を具体的に知りたい方。 |
| 前提知識 【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニングコース、または「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. グループポリシーの実装 2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護 3. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| |
|--|
| MSE308 Windows Server 2016 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-</div><div>平均4時間</div></div></div> |
| グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。 |
| 到達目標 グループポリシーを実装し、Windows環境のセキュリティを強化できる。 |
| 対象者 ・グループポリシーによるセキュリティ強化を実装する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。 ・グループポリシーによるセキュリティ強化に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。 |
| 前提知識 【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニングコース、または「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. グループポリシーの実装 2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護 |
| 備考 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| MSJ047 Windows Server 2016 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div>実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化-Windows Server 2016編-</div><div>1日間</div></div></div> |
| PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋がります。 |
| 到達目標 ・Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。 ・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。 |
| 対象者 ・ITエンジニア職、若手・中堅・PowerShellを用いた環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。 ・PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。 ・Windows Server 2016/Windows 10に対応したPowerShell 5.0を知りたい方。 |
| 前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコース、または「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコーを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. PowerShellの概要 2. 基本的なコマンドレット 3. PowerShellにおけるオブジェクト操作 4. PowerShellによるリモート管理 5. PowerShellによるシステム管理 |
| 備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|---|
| MSE304 Windows Server 2012 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎</div><div>平均13時間</div></div></div> |
| Windows Server 2012(R2)にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 ・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。 ・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。 ・グループポリシーを実装できる。 ・Active Directoryのバックアップと復元ができる。 |
| 対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方。 |
| 前提知識 「Windows Server 2012 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. Active Directoryドメインサービスの概要 2. Active Directoryドメインサービスの実装 3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理 4. グループポリシーの実装と管理 5. Active DirectoryドメインサービスとDNS 6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成 7. 複数ドメイン環境の構成 8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元 9. 修了試験 |
| 備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|--|
| MSJ039 Windows Server 2012 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div>Microsoft フェールオーバークラスター構築</div><div>2日間</div></div></div> |
| Windows Server OSのフェールオーバークラスターの実装、管理および保守を行うための知識を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 ・フェールオーバークラスターの概要を説明できる。 ・フェールオーバークラスターの実装、管理、保守をするための方法を説明できる。 |
| 対象者 Windows Server 2012 (R2)のフェールオーバークラスター環境の構築、運用を行う方、導入を検討している方。 |
| 前提知識 「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. フェールオーバークラスターの概要 2. フェールオーバークラスターの構築 3. フェールオーバークラスター上の役割の構成 4. フェールオーバークラスターの運用、保守 5. マルチサイトクラスターの構築 6. フェールオーバークラスターによるHyper-Vの可用性向上 |
| 備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|--|
| MSE302 Windows Server 2012 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化-</div><div>平均6時間</div></div></div> |
| PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 ・Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。 ・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。 |
| 対象者 PowerShellを用いたWindowsシステムの管理に携わる方。 |
| 前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. PowerShellの概要 2. 基本的なコマンドレット 3. PowerShellにおけるオブジェクトの扱い 4. PowerShellによるリモート管理 5. PowerShellによるWindowsシステム管理 6. 修了試験 |
| 備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、集合研修「Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化」コース（MSJ026）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|---|
| CLJ010 Windows Server 2016 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div>実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで-Windows Server 2016編-</div><div>1日間</div></div></div> |
| Microsoft社の仮想化技術であるHyper-Vを使った仮想サーバーの管理の基礎を、Windows Server 2016を使用して学習します。また、与えられた要件を基に、適切な機能を選択し、実装を行う演習により、実践力の強化を図ります。 |
| 到達目標 ・Hyper-Vによるサーバー仮想化の概要を説明できる。 ・与えられた要件を基に、Hyper-Vを適切にインストールできる。 ・与えられた要件を基に、Hyper-V上に仮想マシンを作成し、ゲストOSをインストールできる。 ・Hyper-Vに作成できる仮想スイッチの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想スイッチを使用できる。 ・Hyper-Vに作成できる仮想ハードディスクの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想ハードディスクを使用できる。 ・仮想マシンの運用時、チェックポイントや仮想マシンのバックアップ、仮想マシンのインポート/エクスポートを適切に実行できる。 ・仮想マシンの可用性向上のため、マイグレーションやHyper-Vレプリカの特徴を踏まえ、適切な方法で仮想マシンの可用性向上を実現できる。 |
| 対象者 Hyper-V上で動作する仮想サーバーを構築、運用、管理する方。 |
| 前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. Hyper-Vの概要 2. Hyper-Vのインストール 3. 仮想マシンの作成 4. 仮想スイッチの管理 5. 仮想ハードディスクの管理 6. 仮想マシンの運用 7. 仮想マシンの可用性向上 |
| 備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|---|
| MSJ048 Windows Server 2016 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div>実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習-Windows Server 2016編-</div><div>2日間</div></div></div> |
| Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたインフラの設計・実装を行う総合演習を実施します。 |
| 到達目標 ・Windows Server 2016のインストールと構成ができる。 ・DNSサーバーを構築できる。 ・Active Directoryを構築できる。 ・DHCPサーバーを構築できる。 ・フェールオーバークラスターを構成できる。 |
| 対象者 Windows Server 2016について基本的な知識を持っているが、より実践的な実装スキルを身につけたい方。 |
| 前提知識 「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. Windows Server 2016のインストールと構成 2. DNSの実装 3. ドメインコントローラのインストールと構成 4. AD DSでのオブジェクトの管理 5. DHCPの実装 6. フェールオーバークラスタリングの実装 |
| 備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、マイクロソフト認定コースより、テーマごとに内容の一部を抽出し、再構成したコースです。 ・このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。 ・【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。 ・このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 |


| |
|---|
| MSE305 Windows Server 2012 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説</div><div>平均13時間</div></div></div> |
| Windows Server 2012(R2)を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 ・Windows Server 2012(R2)の概要が説明できる。 ・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。 ・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。 ・Windows Server 2012(R2)のトラブルシューティングを実施できる。 |
| 対象者 Windows Server 2012(R2)を使用してシステムを管理される方、またはWindows Server 2012(R2)の導入を検討している方。 |
| 前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. Windows Server 2012 (R2) 概要 2. Windows Server 2012 (R2) のインストール 3. サーバー管理ツール 4. ワークグループ環境のアカウント管理 5. ドメイン環境のアカウント管理 6. ポリシーの概要 7. ディスクの管理 8. アクセス許可の設定 9. ファイルサーバーの構築 10. サーバーの監視 11. サーバーのバックアップ 12. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| |
|---|
| MSJ046 Windows 10 |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div>Windows 10機能概説</div><div>1日間</div></div></div> |
| Windowsの概要、機能およびWindows 10を使用したシステム管理方法についてマシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 ・Windows 10の機能の概要が説明できる。 ・Windows 10の管理方法の概要が説明できる。 |
| 対象者 Windows 10の導入を検討されている方。 |
| 前提知識 Windows インターフェースの基本的な操作経験があり、「ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. Windows 10の特徴とインストール 2. Windows 10のUIと基本操作 3. デバイスの管理 4. ネットワークの管理 5. ユーザーアカウントの管理 6. セキュリティの管理 7. トラブルシューティングツール |
| 備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|---|
| MSE001 Windows |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>Windowsサーバー管理入門</div><div>平均3時間</div></div></div> |
| Windows Serverの管理の基礎を学習します。 |
| 到達目標 Windowsサーバーの基礎的な設定方法を理解し、説明できる。 |
| 対象者 Windows Serverの管理の基礎を学びたい方。 |
| 前提知識 特に必要としません。 |
| 内容 1. サーバーとは 2. Windows Serverとは 3. Windows Serverの導入 4. ユーザーアカウント管理 5. ディスクとファイル管理 6. Windows Serverの監視・保守 7. Hyper-Vの概要 8. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| |
|--|
| OAEO26 SharePoint |
| <div><div><div><div><div></div><div><div>マシニング</div></div></div></div><div><eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門</div><div>平均3時間</div></div></div> |
| SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。 |
| 到達目標 ・SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。 |
| 対象者 ・職種、年齢にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。 ・SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。 |
| 前提知識 特に必要としません。 |
| 内容 1. SharePointの概要 2. SharePointの代表的なアプリ 3. SharePointのサイト構築 4. SharePointのサイト管理 5. Outlookとの連携 6. SharePoint 2010ベースのワークフローの実装 7. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | | |
|--|--|---|
|  マシニング マシンを使用し ながらの研修 |  グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 |  レクチャ 座学による 研修 |
|--|--|---|

| | |
|--|---|
|  演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
|--|---|

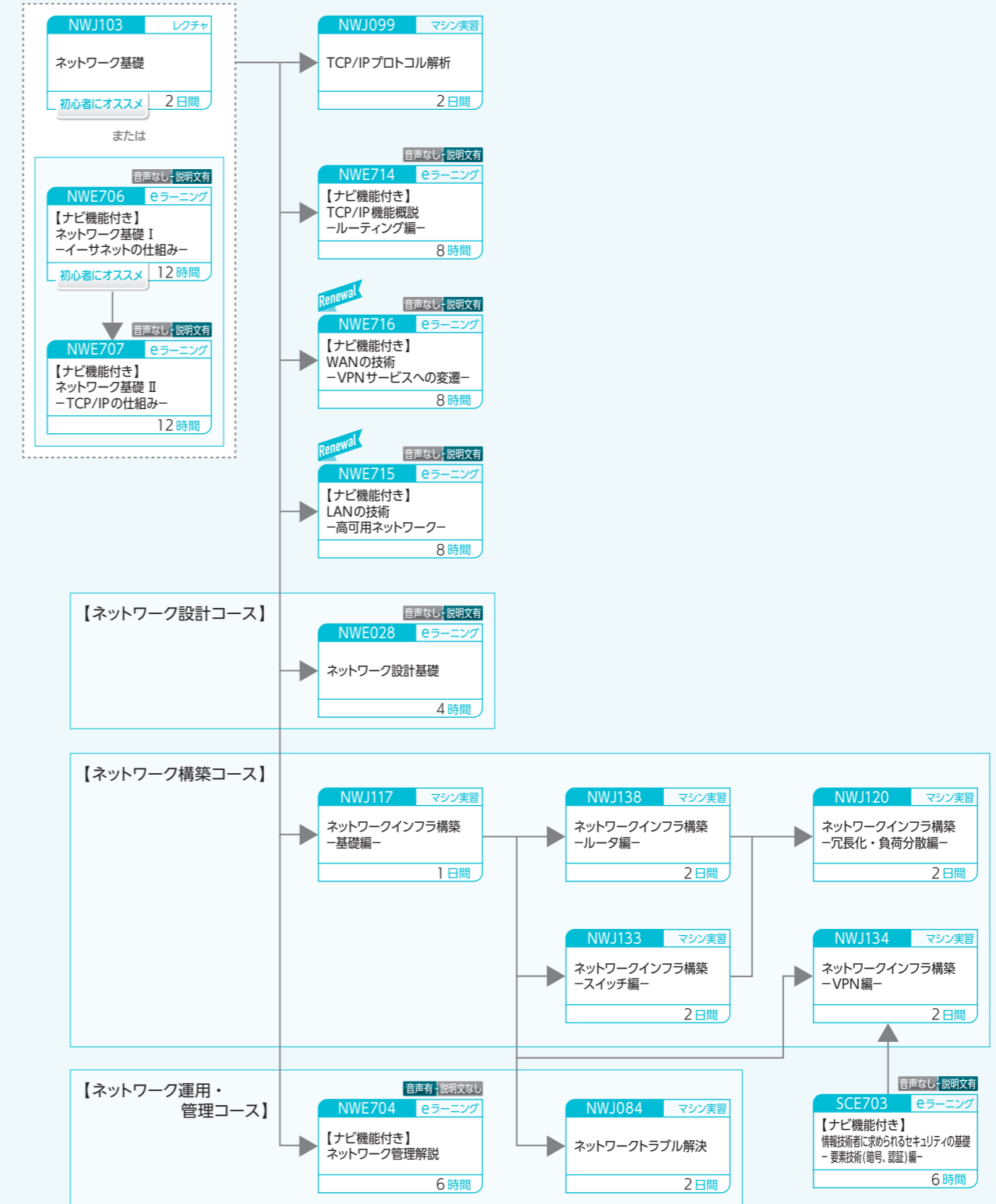
| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|
|  eラーニング |  マシニング |  動画 |  720p |  フルHD |  Oracle |  Ajax |
|---|---|--|--|--|--|--|

| | |
|--|--------------------------------------|
|  自習テキスト 自習書による 自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催は ありません |
|--|--------------------------------------|

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

MSJ044 Windows

実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習-Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク-

このコースでは、実際の企業システム構成を模したサーバ・ネットワーク環境を設計・構築し、成果物の長所や問題点をグループ討議します。具体的な学習要素として、Active Directory、DNS、Samba、Apache、ワイヤレスネットワークを扱います。

到達目標 Active Directory、DNS、Samba、Apache、無線LANの小規模システム環境を設計、構築できる。

対象者 インフラ全体を俯瞰してシステム設計・構築・運用に携わる方。

前提知識 「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースおよび「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」を修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。

内容

1. 本研修の狙い
2. 基礎知識の修得と、実機での確認
 - (1) ActiveDirectory、DNS
 - (2) Samba、Apache
 - (3) 無線LAN
3. 業務シチュエーションにおける課題解決演習

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ


プロジェクトマネジメント


コンプライアンス


ビジネス/ヒューマン


グローバル


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| |
|--|
| NWJ103 ネットワーク |
|  ネットワーク基礎 |
| 2日間 |
| コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。 |
| 到達目標 ・LANの構成要素(ハード/ソフト)について説明できる。 ・OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。 ・イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。 |
| 対象者 ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内容 1. ネットワークの基礎知識 2. プロトコル 3. ネットワークインタフェース層 4. インターネット層 5. トランスポート層 6. アプリケーション層 7. ネットワーク機器 8. インターネット |


| |
|--|
| NWE706 ネットワーク |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ |
| イーサネットの仕組み |
| 平均12時間 |
| ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。 |
| 到達目標 ・ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。 ・イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。 |
| 対象者 ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内容 1. ネットワークの基礎知識 2. プロトコル 3. ネットワークの通信例 4. アプリケーションプロトコル 5. TCP/UDP 6. IP 7. 伝送媒体 8. イーサネット 9. LANデバイス 10. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |


| |
|--|
| NWE707 ネットワーク |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ |
| ーTCP/IPの仕組み |
| 平均12時間 |
| TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。 |
| 到達目標 ・TCP/IPの基礎的な説明ができる。 ・IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。 ・TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。 |
| 対象者 TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。 |
| 前置知識 【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. TCP/IPの概要 2. IP 3. アドレス解決 (ARP) 4. ICMP 5. TCP/UDP 6. IP関連技術 7. リモート・ログイン(Telnet) 8. ファイル転送 (FTP) 9. 名前解決 (DNS) 10. WWW (HTTP) 11. 電子メール 12. IPv6 13. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |


| |
|--|
| NWE716 ネットワーク |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術 |
| ーVPNサービスへの変遷 |
| 平均8時間 |
| VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。 |
| 到達目標 ・代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。 ・VPN(広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN)について技術とサービスの特性を説明できる。 |
| 対象者 WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. WANの利用 2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル 3. 専用線 4. PSTN・ISDN 5. xDSL・FTTH 6. 無線アクセス回線 7. 広域イーサネット 8. IP-VPN 9. インターネットVPN 10. NGN 11. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |


| |
|--|
| NWE001 ネットワーク |
|  <eラーニング>インターネット技術入門 |
| 平均8時間 |
| WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。 |
| 到達目標 ・Webアプリケーションの概要を説明できる。 ・Webページ記述言語の概要について説明できる。 ・インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。 ・FTPの概要について説明できる。 |
| 対象者 インターネットの基礎的な知識を必要とする方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内容 1. インターネットの基礎知識 2. インターネットでの通信の仕組み (1)ドメイン名 (2)インターネットでの通信の仕組み 3. 電子メールの仕組み (1)電子メールとは 4. WWWの仕組み (1)Webページの記述言語 5. Webアプリケーションの技術概要 6. Webのセキュリティに関わる基礎知識 7. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |


| |
|--|
| NWJ085 ネットワーク |
|  インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築 |
| 2日間 |
| インターネットプロトコルの動作とインターネットサーバの構築方法について理解を深めます。 |
| 到達目標 ・DNSプロトコルの動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・SMTP/POP3の動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・HTTPの動作と基本的なメッセージが説明できる。 |
| 対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。 |
| 前置知識 「インターネット技術入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. インターネットの概要 2. DNSの仕組みとサーバ構築 (1)名前解決の概要 (2)DNSの動作 (3)DNSプロトコルメッセージ 3. メール仕組みとサーバ構築 (1)メールシステム概要 (2)メールデータフォーマット (3)SMTPプロトコルメッセージ (4)POP3プロトコルメッセージ 4. Webの仕組みとサーバ構築 (1)Webの仕組みとHTMLファイル (2)HTTPプロトコルメッセージ |
| 備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 |


| |
|--|
| NWE715 ネットワーク |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術 |
| ー高可用ネットワーク |
| 平均8時間 |
| VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。 |
| 到達目標 ・VLAN、無線LANの基礎を説明できる。 ・負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。LAN技術の基礎的な知識を必要とする。 |
| 対象者 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. LANの構築 2. リンクアグリゲーション 3. STP 4. VRRP 5. 負荷分散 6. VLAN 7. ネットワーク・ストレージ 8. 無線LAN 9. LANデバイス 10. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |

| |
|--|
| NWE714 ネットワーク |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説 |
| ールーティング編 |
| 平均8時間 |
| TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル(RIP、OSPF、BGP)を学習します。 |
| 到達目標 ・小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。 ・ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。 |
| 対象者 ネットワーク技術者をめざす方。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. ルーティング 2. スタティックルーティング 3. ルーティングアルゴリズム 4. RIP 5. OSPF 6. BGP 7. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| |
|--|
| NWJ099 ネットワーク |
|  TCP/IPプロトコル解析 |
| 2日間 |
| LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。 |
| 到達目標 TCP/IPの内部的な動作を説明できる。 |
| 対象者 TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. TCP/IPの構造 2. TCP/IPのデータの流れ 3. 各プロトコルヘッダの構造 4. ICMPメッセージの種類 (1)Echo Request、Echo Reply (2)Redirect (3)Time Exceeded 5. 各アプリケーションの動作 (1)ftp (2)telnet 6. シーケンス確認(演習) (1)TCP/IPレベルのシーケンス (2)アプリケーションのシーケンス |

| |
|--|
| NWE028 ネットワーク |
|  <eラーニング>ネットワーク設計基礎 |
| 平均4時間 |
| ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。 |
| 到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。 |
| 対象者 ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. ネットワーク設計・構築の全体像 2. LANの設計 3. 拠点間接続の設計 4. インターネット接続の設計 5. 修了試験 |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |

| |
|--|
| NWJ117 ネットワーク |
|  ネットワークインフラ構築 |
| ー基礎編 |
| 1日間 |
| PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。 |
| 到達目標 PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。 |
| 対象者 ネットワークを構築・管理する方、ネットワーク機器の操作を通じてネットワーク技術の知識を深めたい方。 |
| 前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. LANとは (1)OSI基本参照モデル (2)イーサネット (3)TCP/IP 2. ネットワーク機器の基本操作 (1)モード (2)基本コマンド (3)インタフェースの設定 3. スイッチを用いたLANの構築 (1)スイッチの機能 (2)VLAN 4. ルータを用いたLANの構築 (1)ルータの機能 (2)スタティックルーティング (3)ダイナミックルーティング |

| |
|---|
| NWJ138 ネットワーク |
|  ネットワークインフラ構築 |
| ールータ編 |
| 2日間 |
| LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。 |
| 到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。 |
| 対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。 |
| 前置知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 1. ルーティングの基礎 2. スタティックルーティング 3. OSPF 4. BGP 5. 経路再配布 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| | |
|---|---|
| NWJ133 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <h2>ネットワークインフラ構築－スイッチ編－</h2> | |
| L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。 | |
| 到達目標 | L3スイッチによるネットワークを構築できる。 |
| 対象者 | LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。「ネットワークインフラ構築－基礎編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 前提知識 | 「ネットワークインフラ構築－スイッチ編－」および「ネットワークインフラ構築－ルータ編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">LANスイッチの概要 基本設定 インタフェース、VLANの設定 リンクアグリゲーションの設定 STPの設定 リンクアグリゲーション、STPを組み合わせた設定 ルーティングの設定 フィルタリングの設定 運用管理（ポートミラーリング、Syslog）の設定 |

| | |
|---|---|
| NWJ120 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <h2>ネットワークインフラ構築－冗長化・負荷分散編－</h2> | |
| 高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 |
| 対象者 | ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。 |
| 前提知識 | 「ネットワークインフラ構築－スイッチ編－」および「ネットワークインフラ構築－ルータ編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">NIC冗長化（チームング） L2冗長化・負荷分散（STP、RSTP、MSTP） ゲートウェイ冗長化（VRRP） L3冗長化・負荷分散（OSPF、RIP） ロードバランサによる負荷分散 総合演習 |

| | |
|--|--|
| NWJ134 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <h2>ネットワークインフラ構築－VPN編－</h2> | |
| 基本的なVPNの概要、およびインターネットVPNの要素技術について、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">IPsecやSSL/TLSなど、インターネットVPNに必要な要素技術について説明できる。 IPsec-VPNを利用してネットワークが構築できる。 SSL-VPNを利用してネットワークが構築できる。 |
| 対象者 | ネットワークを設計、構築、管理、運用する方。 |
| 前提知識 | 「ネットワークインフラ構築－基礎編－」コース、および「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術（暗号、認証）編－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">VPNの概要 IPsec-VPN SSL-VPN その他のインターネットVPN関連技術 VPN導入例 |

| | |
|---|--|
| NWE705 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均6時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク概説－携帯電話・無線LANの基礎－</h2> | |
| 携帯電話や無線LANに代表されるワイヤレス通信の基礎知識について学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">モバイルシステム技術の概要が説明できる。 代表的な電波の伝送技術や特徴について説明できる。 近距離無線通信、携帯電話、無線LANでの通信の仕組みが説明できる。 |
| 対象者 | モバイルシステムの構築・運用に携わる方、通信事業者向け業務に携わる方、モバイルシステム技術に関する基礎的な知識が必要なる方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">無線通信の基礎 <ol style="list-style-type: none">変調技術 チャンネル 多重化技術 多元接続 デュプレックス MIMO 周波数帯域 WPAN <ol style="list-style-type: none">Bluetooth ZigBee IrDA RFID WLAN <ol style="list-style-type: none">無線LANの規格 Wi-Fiアライアンス IEEE802.11a/b/g/n/ac ESS-ID フレーム WWAN <ol style="list-style-type: none">移動体通信事業者 MVNO 携帯電話ネットワークの構成要素 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| | |
|---|--|
| NWJ109 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <h2>無線LAN環境構築</h2> | |
| 無線LAN技術の基礎知識および発展的な知識について、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">無線LANで利用される代表的な技術について説明できる。 セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 無線LANシステムの要件定義から、設計・構築・運用までの全体的な流れを説明できる。 |
| 対象者 | 無線LANを利用したネットワークを設計、構築・運用する方、業務で無線LANについての知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">無線LANの概要 物理層に関わる技術 データリンク層に関わる技術 無線LAN規格の動向 無線LANのセキュリティ技術 大規模な無線LAN環境構築技術 無線LANの設計・導入 |

| | |
|--|--|
| NWE708 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均4時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説－ネットワーク仮想化－</h2> | |
| Software Defined Networking (SDN) の概要を学習します。 | |
| 到達目標 | Software Defined Networking (SDN) の概要を説明できる。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none">Software Defined Networking (SDN) 技術に興味のある方。 ネットワーク仮想化技術に興味のある方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">Software Defined Networking (SDN) の概要 Software Defined Networking (SDN) の構成要素 Software Defined Networking (SDN) の基本動作 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| | |
|--|--|
| NWE703 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均12時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術</h2> | |
| IPv6プロトコルに関連する基礎技術（アドレス、ヘッダ、ICMP等）と移行技術を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">IPv6の概要を説明できる。 IPv6移行技術の概要を説明できる。 |
| 対象者 | IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">IPv4の問題点とIPv6の特徴 IPv6の仕様（プロトコルスタックやアドレスなど） ICMPv6の仕様（アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など） IPv6への移行（移行形態やアドレス設計例など） 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| | |
|--|--|
| NWJ084 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <h2>ネットワークトラブル解決</h2> | |
| ネットワークにおけるトラブルシュートについて、マシン実習を通して学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">トラブルシュートの基礎的な考え方について説明できる。 トラフィック解析ツールを利用したトラブルシュートができる。 |
| 対象者 | ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。 |
| 前提知識 | 「ネットワークインフラ構築－基礎編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">ネットワーク概要 トラブル解析手順 <ol style="list-style-type: none">ネットワークトラブルに対する考え方 トラブルシュートに必要なこと トラブルの絞り込み ルータの基本操作 スイッチの基本操作 LANアナライザの使用方法 トラブルシューティング演習 |

| | |
|---|--|
| NWE704 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均6時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説</h2> | |
| ネットワークの運用管理の対象となる項目（構成管理・性能管理・障害管理等）と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">ネットワークの管理項目（構成管理・性能管理・障害管理等）について説明できる。 各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。 SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。 |
| 前提知識 | 「ネットワークインフラ構築－基礎編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">ネットワーク管理の概要 資産・構成管理 性能管理 障害管理 ネットワーク管理ツール SNMPを用いたネットワーク管理 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| | |
|--|--|
| NWE026 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均4時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>ネットワーク最新動向－モバイル技術とデータセンタネットワーク－</h2> | |
| モバイルネットワークやサービスの最新動向、およびデータセンタネットワークに関する最新動向について学習します。 | |
| 到達目標 | 代表的なモバイルネットワークやサービスの最新動向、およびデータセンタネットワークの技術を挙げ、概要を説明できる。 |
| 対象者 | データセンタ・無線ネットワークの最新動向を修得したい方、データセンタ・無線ネットワークのソリューション提案を行う方。 |
| 前提知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">ワイヤレス通信技術の動向 端末のオープン化と移動体通信事業者の今後 モバイルソリューション・サービス動向 データセンタネットワークの最新動向 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| | |
|---|--|
| NWE713 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均10時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク最新動向</h2> | |
| ワイヤレスネットワークの基礎技術と最新動向を学習します。 | |
| 到達目標 | ワイヤレスネットワークの基礎技術を理解したうえで、代表的なワイヤレスネットワーク規格とそれらの特徴について説明できる。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none">代表的なワイヤレスネットワーク技術を用いたソリューションサービスについて、説明できる。 ワイヤレスネットワーク技術の最新動向について、基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 ワイヤレス基礎技術を活用し、IoTソリューションの提案を行いたいITエンジニアや営業の方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">ワイヤレス通信技術の動向 <ol style="list-style-type: none">ワイヤレス通信規格の変遷 3.5G以降の無線通信を支える基礎技術 3.9G規格（LTE、WiMAX） 今後の展開（IMT-Advanced、5G） 無線LANの動向 端末のオープン化と移動体通信事業者の今後 <ol style="list-style-type: none">携帯電話プラットフォームの動向 移動体通信事業者の今後 モバイルソリューション・サービス動向 <ol style="list-style-type: none">MDM（Mobile Device Management） BYOD（Bring Your Own Device） スマートデバイスにおける仮想化技術 M2Mの動向 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|--|---|
| NWE712 ネットワーク | |
| <div><div><div><div><div></div><div>eラーニングナビ付き</div></div></div><div><div><div></div><div>平均12時間</div></div></div></div></div> <h2><eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理</h2> | |
| ネットワークの管理項目として、構成管理、性能監視、障害運用を学習します。また、ITシステムの運用管理におけるネットワーク管理の位置づけと運用管理の体制について学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">ネットワークの基礎技術を理解したうえで、運用管理の手法や、活用されている技術について説明できる。 ITシステムの運用管理におけるネットワークの管理の位置づけと運用管理体制について説明できる。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none">ネットワークの運用管理技術について、ネットワークの基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 運用管理を切り口にネットワークの基礎技術を修得したいITエンジニアや営業の方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">ネットワーク管理の概要 <ol style="list-style-type: none">ネットワーク管理の必要性 ネットワーク管理の概要 構成管理 <ol style="list-style-type: none">構成管理とは 物理構成 論理構成 性能監視 <ol style="list-style-type: none">性能監視とは 監視のための方法 障害運用 <ol style="list-style-type: none">障害運用とは 障害対応作業 ITシステムからみたネットワーク管理と運用管理の体制 <ol style="list-style-type: none">運用管理の対象 運用管理の体制 修了試験 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| | | |
|--|--|---|
|  マシン実習 マシンを使用した ならが研修 |  グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 |  レクチャ 座学による 研修 |
|--|--|---|

| | |
|---|---|
|  演習環境 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
|---|---|

| | | | | | | |
|---|---|--|--|---|--|--|
|  eラーニング |  マシン演習 |  動画 |  ナビ付き |  大画面表示 |  Oracle |  AIチェック |
|---|---|--|--|---|--|--|

| | |
|--|----------------------|
|  eラーニング | インターネット接続 による自己学習 |
|--|----------------------|

| |
|--|
|  自習テキスト 自習書による 自己学習 |
|--|

| |
|---|
|  休講 今期の定期開催は ありません |
|---|

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

SCE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティ入門
- セキュリティの必要性と対策 -
初心者におすすめ 4時間

● 情報システムを運用・管理する方

SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
- 要素技術(暗号、認証)編 -
6時間

SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
- セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度 -
8時間

● 企業内の情報セキュリティを管理する方

SCE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティ入門
- セキュリティの必要性と対策 -
初心者におすすめ 4時間

SCJ041 レクチャ
セキュリティ最新動向
0.5日間

SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
- セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度 -
8時間

SCJ032 グループ演習
ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティ
リスクマネジメント
1日間

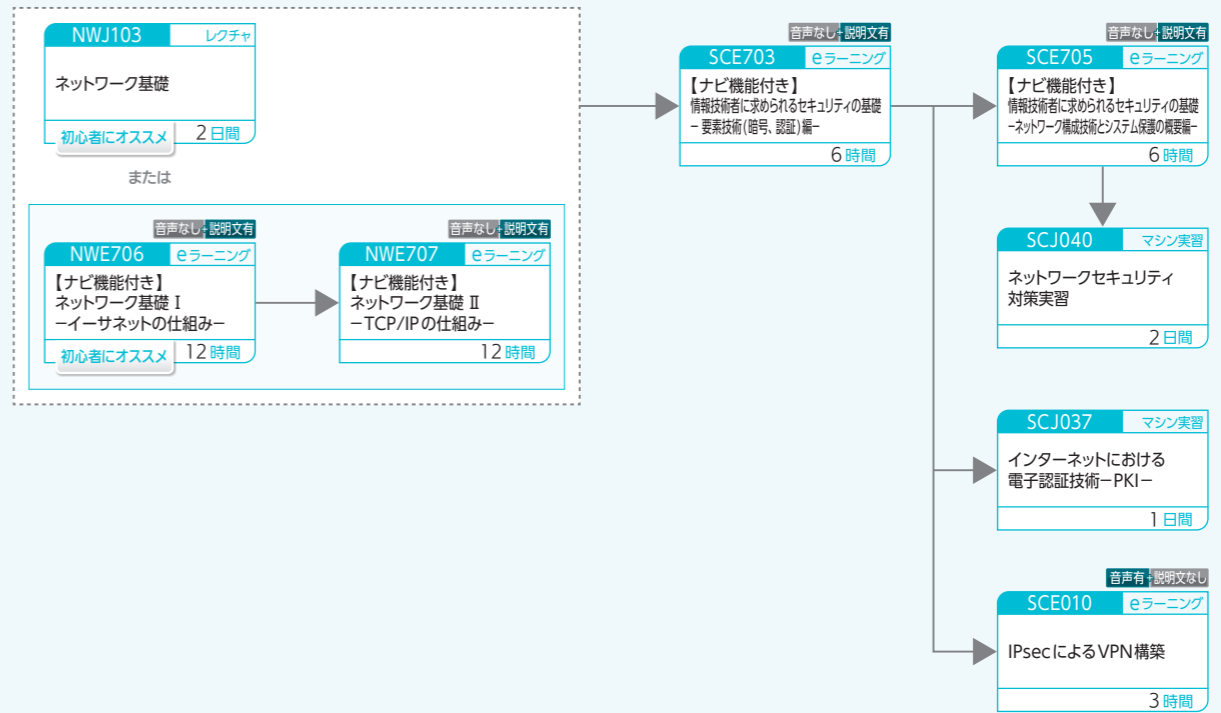
SCJ038 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメント運用
1日間

SCJ039 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメントの評価と改善
1日間

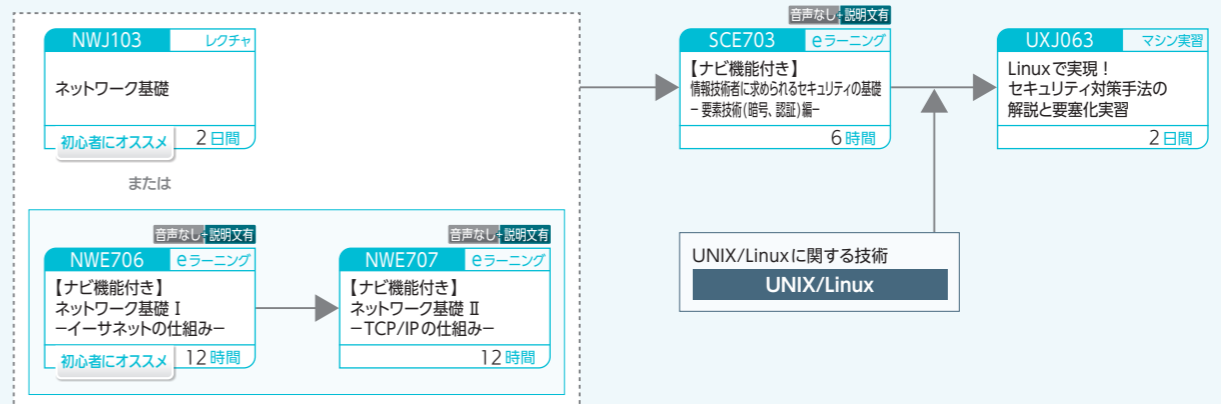
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● ネットワークシステムを構築・運用・管理する方



● UNIX/Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方



● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

SCE703 (6時間) → **JP101/JP101T** (1日間)

● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

JPJ094/JPJ094T (2日間) → **JPJ212/JPJ212T** (1日間)

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | |
|---|--|
| SEC703 セキュリティ技術 | <eラーニング>【ナビ機能付き】 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 —要素技術（暗号、認証）編— |
| 平均6時間 | |
| 安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。 | |
| 到達目標 | ・セキュリティ技術の必要性について説明できる。 ・共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。 ・認証の分類や代表的な方式について説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。 |
| 前置知識 | 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. セキュリティの概要 2. 暗号技術 (1) 共通鍵暗号方式 (2) 公開鍵暗号方式 3. 認証技術 (1) ユーザ認証 (2) データ認証 4. 暗号や認証の利用例 (1) 公開鍵の信頼 (2) Web通信における利用例 (3) メール通信における利用例 5. 修了試験 |
| 備考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。 |

| | |
|--|--|
| SCE705 セキュリティ技術 | <eラーニング>【ナビ機能付き】 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 —ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編— |
| 平均6時間 | |
| ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。 | |
| 到達目標 | ・ファイアウォールの機能や種類について説明できる。 ・OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。 ・コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。 |
| 前置知識 | 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. ファイアウォール (1) ファイアウォールの役割 (2) ファイアウォールの種類 2. VPN (Virtual Private Network) (1) VPNとは (2) VPNの種類 3. OSの機能設定によるセキュリティ 4. コンピュータウイルス (1) コンピュータウイルスの種類 (2) コンピュータウイルス対策 5. 修了試験 |
| 備考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。 |

| | |
|--|---|
| SCJ040 セキュリティ技術 | ネットワークセキュリティ対策実習 |
| マシン実習 | |
| 2日間 | |
| 実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学びます。 | |
| 到達目標 | ・不正アクセスの手法や危険性が説明できる。 ・ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。 ・ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。 |
| 前置知識 | 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 攻撃方法とセキュリティ対策 2. ファイアウォール 3. ユーザ認証 4. 侵入検知システム 5. 安全な通信の実現 |
| 備考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| | |
|--|---|
| SCD001 セキュリティ技術 | CEH (Certified Ethical Hacker) |
| マシン実習 | |
| 5日間 | |
| ・最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。 ・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。 | |
| 到達目標 | 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。 |
| 対象者 | 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。 |
| 前置知識 | OS、コンピュータ・アーキテクチャ、ネットワークの基本概念を理解していること。 |
| 内容 | 1. エシカル・ハッキング概論 2. フットプリンティングおよび偵察 3. ネットワークのスキャン 4. 列挙 5. システムのハッキング 6. マルウェアの脅威 7. スニффイング 8. ソーシャル・エンジニアリング 9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃) 10. セッション・ハイジャック 11. Webサーバのハッキング 12. Webアプリケーションのハッキング 13. SQLインジェクション 14. 無線ネットワークのハッキング 15. モバイル・プラットフォームのハッキング 16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避 17. クラウド・コンピューティング 18. 暗号化 |
| 備考 | ・このコースは、EC-Councilの認定コースです。 ・このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。 ・コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。 ・このコースは、10：00～18：00の開催とさせていただきます。 ※別途ご案内いたします。 |

| | |
|---|--|
| SEC704 セキュリティ技術 | <eラーニング>【ナビ機能付き】 データベースセキュリティ概説 |
| 平均4時間 | |
| データベース管理システムの構築、運用において発生するセキュリティ脅威、対策および具体的なデータベースセキュリティ機能を学習します。 | |
| 到達目標 | ・ユーザ認証やユーザ管理、アクセス制御方法が説明できる。 ・ネットワーク経由でデータベースアクセスする際に必要となるセキュリティ技術が説明できる。 ・データベースへのアクセス監視が必要となる考え方が説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムを運営・管理する方。 |
| 前置知識 | 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—」eラーニングコースおよび「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. データベースセキュリティ概要 2. ユーザ認証とユーザ管理 3. アクセス制御 4. セキュリティ監査 5. データ暗号化 6. SQLインジェクション対策 7. 修了試験 |
| 備考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。 |

| | |
|-----------------------------|--|
| SCE010 セキュリティ技術 | <eラーニング> IPsecによるVPN構築 |
| 平均3時間 | |
| IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。 | |
| 到達目標 | ・VPNの概要やメリットが説明できる。 ・IPsecの仕組みが説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。 |
| 前置知識 | 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. VPN概要 (1) VPNを実現する技術 (2) VPNの接続形 (3) VPNプロトコル 2. IPsec解説 (1) IPsecの概要 (2) セキュリアアクセスセッション(SA)とパラメータ (3) SA管理と鍵管理 3. 修了試験 |
| 備考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。 |

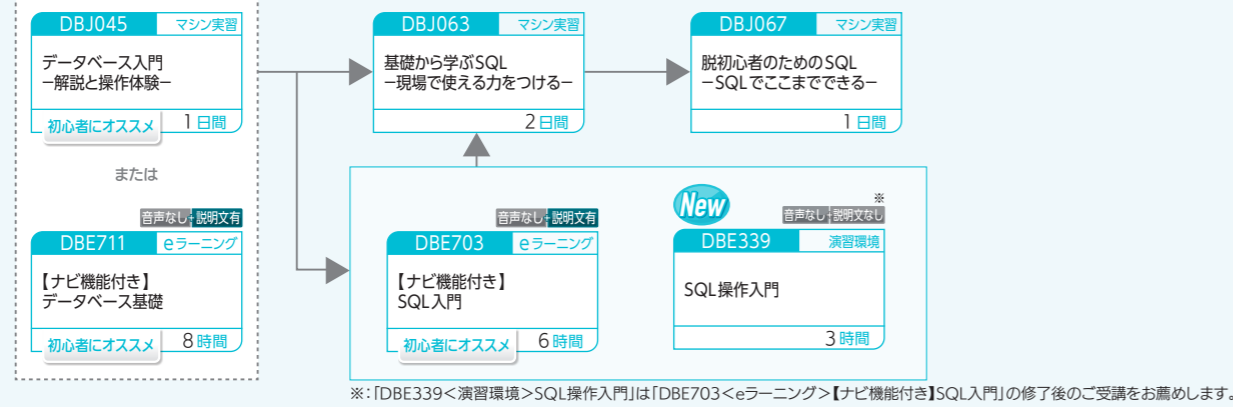
| | |
|--|--|
| SCJ037 セキュリティ技術 | インターネットにおける電子認証技術 —PKI— |
| マシン実習 | |
| 1日間 | |
| このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子商取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。 | |
| 到達目標 | ・PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。 ・PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。 ・情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。 |
| 対象者 | 情報システムを運営・管理する方、電子商取引システムを構築する方。 |
| 前置知識 | 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. PKIの概要 2. 暗号技術と電子署名 3. 認証局と電子証明書 4. PKIによる電子認証のしくみ 5. PKIの活用 6. 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用 |
| 備考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

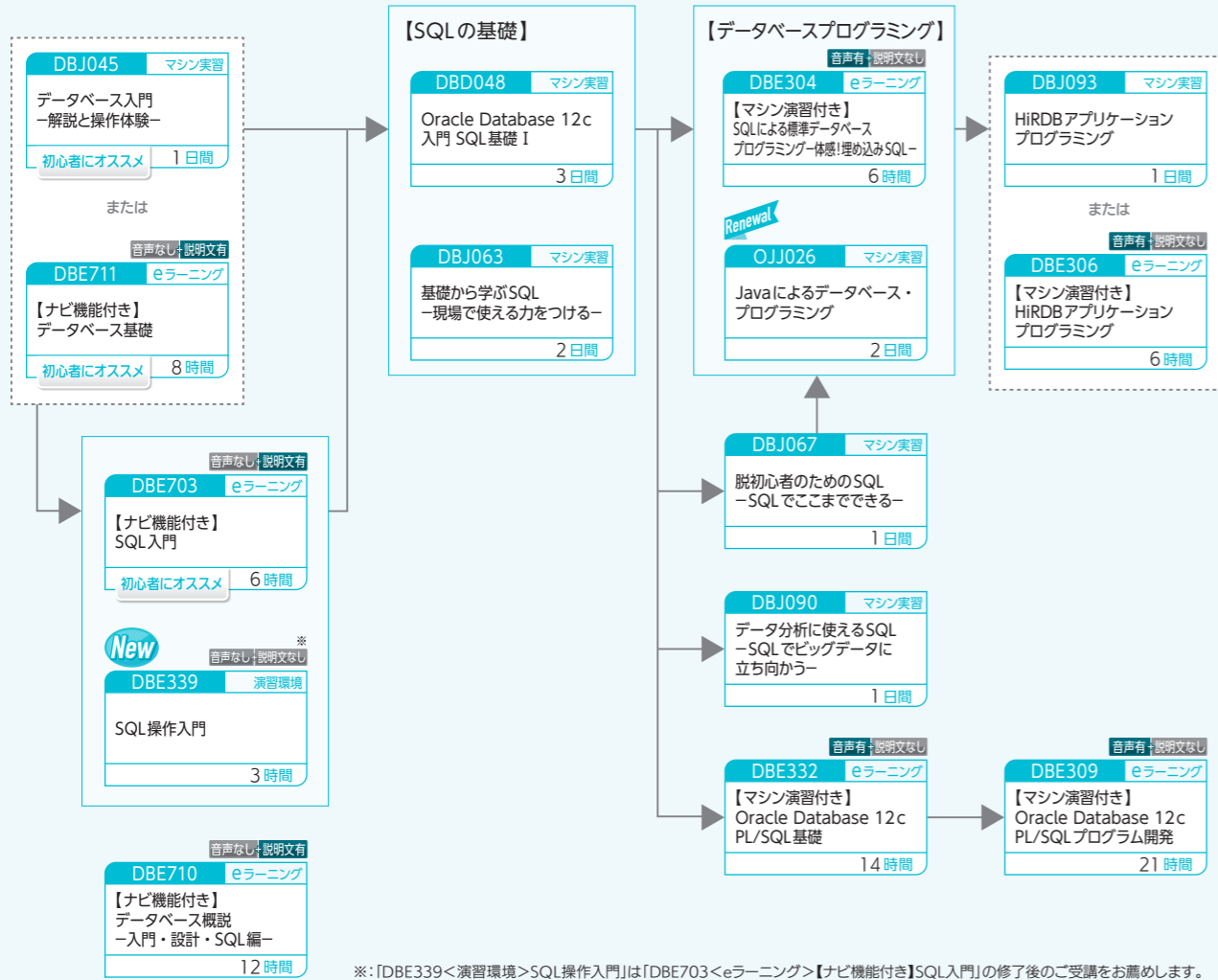
データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

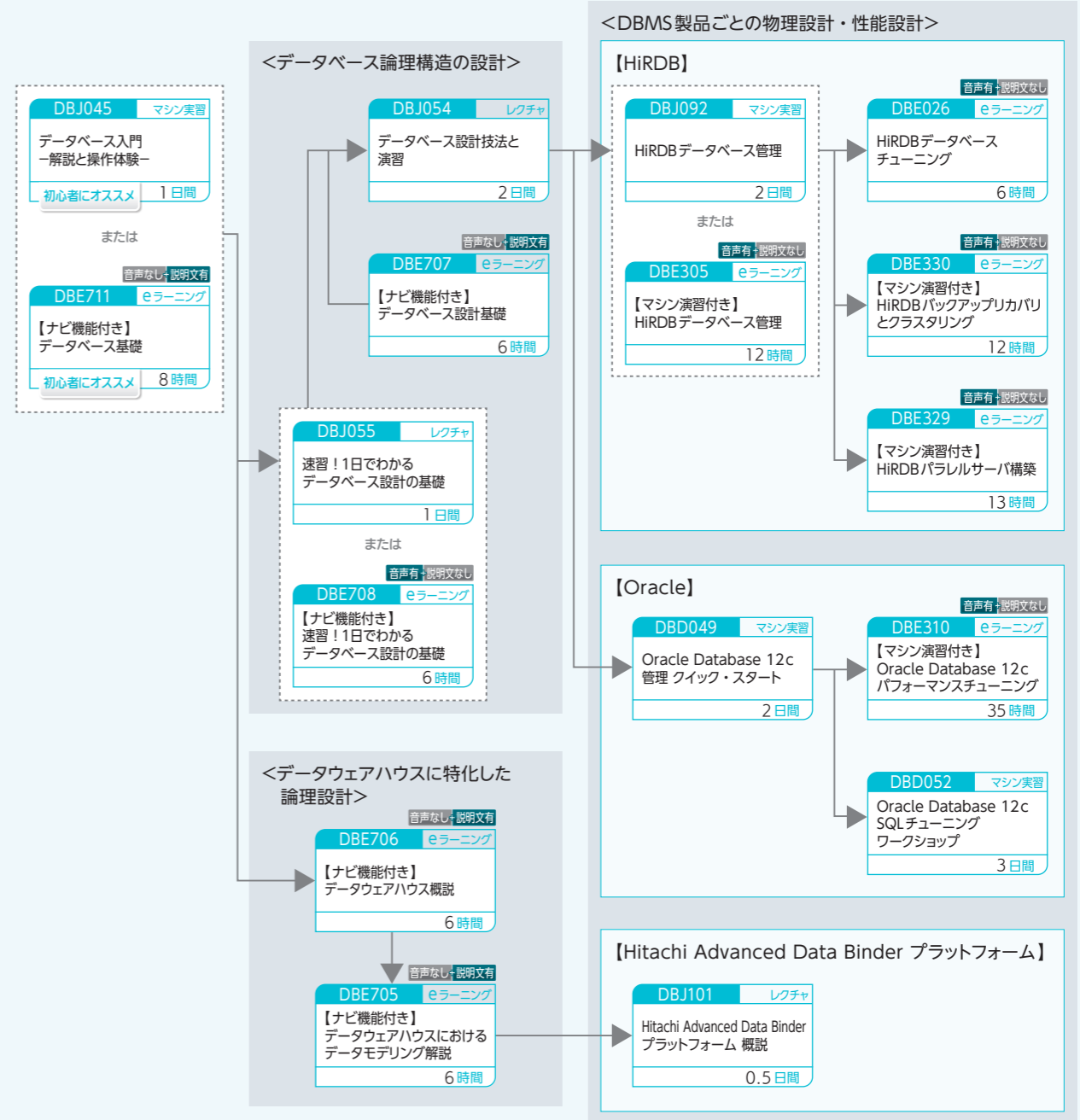
データベースを利用する方



データベースを利用したアプリケーションを開発する方



データベースを設計する方



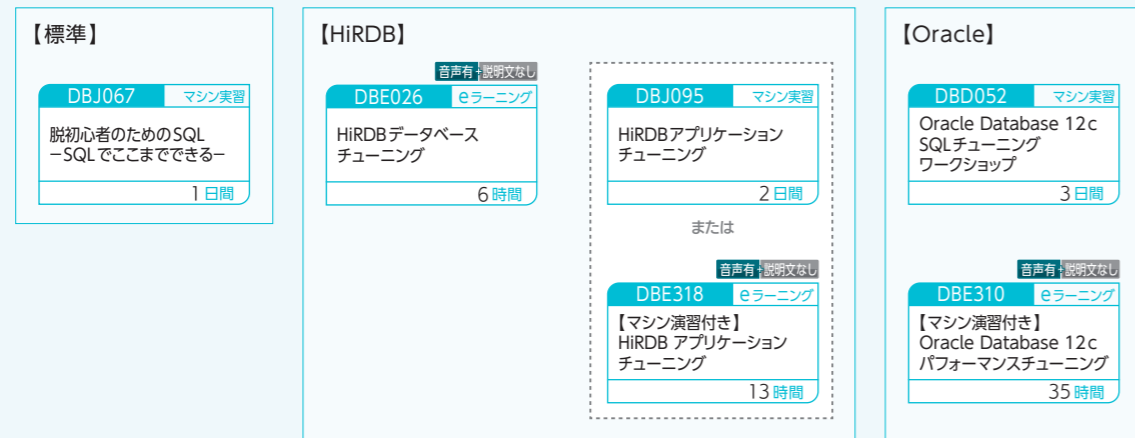
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

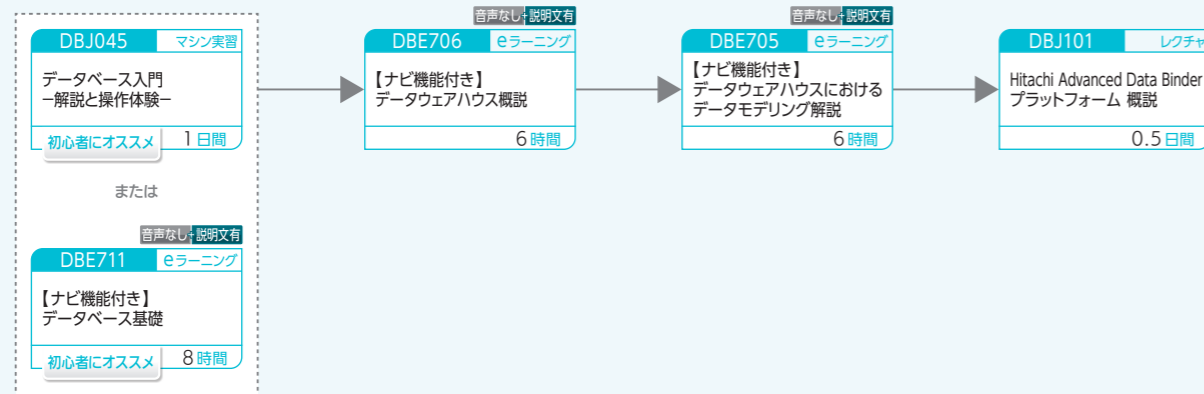
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

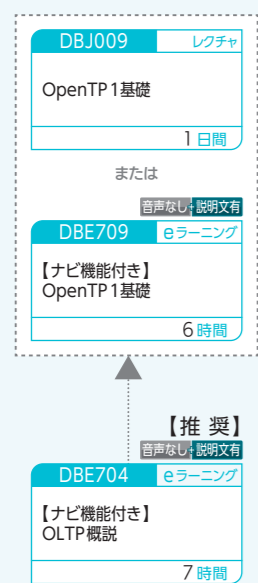
データベースのチューニング方法を修得したい方



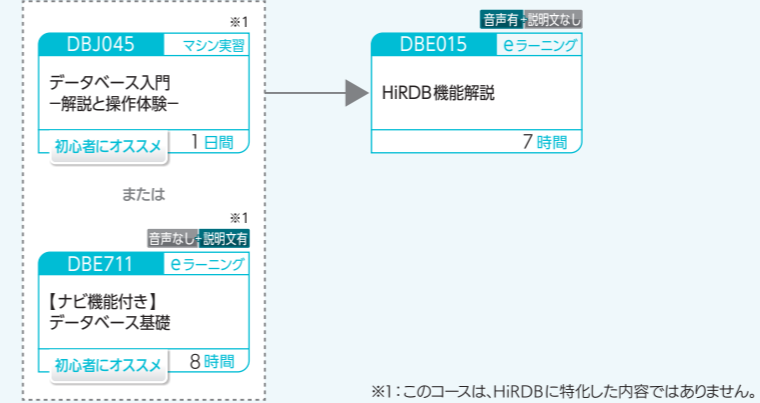
データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方



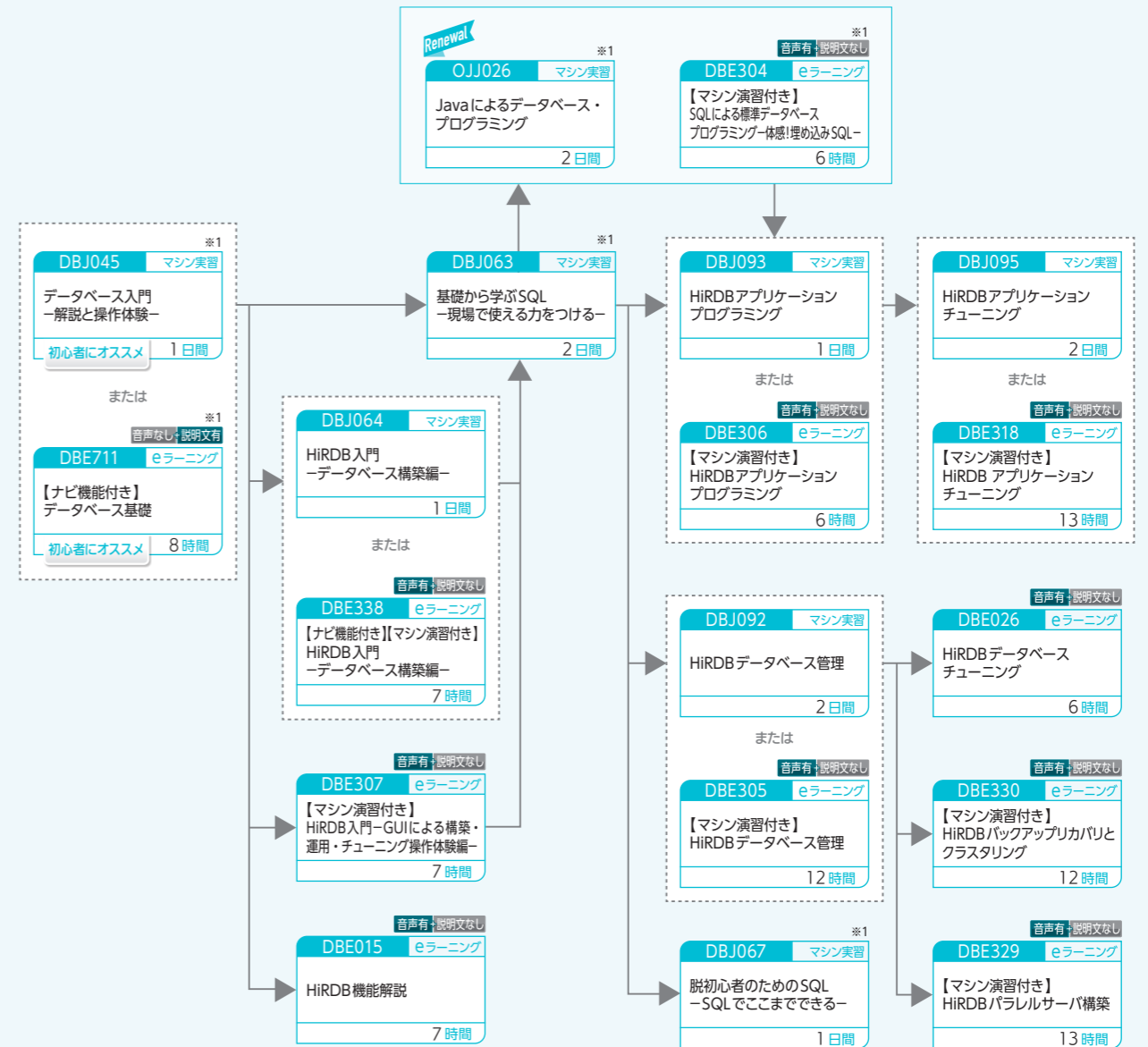
オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方



HiRDBの概要を修得したい方



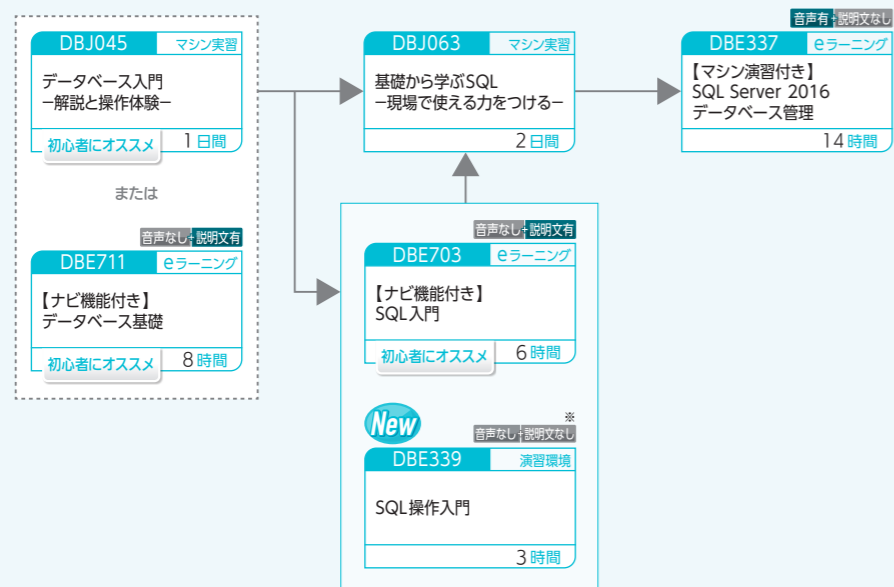
HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

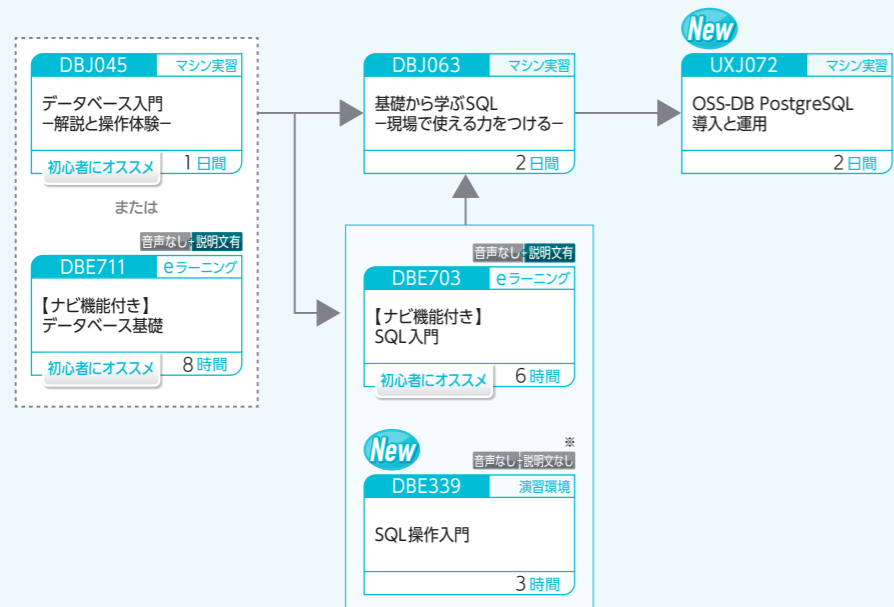
初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

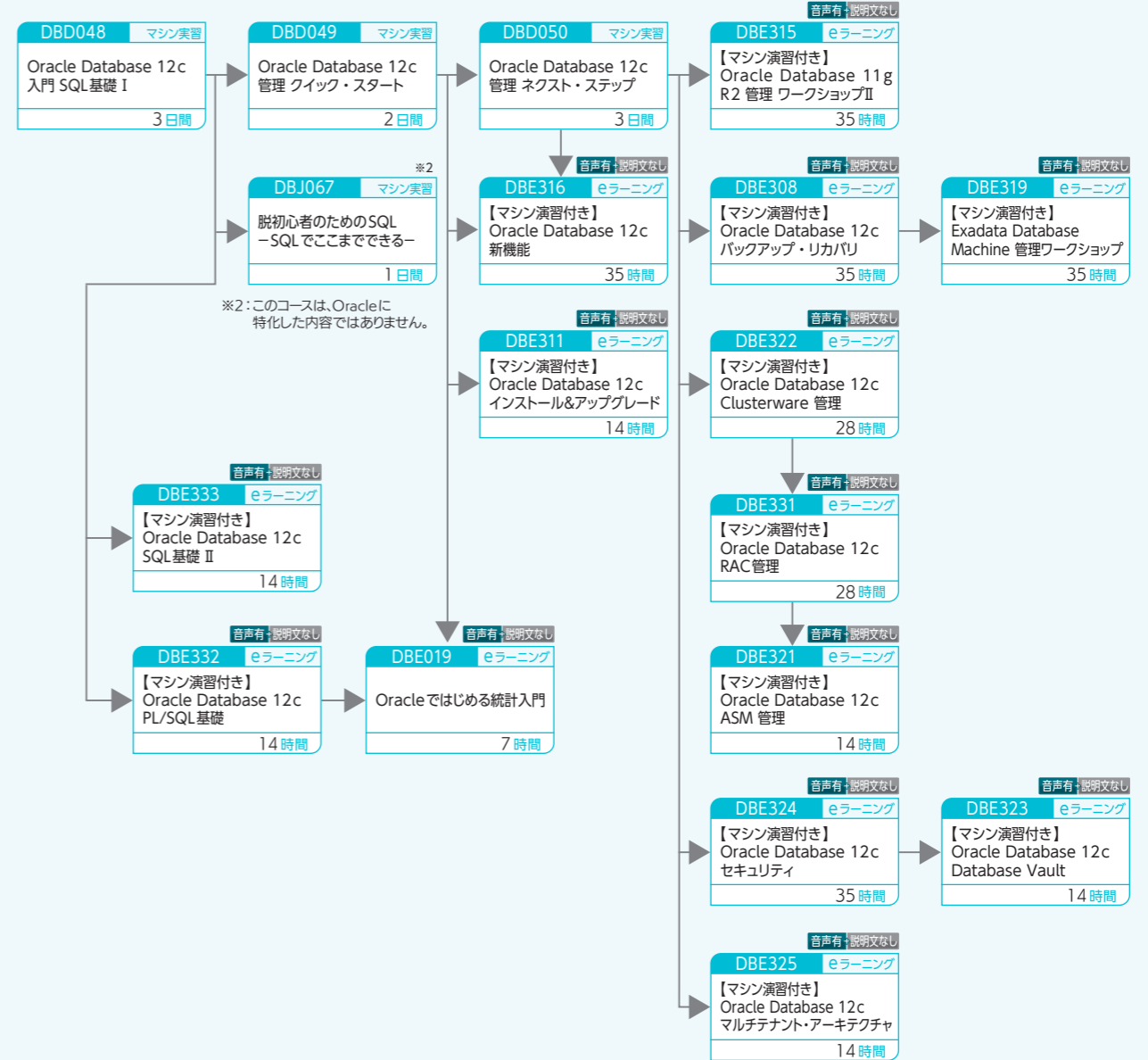
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

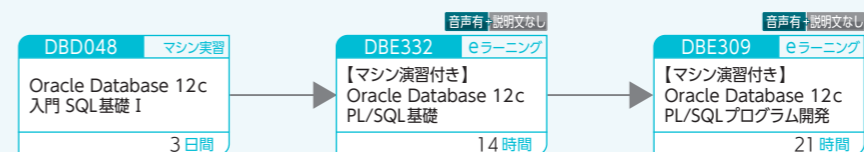
Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方



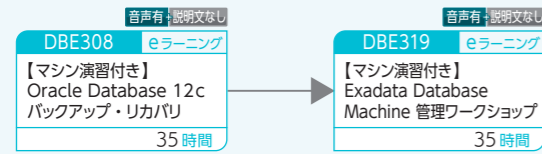
Oracleのチューニング方法を修得したい方



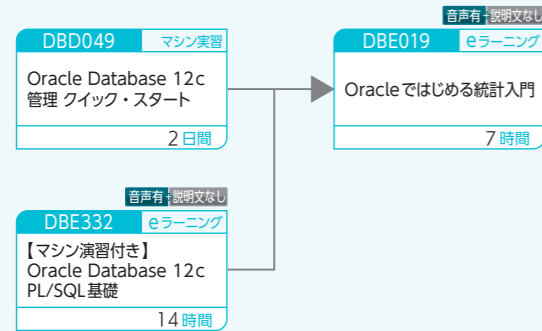
Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



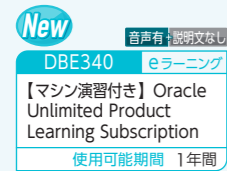
● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



DBJ045 共通
データベース入門
—解説と操作体験—
 1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。
 ・基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースとデータモデル
 2. DBMSの基本機能
 (1) データ独立性
 (2) データの機密保護
 (3) トランザクション
 (4) 同時実行制御
 (5) 整合性制約
 (6) 障害回復
 (7) インデックス
 3. SQL概要
 (1) リレーショナルデータベースの基本操作
 (2) SQLの種類
 (3) SQL構文

備考
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

DBE711 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース基礎
 平均8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理、運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースの概念
 2. DBMS基本機能
 3. データモデル
 4. データベース設計
 5. 修了試験

備考
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ063 共通
基礎から学ぶSQL
—現場で使える力をつける—
 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
 ・リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
 ・リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
 ・SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
 ・リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者
 SQLの知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
 2. SQLによるデータ検索
 (1) 全件検索
 (2) 探索条件
 (3) 結合
 (4) 集合関数
 (5) グループ化
 (6) 並び替え
 (7) 集合演算
 (8) 副問合せ
 3. SQLによるデータ追加/更新/削除
 4. SQLによるトランザクションの制御
 5. SQLによるデータ定義
 (1) 表の定義
 (2) ビューの定義
 (3) インデックスの定義

備考
 ・このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
SQL入門
 平均6時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
 ・データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方、リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQL
 2. データ操作文 (DML)
 (1) 検索処理
 (2) 追加処理
 (3) 更新処理
 (4) 削除処理
 3. データ定義文 (DDL)
 (1) 表の定義
 (2) 参照制約
 (3) ビュー表
 4. データ制御文 (DCL)
 (1) データの確定
 (2) データの取り消し
 5. 修了試験

備考
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE339 共通
<演習環境>SQL操作入門
 平均3時間

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
 SQLによる基本的なデータ操作ができる。

対象者
 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

前提知識
 「【ナビ機能付き】SQL入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. SQL実行環境
 2. SQL実行演習

備考
 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ055 共通
速習！1日でわかる
データベース設計の基礎
 1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標
 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. データベース設計の概要
 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 (1) ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 (2) 正規化
 (3) ER図の作成
 (4) 確認作業—トップダウンアプローチの観点からの確認—
 3. データベース物理設計
 (1) テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 (2) 領域配置図の作成
 4. データベース性能設計
 (1) インデックス設計

自習テキスト 自習書による自己学習
 休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|---|
| DBE707 共通 |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎 |
| 平均6時間 |


データベース設計手順についての基礎理論を、e-ラーニングでの演習を通して学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。 設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。 |
| 対象者 | リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |

| | |
|-----------|--|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> データベース設計概要 ERモデルとER図 正規化 ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題 トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題 修了試験 |
|-----------|--|

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

| |
|---|
| DBE304 共通 |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング-体感！埋め込みSQL- |
| 平均6時間 |


埋め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | 埋め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。 |
| 対象者 | 埋め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関する知識があること。 |

| | |
|-----------|---|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> SQLの基礎 埋め込みSQLを用いたAP作成 修了試験 |
|-----------|---|

備考

- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「演習で学ぶ埋め込みSQLプログラミング」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

| |
|---|
| DBJ067 共通 |
|  脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる- |
| 1日間 |

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。 自己結合の使用方法を理解し説明できる。 CASE式の使用方法を理解し説明できる。 |
| 対象者 | 高度なSQL文の知識を修得したい方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |

| | |
|-----------|---|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 演習環境概要 高度なSQL文 <ol style="list-style-type: none"> EXISTS述語を使用した存在チェック 相関副問合せを使用したランキング表示 分析関数を使用したランキング表示 CASE式を使用したSELECT句での条件分岐 自己結合を使用した組み合わせ表示 NOT EXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理 |
|-----------|---|

備考

- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。
- このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
|  マシン演習 マシンを使用しながらの研修 |  グループ演習 グループ演習を中心とした研修 |  レクチャ 座学による研修 |  演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |  eラーニング インターネット接続による自己学習 |
|--|--|---|---|---|--|

| |
|---|
| DBJ054 共通 |
|  データベース設計技法と演習 |
| 2日間 |

演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。


| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> データベース設計技法について理解し説明できる。 データベースの論理構造の設計ができる。 |
|-------------|--|

対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

| | |
|-----------|--|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> データモデル <ol style="list-style-type: none"> データモデルとは ERモデル リレーショナルモデル 正規化 <ol style="list-style-type: none"> 正規化のねらい 正規化理論の前提知識 正規化手順 論理構造の設計手順 <ol style="list-style-type: none"> 論理構造の設計手順概要 トップダウンアプローチ例題 ボトムアップアプローチ例題 RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作 <ol style="list-style-type: none"> RDBMSへ実装可能な形式への変形 非正規化 |
|-----------|--|

備考 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。

| |
|--|
| DBJ090 共通 |
|  データ分析に使えるSQL -SQLでビッグデータに立ち向かう- |
| 1日間 |

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン演習を通して学習します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> SQLによるデータ分析の概要を説明できる。 高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。 高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。 |
| 対象者 | SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。 |
| 前提知識 | 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |

| | |
|-----------|---|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> データ分析概要 高度なSQL文 <ol style="list-style-type: none"> CASE式 相関副問合せ SQL分析関数 <ol style="list-style-type: none"> ウィンドウ関数 レポート関数 LAG/LEAD関数 中間データの加工-副問合せと共通表式(WITH句)- |
|-----------|---|

備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

| |
|---|
| DBE704 共通 |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説 |
| 平均6時間 |

OLTP(オンライントランザクション処理)の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。 さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。 DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。 |
| 対象者 | オンライントランザクションシステムを構築する方。分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。特に必要としません。 |
| 前提知識 | 1. トランザクション処理とは |

| | |
|-----------|--|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> トランザクション処理の変遷 OLTPの特徴 OLTPのシステム要件 OLTPのシステム構成 The Open Group DTPモデル OLTPシステムの基本機能 修了試験 |
|-----------|--|

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

| |
|--|
| DBE706 共通 |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 |
| 平均6時間 |

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> データウェアハウスの概念を理解し説明できる。 データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。 データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。 |
| 対象者 | DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |

| | |
|-----------|---|
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> データウェアハウス登場の背景 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス データウェアハウスとは OLAPとデータマイニング 修了試験 |
|-----------|---|

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
|  マシン演習 マシンを使用しながらの研修 |  グループ演習 グループ演習を中心とした研修 |  レクチャ 座学による研修 |  演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |  eラーニング インターネット接続による自己学習 |
|--|--|---|---|---|--|

| | |
|--|----------------------------------|
|  自習テキスト 自習書による自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催はありません |
|--|----------------------------------|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |

| |
|-------------|
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |

| |
|--------------|
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |

| |
|------|
| IT基本 |
| IT基本 |

| |
|--------|
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |

| |
|--------------|
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |

| |
|------------|
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |

| |
|-------|
| グローバル |
|-------|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| DBE316 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能</div> |
| 平均35時間 |
| <p>Oracle Database 12cの新機能と強化された機能について学習します。Oracle Database 12cによって管理性、セキュリティ、およびパフォーマンスが向上する仕組みを学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">Oracle Database 12cの新機能について説明できる。 Oracle Database 12cで強化された機能について説明できる。 Oracle Database 12cのパフォーマンスについて説明できる。 |
| 対象者 |
| Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。 |
| 前提知識 |
| Oracle Database 11gに関する十分な知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracle Database 12cの各種ツールの新機能 Oracle Database 12cの監査・権限・監視機能の拡張 Oracle Database 12cのパフォーマンスの拡張 Oracle Database 12cのSQL機能拡張 |
| 備 考 |
| 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBD048 Oracle |
|--|
| <div><div></div>Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I</div> |
| 3日間 |
| <p>リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">SQL関数 (TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど) でデータを加工して取得できる。 複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。 INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。 表を作成、管理できる。 |
| 対象者 |
| Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【「ナビ機能付き」データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">はじめに SQL SELECT文を使用したデータの取得 データの制限とソート 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ 変換関数と条件式の使用法 グループ関数を使用した集計データのレポート 結合を使用した複数の表のデータの表示 集合演算子の使用 DML文を使用した表の管理 データ定義言語の概要 |
| 備 考 |
| <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前 (開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 |

| DBE333 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎II</div> |
| 平均14時間 |
| <p>スキーマ・オブジェクトの管理、データ・ディクショナリ・ビューの使用法、および応用的な問い合わせやデータセットの操作や正規表現を使用など効率的なSQLの記述方法を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">スキーマオブジェクトの管理やデータディクショナリ・ビューを使用することができる。 副問い合わせを活用して効率的な問い合わせを行うことができる。 正規表現を使用した複雑な問い合わせを行うことができる。 |
| 対象者 |
| Oracle Database 12cを使用したアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 |
| Oracle Database 12cに関する基本的な知識があること、および基本的なSQLに関する知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">データ・ディクショナリ・ビューの概要 順序、シノニム、索引の作成 ビューの作成 スキーマ・オブジェクトの管理 副問い合わせを使用したデータの取得 副問い合わせを使用したデータの操作 ユーザーアクセスの制御 データの操作 異なるタイム・ゾーンのデータの管理 |
| 備 考 |
| 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBE309 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発</div> |
| 平均21時間 |
| <p>基礎的なPL/SQL知識をお持ちの開発者向けのコースです。ファンクショ、パッケージおよびデータベース・トリガーなどのPL/SQLストアド・プロシージャの開発・運用・管理を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">ストアド・プロシージャおよびファンクションを作成できる。 PL/SQLパッケージの設計による関連構造のグループ化および包含を説明できる。 PL/SQLサブプログラム間の依存関係を管理できる。 |
| 対象者 |
| PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">はじめに ストアド・プロシージャの作成 ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ パッケージの作成 パッケージの使用 アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用 動的SQLの使用項 PL/SQLコードの設計上の考慮事項 トリガーの作成 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成 PL/SQLコンパイルの使用 依存性の管理 |
| 備 考 |
| 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBD052 Oracle |
|--|
| <div><div></div>Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ</div> |
| 3日間 |
| <p>自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">効率の悪いSQL文を識別できる。 SQL文を最適に実行するために改良できる。 アプリケーション・トレースを使用できる。 オブティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。 |
| 対象者 |
| Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseアーキテクチャの検討 SQLチューニングの概要 オブティマイザの概要 オブティマイザ演算子 実行計画の解釈 クエス・スタディ：スター型変換 オブティマイザ統計 バインド変数の使用 オブティマイザ・ヒントの使用 アプリケーション・トレース SQLチューニングの自動化 |
| 備 考 |
| <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前 (開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 |

| DBE308 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ</div> |
| 平均35時間 |
| <p>バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。 リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。 フラッシュバック・テクノロジーを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。 |
| 対象者 |
| Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">はじめに リカバリ可能性の構成 RMANリカバリ・カタログの使用 バックアップ計画および用語 バックアップの実行 バックアップの向上 RMANによる暗号化バックアップの使用 障害の診断 リストアおよびリカバリの概要 リカバリの実行 (パート1) リカバリの実行 (パート2) RMANおよびOracle Secure Backup フラッシュバック・テクノロジーの使用 フラッシュバック・データベース データの転送 Point-in-Timeリカバリの実行 データベースの複製 RMANパフォーマンスおよびチューニング バックアップおよびリカバリ・ワークショップ |
| 備 考 |
| 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBD049 Oracle |
|---|
| <div><div></div>Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート</div> |
| 2日間 |
| <p>Oracleデータベースのインストールから環境構築、記憶域の管理、バックアップ・リカバリなど、データベース管理者の第一歩となる基礎的な技術を、マシン演習を通して学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。 Enterprise Manager Database Expressを用いデータベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。 Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。 データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。 |
| 対象者 |
| Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracleデータベース管理の概要 データベースのインストールおよび作成 Oracle Enterprise Manager Database ExpressとSQLベース管理ツールの使用 Oracleネットワーク環境の構成 Oracleインスタンスの管理 データベース記憶域構造の管理 ユーザーおよびセキュリティの管理 スキーマ・オブジェクトの管理 バックアップおよびリカバリの実行 データベースの監視およびアドバイザの使用 ソフトウェアの管理 |
| 備 考 |
| <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前 (開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 |

| DBD050 Oracle |
|--|
| <div><div></div>Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ</div> |
| 3日間 |
| <p>データベースの環境構築、オブジェクト管理、セキュリティ管理、バックアップ・リカバリを行う際に必要な知識や操作方法をより深く学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。 記憶域構造の作成および管理ができる。 Oracleネットワーク環境の構成ができる。 データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。 バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。 |
| 対象者 |
| Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Silver Oracle Databaseの資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseアーキテクチャの確認 データベース・インスタンスの管理 Oracleネットワーク環境の構成 ユーザー・セキュリティの管理 データベース記憶域構造の管理 領域の管理 データ同時実行性の管理 Oracle Database監査の実装 バックアップおよびリカバリ データの移動 データベースのメンテナンス パフォーマンスの管理 |
| 備 考 |
| <ul style="list-style-type: none">このコースは、Oracle社認定コースです。 このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前 (開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 |

| DBE332 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎</div> |
| 平均14時間 |
| <p>基本的なPL/SQLプログラミングを学習します。制御文、明示カーソル、例外処理、ストアド・プロシージャ、ファンクションの概要など、プログラムを作成するうえで必須の内容について学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">PL/SQLのプログラミング構造を理解し作成できる。 効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックを作成できる。 データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。 実行時エラーの処理を理解し活用できる。 |
| 対象者 |
| PL/SQLを使用しOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">はじめに PL/SQLの概要 PL/SQL変数の宣言 実行文の記述 PL/SQLブロック内でのSQL文の使用 制御構造の記述 コンポジット・データ型処理 明示カーソルの使用 例外の処理 ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成 |
| 備 考 |
| 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBE310 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング</div> |
| 平均35時間 |
| <p>SQLチューニング・アドバイザ、SQLアクセス・アドバイザ、自動ワークロード・リポジトリや自動データベース診断モナなどのOracle Database自動チューニング機能の使い方を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">DB統計およびメトリックを使用したパフォーマンス問題が認識できる。 チューニング診断を活用できる。 チューニング・ツールの目的と使用方法を理解できる。 問題のあるSQL文を認識できる。 |
| 対象者 |
| Oracleデータベースのパフォーマンス・チューニング知識を必要とする方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">パフォーマンス・チューニング概要 基本ツールを使用した監視 自動ワークロード・リポジトリ (AWR)の使用 問題の認識 問題のあるSQL文の認識 オブティマイザの適用 SQL計画管理 変更の管理 メトリックおよびアラートの使用 AWR関連ツールの使用 サービスを使用したアプリケーションの監視 ペーライン 共有アールのチューニング バッファ・キャッシュのチューニング PGAおよび一時領域 自動メモリー管理 ブロック領域使用量のチューニング I/Oのチューニング まとめ |
| 備 考 |
| 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBE311 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード</div> |
| 平均14時間 |
| <p>Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストールができる。 Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。 Oracle Database 12c へのアップグレードができる。 |
| 対象者 |
| Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracle Database 12c 概要 スタンドアロン・サーバー用のOracle Grid Infrastructureのインストール Oracle Databaseソフトウェアのインストール DBCAを使用した Oracle Database の作成 Oracle Restart の使用 Oracle Database 12c へのアップグレードの概要 Oracle Database 12c へのアップグレードの準備 Oracle Database 12c へのアップグレード アップグレード後の作業の実行 Oracle Data Pump を使用したデータの移行 |
| 備 考 |
| 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| DBE311 Oracle |
|---|
| <div><div></div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード</div> |
| 平均14時間 |
| <p>Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。</p> |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none">スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストールができる。 Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。 Oracle Database 12c へのアップグレードができる。 |
| 対象者 |
| Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。 |
| 前提知識 |
| 「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 |
| <ol style="list-style-type: none">Oracle Database 12c 概要 スタンドアロン・サーバー用のOracle Grid Infrastructureのインストール Oracle Databaseソフトウェアのインストール DBCAを使用した Oracle Database の作成 Oracle Restart の使用 Oracle Database 12c へのアップグレードの概要 Oracle Database 12c へのアップグレードの準備 Oracle Database 12c へのアップグレード アップグレード後の作業の実行 Oracle Data Pump を使用したデータの移行 |
| 備 考 |
| 本ページ右下※1をご参照ください。 |

※1

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-jp.pdf
- このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX /Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|-------------------------------|
| マシン演習 |
| マシンを使用した ならが研修 |
| グループ演習 |
| グループ演習を 中心とした研修 |
| レクチャ |
| 座学による 研修 |
| 演習環境 |
| 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 |
| 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
| eラーニング |
| インターネット接続 による自己学習 |


| |
|-------------------|
| 自習テキスト |
| 自習者による 自己学習 |
| 休講 |
| 今期の定期開催は ありません |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|---|
| DBE315 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II 平均35時間 |
| バックアップ・リカバリアーキテクチャおよびテックツクや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none">Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。 最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。 データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。 リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。 |
| 対象者 Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g 管理 ネットワーク・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseの主要な概念およびツール リカバリ可能性のための構成 Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用 |
| 備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、旧「Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|---|
| DBE319 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理 ワークショップ 平均35時間 |
| Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) のさまざまな機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。 |
| 到達目標 ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。 |
| 対象者 Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) を管理する方。 |
| 前提知識 Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること、および、Unix/Linuxの実用的な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Exadata Storage Serverの構成 I/Oリソース管理 データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項 スマート・スキャンの使用 統合の推奨ストレージ構成 Exadata Database Machine へのデータベースの移行 Oracle DBFS を使用したバルク・データ・ロード Exadata Database Machine のプラットフォーム監視: はじめに Exadata Database Machineを監視するための Enterprise Manager Cloud Control 12cの構成 Exadata Storage Servers の監視 データベース・サーバーの監視 InfiniBandネットワークの監視 その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視 その他の役立つ監視ツール バックアップとリカバリ Exadata Database Machineのメンテナンス・タスク Exadata Database Machineのパッチ適用 |
| 備考 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|--|
| DBE324 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ 平均35時間 |
| Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した機密データを保護する方法を学習します。 |
| 到達目標 OracleのOracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。 |
| 対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。 |
| 前提知識 Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">セキュリティ要件について セキュリティ・ソリューションの選択 基本的なデータベース・セキュリティの実装 ネットワーク上のデータの保護 ユーザーの基本認証および厳密認証の資料 グローバル・ユーザー認証の構成 プロキシ認証の使用 権限とロールの使用 権限分析の使用 アプリケーション・コンテキストの使用 仮想プライベート・データベースの実装 Oracle Label Security の実装 データのリダクション Oracle データ・マスキングの使用 透過的機密データ保護の使用 暗号化の概念とソリューション DBMS_CRYPTO パッケージによる暗号化 透過的データ暗号化の使用 データベース・ストレージのセキュリティ 統合監査の使用 ファイイングレイン監査の使用 |
| 備考 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|---|
| DBE321 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理 平均14時間 |
| Oracle ASMのアーキテクチャやACFSの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none">Oracle ASM や ACFS の管理を行うことができる。 Flex ASM を構成することができる。 ACFS 監査やACFS暗号化、高可用性NFSなど Oracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。 |
| 対象者 Oracle Database 12cを管理する方。 |
| 前提知識 Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle ASM インスタンスの管理 Flex ASM ASM ディスク・グループの管理 ASM ファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理 Oracle Cloud File System の管理 |
| 備考 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|--|
| DBE331 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理 平均28時間 |
| Oracle Database 12c RAC アーキテクチャの理解、RAC データベースを構成方法、マルチテナント環境での RAC データベースの管理に加えて、バックアップ・リカバリや RAC 環境での高可用性について学習します。 |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none">RAC データベース環境を構成できる。 RAC データベースの管理を行うことができる。 RAC データベースのバックアップ・リカバリを行うことができる。 RAC データベースの高可用性機能について説明できる。 |
| 対象者 Oracle Database 12c RACデータベースを管理する方。 |
| 前提知識 Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle RAC アーキテクチャ Oracle RAC の構成と管理 バックアップ・リカバリ RAC の監視とチューニング RAC 環境での高可用性 RAC One Note |
| 備考 本ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|--|
| DBE323 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault 平均14時間 |

Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。

| |
|--|
| 到達目標 Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。 |
| 対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。 |
| 前提知識 SQLおよびPL/SQLに対する基本的な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Database Vaultの概要 Database Vaultの構成 権限の分析Configuring Realms レルムの構成 ルール・セットの定義 コマンド・ルールの構成 ルール・セットの拡張 セキュア・アプリケーション・ロールの構成 Database Vaultレポートによる監査 ベスト・プラクティスの実装 |
| 備考 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|---|
| DBE325 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ 平均14時間 |

Oracle Database 12c の新機能であるマルチテナント・アーキテクチャの概念を学習します。

| |
|--|
| 到達目標 マルチテナント・コンテナ・データベースの作成、管理ができる。 |
| 対象者 Oracle Database 12cを管理する方、Oracle Database 12cを設計する方。 |
| 前提知識 Oracle Database 12c, Linux OSに関する十分な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">コンテナおよびプラグابل・データベースのアーキテクチャ CDBおよびPDBの作成 CDBおよびPDBの管理 CDBおよびPDBの記憶域の管理 CDBおよびPDBのセキュリティの管理 可用性の管理 パフォーマンスの管理 その他 |
| 備考 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|---|
| DBE322 Oracle |
|  <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理 平均28時間 |

一般的なクラスタの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。

| |
|--|
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none">Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタおよび Oracle Flex Cluster を構成できる。 クラスタ内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタ管理を行うことができる。 |
| 対象者 Oracle Database 12cを管理する方。 |
| 前提知識 Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。 |
| 内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Clusterware のアーキテクチャ Grid Infrastructure のインストール クラスタ・ノードの管理 従来の Clusterware の管理 ポリシーベースのクラスタ管理 Oracle Clusterware のトラブルシューティング アプリケーションの高可用性 |
| 備考 右ページ右下※1をご参照ください。 |

| |
|--|
| ※1 |
| <ul style="list-style-type: none">収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| | | |
|--|--|---|
|  マシン演習 マシンを使用した からの研修 |  グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 |  レクチャ 座学による 研修 |
|--|--|---|

| | |
|---|---|
|  演習環境 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
|---|---|

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|
|  eラーニング |  マシン演習 |  動画 |  文字情報 |  音声転写 |  Oracle |  アイチャット |
|---|---|--|--|--|--|--|

| | |
|--|-----------------------------------|
|  自習テキスト 自習書による 自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催は ありません |
|--|-----------------------------------|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| |
|--------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDMII |
| Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

DBE019 Oracle

<eラーニング> Oracleではじめる統計入門

平均8時間

Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。

到達目標

- Big Dataを取り巻く環境を説明できる。
- 基本的な統計手法について説明できる。
- Oracle Databaseにおけるデータ分析ができる。

対象者

Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。

前提知識

「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎I」、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Big Dataを取り巻く環境
- 統計概要
- 平均
- 度数分布と標準偏差
- 散布図とバブル・チャート
- 時系列分析 (傾向分析)
- 多次元分析
- Oracle Databaseで提供される分析関数

備考

- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのサービス有効期間は90日間です。
- このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE334 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Bronze 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験(12c SQL、Bronze DBA 12c)の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。

到達目標

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験の受験準備ができる。

対象者

Oracle MASTER Bronzeの資格取得をめざす方。

前提知識

「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了されているか、同等の知識があること。

内容

- ORACLE MASTER Bronze試験の受験準備
 - 12c SQL
 - Bronze DBA 12c

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE335 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Silver 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習することができます。

到達目標

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者

ORACLE MASTER Silver 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識

ORACLE MASTER Bronze 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

- インストール、アップグレード
 - Oracle Grid Infrastructure およびOracle データベースのインストールとデータベースの作成
 - Oracle データベースのアップグレード
- Oracle Databaseの管理
 - インスタンスの管理、Oracleネットワーク環境の構成
 - ユーザー・セキュリティの管理、同時実行性の管理
 - データベース記憶域構造の管理
 - バックアップ・リカバリ、データ移動、リソース・マネージャ、Oracle Schedulerの使用
 - データベースのメンテナンス、パフォーマンスの管理

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE336 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Gold 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習することができます。

到達目標

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者

ORACLE MASTER Gold 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識

ORACLE MASTER Silver 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

- バックアップとリカバリ
 - Oracle データ保護ソリューション
 - 基本的なバックアップとリカバリの実行
 - リカバリ能力の構成
 - RMANリカバリ・カタログの使用
 - バックアップ計画の実装・実行
 - RMAN バックアップ・オプションの設定および非データベース・ファイルのバックアップの作成
 - RMAN 暗号化バックアップの使用
 - 障害の診断
 - リストアおよびリカバリ操作の実行・RMAN を使用したファイルのリカバリ
 - Oracle Secure Backup の使用
 - フラッシュバック・テクノロジーの使用・フラッシュバック・データベースの使用
 - データの転送
 - データベースの複製
 - RMAN の操作の監視と調整
- プラガブル・データベースとコンテナ・データベースの管理
 - マルチテナント・コンテナ・データベースとプラガブル・データベースのアーキテクチャと作成
 - CDB と PDB の記憶域の管理・セキュリティの管理
 - 可用性の管理
 - パフォーマンスの管理
 - データの移動、セキュリティ操作の実行、他のOracle製品との統合

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE340 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Unlimited Product Learning Subscription

平均8時間

Oracle社が提供する、各種のOracleトレーニング・オンデマンド及び関連する動画などのコンテンツを期間中自由に学習します。

到達目標

担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。

対象者

Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。

前提知識

特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。

内容

- 各種のOracle トレーニング・オンデマンドのコース
- 各種の関連する技術についての動画

備考

- 提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。
http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=1034
- このコースのサービス有効期間は365日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

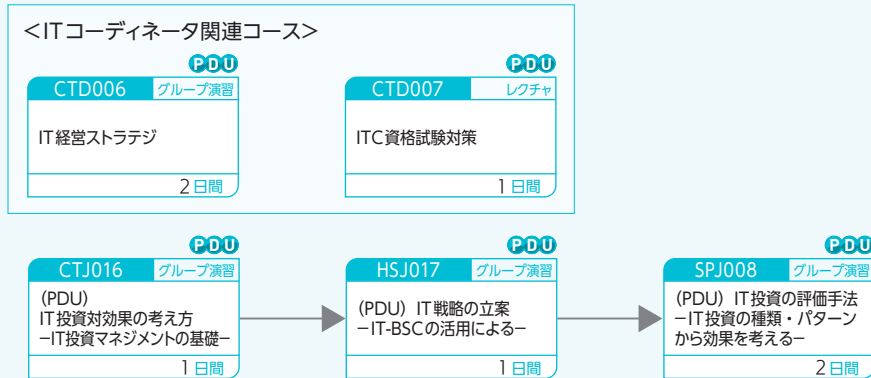
※2

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

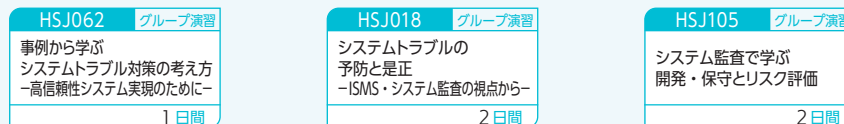
IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

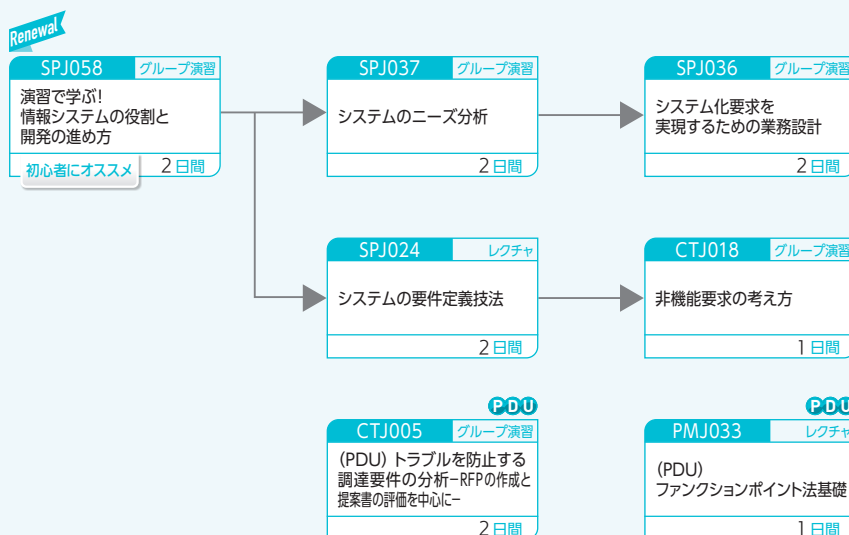
● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画／要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発

Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス


ビジネス/
ヒューマン

グローバル


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|----------------------|
| IT戦略・IS企画/ システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |


| |
|--------------|
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | |
|---|---|
| CTJ005 | IT戦略・IS企画 |
|  | (PDU)トラブルを防止する 調達要件の分析-RFPの作成と 提案書の評価を中心に- PDU |
| 2日間 | |
| 情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。合理的な評価に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:12ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。 ・信頼性の高いIT契約を締結できる。 |
| 対象者 | 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 情報化に関する基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. IT調達がかかる課題と調達要件分析の重要性 2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン 3. 要件を的確に伝えるRFP (提案依頼書) (1) 演習：新システム導入に関するRFP検討 (2) 合理的な提案書評価 (1) 演習：ベンダからの提案書評価 (1) 信頼性を向上させるIT契約書 |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| | |
|------|---|
| 到達目標 | ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。 ・信頼性の高いIT契約を締結できる。 |
| 対象者 | 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 情報化に関する基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. IT調達がかかる課題と調達要件分析の重要性 2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン 3. 要件を的確に伝えるRFP (提案依頼書) (1) 演習：新システム導入に関するRFP検討 (2) 合理的な提案書評価 (1) 演習：ベンダからの提案書評価 (1) 信頼性を向上させるIT契約書 |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| | |
|---|---|
| SPJ033 | IT戦略・IS企画 |
|  | 保守開発におけるトラブル対策の考え方 |
| 1日間 | |
| 既存システムの修正や改良といった“保守開発”におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイント、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。 | |
| 到達目標 | ・保守開発の現状と課題が説明できる。 ・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。 ・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。 |
| 前提知識 | 情報化に関する基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか (1) 保守開発の現状 (2) 保守開発プロセスがかかる課題 2. 保守開発マネジメント概論 (1) 保守開発に関連するガイドライン (2) トラブル防止に向けた取り組み 3. 保守開発プロセスの改善提言 (1) 保守開発段階での品質管理とは (2) 保守開発計画と工数見積りのレベルアップ (3) 開発環境とテスト環境の強化ポイント 4. 保守開発トラブルのマネジメント (1) トラブル関連情報の収集と傾向分析 (2) ヒューマンファクタ分析の応用 演習：保守開発におけるトラブルの事例研究 |
| 備考 | 講師：前橋 雅夫氏 前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 公認システム監査人、ITコーディネータ、ISMS審査員補ほか このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 |


| | |
|------|---|
| 到達目標 | ・保守開発の現状と課題が説明できる。 ・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。 ・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。 |
| 前提知識 | 情報化に関する基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか (1) 保守開発の現状 (2) 保守開発プロセスがかかる課題 2. 保守開発マネジメント概論 (1) 保守開発に関連するガイドライン (2) トラブル防止に向けた取り組み 3. 保守開発プロセスの改善提言 (1) 保守開発段階での品質管理とは (2) 保守開発計画と工数見積りのレベルアップ (3) 開発環境とテスト環境の強化ポイント 4. 保守開発トラブルのマネジメント (1) トラブル関連情報の収集と傾向分析 (2) ヒューマンファクタ分析の応用 演習：保守開発におけるトラブルの事例研究 |
| 備考 | 講師：前橋 雅夫氏 前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 公認システム監査人、ITコーディネータ、ISMS審査員補ほか このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 |

| | |
|--|---|
| CTD006 | IT戦略・IS企画 |
|  | IT経営ストラテジ PDU |
| 2日間 | |
| ITコーディネータプロセスガイドラインに準拠し、企業のIT経営を成功させるためのマネジメント業務の概要を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:16ポイント)の取得が可能です。また、このコースは、ITコーディネータ協会のマルチエンターポイント対象コースに認定されており、認定学習時間(16時間)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ・IT化が経営戦略に基づくものであることを説明できる。 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて説明できる。 |
| 対象者 | CIO、経営企画部門、情報システム部門のマネジャー、ITコーディネータめずす方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. 概論：IT化の課題、IT化のプロセス、ケース企業の理解 2. 経営戦略：経営環境分析、CSFの選定、投資対効果、経営戦略の策定 3. IT戦略策定：業務とIT環境のギャップ分析、IT費用対効果、IT戦略の策定 4. IT資源調達：要件定義とRFP 5. IT導入：IT導入のポイント 6. ITサービス活用：ITサービス活用と継続的な業務プロセス改革への提言 |
| 備考 | ・このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をご登録ください。 ・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースは、ITC関連のケース研修等と一部重複するところがあります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| | |
|------|---|
| 到達目標 | ・IT化が経営戦略に基づくものであることを説明できる。 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて説明できる。 |
| 対象者 | CIO、経営企画部門、情報システム部門のマネジャー、ITコーディネータめずす方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. 概論：IT化の課題、IT化のプロセス、ケース企業の理解 2. 経営戦略：経営環境分析、CSFの選定、投資対効果、経営戦略の策定 3. IT戦略策定：業務とIT環境のギャップ分析、IT費用対効果、IT戦略の策定 4. IT資源調達：要件定義とRFP 5. IT導入：IT導入のポイント 6. ITサービス活用：ITサービス活用と継続的な業務プロセス改革への提言 |
| 備考 | ・このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をご登録ください。 ・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースは、ITC関連のケース研修等と一部重複するところがあります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| | |
|--|--|
| CTJ021 | IT戦略・IS企画 |
|  | (PDU)戦略的 エンタープライズアナリシス PDU |
| 2日間 | |
| 戦略的企業分析チームの一角が業務遂行に必要な知識として、エンタープライズアーキテクチャの学習に欠かせない戦略的企業分析の一連のプロセスを、ケーススタディ演習を通して体験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:15ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ・戦略的企業分析の主要なアクティビティを理解できる。 ・組織のコアコンピタンスを特定できる。 ・AS-ISおよびTO-BEのエンタープライズアーキテクチャをモデル化できる。 ・顧客価値分析を行うことができる。 ・業務プロセスの改善を計画できる。 ・AS-ISおよびTO-BEのITアーキテクチャをモデル化できる。 ・サービス指向アーキテクチャ(SOA)の意味を理解できる。 ・プロジェクトのポートフォリオマネジメントを行うことができる。 |
| 対象者 | ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。 |
| 前提知識 | ビジネスアナリシスに関する基礎知識、一般的な戦略論に関する知識があること。 |
| 内容 | 1. エンタープライズアーキテクチャ (1) BAの重要性 (2) 実践手法の概説 (3) 演習 2. 顧客価値分析 (1) 業務適用上の問題点とビジネスの問題 (2) ケーススタディ演習 3. プロセスマネジメント (1) 問題の根本にある原因を探る (2) ビジネス上の問題を捉える (3) ケーススタディ演習 4. ITアーキテクチャ (1) 情報モデルとプロセスモデルの作成 (2) ケーススタディ演習 5. SOA 6. ポートフォリオ・マネジメント (1) 投資対効果計算書の作成 (2) 演習 7. 全体まとめ |
| 備考 | ・このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースは、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| | |
|---|--|
| CTJ050 | IT戦略・IS企画 |
|  | 情報システム導入の社内企画・準備、 外部委託先選定の実務 |
| 1日間 | |
| 情報システム導入における社内条件の整備に対する考え方や、情報システム部門における外部委託先(＝ベンダー)の選定について、その内容を具体的に実行するための計画の立て方、問題解決について修得します。他社の失敗事例を参考に、自社の経営と事業の特徴や実情・強み・弱みを踏まえ、情報システム導入の企画立案・立上げを抜かりなく進める方を学習します。また、ベンダーに自社の目的と要求を明確に伝えられるRFPや、自社の目的と要求を実現できるベンダー評価(人(=PM/SE)、費用、作業スケジュールへの信頼性と保証)について、文書作成例や評価表のテンプレートを解説しながら、方法論を修得します。「自分たちがイニシアティブを取り、実施すべきことをやりきる」ための考え方や方法論、実践で培われたノウハウと道具立てが豊富に詰まったコースです。 | |
| 到達目標 | ・情報システム導入に対する社内条件の整理と実行、目的・目標・期待効果の設定ができる。 ・システム化対象業務の現状確認(自社の評価、課題・問題の把握、解決策の方法)の方法を説明できる。 ・情報システムの導入・リプレイスに際し、抜け・漏れがなく要求実現に必要な資料を作成できる。 ・ベンダーの最終選定までの手順・スケジュールとイベント、ベンダ選定の評価基準を設定できる。 ・担当予定のPM・主SEとの面談を設定し力量・姿勢・信頼性を評価するための交渉ができる。 |
| 対象者 | 企業内の情報システム部門で、情報システム導入・立上げの社内企画・準備に携わる方。 企業内の情報システム部門で外部委託先(＝ベンダー)選定に携わる方。 実働によってはじめて情報システム部門に携わる管理職の方。 情報システム部門内で昇格された新任管理職の方。 |
| 前提知識 | 情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の社内での業務経験があるか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 情報システム導入の前提 2. 成功させるための社内条件と導入準備 3. 準備内容を充実させる実践ポイント 4. パッケージ・ベンダ選定の仕組み 5. 提案依頼書(RFP)の作成 6. 候補選定と情報提供依頼(RFI) 7. 選定スケジュール 8. 選定評価の基準 9. 最良ベンダの選定作業 10. まとめ |
| 備考 | ・このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っていません。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | |
|--|---|
| CTJ046 | IT戦略・IS企画 |
|  | 情報システム導入を成功させる 要件定義とベンダー折衝の実践ポイント |
| 1日間 | |
| 要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレートを使用して具体的な進め方を修得します。 | |
| 到達目標 | ・要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。 ・社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。 ・要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。 |
| 対象者 | 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。 |
| 前提知識 | ・情報システムの開発に携わった経験があること。 ・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 要件定義とは 2. 作業充実の要点とリスク回避 3. 要件定義作業とユーザ対応 4. 検討作業と整理技法 5. 要件定義の事例 6. ユーザ資料の作成要領 7. まとめ |
| 備考 | ・このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っていません。 ・このコースは、9:30～17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | | | |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------------------------|
| マシン演習 | グループ演習 | レクチャ | 演習環境 |
| マシンを使用した からの研修 | グループ演習を 中心とした研修 | 座学による 研修 | 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 |

| | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------|
| 研修室自習型 | 研究室自習型 | eラーニング |
| 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | 研究室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | インターネット接続 による自己学習 |

| | | | | | | |
|----------------------|-------|----|------|-------|--------|---------|
| eラーニング | マシン演習 | 演習 | 電子書籍 | 大企業専修 | Oracle | マイクロソフト |
| インターネット接続 による自己学習 | | | | | | |

| | | |
|----------------|----------------|-------------------------|
| 演習ノート | 目標チェックリスト | 休講 |
| 目標書による 自己学習 | 目標書による 自己学習 | 休講 今期の定期開催は ありません |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|----------------------|
| IT戦略・IS企画/ システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |


| |
|--------------|
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| | |
|---|--|
| CTJ026 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務 |
| 1日間 | |
| 情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保證する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保證するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。 | |
| 到達目標 | ・システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。 ・社内内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。 ・業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。 |
| 対象者 | 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。 ・情報システムの開発に携わった経験があること。 ・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。 |
| 前提知識 | |
| 内容 | 1. 万全な準備の対象 2. ベンダテストの限界とユーザ関与 3. 品質を保證するユーザテスト 4. 「移行処理」とその対応策 5. 切替作業の方法と成功要因 6. 安定稼働のための社内準備 7. まとめ |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| | |
|---|---|
| CTJ022 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント |
| 2日間 | |
| 外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協働しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。 | |
| 到達目標 | ・システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。 ・現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。 ・自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる（折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等とるべき行動の判断）。 ・委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。 |
| 対象者 | 企業内の情報システム部門で外部委託先（ベンダー）と連携してシステム開発に携わる方。 |
| 前提知識 | ・情報システムの開発に携わった経験があること。 |
| 内容 | 1. イントロダクション 2. 要求とは何か 3. 契約と委託内容 4. コミュニケーションのマネジメント 5. 品質管理とリスク管理 （1）委託先の作業計画の確認 6. 進捗管理 （1）現状把握 （2）予定と実績の差異確認 （3）問題への対処 7. 変更管理 8. まとめ |
| 備考 | このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |


| | |
|---|--|
| CTJ037 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | (PDU) SEのためのベンダーマネジメント |
| 2日間 | |
| このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ・ベンダーマネジメント（VM）の基本枠組みを説明できる。 ・実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。 ・ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。 |
| 対象者 | 外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。 |
| 前提知識 | 情報システムの開発に携わった経験があること。 ・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. プロジェクト合意 （1）プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書 （2）主要マイルストーン （3）前提条件の共有 （4）リスク要因の共有 （5）契約文書の理解 （6）ベンダー責任の明確化 2. VM計画と問題解決プロセス共有 （1）プロジェクト計画の確認 （2）役割と責任の確認 （3）進捗管理方法の共有 （4）問題解決プロセスの共有 （5）リスクマネジメントプロセスの共有 （6）問題解決プロセスの運用方法の共有 （7）ベンダーとのコミュニケーションプランの共有 3. VM実行・監視コントロール・総括 （1）ペーラインの確認 （2）ベンダーの進捗報告コントロール （3）双方でのリスクコントロール （4）変更コントロール （5）最終のコントロール |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。 |


| | |
|--|--|
| CTJ052 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | 現行システムのリプレース／改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 |
| 1日間 | |
| 昨今のレガシーマクレーションやモダナイゼーションのような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。とすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。 | |
| 到達目標 | ・現行システムの洗い出し方法を説明できる。 ・業務の構造について説明できる。 ・業務フローの作成方法について説明できる。 |
| 対象者 | 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわんているITエンジニア職の方。 |
| 前提知識 | 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。 |
| 内容 | 1. 現行システム調査の盲点 2. ユーザが期待するもの 3. 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造 4. 業務フロー作成技法 |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成―書き方・書かせ方―」と同等の内容を含みます。 |


| | |
|--|--|
| CTJ051 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック |
| 1日間 | |
| 工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。 | |
| 到達目標 | 企業のすべての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。 |
| 対象者 | ・ITエンジニア職の若手-中堅で、BABOKガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。 ・ITエンジニア職の若手-中堅で、実践において適切な上位者の指導が必要なる方。 |
| 前提知識 | 「ソリューション提案のための経営と情報戦略―経営・事業・情報戦略のあるべき関係性―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論 2. 業務課題インタビューシートの作成方法 3. 主要課題一覧表の作成方法 |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成―書き方・書かせ方―」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|---|--|
| CTJ056 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 |
| 2日間 | |
| AI(人工知能)の急速な進化により、すべてのリアル産業をAIが変革する「リアル産業の大自動化革命の時代」がいよいよやってきます。しかし、AIによる全自動化革命の効果を受取るためには、「顧客に価値を提供し普及させて組織に利益をもたらすための斬新なビジネスモデル」をデザインし実現することが大前提となります。このコースでは、この大前提を実現するための斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法（プロセス・メソドロジー・ツール）を、ワークショップを通して学習します。このビジネスモデル・デザインの方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の方法であり、ビジネスモデルのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつ使いやすい方法である高い評価をいただけてきたものです。 | |
| 到達目標 | 下記プロセスから構成する構想企画プロセスの基礎を理解し説明できる。 （1）技術動向や市場/社会/経済動向の変化や、注目すべき人々のニーズを洞察する （2）解決すべき問題・実現したい機会を発見する （3）問題解決・機会実現収益を獲得することでできる提供価値・プロフィットモデルのコンセプトを創出する。 （4）戦略を見極める。カスタマーエクスペリエンス・製品/サービスを設計する。 |
| 対象者 | ・デジタルトランスフォー推進の実務に関わるすべての方々。 ・顧客に魅力的な製品・サービスを提供し、提案し、事業収益につながる活動を進めたいすべての方。 |
| 前提知識 | 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。 |
| 内容 | 1. ビジネスモデル入門 2. ビジネスデザインプロセス入門 3. ワークショップ （1）目的・テーマを定める 共感・洞察力を高める 関心事項の整理 （2）状況を理解する コンテキストアナリシス ビジネスモデルの現状分析 顧客バリューチェーンのシステム分析 （3）問題を発見する How might we ? （4）コンセプトを発想する コンセプトのアイデアを発想する コンセプトのイノベーション創出とアナロジカルメソッド AI適用のイノベーションドライバー 戦略分析 （5）コンセプトを統合する CX(カスタマーエクスペリエンス)プロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン |
| 備考 | ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは、予告なく内容を変更することがございます。 |

| | |
|--|--|
| CTJ054 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 |
| 1日間 | |
| 組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とすれば既存業務の在り方に引っ張られてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組みべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するのかの考え方について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。 | |
| 到達目標 | ・問題構造分析について説明できる。 ・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。 |
| 対象者 | 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわんんでいるITエンジニア職の方。 |
| 前提知識 | 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。 |
| 内容 | 1. 業務改善とは何か？ 2. 問題構造分析と真の問題 3. ITと業務プロセスの関係 4. 新しいプロセスのつくり方 5. IT化における要件 |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法―IT化企画の基礎から実践まで―」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|---|--|
| CTJ055 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 |
| 1日間 | |
| デジタルイノベーション・AI・IoT…など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めればいいのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。 | |
| 到達目標 | ・ITの真の価値について説明できる。 ・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。 |
| 対象者 | 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわんんでいるITエンジニア職の方。 |
| 前提知識 | 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。 |
| 内容 | 1. IT化と従来のシステム化の違い 2. 企画とは何か？ 3. 顧客と本業とビジネスモデル 4. 顧客の真のニーズとToBe設計 5. カスタマーエクスペリエンスとIT 6. サービスデザインとIT 7. IT化とデジタル化の違い |
| 備考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「IT化企画の基礎から実践まで―」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|--|--|
| CTJ057 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | これからのIT技術者のための超上流要求開発入門―いま、必要とされるサービスデザインメソドロジー― |
| 2日間 | |
| 今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。そのために、お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX(カスタマーエクスペリエンス)を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められるようになってきました。このコースでは、ワークショップを通して、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法（プロセス・メソドロジー・ツール）を学びます。この提供価値をアイデア発想する方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の方法であり、サービスのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつ使いやすい方法である高い評価をいただけてきたものです。 | |
| 到達目標 | 斬新なCXを生み出すサービスデザインする方法（プロセス・メソドロジー・ツール）を説明できる。 |
| 対象者 | 斬新なCXを生み出すサービスをデザイン・提案する必要があるIT技術者や営業・企画担当者の方。 |
| 前提知識 | 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。 |
| 内容 | 1. サービスデザインプロセス入門 2. サービスデザイン・ワークショップ （1）目的・テーマを定める―与件の整理 共感・洞察力を高める （2）状況を理解する 対象の「もの・こと」を理解する カスタマーバリューチェーンのシステム分析 どの価値の流れに注目するのか （3）問題を発見する How might we ? （4）サービス・コンセプトの創出 アイデア発想法 ブルーオーシャン戦略の活用 アナロジカルメソッド （5）サービスデザインを統合する CXプロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン |
| 備考 | ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成―書き方・書かせ方―」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|--|--|
| CTJ058 | IT戦略・IS企画 |
|  グループ演習 | ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング |
| 2日間 | |
| 今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。このDXにおける要求分析は、お客様やパートナーに、どのようなサービスを提供するかというビジネスモデリングからはじめて要求分析につながるプラクティスが重要とされます。ところが、この要求分析プラクティスには、業務プロセス分析にもとづいた業務設計から始めるという最初のステップが欠落していることがよくあります。結果、個別の要求にとらわれて全体的な整合性を欠いた要求分析を行うこととなります。このコースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。加えて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせることで、「もれがなくてだぶりがない」要求分析モデルの実現もめざします。 | |
| 到達目標 | ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづいて、経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発を実現するための、要求分析モデリングの方法を説明できる。 |
| 対象者 | 経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発のために、要求定義・要求分析を行う提案・企画担当者やIT技術者の方。 |
| 前提知識 | 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。 |
| 内容 | 1. ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング入門 （1）デジタルトランスフォーメーションの要求分析に求められること （2）デジタルトランスフォーメーションとハイモダールIT （3）ビジネスモデルとビジネスデザインプロセス入門 2. ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング・ワークショップ （1）お客様やビジネスパートナーへのサービスデザイン （2）Design Structure Matrixによるワークフローモデリング （3）イベントモデルやデータモデルによる最適化 （4）詳細な要求分析モデルの作成 3. なぜビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリングか （1）日本のIT経営の重要課題 （2）業務設計からの要求分析モデリングの最適化 （3）ビジネスモデリングと要求分析モデリングの親密な関係 |
| 備考 | ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成―書き方・書かせ方―」と同等の内容を含みます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | | |
|-------------------|--------------------|-------------|
| マシン実習 | グループ演習 | レクチャ |
| マシンを使用した からの研修 | グループ演習を 中心とした研修 | 座学による 研修 |

| | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 演習環境 | 研修室自習型 |
| 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |

| | | | | | | |
|-------|-------|----|------|------|--------|---------|
| オンライン | マシン演習 | 演習 | 文字情報 | 音声情報 | Oracle | ナビゲーション |
| オンライン | マシン演習 | 演習 | 文字情報 | 音声情報 | Oracle | ナビゲーション |

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 目標テキスト | 休講 |
| 目標テキストによる 自己学習 | 休講 今期の定期開催は ありません |

● システムの最新動向や事例を把握したい方

SPJ040 レクチャ
クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向
0.5日間

SPJ039 レクチャ
事例から学ぶSaaS活用提案のポイント
0.5日間

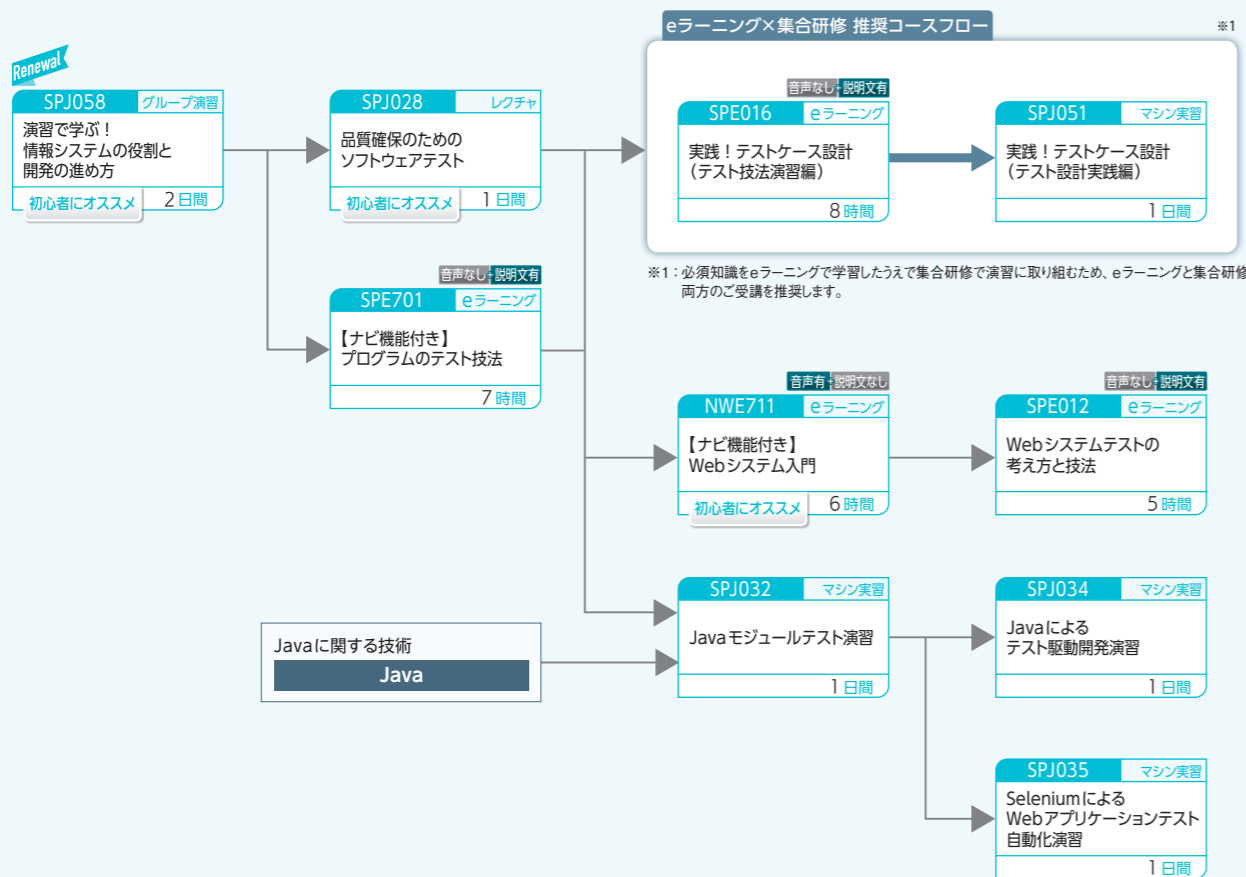
● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPJ050 マシン実習
体験！最新OSSを活用したDevOps入門
1日間

SPJ057 マシン実習
(PDU)実践！DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-
1日間

UXJ070 マシン実習
gitによるソフトウェア構成管理
1日間

● システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習

SPJ058 システム設計
演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方
2日間

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事(見積り、契約など)についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者
これからシステムを企画、開発する方。

前提知識
「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内容
1. 情報システムとは
(1)市場、定義、役割
(2)開発方式
(3)開発プロセス
(4)情報システムの維持・メンテナンス
(1)情報システムの寿命と保管場所
(2)必要な作業
2. 情報システムに関わる人
(1)プロジェクト・ステークホルダ
(2)職種
3. 情報システムのコスト
(1)見積もり
(2)契約
4. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
(2)職種
5. 情報システムのコスト
(1)見積もり
(2)契約
6. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
(2)職種
7. 演習
(1)業務分析、データ分析、機能分析

備考
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SJE707 システム設計
<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎
平均4日間

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標
システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者
・システム設計をこれから始める方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
(1)段階的詳細化のレベル
(2)業務機能設計
(3)実現方式設計(アーキテクチャ)
(4)外部インタフェース設計(遷移、レイアウト)
(5)パッチ処理設計
(6)データ基本設計(論理DB設計)
(7)プログラム詳細設計
(8)共通部品設計
(9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備考
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPJ037 システム設計
システムのニーズ分析
2日間

顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一步踏み込み的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて、システムのニーズ分析を行う方。

前提知識
情報システムに関する基礎知識があること。

内容
1. ニーズ分析の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)ニーズ分析の全体プロセス
(3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
(1)準備フェーズ
(2)分析フェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPJ036 システム設計
システム化要求を実現するための業務設計
2日間

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行するための手法を修得します。

到達目標
・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行することができる。

対象者
業務モデリングに関心のある方。
特に必要としません。

前提知識
1. 業務設計の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)業務設計の全体プロセス
(3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
(1)業務プロセスデザインフェーズ
(2)アプリケーションデザインフェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

SPJ024 システム設計
システムの要件定義技法
2日間

システム化による問題解決を図る際に求められる「システムが提供すべき機能」の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

前提知識
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 要件とは
(1)定義
(2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
(1)共通フレームでの位置づけ
(2)一般的な位置づけ
(3)現状調査
(4)問題点分析・課題設定
(5)基本設計
3. 要件定義
(1)業務の表記法
(2)業務の検討
(3)アプリケーションの検討
(4)データの検討
(5)非機能要件の検討

CTJ018 システム設計
非機能要求の考え方
1日間

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標
・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の勘所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者
上流工程を担当するシステムエンジニアの方。
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

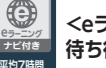
前提知識
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。


内容
1. 非機能要求とは
(1)定義
(2)業務、実現手段との関係
(3)ステークホルダとの関係
(4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
(1)概要
(2)非機能要求グレード活用手順
(3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習(非機能要求の分析)
4. まとめ

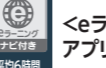
備考
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。


自習テキスト 自習書による自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催はありません


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| | |
|--|--|
| SPE702 システム設計 |  <eラーニング>【ナビ機能付き】待ち行列理論 平均5時間 |
| ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口(M/M/1)と複数窓口(M/M/n)を中心に適用方法を修得します。 | |
| 到達目標 | 待ち行列モデルの[M/M/1]に関して説明できる。 |
| 対象者 | 待ち行列理論の基本を修得したい方。 |
| 前提知識 | 数学的な基礎知識があること。 |
| 内 容 | 1. 待ち行列理論 2. 解析事例学習項目 3. 演習問題 4. 修了試験 |
| 備 考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| | |
|---|---|
| SPE017 システム設計 |  <eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出 平均5時間 Renewal |
| データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。 | |
| 到達目標 | ・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。 ・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いて問題記述を分析・詳細化できる。 |
| 対象者 | 情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。 |
| 前提知識 | システム開発に関する基礎知識があること。 |
| 内 容 | 1. 背景 (1) 現実とソフトウェアのギャップ (2) 要求とソフトウェアのギャップ (3) ソフトウェアの開発に必要な作業 2. 思考方法 3. モデリング (1) 構造化モデリングとは (2) 図を書く(DFD、データディクショナリ、ERD、状態遷移図) (3) モデルを書く(DFD、データディクショナリ、ERD) 4. まとめ |
| 備 考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、旧「構造化モデリングによるシステムの機能抽出」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|--|--|
| CTE701 システム設計 |  <eラーニング>【ナビ機能付き】アプリケーション・アーキテクチャ基礎 平均6時間 |
| アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。このコースはレイヤーアーキテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。 | |
| 到達目標 | ・アーキテクチャの重要性を説明できる。 ・アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。 |
| 対象者 | これからアプリケーション開発に携わる方。 |
| 前提知識 | プログラミングの経験をお持ちのこと。 |
| 内 容 | 1. アーキテクチャ設計 2. 論理アーキテクチャ 3. プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計 4. アプリケーション層のアーキテクチャ設計 5. データ層のアーキテクチャ設計 6. その他のアーキテクチャ設計 7. 論理アーキテクチャ設計の効果 8. まとめ 9. 修了試験 |
| 備 考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|--|
| SPJ050 システム設計 |  体験！最新OSSを活用したDevOps入門 1日間 |
| 最新OSS(Redmine、Rocket.Chat、Git、Drone、Docker、Hubot)を活用したDevOps環境において、頻繁に設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学びます。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Centerを使います。 | |
| 到達目標 | ・DevOpsの概要を説明できる。 ・DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。 |
| 対象者 | DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。システム開発に関する基礎知識をお持ちのこと。 |
| 前提知識 | 1. 概要 (1) デジタルソリューションとシステム開発における課題 (2) DevOpsとは (3) 最新OSSを活用したDevOps環境の概要 2. DevOps環境でのアプリケーション開発デモ (1) デモ環境(研修環境)の概要 (2) アプリケーション開発の流れ (3) アプリケーション開発デモ 3. DevOps環境のツールの機能と操作 (1) プロジェクト管理(Redmine) (2) コミュニケーション(Rocket.Chat) (3) ソースコード管理・ソースコードレビュー(GitLab) (4) 継続的インテグレーション(Drone) (5) ChatOps(Hubot) 4. サンプルによるDevOps体験 (1) DevOps環境での開発フロー (2) 演習(プロジェクト管理) (3) 演習(開発) (4) 演習(リリース) |
| 備 考 | ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | |
|--|---|
| UXJ070 システム設計 |  gitによるソフトウェア構成管理 1日間 New |
| 構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特徴を、マシン演習を通して学習します。個人演習だけでなくペア演習も行い、複数人開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。 | |
| 到達目標 | ・構成管理の必要性と概要を説明できる。 ・構成管理ツールの基本的な操作ができる。 ・複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。 |
| 対象者 | 構成管理をこれから利用してアプリケーションを開発する方。システム開発で実装工程の経験がある方。 |
| 前提知識 | 1. 構成管理とは 2. 構成管理の方法 (1) 集中型 (2) 分散型 3. 個人での構成管理の利用 (1) 集中型ツール(Subversion)の基本的な使用方法 (2) 分散型ツール(git)と基本的な使用方法 (3) 演習 4. 複数人での構成管理の利用 (1) マージと競合 (2) リポジトリホスティングサービス(GitHub)と基本的な使用方法 (3) ペア演習 |
| 備 考 | このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります |

| | |
|---|---|
| SPJ057 システム設計 |  (PDU)実践！DevOpsによるアジャイル開発 一お客様に素早く価値を届けるために Renewal PDU |
| Redmineを用いたバックログを管理し、GitLabを使ってBDD(振る舞い駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。Lumada Competency Center上のPoC環境による開発を想定しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | DevOps環境を用いた開発の流れを実行できる。 |
| 対象者 | DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。「体験！最新OSSを活用したDevOps入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 前提知識 | 1. DevOps環境を用いた開発プロセスの説明 (1) TDDとBDD (2) PoCと本番開発 2. グループ演習 (1) Redmineによるバックログ管理とタスク分割 インセプションデッキ バックログのまとめ、ユーザストーリーの作成 イテレーションの期間と開発内容の決定 タスクの作成 (2) GitLabによる機能開発 ユーザストーリーを元にテスト作成 実装 (3) お客様との機能評価とフィードバック マネジメントオーナーからのフィードバック リリース後のフィードバック |
| 内 容 | 1. DevOps環境を用いた開発プロセスの説明 (1) TDDとBDD (2) PoCと本番開発 2. グループ演習 (1) Redmineによるバックログ管理とタスク分割 インセプションデッキ バックログのまとめ、ユーザストーリーの作成 イテレーションの期間と開発内容の決定 タスクの作成 (2) GitLabによる機能開発 ユーザストーリーを元にテスト作成 実装 (3) お客様との機能評価とフィードバック マネジメントオーナーからのフィードバック リリース後のフィードバック |
| 備 考 | ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 |

| | |
|----------------------|--|
| SPJ038 システム設計 |  アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 2日間 |
|----------------------|--|

演習を通して、アプリケーション・アーキテクチャの策定要領を学習します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・アプリケーション分野の機能要件、およびアプリケーション実行の土台となるシステム分野の非機能要件の整理の仕方を説明できる。 ・アプリケーション構築のための道具立てについて説明できる。 ・業務処理に適した業務オブジェクトの構成方法を説明できる。 |
| 対象者 | アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。 |
| 前提知識 | 情報システム開発の経験をお持ちのこと。 |
| 内 容 | 1. 要件定義と方式(アーキテクチャ)設計 2. 演習対象システムの概要 3. 要件定義 4. システム方式 5. アプリケーション方式 |
| 備 考 | ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | |
|----------------------|---|
| SPJ039 システム設計 |  事例から学ぶSaaS活用提案のポイント 0.5日間 |
|----------------------|---|

最新のWebサービスの動向をSaaS概要を中心に解説し、主要なWebサービス提供者の取り組みや、企業における活用事例を解説します。


| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・SaaSの概要を理解できる。 ・今後のWebサービスの方向性がわかる。 |
| 対象者 | 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | 1. SaaS (Software as a Service) とは何か 2. SaaS登場までの経緯 3. SaaSを実現する技術 4. SaaSによって大きな変革を求められるITベンダー・主要プレーヤーの取り組み 5. SaaS導入事例解説 6. SaaS導入にあたって注意すべきこと 7. 今後のWebサービスの方向性 |
| 備 考 | ・このコースは、13：00～15：30の開催とさせていただきます。 ・「クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向」コースとあわせてのご受講を推奨します。 |

※別途ご案内いたします。

| | |
|----------------------|--|
| SPJ040 システム設計 |  クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 0.5日間 |
|----------------------|--|


クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・クラウドコンピューティングの概念を理解できる。 ・ビジネスにおける活用例を知ることができる。 ・提案につなげるヒントについて考えることができる。 |
| 対象者 | 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | 1. クラウドコンピューティングとは？ 2. クラウドコンピューティングを実現する技術 3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例 4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス |
| 備 考 | ・このコースは、9：30～12：00の開催とさせていただきます。 ・「事例から学ぶSaaS活用提案のポイント」コースとあわせてのご受講を推奨します。 |

| | |
|----------------------|---|
| SPJ054 システム設計 |  後工程で慌てない！ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ 1日間 Renewal |
|----------------------|---|


システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる、仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務の設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・業務設計と要件定義の違いを理解する。 ・業務設計の具体的な手法を理解する。 ・システム要件の具体的な定義の仕方を理解する。 |
| 対象者 | 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。 |
| 内 容 | 1. ユーザテストでの手戻り要因 2. 要件定義とは何か？ 3. 新業務フローと業務要件 4. 業務要件とシステム機能要件の違い 5. 例外処理と要件 6. 演習 7. まとめ |
| 備 考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「後工程での仕様変更/仕様追加を未然に防ぐ要件定義のコツ」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|----------------------|--|
| SPJ055 システム設計 |  業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント 1日間 Renewal |
|----------------------|--|

システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすことと使い勝手を確保することが不可欠です。ではどうすれば良いのかということについて、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・業務要件とオペレーション要件の違いを理解する。 ・要件定義に不可欠な三点セット(UI・機能・データ)について理解する。 |
| 対象者 | 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。 |
| 内 容 | 1. 業務要件とユーザビリティの関係 2. ユーザビリティとオペレーションフロー 3. 材料としての要件 (1) UI (2) 機能 (3) データ (4) CRUDマトリクスによる検証 4. 演習 5. まとめ |
| 備 考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。 |

| | |
|----------------------|---|
| SPJ056 システム設計 |  開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 1日間 Renewal |
|----------------------|---|

要件定義でいくらか業務要件や使い勝手をしっかり考慮していても実装できないような要件では開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すこととなります。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・設計について理解する。 ・要件と設計の関係について理解する。 ・アーキテクチャと各層における設計の方法について理解する。 |
| 対象者 | 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。 |
| 内 容 | 1. 開発で迷走する原因 2. 設計とは何か 3. 要件と設計の関係 4. アーキテクチャと基本設計 (1) クライアント層 (2) メッセージとサーバ層 (3) インフォメーションとDB層 5. 演習 6. テスト設計(単体・結合・総合) 7. まとめ |
| 備 考 | ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|-------------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
|-------------------------|

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

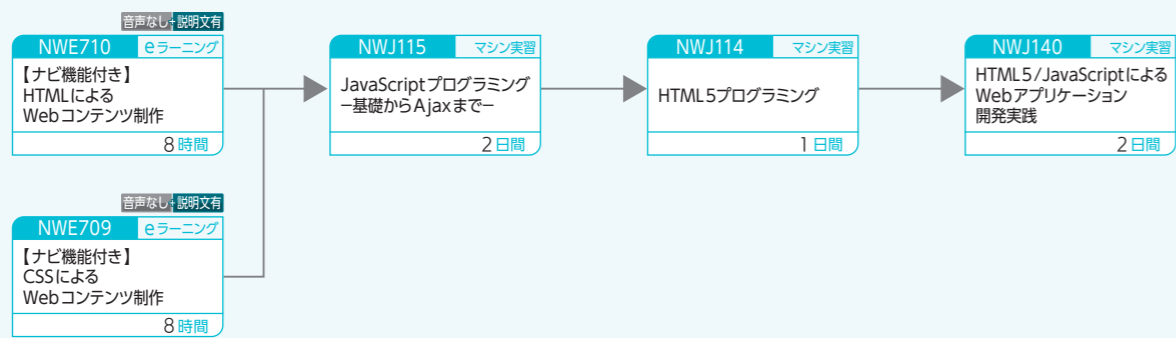
Webアプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

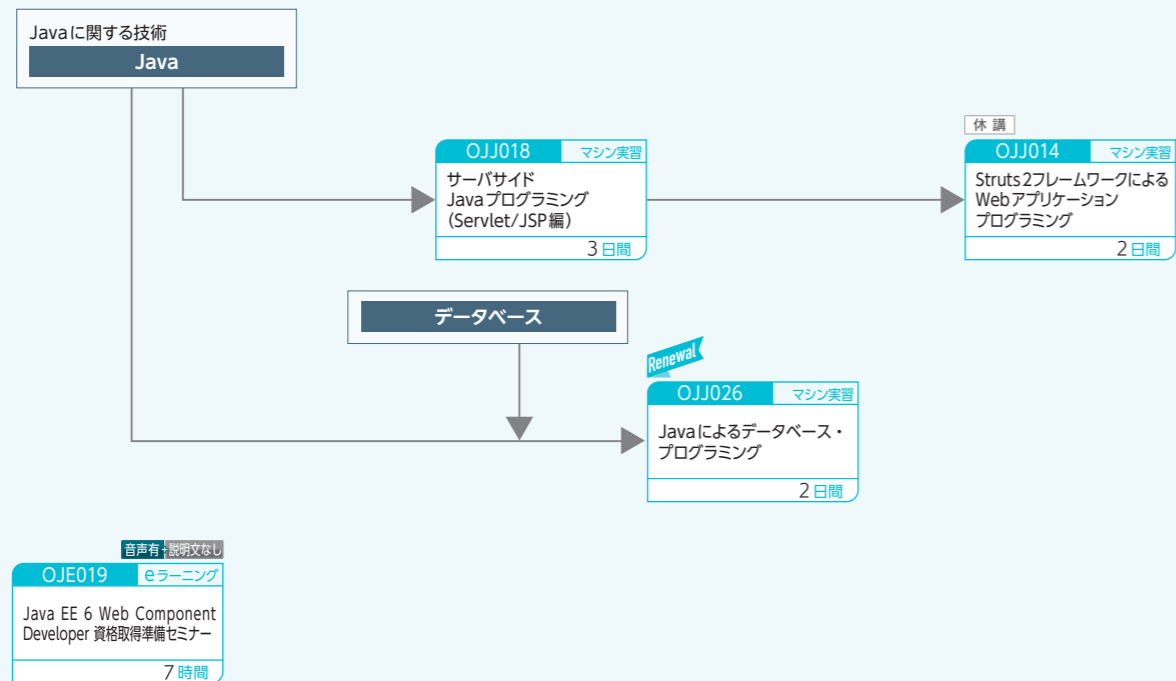
Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



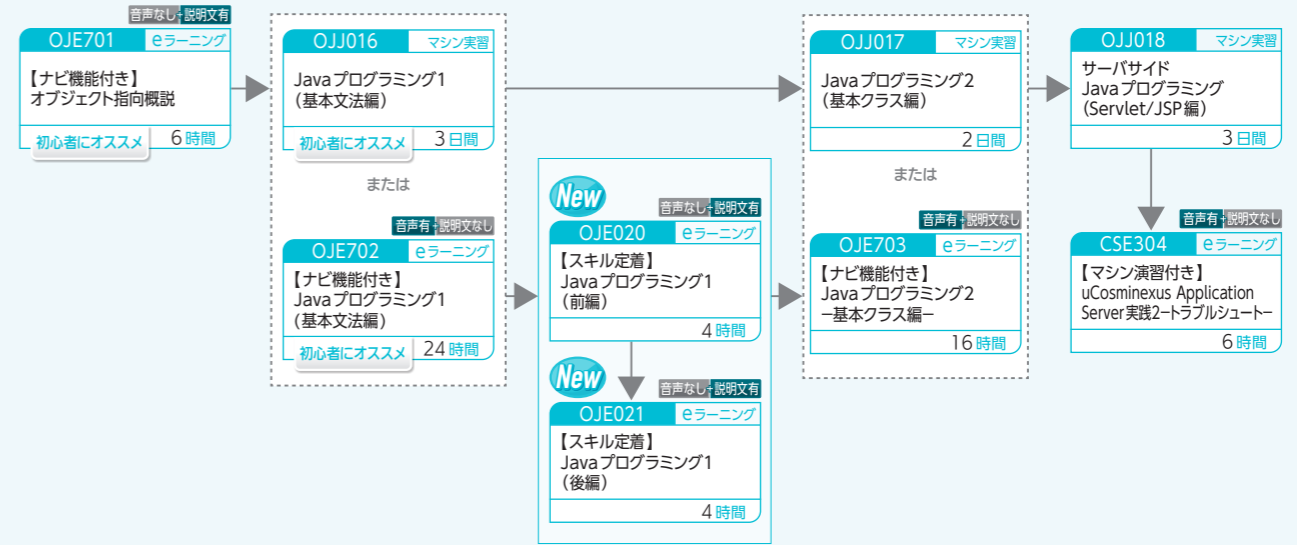
Webコンテンツを制作する方



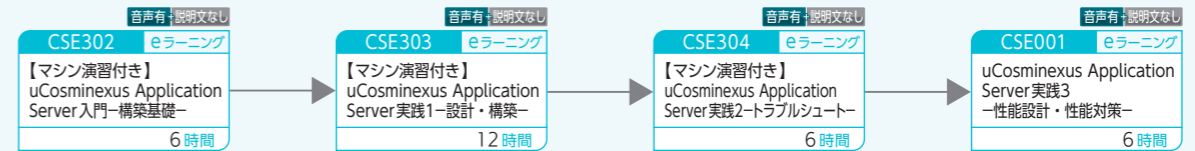
Java EEテクノロジーのトレーニング (サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方)



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



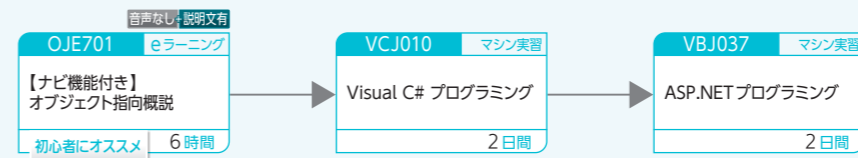
uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/ サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|----------------------|
| IT戦略・IS企画/ システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション 開発 |
| Web アプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/ UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクト マネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ ヒューマン |
| グローバル |


| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 | レクチャ 座学による 研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

| |
|--|
| NWE711 共通 |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】 Webシステム入門 |
| 平均6時間 |
| Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。 加えて、開発時における留意点を学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。 Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。 Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。 |
| 対象者 |
| これからWebシステムを構築、管理する方。 これからWebアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 |
| 特に必要としません。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> Webシステムを取り巻く環境 構成要素と動作イメージ システム構成 アプリケーションの実装技術 開発時の留意点 修了試験 |
| 備考 |
| 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| |
|--|
| NWJ139 共通 |
|  Webアプリケーション設計の基礎 |
| 2日間 |
| Webアプリケーション開発に関わるにあたり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。 ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあつての留意点を説明できる。 保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。 |
| 対象者 |
| これからWebアプリケーション開発に関わる方。 |
| 前提知識 |
| 【【ナビ機能付き】Webシステム入門】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> Webシステム概要 <ol style="list-style-type: none"> サーバ/クライアント Webアプリケーションの設計とは <ol style="list-style-type: none"> 設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件 画面設計 <ol style="list-style-type: none"> ユーザビリティへの配慮 ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移 プログラムの設計 <ol style="list-style-type: none"> フレームワークの利用・セッション管理 データ設計 <ol style="list-style-type: none"> 画面設計との整合性 多様化するクライアントの役割 <ol style="list-style-type: none"> 非同期通信、多様なデータ形式 |
| 備考 |
| このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 | レクチャ 座学による 研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

| |
|---|
| NWE709 コンテンツ |
|  <eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作 |
| 平均8時間 |
| CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。 |
| 到達目標 |
| CSSを使ってWebコンテンツ(画面レイアウト)を作成できる。 |
| 対象者 |
| JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、CSSを学ぶ方。 |
| 前提知識 |
| 【【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。 |
| <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> CSSの概要 CSSの基本文法 CSSの主要なプロパティ 修了試験 |
| 備考 |
| 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| |
|---|
| NWJ115 コンテンツ |
|  JavaScriptプログラミング —基礎からAjaxまで— |
| 2日間 |
| JavaScriptの基本文法と、イベント、ライブラリの使用方法、DOM、Ajaxについて学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> JavaScriptの特徴を説明できる。 JavaScriptのライブラリを用いたアプリケーション開発ができる。 DOMの概要を説明できる。 Ajaxの概要を説明できる。 |
| 対象者 |
| JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。 |
| 前提知識 |
| 【【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作】および【【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。プログラミング経験があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> JavaScript概要 JavaScriptの基本文法 DOM <ol style="list-style-type: none"> DOM概要 DOMの基本操作 JavaScriptのイベント <ol style="list-style-type: none"> イベント概要 イベント処理 JavaScriptのライブラリ <ol style="list-style-type: none"> ライブラリ概要 jQuery JavaScriptとAjax <ol style="list-style-type: none"> Ajax概要 Ajaxの文法 |
| 備考 |
| このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |

| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 | レクチャ 座学による 研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

| |
|--|
| NWJ140 コンテンツ |
|  HTML5/JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践 |
| 2日間 |
| HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。設計演習では、テキストで紹介した技術だけでなくインターネットを用いた自主的な技術調査も実施し、適用技術を各自で検討します。また、検討結果を共有し、与えられた要件をどのように実現するかといった観点で議論します。実装演習では、各自の設計を実際に実装することで、選択した各技術に対する理解を深めます。 |
| 到達目標 |
| HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。 |
| 対象者 |
| <ul style="list-style-type: none"> HTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。 ITエンジニア職、若手・中堅向け。 |
| 前提知識 |
| 「JavaScriptプログラミング—基礎からAjaxまで—」および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識をお持ちのこと。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの変遷 サンプルプログラムの確認 設計演習 <ol style="list-style-type: none"> 要件の確認 アーキテクチャ、実装技術の調査検討 検討結果の共有 実装演習 <ol style="list-style-type: none"> プログラミング 成果物の共有 |
| 備考 |
| このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| |
|--|
| NWJ114 コンテンツ |
|  HTML5プログラミング |
| 1日間 |
| HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> HTML5の各規格の概要を説明できる。 HTML5の新機能の概要を説明できる。 |
| 対象者 |
| HTML5によるWebコンテンツ制作に携わる方。 |
| 前提知識 |
| 「JavaScriptプログラミング—基礎からAjaxまで—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> HTML5概要 HTML5の新要素 <ol style="list-style-type: none"> キャンバス フォーム その他の新要素 HTML5のAPI <ol style="list-style-type: none"> ドラッグ&ドロップAPI WebWorkersAPI FileAPI その他のAPI HTML5によるスマートフォンアプリ開発 <ol style="list-style-type: none"> jQueryMobile |
| 備考 |
| このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |

| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 | レクチャ 座学による 研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

| |
|---|
| OJJ014 Java |
|  Struts2フレームワークによる Webアプリケーションプログラミング |
| 2日間 |
| Struts2を適用したWebアプリケーション開発方法とそのポイントについて、演習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> Struts2の動作の仕組みを理解し実行の流れについて説明できる。 Struts2を構成している各コンポーネントを作成できる。 Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発できる。 |
| 対象者 |
| Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発する方、サーブレット/JSPを用いてWebアプリケーションを開発している方で保守性や開発効率の向上を検討している方、アスベクト指向やCoC(Convention Over Configuration：設定より規約)の考え方を理解したい方、現在適用しているフレームワークとStruts2を比較したい方。 |
| 前提知識 |
| 「サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> Struts2の全体像 Struts2を適用したサンプルアプリケーション Action Interceptor JSPとタグライブラリ Validation リソースファイルと国際化対応 総合演習 |
| 備考 |
| このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |

| |
|---|
| OJJ014 Java |
|  Struts2フレームワークによる Webアプリケーションプログラミング |
| 2日間 |
| Struts2を適用したWebアプリケーション開発方法とそのポイントについて、演習を通して学習します。 |
| 到達目標 |
| <ul style="list-style-type: none"> Struts2の動作の仕組みを理解し実行の流れについて説明できる。 Struts2を構成している各コンポーネントを作成できる。 Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発できる。 |
| 対象者 |
| Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発する方、サーブレット/JSPを用いてWebアプリケーションを開発している方で保守性や開発効率の向上を検討している方、アスベクト指向やCoC(Convention Over Configuration：設定より規約)の考え方を理解したい方、現在適用しているフレームワークとStruts2を比較したい方。 |
| 前提知識 |
| 「サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 |
| <ol style="list-style-type: none"> Struts2の全体像 Struts2を適用したサンプルアプリケーション Action Interceptor JSPとタグライブラリ Validation リソースファイルと国際化対応 総合演習 |
| 備考 |
| このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |

| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| マシン実習 マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 | レクチャ 座学による 研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続 による自己学習 |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/ サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| |
|----------------------|
| IT戦略・IS企画/ システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション 開発 |
| Web アプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/ UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクト マネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ ヒューマン |
| グローバル |

スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

スマートデバイスの導入を検討する方

音声有 説明文なし

NWE029 eラーニング

スマートデバイス活用システムの提案概説

3 時間

スマートデバイスに対応したWebアプリケーションを設計する方

NWJ113 マシン実習

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

1 日間

iPhone・iPadアプリケーションを開発する方

NWJ129 マシン実習

体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発

1 日間

NWJ131 マシン実習

体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

1 日間

Androidアプリケーションを開発する方

NWJ135 マシン実習

体験！Androidアプリケーションの開発

1 日間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

NWE029 スマートデバイス

<eラーニング>
スマートデバイス活用システムの提案概説

平均3時間

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

到達目標 スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

対象者 スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. スマートデバイスの概要
2. 目的の明確化
3. スマートデバイスの管理
4. システムへの導入方式
5. アプリケーション開発方式
6. アプリケーション開発を支える技術

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、「<eラーニング>スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWJ113 スマートデバイス

マシーン実習

1 日間

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

到達目標 ・スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。
・非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

対象者 スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

前提知識 「Webアプリケーション設計の基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは
(1)PC向けWebアプリケーションとの比較
(2)ネイティブアプリケーションとの比較
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計
(1)UIレイアウト・デザインの考え方
(2)代表的なライブラリ (jQuery Mobileなど)
3. Webアプリケーションの高速化
(1)ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方
(2)非同期通信と事前読み込み (プリフェッチ)
(3)キャッシュ
4. セキュリティへの配慮
(1)セキュリティ脆弱性への対応
(2)コードの難読化

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ135 スマートデバイス

マシーン実習

1 日間

体験！Androidアプリケーションの開発

PC環境を用いたAndroidアプリケーション開発の体験を通して、Androidアプリケーションの開発手順を学習します。

到達目標 ・Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。
・Androidアプリケーション開発の流れについて説明できる。これからAndroidを利用したアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

内容 1. Androidアプリケーションフレームワークの概要
2. Android開発環境構築
3. Androidアプリケーション開発の流れ
4. Androidアプリケーションの作成
(1)画面遷移を伴うプログラムを作る
(2)バックグラウンドで動作するプログラムを作る
(3)データストアへのアクセスを伴うプログラムを作る
(4)何らかの通知により起動するプログラムを作る

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ129 スマートデバイス

マシーン実習

1 日間

体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発

iPhone・iPadアプリケーションの開発に必要な基礎知識を学習するとともに、Objective-Cの基礎知識についても学習します。

到達目標 ・iOSアーキテクチャの概要を説明できる。
・iOSアプリケーション作成の手順を説明できる。

対象者 iPhone・iPadアプリケーションを設計・開発する方。

前提知識 何らかの言語を使用したアプリケーション開発の経験があること。

内容 1. iOSアーキテクチャ
2. Objective-C概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 色々なUIの紹介

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ131 スマートデバイス

マシーン実習

1 日間

体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できるスキルを修得します。

到達目標 Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できる。

対象者 これからiPhoneアプリケーションの開発をはじめる方。

前提知識 特に必要としません。

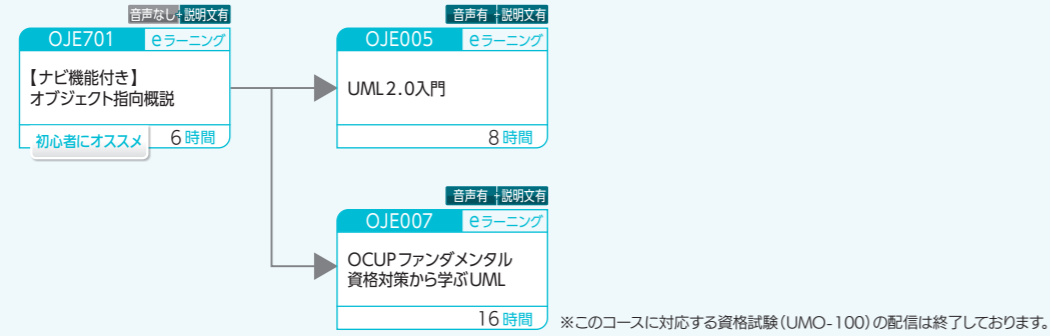
内容 1. iOS概要
2. Swift概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 基本的な機能の紹介

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

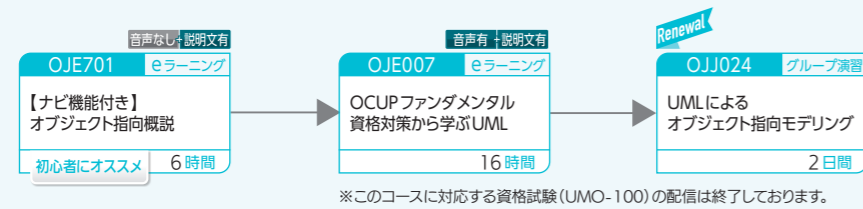
オブジェクト指向/UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

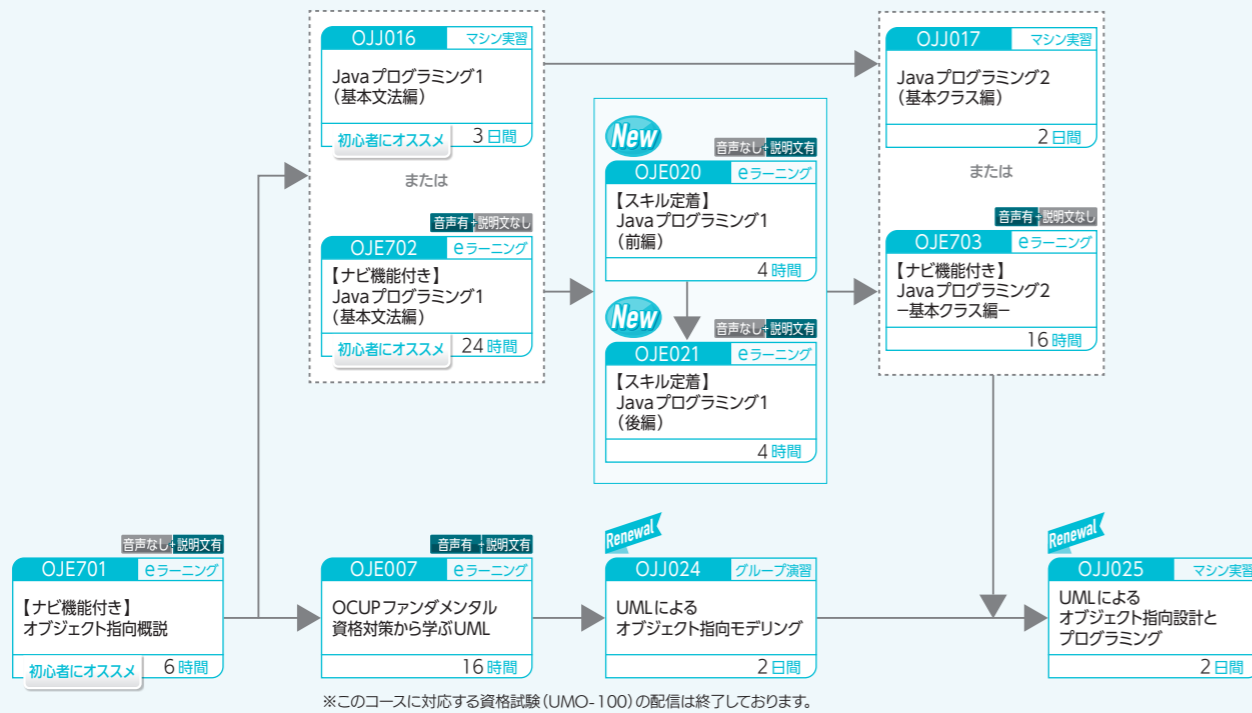
UMLを初めて学習する方、または導入を検討する方



UMLを適用してシステム分析をする方



UMLを適用したシステム開発で設計・プログラミングをする方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシナ実習：マシンを使用しながらの研修 | グループ演習：グループ演習を中心とした研修 | レクチャ：座学による研修 | 演習環境：職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型：研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング：インターネット接続による自己学習

OJE701 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説

平均6時間

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

到達目標

- オブジェクト指向の基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど）を説明できる。
- オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
- UML (Unified Modeling Language) の役割、概要を説明できる。

対象者 これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- オブジェクト指向概要
- UML概要
- オブジェクト指向の基本概念
 - オブジェクト
 - クラス
 - 関連
 - 継承
 - 多態性
- オブジェクト指向開発手順の概要
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OJE005 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>UML2.0入門

平均8時間

UML (Unified Modeling Language) のユースケース図、クラス図、シーケンス図の書き方・読み方を学習します。

到達目標 UML (Unified Modeling Language) の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容を説明できる。

対象者 これからUMLを利用する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- UMLとは
- UMLリファレンス
- オブジェクト指向言語 (Java, C++) へのマッピング
- UMLの導入
- 修了試験

備考

- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

OJE007 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML

平均16時間

UMLの表記法、利用時のコツ、さらにOCUPファンダメンタル受験に必要な知識を紹介します。

到達目標

- UML (Unified Modeling Language) の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容、作成におけるポイントを説明できる。
- OCUPファンダメンタル資格取得に必要な知識を説明できる。

対象者 これからUMLを利用する方、OCUPファンダメンタル資格取得をめざす方。

前提知識 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- UMLとは
- ユースケース図
- クラス図 (難易度★)
- クラス図 (難易度★★)
- オブジェクト図
- パッケージ図
- シーケンス図 (難易度★)
- シーケンス図 (難易度★★)
- アクティビティ図
- すべての図に使われる要素
- メタモデル
- 修了試験

備考

- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OJJ024 オブジェクト指向/UML

UMLによるオブジェクト指向モデリング

グループ演習 2日間

UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介します。

到達目標

- UMLのクラス図を読み理解できる。
- 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。

対象者 オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

前提知識 「OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 背景
 - 現実とソフトウェアのギャップ
 - 要求とソフトウェアのギャップ
 - ソフトウェアの開発に必要な作業
- 思考方法
- モデリングスキルの修得
 - UMLを知る
 - UMLを読む
 - UMLを書く
 - モデルを作る
- モデリングスキルの向上

備考

- このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

OJJ025 オブジェクト指向/UML

UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング

マシン実習 2日間

UMLで記述された分析モデルを設計モデルへ洗練する手順と、設計モデルをJavaでプログラミングする手順を紹介します。

到達目標

- UMLのクラス図、シーケンス図を基にJavaでプログラミングできる。
- 分析モデルを基に、実装できるレベルまで洗練し設計モデルを作成できる。

対象者 オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析・設計モデリングを行う方。

前提知識 「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースを修了（同コースで作成した分析モデルを利用します）し、かつJavaのプログラミング経験があること。

内容

- モデリングの概要
 - モデルの価値
 - モデルの種類
 - モデラーの種類
- モデリングスキルの修得
 - UMLを知る
 - 分析モデルを読む
 - 分析モデルを洗練する
 - モデルを実装する
- モデリングスキルの向上

備考

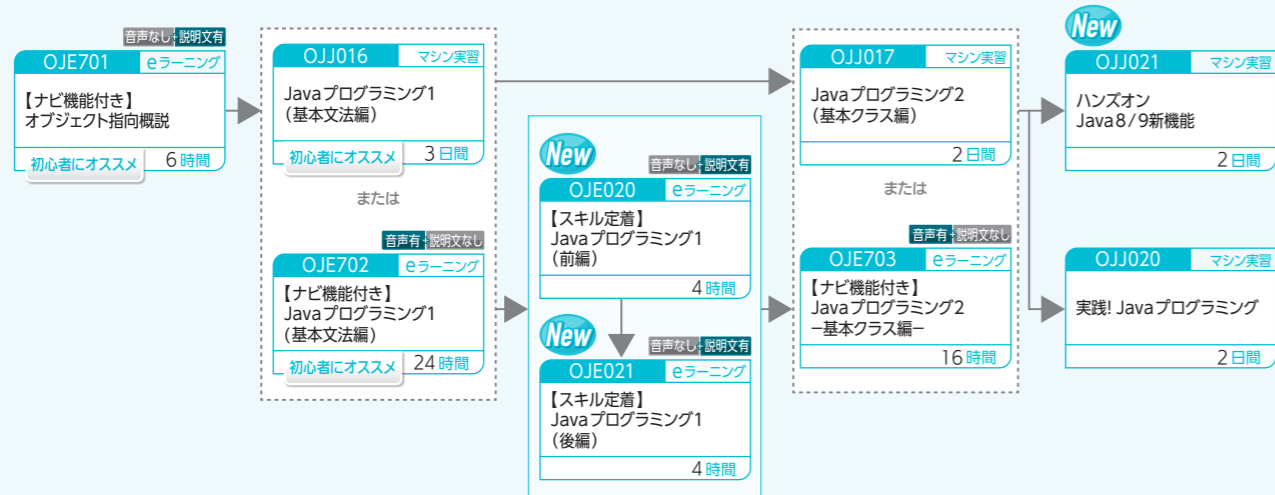
- このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
- 前提コースとなる「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースで作成した分析モデルを設計・実装します。
- このコースでは、ソフトウェア開発支援ツールを使用します。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

自習テキスト：自習書による自己学習 | 休講：休講 | 休講：休講

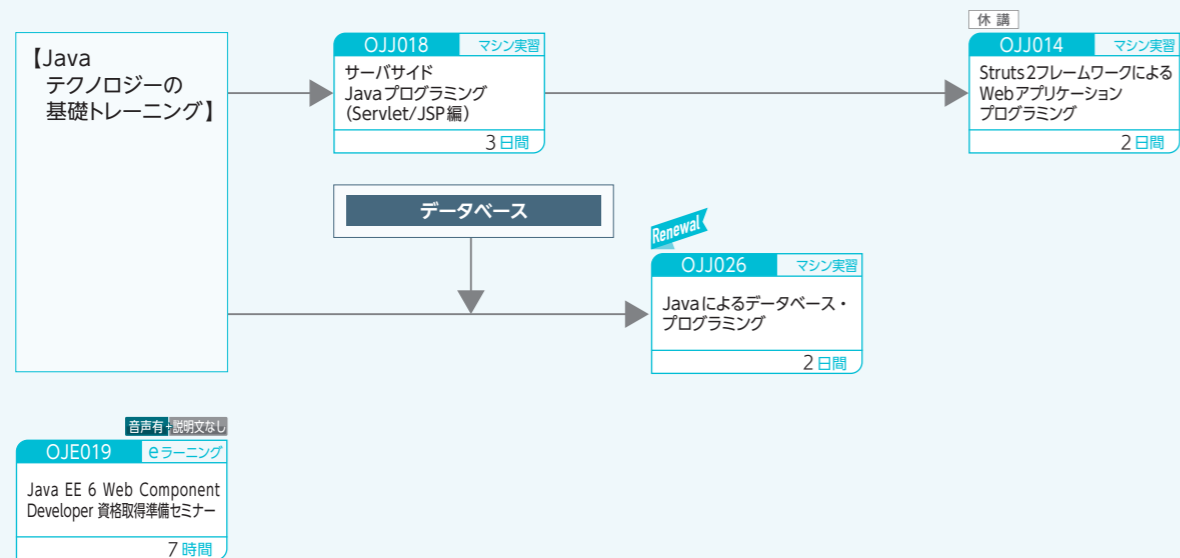
言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)

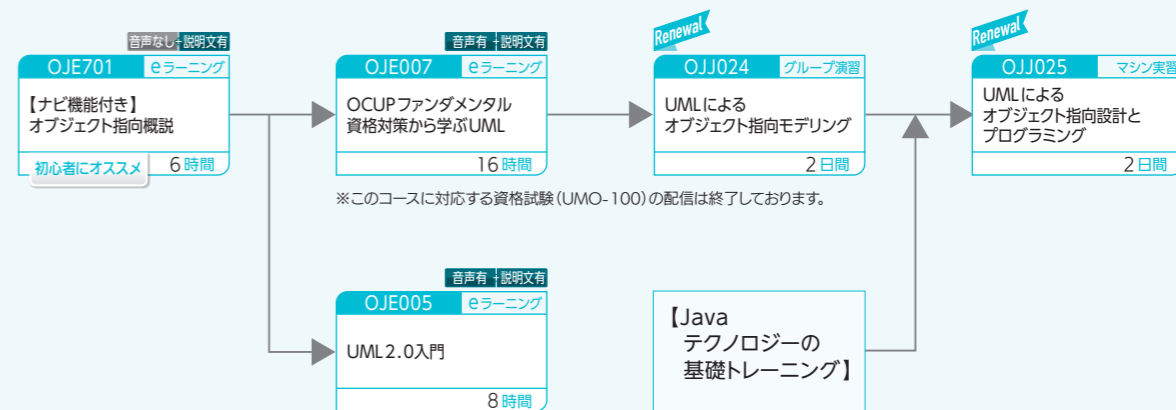


● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

New

DBJ107 マシン実習
0から始めるPython入門
-データ分析での活用を
テーマとして-
2日間

● Javaオブジェクト技術を使用してシステムを分析・設計する方



● Java言語の資格取得をめざす方

音声有・説明文なし

OJE016 eラーニング
OCJP Silver SE 8
資格取得準備セミナー
7時間

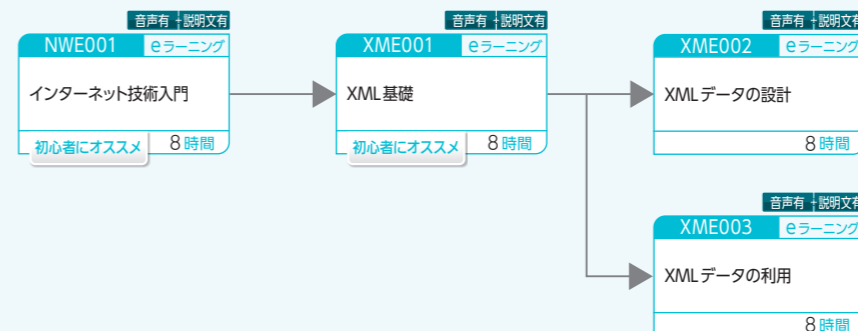
音声有・説明文なし

OJE018 eラーニング
OCJP Gold SE 8
資格取得準備セミナー
7時間

音声有・説明文なし

OJE017 eラーニング
OCJP Gold SE 8
資格取得準備セミナー
(移行試験)
7時間

● XMLを使用してWebアプリケーションを開発する方



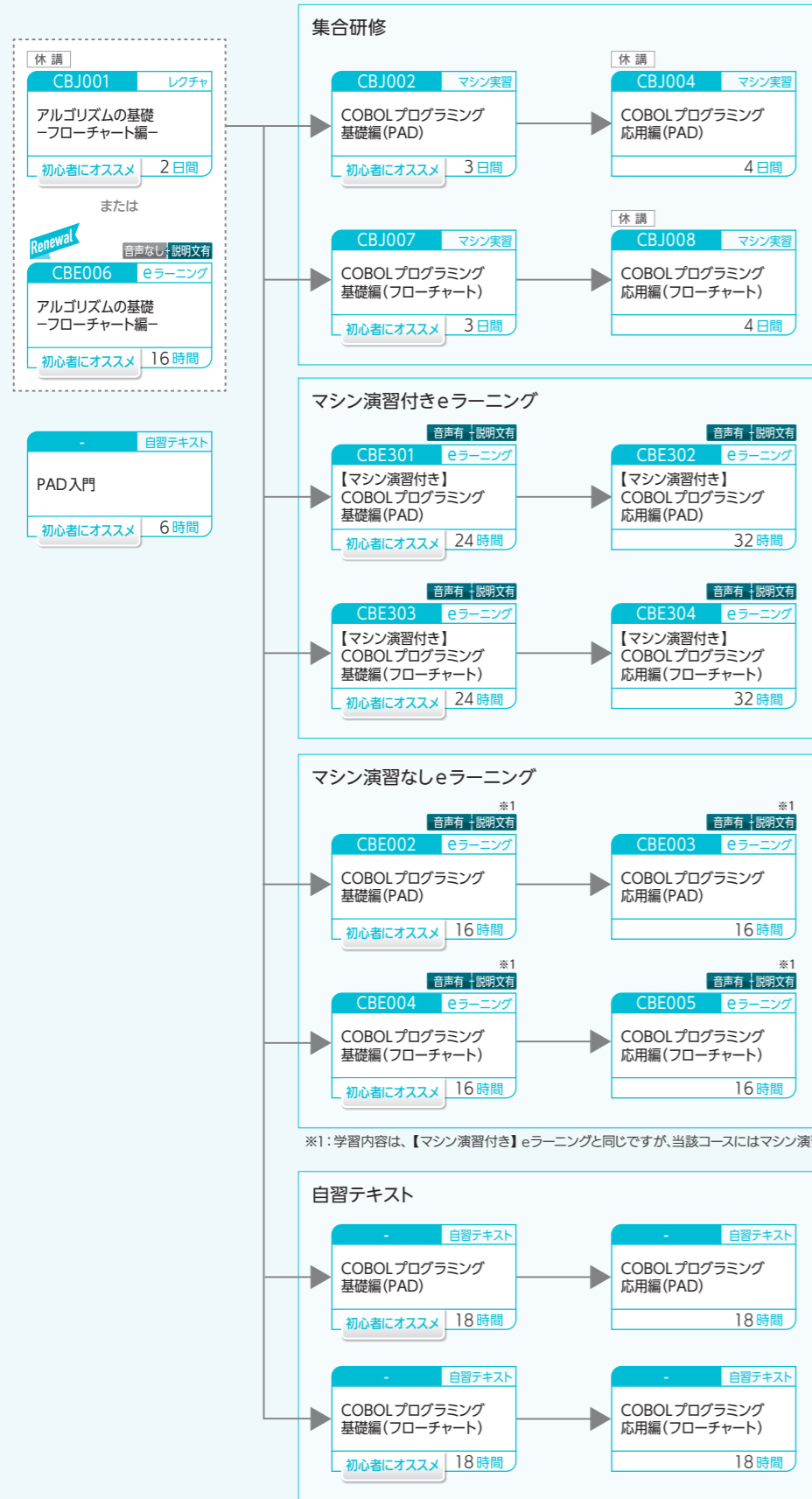
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

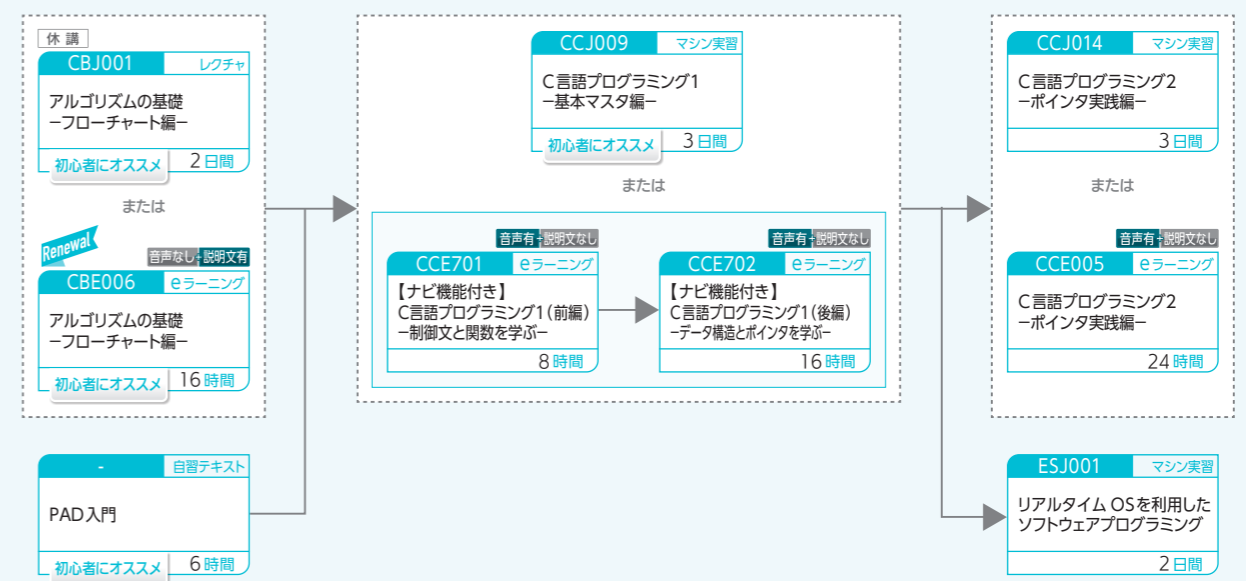
初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● COBOLを使用してプログラムを開発する方



※1: 学習内容は、【マシン演習付き】eラーニングと同じですが、当該コースにはマシン演習はありません。

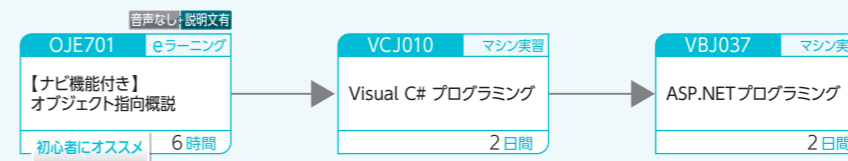
● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

| OCJE018 | Java |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得 準備セミナー</div> | |
| 平均7時間 | |
| <div>このコースでは、Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験(1Z0-809: Java SE 8 Programmer II)の出題内容を模範問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることがきます。</div> | |
| 到達目標 | Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験(1Z0-809: Java SE 8 Programmer II)の出題内容を理解できる。 |
| 対象者 | OCJP Gold SE 8 資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「Javaプログラミング2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. はじめに 2. Javaクラスの設計 3. 高度なJavaクラスの設計 4. ジェネリクスとコレクション 5. コレクション、ストリームおよびフィルタ 6. ラムダ組み込み型インターフェース 7. JavaストリームAPI 8. 例外とアサーション 9. Java SE 8の日付/時刻APIを使用する 10. JavaのIOの基本 11. Javaのファイル/O (NIO.2) 12. Javaの同時実行性 13. JDBCによるデータベース・アプリケーションの作成 14. ローカライズ 15. まとめ |
| 備 考 | ・このコースのサービス有効期間は180日間です。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。 お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| OCJE019 | Java |
|---|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>Java EE 6 Web Component Developer 資格取得準備セミナー</div> | |
| 平均7時間 | |
| <div>このコースでは、Oracle Certified Expert、Java Platform、EE 6 Web Component Developer 資格試験(1Z0-899: Java EE6 Web Component Developer Certified Expert)の出題内容を模範問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることがきます(セミナーで扱う模範問題は19問です)。</div> | |
| 到達目標 | MVCの考え方やサーブレットAPIの使い方やJSPの基本的な記述方法から、アプリケーションのパッケージング、Java EE 6 での新機能を実験に類出のトピックついて選択問題で回答できる。 |
| 対象者 | Java EE 6 Web Component Developer 資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 下記項目について基本的理解がある事。 ・JSP Faceletページの作成。 ・CDIの使用・Bean Validationの実行。 ・JPAを使用したデータベースの更新。 ・モバイルWebアプリケーションの作成。 ・Webプロファイル・アプリケーションの開発。 |
| 内 容 | 1. Oracle Certified Expert、Java Platform、EE 6 Web Component Developer 資格試験の概要とトピックの紹介 2. 標準のアーキテクチャ、プロトコル、テクノロジ、およびコンポーネントを使用したWeb アプリケーションの開発 3. JSPとJSTLを使用したビューの実装 4. サーブレットを使用したリクエスト/レスポンス処理の実行 5. ナビゲーション管理のためのコントローラの開発 6. モデル、ビュー、およびコントローラの統合 7. 対話のライフサイクル全体でのユーザーおよびアプリケーションの状態データ管理 8. エラーの特定、キャプチャ、および解決 9. セキュリティモデルの特定と実装 10. アプリケーションのテスト、パッケージ化、およびデプロイ |
| 備 考 | ・このコースのサービス有効期間は180日間です。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| OJE017 | Java |
|---|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得 準備セミナー(移行試験)</div> | |
| 平均7時間 | |
| <div>このコースでは、Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格への移行試験(1Z0-810: Upgrade Java SE 7 to Java SE 8 OCP Programmer と 1Z0-813: Upgrade to Java SE 8 OCP(Java SE 6 and all prior versions))の出題項目であるラムダ式と Stream API、Date and Time API を中心に試験の出題ポイントを模範問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることがきます。</div> | |
| 到達目標 | Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格への移行試験(1Z0-810: Upgrade Java SE 7 to Java SE 8 OCP Programmer と 1Z0-813: Upgrade to Java SE 8 OCP(Java SE 6 and all prior versions))の出題内容を理解できる。 |
| 対象者 | OCJP Gold SE 8 資格取得(移行試験)をめざす方。 |
| 前提知識 | 「Javaプログラミング2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. はじめに 2. ラムダ式 3. ラムダ式を使用する事前定義済み型の使用 4. ラムダ式を使用するコレクションおよびストリーム 5. ラムダを使用するコレクション操作 6. 並列ストリーム 7. ラムダ・フックアップ 8. メソッドの強化 9. Java SE 8 の Date /Time API を使用する 10. 言語の拡張 11. 同時実行性 12. ローカライズ 13. Java のファイル I/O (NIO.2) 14. Java コレクション 15. まとめ |
| 備 考 | ・このコースのサービス有効期間は180日間です。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| XME001 | XML |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XML基礎</div> | |
| 平均8時間 | |
| <div>XML (Extensible Markup Language) 文書の作成方法、DTDの記述方法、XMLの活用分野などの基礎的な内容を学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・XML文書を作成できる。 ・XMLの特徴、利用分野などを説明できる。 |
| 対象者 | XMLに関連する営業、営業支援、企画などの仕事に従事している方。システムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | 1. XML概要 2. XMLのルール 3. 文書型定義 (DTD) 4. XMLを利用するための規格 5. XMLの活用分野と主なXML応用言語 6. 修了試験 |
| 備 考 | ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| OJE016 | Java |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング> OCJP Silver SE 8 資格取得 準備セミナー</div> | |
| 平均7時間 | |
| <div>Oracle Certified Java Programmer、Silver SE 8 資格試験(1Z0-808: Java SE 8 Programmer I)の出題内容を理解できる。</div> | |
| 到達目標 | Oracle Certified Java Programmer、Silver SE 8 資格試験(1Z0-808: Java SE 8 Programmer I)の出題内容を理解できる。 |
| 対象者 | OCJP Silver SE 8 資格取得をめざす方。 |
| 前提知識 | 「Javaプログラミング1(基本文法編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. はじめに 2. Javaの基本 3. Javaのデータ型の操作 4. 演算子と判定構文の使用 5. 配列の作成と使用 6. ループ構文の使用 7. メソッドとカプセル化の操作 8. 継承の操作 9. 例外の処理 10. Java APIの主要なクラスの操作 11. まとめ |
| 備 考 | ・このコースのサービス有効期間は180日間です。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。 |

| XME002 | XML |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XMLデータの設計</div> | |
| 平均8時間 | |
| <div>より実践的なXML文書の作成方法を学習します。また、スキーマ言語としてDTDだけでなくXMLSchemaも紹介します。</div> | |
| 到達目標 | 実践レベルのXMLデータ・DTDを作成できる。 |
| 対象者 | XML関連システムを構築するシステムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 「XML基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. XML文書の記述 2. XML文書の設計 3. 名前空間 4. XML Schema 5. 修了試験 |
| 備 考 | ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| XME003 | XML |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XMLデータの利用</div> | |
| 平均6時間 | |
| <div>XML文書を変換するためのXSLT技術やXMLデータにアクセスするためのDOM技術を学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・XSLTによりXML文書のデータ構造を変換できる。 ・DOM技術を説明できる。 |
| 対象者 | XML関連システムを構築するシステムエンジニアの方。 |
| 前提知識 | 「XML基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. XSLT概要 2. XSLTスタイルシートの処理 3. パターンとXPath 4. 主なXSL関数 5. DOMとSAX概要 6. 修了試験 |
| 備 考 | ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 |

| CBJ004 | COBOL |
|--|--|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>COBOLプログラミング応用編 (PAD)</div> | |
| 4日間 | 体 講 |
| <div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。 ・マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。 ・表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。 ・表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。 ・多分岐のプログラムが作成できる。 |
| 対象者 | COBOLで業務処理プログラムを開発する方。 |
| 前提知識 | 「COBOLプログラミング基礎編(PAD)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. 集計処理プログラム 2. 突合せ処理プログラム 3. 表の取り扱い/表操作 4. 多分岐処理プログラム 5. マシン実習 |
| 備 考 | ・文法やプログラムのロジックは自習教材を使用して学習します。 ・東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング応用編(フローチャート)」コースと合同クラスで開催します。 ・各章のポイントは、講師が解説します。 ・処理の図式化にはPADを使用します。 ・マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。 |
| ※このコースは、体講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| - | COBOL |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>PAD入門</div> | |
| 平均6時間 | |
| <div>各種の言語を使用するプログラミングの前提知識として、プログラムの論理が木構造で記述できるPAD(Problem Analysis Diagram)の書き方と読み方を学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・順次、繰り返し、選択、定義図式をPADで表記できる。 ・PADの処理処理順序を説明できる。 ・PADを使ったテスト手順を説明できる。 |
| 対象者 | 構造化命令がある言語を使用してプログラムを開発する方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | 1. PADとは 2. PADの基本形と定義図式 3. PADからコーディング 4. PADテスト 5. 演習問題 |
| 備 考 | お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。 |


| CBJ002 | COBOL |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>COBOLプログラミング基礎編 (PAD)</div> | |
| 3日間 | |
| <div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。 ・データの構成を説明できる。 ・プログラムの構造化ができる。 ・データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。 ・繰り返し処理をコーディングできる。 ・印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。 |
| 対象者 | COBOLで業務処理プログラムを開発する方。 |
| 前提知識 | アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内 容 | 1. COBOLの基礎知識 2. データ加工のプログラム 3. データ印刷のプログラム 4. マシン実習-データ印刷のプログラム- |
| 備 考 | ・基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。 ・東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)」コースと合同クラスで開催します。 ・各章のポイントは、講師が解説します。 ・処理の図式化にはPADを使用します。 ・マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。 |

| CBJ007 | COBOL |
|--|---|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)</div> | |
| 3日間 | 体 講 |
| <div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。 ・データの構成を説明できる。 ・プログラムの構造化ができる。 ・データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。 ・繰り返し処理をコーディングできる。 ・印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。 |
| 対象者 | COBOLで業務処理プログラムを開発する方。 |
| 前提知識 | アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。 |
| 内 容 | 1. COBOLの基礎知識 2. データ加工のプログラム 3. データ印刷のプログラム 4. マシン実習-データ印刷のプログラム- |
| 備 考 | ・基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。 ・東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング基礎編(PAD)」コースと合同クラスで開催します。 ・各章のポイントは、講師が解説します。 ・処理の図式化にはフローチャートを使用します。 ・マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。 |
| ※このコースは、体講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| CBJ008 | COBOL |
|--|--|
| <div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>COBOLプログラミング応用編 (フローチャート)</div> | |
| 4日間 | 体 講 |
| <div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。</div> | |
| 到達目標 | ・コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。 ・マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。 ・表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。 ・表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。 ・多分岐のプログラムが作成できる。 |
| 対象者 | COBOLで業務処理プログラムを開発する方。 |
| 前提知識 | 「COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. 集計処理プログラム 2. 突合せ処理プログラム 3. 表の取り扱い/表操作 4. 多分岐処理プログラム 5. マシン実習 |
| 備 考 | ・文法やプログラムのロジックは自習教材を使用して学習します。 ・東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング応用編(PAD)」コースと合同クラスで開催します。 ・各章のポイントは、講師が解説します。 ・処理の図式化にはフローチャートを使用します。 ・マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。 |
| ※このコースは、体講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 | |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

CCJ009 C/C++


| |
|--|
|  C言語プログラミング1 —基本マスタ編— |
| 3日間 |

C言語の基本的な文法を学習します。プログラミング演習を通して理解を深めます。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・C言語の基本的な構文を説明できる。 ・C言語による簡単なプログラムを作成できる。 ・ポインタの概要を説明できる。 |
| 対象者 | はじめてプログラミングをする方、今後C++言語やJava言語を利用する方で基礎から学習したい方。 |
| 前提知識 | コンピュータの基礎知識があること。 |
| 内 容 | 1. C言語プログラム作成の基本 2. 制御構造 3. 関数 4. データ型 5. ポインタ 6. 入出力 7. データ型修飾子および演算子 8. プリプロセッサ |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

CCE701 C/C++


| |
|---|
|  <eラーニング>ナビ機能付き C言語プログラミング1 (前編) —制御文と関数を学ぶ— |
| 平均8時間 |

C言語の制御文と関数を中心に学習します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・C言語の制御文について説明できる。 ・C言語の関数について説明できる。 |
| 対象者 | C言語を使用してアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | コンピュータの基礎知識があること。 |
| 内 容 | 1. C言語のプログラミングの基本 (1) プログラムが実行されるまで (2) 簡単なC言語のプログラムを作ってみよう (3) C言語プログラムの基本構成 2. 制御文 (1) 分岐 (2) 繰り返し (3) 制御の変更 3. 関数 (1) 関数とは (2) 関数作成の基本 (3) 戻り値のある関数 (4) 引数のある関数 (5) 戻り値と引数のある関数 (6) 関数プロトタイプ (7) 関数の分類 4. 修了試験 |

| | |
|------------|--|
| 備 考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |
|------------|--|

CCJ014 C/C++


| |
|---|
|  C言語プログラミング2 —ポインタ実践編— |
| 3日間 |

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。 |
| 対象者 | ポインタについてより詳しく理解したい方、C言語を用いたアプリケーションを開発・保守する方。 |
| 前提知識 | 「C言語プログラミング 1—基本マスタ編—」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. ポインタと関数の引数の参照渡し 2. 領域の動的確保 (1) 変数領域の動的確保 (2) いろいろな領域の動的確保 3. ポインタを活用したプログラミング (1) ポインタ配列の利用 (2) 関数ポインタの利用 (3) 線形リストの実装 (4) 二分木の実装 |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

CCE005 C/C++


| |
|---|
|  <eラーニング> C言語プログラミング2 —ポインタ実践編— |
| 平均24時間 |

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。 |
| 対象者 | ITエンジニア職、若手・中堅ポインタについてより詳しく理解したい方。C言語を用いたアプリケーションの開発、保守する方。 |
| 前提知識 | 「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. ポインタと関数の引数の参照渡し 2. 領域の動的確保 (1) 変数領域の動的確保 (2) いろいろな領域の動的確保 3. ポインタを活用したプログラミング (1) ポインタ配列の利用 (2) 関数ポインタの利用 (3) 線形リストの実装 (4) 二分木の実装 4. 修了試験 |

| | |
|------------|---|
| 備 考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、マシン演習を多く取り入れたeラーニングコースです。ダウンロードした演習ファイルを使って演習します。 ・このコースは、集合研修「C言語プログラミング2—ポインタ実践編—」コース(CCJ014)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |
|------------|---|

VBJ038 VB/VC#

| |
|--|
|  Visual Basicプログラミング |
| 2日間 |

.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。 ・Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。 ・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。 ・Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。 |
|-------------|---|


| | |
|------------|---|
| 対象者 | Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。 |
|------------|---|

| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があり、【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|---|
| 内 容 | 1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発 2. Visual Basicプログラミングの基本 3. Visual Basicの基本文法 4. モジュールの定義 5. クラスの定義 6. 構造体の定義 7. 継承 8. 例外処理 |
|------------|---|

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：00～17：30の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

VBJ037 VB/VC#

| |
|---|
|  ASP.NETプログラミング |
| 2日間 |

ASP .NET によるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・ASP .NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。 ・サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。 ・ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。 ・ASP .NET MVCについて概要を説明できる。 ・ADO .NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。 |
|-------------|--|


| | |
|------------|-------------------------------------|
| 対象者 | これからASP .NETによるWebアプリケーションの開発に携わる方。 |
|------------|-------------------------------------|

| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | インターネットの基礎知識があり、「Visual Basic プログラミング」または「Visual C# プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|--|
| 内 容 | 1. ASP.NET概要 2. Webフォームの基本実装 3. サーバコントロール 4. ステート管理 5. ASP.NET MVCの基本 6. ADO.NETの利用 |
|------------|--|

| | |
|------------|--|
| 備 考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・使用するプログラミング言語は、Visual Basic.NETおよびVisual C# から選択可能です。 |
|------------|--|

VCJ010 VB/VC#

| |
|---|
|  Visual C#プログラミング |
| 2日間 |

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。 ・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。 ・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。 ・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|---|
| 対象者 | Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。 |
|------------|---|


| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があり、【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|--|
| 内 容 | 1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発 2. Visual C#プログラミングの基本 3. Visual C#の基本文法 4. クラス 5. 構造体 6. 継承 7. 例外処理 |
|------------|--|

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |

CCE701 C/C++


| |
|---|
|  <eラーニング>ナビ機能付き C言語プログラミング1 (前編) —制御文と関数を学ぶ— |
| 平均8時間 |

C言語の制御文と関数を中心に学習します。

| | |
|-------------|---|
| 到達目標 | ・C言語の制御文について説明できる。 ・C言語の関数について説明できる。 |
| 対象者 | C言語を使用してアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | コンピュータの基礎知識があること。 |
| 内 容 | 1. C言語のプログラミングの基本 (1) プログラムが実行されるまで (2) 簡単なC言語のプログラムを作ってみよう (3) C言語プログラムの基本構成 2. 制御文 (1) 分岐 (2) 繰り返し (3) 制御の変更 3. 関数 (1) 関数とは (2) 関数作成の基本 (3) 戻り値のある関数 (4) 引数のある関数 (5) 戻り値と引数のある関数 (6) 関数プロトタイプ (7) 関数の分類 4. 修了試験 |

| | |
|------------|--|
| 備 考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |
|------------|--|

CCE702 C/C++


| |
|---|
|  <eラーニング>ナビ機能付き C言語プログラミング1 (後編) —データ構造とポインタを学ぶ— |
| 平均16時間 |

C言語のデータ構造、ポインタ、およびライブラリ関数を用いたファイルの入出力について学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・C言語のデータ構造について説明できる。 ・ポインタの概要を説明できる。 ・ファイル入出力について説明できる。 |
| 対象者 | C言語を使用してアプリケーションを開発する方。 |
| 前提知識 | 「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (前編)—制御文と関数を学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | 1. データ型、配列と文字列、構造体 2. ポインタ 3. ファイル入出力 4. いろいろなデータ型と演算子 5. プリプロセッサ 6. 修了試験 |

| | |
|------------|--|
| 備 考 | ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。 |
|------------|--|

ESJ001 C/C++

| |
|--|
|  リアルタイムOSを利用したソフトウェアプログラミング |
| 2日間 |

組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて実施します。

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 到達目標 | リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。 |
|-------------|---------------------------------|

| | |
|------------|------------------|
| 対象者 | 組込みソフトウェアを開発する方。 |
|------------|------------------|

| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | 「C言語プログラミング 1—基本マスタ編—」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|--|
| 内 容 | 1. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) スケジューラとプリエンティブ (4) リアルタイムOSの種類 (5) 統合開発環境 2. シングルタスクプログラミング (1) タスクの生成と起動方法 (2) タスクの状態遷移 (3) 割り込みを用いたプログラミング 3. マルチタスクプログラミング (1) タスク間通信 (2) イベントフラグ (3) リソース(セマフォ) |
|------------|--|

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

VBJ037 VB/VC#

| |
|---|
|  ASP.NETプログラミング |
| 2日間 |

ASP .NET によるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・ASP .NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。 ・サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。 ・ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。 ・ASP .NET MVCについて概要を説明できる。 ・ADO .NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 対象者 | これからASP .NETによるWebアプリケーションの開発に携わる方。 |
|------------|-------------------------------------|

| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | インターネットの基礎知識があり、「Visual Basic プログラミング」または「Visual C# プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|--|
| 内 容 | 1. ASP.NET概要 2. Webフォームの基本実装 3. サーバコントロール 4. ステート管理 5. ASP.NET MVCの基本 6. ADO.NETの利用 |
|------------|--|

| | |
|------------|----------------------------------|
| 備 考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 |
|------------|----------------------------------|

VCJ010 VB/VC#

| |
|---|
|  Visual C#プログラミング |
| 2日間 |

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | ・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。 ・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。 ・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。 ・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|---|
| 対象者 | Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。 |
|------------|---|

| | |
|-------------|--|
| 前提知識 | Windowsの基本的な操作経験があり、【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
|-------------|--|

| | |
|------------|--|
| 内 容 | 1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発 2. Visual C#プログラミングの基本 3. Visual C#の基本文法 4. クラス 5. 構造体 6. 継承 7. 例外処理 |
|------------|--|

| | |
|------------|---------------------------------|
| 備 考 | このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 |
|------------|---------------------------------|

日立製品

| |
|--------------------------------|
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |

| |
|-------|
| HIRDB |
|-------|

| |
|---------|
| OpenTP1 |
|---------|

| |
|----------------|
| VOS3/VOS1/VOSK |
|----------------|

| |
|------------|
| XDM/PDM II |
|------------|

| |
|---------------------------------------|
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
|---------------------------------------|

| |
|-----|
| IoT |
|-----|

| |
|--------|
| ビッグデータ |
|--------|

| |
|-------------|
| クラウド/サーバ仮想化 |
|-------------|

| |
|---------------|
| IT サービスマネジメント |
|---------------|

| |
|--------|
| システム基盤 |
|--------|

| |
|------------|
| UNIX/Linux |
|------------|

| |
|-----------|
| Microsoft |
|-----------|

| |
|--------|
| ネットワーク |
|--------|

| |
|--------|
| セキュリティ |
|--------|

| |
|--------|
| データベース |
|--------|

| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
|------------------|

| |
|-----------|
| IT戦略・IS企画 |
|-----------|

| |
|--------|
| システム設計 |
|--------|

| |
|------------|
| アプリケーション開発 |
|------------|

| |
|-------------|
| Webアプリケーション |
|-------------|

| |
|----------|
| スマートデバイス |
|----------|

| |
|--------------|
| オブジェクト指向/UML |
|--------------|

| |
|----|
| 言語 |
|----|

| |
|------|
| IT基本 |
|------|

| |
|------|
| IT基本 |
|------|

| |
|--------|
| ハードウェア |
|--------|

| |
|--------|
| 情報処理資格 |
|--------|


| |
|--------|
| 情報リテラシ |
|--------|

| |
|--------------|
| プロジェクトマネジメント |
|--------------|

| |
|----------|
| コンプライアンス |
|----------|

| |
|------------|
| ビジネス/ヒューマン |
|------------|


| |
|-------|
| グローバル |
|-------|

| |
|--|
|  マシン実習 マシンを使用しながらの研修 |
|--|

| |
|--|
|  グループ学習 グループ学習を中心とした研修 |
|--|

| |
|---|
|  レクチャ 座学による研修 |
|---|

| |
|--|
|  演習環境 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |
|--|

| |
|---|
|  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |
|---|

| |
|--|
|  eラーニング |
|--|

| |
|--|
|  マシン演習 |
|--|

| |
|--|
|  動画 |
|--|

| |
|--|
|  ナビ付録 |
|--|

| |
|---|
|  大人数対応 |
|---|

| |
|--|
|  Oracle |
|--|

| |
|---|
|  マイクロソフト |
|---|

| |
|--|
|  eラーニング |
|--|

| |
|---|
|  インターネット接続 |
|---|

| |
|--|
|  自己学習 |
|--|

| |
|--|
|  研修テキスト |
|--|

| |
|--|
|  自習書による自己学習 |
|--|


| |
|------------|
| 休 講 |
|------------|


| |
|-----------------------------|
| 休 講 今期の定期開催はありません |
|-----------------------------|


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |


| |
|--------------|
| IT 基本 |
| IT 基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| | |
|---|-------|
| SJJ009 | IT 基本 |
|  コンピュータ基礎 | |
| 5日間 | |
| 情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 ・コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。 ・ネットワークやデータベースの基本を説明できる。 ・システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。 | |
| 対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム 2. 入出力装置 3. 記憶装置 4. 中央処理装置 5. オペレーティングシステム 6. 情報処理技術の基礎と理論 7. ファイル編成とデータベース 8. 通信ネットワークシステム 9. 情報セキュリティ 10. 情報システムとRASIS 11. 情報システムの開発 | |


| | |
|---|-------|
| SJE701 | IT 基本 |
|  <eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—ハードウェア編— | |
| 平均8時間 | |
| 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。 | |
| 対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. コンピュータとは (1) コンピュータとは (2) コンピュータの5大基本機能 (装置) 2. 記憶装置 (1) 記憶階層 (2) 主記憶装置 (3) 半導体 (IC) メモリ (4) ハードディスクドライブ (HDD) (5) その他の補助記憶装置 3. CPU (1) CPUの構成要素 (2) 制御装置 (3) 演算装置 (4) バス (5) CPUの高速化 4. 入出力装置 (1) 入力装置 (2) 出力装置 (3) I/O (Input/Output) 5. 修了試験 | |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 | |

| | |
|---|-------|
| SJE702 | IT 基本 |
|  <eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—ソフトウェア編— | |
| 平均8時間 | |
| 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。 | |
| 対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. OSの制御プログラム (1) タスク管理 (2) 記憶管理 (3) ジョブ管理 (4) ファイル管理 2. 言語 (1) 言語プロセッサ (2) 主記憶装置 (3) プログラムの作成と実行 (4) プログラム言語の種類とプログラムの性質 3. 修了試験 | |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 | |

| | |
|---|-------|
| ESE701 | IT 基本 |
|  <eラーニング>[ナビ機能付き] 組込みシステムとは | |
| 平均8時間 | |
| 組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。 | |
| 到達目標 ・組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。 ・組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる・リアルタイムOSの概要を説明できる。 | |
| 対象者 組込みソフトウェアを開発する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. 組込みシステムとは 2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ 3. 組込み製品の開発に必要な知識 4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎 (1) 組込みソフトの開発環境 (2) 入出力制御の概要 (3) 割り込み 5. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) リアルタイムOSの種類 (4) リアルタイムOSを使用したシステム構築手順 6. 組込みシステムに関する新技術 7. 修了試験 | |
| 備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 | |

| | |
|---|-------|
| SJE703 | IT 基本 |
|  <eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—情報基礎理論編— | |
| 平均4時間 | |
| 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。 | |
| 対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. データの表現 2. 基数 3. 固定小数点数 4. 浮動小数点数 5. 精度 6. 論理演算 7. 論理回路 8. 修了試験 | |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 | |

| | |
|---|-------|
| SJE704 | IT 基本 |
|  <eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—情報システム編— | |
| 平均4時間 | |
| 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。 | |
| 対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。 | |
| 前置知識 特に必要としません。 | |
| 内 容 1. システム構成 (1) システムの形態 (2) 処理形態 2. システム性能 (1) CPUの性能 (2) システムの性能 3. システムの信頼性 (1) RASIS (2) 稼働率 (3) 高信頼システム (4) RAID 4. 修了試験 | |
| 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 | |

| | |
|--|-------|
| SJJ030 | IT 基本 |
|  アプリケーション開発者のための文字コード入門—アプリケーションの文字化けを防ぐ— | |
| 1日間 | |
| 代表的な文字セットと符号化方式を、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。 | |
| 到達目標 ・代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。 ・符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。 ・外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。 | |
| 対象者 コンピュータ上で文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。 | |
| 前置知識 Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。 | |
| 内 容 1. はじめに 2. コンピュータでの文字の扱い方 3. 代表的な符号化文字集合 4. 代表的な文字符号化方式 5. 文字コードが関係する諸問題 6. プログラミング言語と文字コード | |

| | | |
|---|--|---|
|  マシン実習 マシンを使用した ながらの研修 |  グループ演習 グループ演習を 中心とした研修 |  レクチャ 座学による 研修 |
|---|--|---|

| | |
|--|---|
|  演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習 |  研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 |
|--|---|

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|
|  eラーニング |  マシン演習 |  演習 |  ナビ付録 |  音声収録 |  Oracle |  Ajaxチェック |
|---|---|--|--|--|--|--|

| | |
|--|-----------------------------------|
|  自習テキスト 自習書による 自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催は ありません |
|--|-----------------------------------|

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービス マネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX / Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT 基本 |
| IT 基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● SAN関連業務に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE705 **eラーニング**

【ナビ機能付き】
SAN概説

5 時間

● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有 **説明文なし**

SJE016 **eラーニング**

Fibre Channel概説
—日立ストレージ・ホストの
接続を理解するために—

4 時間

● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE018 **eラーニング**

SAS (Serial Attached SCSI)
入門—ストレージインタフェース
を理解するために—

2 時間

● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE017 **eラーニング**

SATA入門

2 時間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE705 ハードウェア

eラーニング
ナビ付き
平均4時間

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
SAN概説**

SAN(Storage Area Network)およびSAN関連製品に携わって
いくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標 SANの全体像が説明できる。

対象者 SAN関連業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. SANとは
2. SANトポロジ(FC-SAN、IP-SAN)
3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、
ストレージ仮想化
4. ストレージ管理
5. NAS(Network Attached Storage)/データア
カイブ
6. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE016 ハードウェア

eラーニング
平均4時間

**<eラーニング>Fibre Channel概説
—日立ストレージ・ホストの接続を
理解するために—**

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelにつて
の基礎知識を学習します。

到達目標 ・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。
・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre
Channel技術を理解できる。

対象者 日立ストレージに関する業務を担当している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. Fibre Channelの歴史と特徴
2. Fibre Channelハードウェア
(1)メディアタイプ
(2)FC-Switch
3. Fibre Channel基本事項
(1)トポロジ
(2)アドレッシング
4. 憶えておきたいキーワード
5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細
6. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE017 ハードウェア

eラーニング
平均2時間

<eラーニング>SATA入門

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標 ・SATAの機能、システム構成を説明できる。
・SATAの内部動作を理解できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務
を担当する方。

前提知識 PCの構造を理解していること。

内 容

1. ATAとは
(1)歴史
(2)ATAのシステム的な位置づけ
2. パラレルATA
(1)システム構成
(2)レジスタインタフェース
(3)基本的なシーケンス
3. シリアルATA (SATA)
(1)パラレルATAとの異なり/ システム構成
(2)基本的なシーケンス
(3)独自機能 コマンドキューイング・SAS連携
4. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE018 ハードウェア

eラーニング
平均2時間

**<eラーニング>
SAS (Serial Attached SCSI) 入門
—ストレージインタフェースを理解するために—**

SASの基本知識を学習します。

到達目標 ・SASのシステム構成を説明できる。
・SASの動作概要を説明できる。
・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務
を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. SASとは
2. SAS概要
(1)ハードウェア
(2)システム構成
3. SAS詳細
(1)データ転送
(2)コマンド体系
(3)コマンドシーケンス
4. SASのSATAデバイスサポート
5. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

自習テキスト
自習書による
自己学習

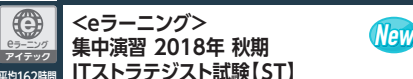
休 講

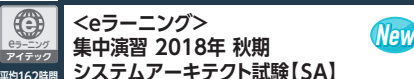
休 講
今期の定期開催は
ありません

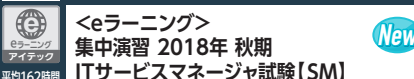
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

195

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

| SJE281 秋期実施試験対策 |
|---|
|  |
| <eラーニング> 集中演習 2018年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】 |
| 平均162時間 |
| <p>eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。</p> |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。 ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。 |
| <p>対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。</p> |
| <p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p> |
| <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> eラーニングによるテスト |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、アイテック社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

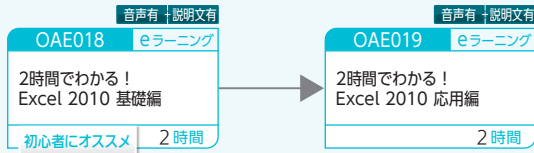
| SJE282 秋期実施試験対策 |
|---|
|  |
| <eラーニング> 集中演習 2018年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】 |
| 平均162時間 |
| <p>eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。</p> |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要な要件定義・アーキテクトチャ設計・開発主導を行うことができる。 システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。 |
| <p>対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。</p> |
| <p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p> |
| <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> eラーニングによるテスト |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、アイテック社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| SJE283 秋期実施試験対策 |
|---|
|  |
| <eラーニング> 集中演習 2018年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】 |
| 平均162時間 |
| <p>eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。</p> |
| <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。 ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。 |
| <p>対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。</p> |
| <p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p> |
| <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> eラーニングによるテスト |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、アイテック社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

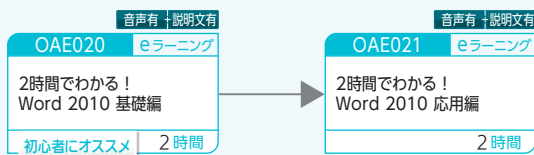
情報リテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方



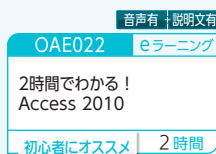
● Wordを使用して文書を作成する方



● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



● Accessを使用してアプリケーションを開発する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



自学テキスト
自習書による
自己学習



休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化IT サービス
マネジメント

システム基盤

UNIX / Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

● Excelを使用してデータ活用をしたい方

| | |
|------------------------------------|-------|
| OAJ046 | マシン実習 |
| Excelで業務データを使いこなす関数とピボットテーブルを利用してー | |
| 1 日間 | |

● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方


| | |
|-------------------------|-----------|
| New | 音声有 +説明文有 |
| OAE026 | eラーニング |
| SharePointによる社内ポータル作成入門 | |
| 3 時間 | |


音声有 +説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


音声有 +説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


音声なし +説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


| | |
|---|--|
| OAE018 | Office 2010 |
|  | <eラーニング> 2時間でわかる! Excel 2010 基礎編 |
| 平均2時間 | |
| Microsoft Excel 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> データを入力できる。 表の体裁を整えることができる。 目的に応じて印刷できる。 表計算機能を活用できる。 |
| 対象者 | Microsoft Excel 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Excel 2010の画面 データ入力の基本 表の体裁を整える 目的に応じた印刷 表計算機能の活用 その他の便利な機能 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|--|
| OAE019 | Office 2010 |
|  | <eラーニング> 2時間でわかる! Excel 2010 応用編 |
| 平均2時間 | |
| Microsoft Excel 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> グラフを作成できる。 データベースを管理できる。 関数を利用できる。 マクロを作成できる。 |
| 対象者 | Microsoft Excel 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「2時間でわかる! Excel 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> グラフの作成 データベースの管理 関数の基礎知識 マクロの作成 Excel VBA Excel Web App |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|---|
| OAJ046 | Office 2010 |
|  | Excelで業務データを使いこなす 関数とピボットテーブルを利用してー |
| 1 日間 | |
| 関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 関数を効率よく入力し、データの整形ができる ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> 業務で扱うデータを活用できるようになりたい方 Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方 |
| 前提知識 | Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> ダウンロードデータをExcelにインポートする 関数を効率よく入力する ダウンロードデータを整形する ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |
| ※東京研修センターへお問い合わせください。 | |

| | |
|---|---|
| OAE020 | Office 2010 |
|  | <eラーニング> 2時間でわかる! Word 2010 基礎編 |
| 平均2時間 | |
| Microsoft Word 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 文書を作成できる。 文書の体裁を整えることができる。 文書の保存と印刷ができる。 |
| 対象者 | Microsoft Word 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Word 2010の画面 文書作成の基本 文書の体裁を整える 文書の保存と印刷 その他の便利な機能 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|---|
| OAE021 | Office 2010 |
|  | <eラーニング> 2時間でわかる! Word 2010 応用編 |
| 平均2時間 | |
| Microsoft Word 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 表を作成できる。 図形や画像を挿入できる。 文書の校閲ができる。 長文文書を作成できる。 |
| 対象者 | Microsoft Word 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。 |
| 前提知識 | 「2時間でわかる! Word 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 表の作成 図形や画像の挿入 文書の校閲 長文文書作成のサポート Word Web App その他の便利な機能 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| | |
|---|---|
| OAE022 | Office 2010 |
|  | <eラーニング> 2時間でわかる! Access 2010 |
| 平均2時間 | |
| Microsoft Access 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> テーブルを作成できる。 クエリによるデータ抽出ができる。 フォームによるデータ入力ができる。 |
| 対象者 | Microsoft Access 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Access 2010の画面 テーブルの作成 クエリによるデータの抽出 フォームによるデータ入力 その他の便利な機能 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Access 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


 **目次**
目次テキスト
目次による
自己学習

休講
休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

OAE023 Office 2010



**<eラーニング>
2時間でわかる!
PowerPoint 2010 基礎編**

平均2時間

Microsoft PowerPoint 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。

到達目標

- ・プレゼンテーションを構成できる。
- ・スライドの作成とデザインができる。
- ・図形や画像を挿入できる。
- ・スライドショーの準備と実行ができる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前置知識 特に必要としません。


内容

1. Microsoft PowerPoint 2010の画面
2. プレゼンテーションの構成
3. スライドの作成とデザイン
4. 図形や画像の挿入
5. スライドショーの準備と実行
6. その他の便利な機能

備考

- ・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2010がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAE024 Office 2010



**<eラーニング>
2時間でわかる!
PowerPoint 2010 応用編**

平均2時間

Microsoft PowerPoint 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標

- ・表やグラフを挿入できる。
- ・アニメーションを活用できる。
- ・動画を挿入、編集できる。
- ・マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前置知識 「2時間でわかる! PowerPoint 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 表やグラフの挿入
2. アニメーションの活用
3. 動画の挿入、編集
4. マスターとテンプレートの活用
5. PowerPoint Web App
6. その他の便利な機能

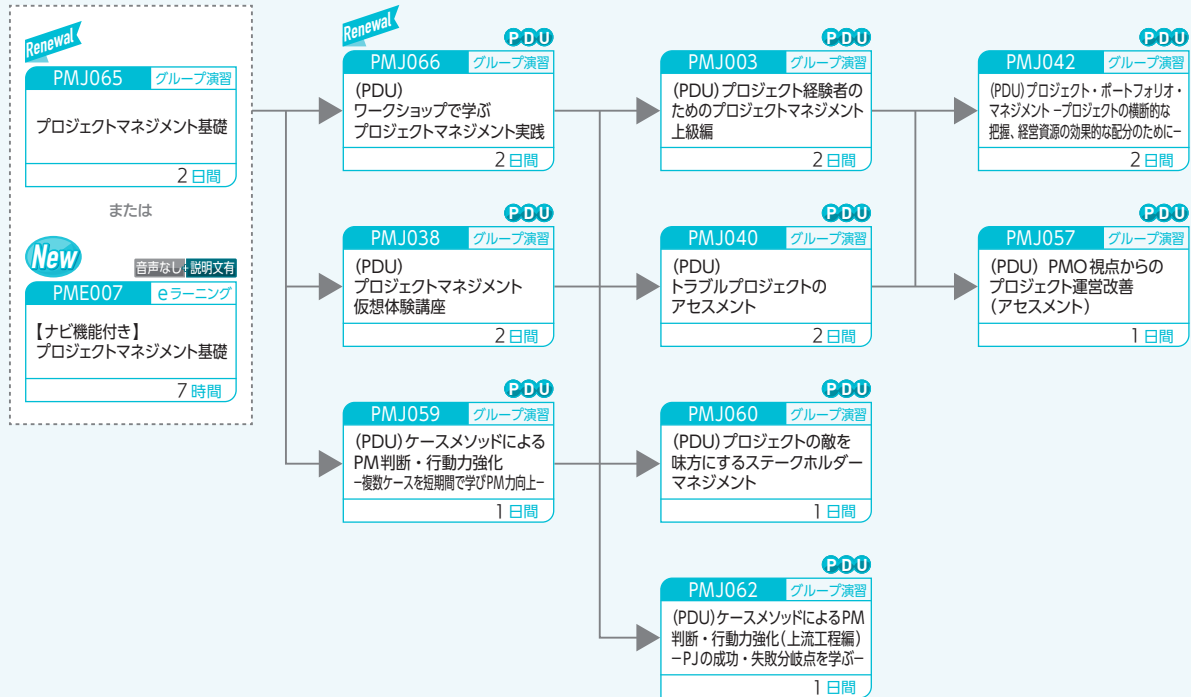
備考

- ・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2010がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

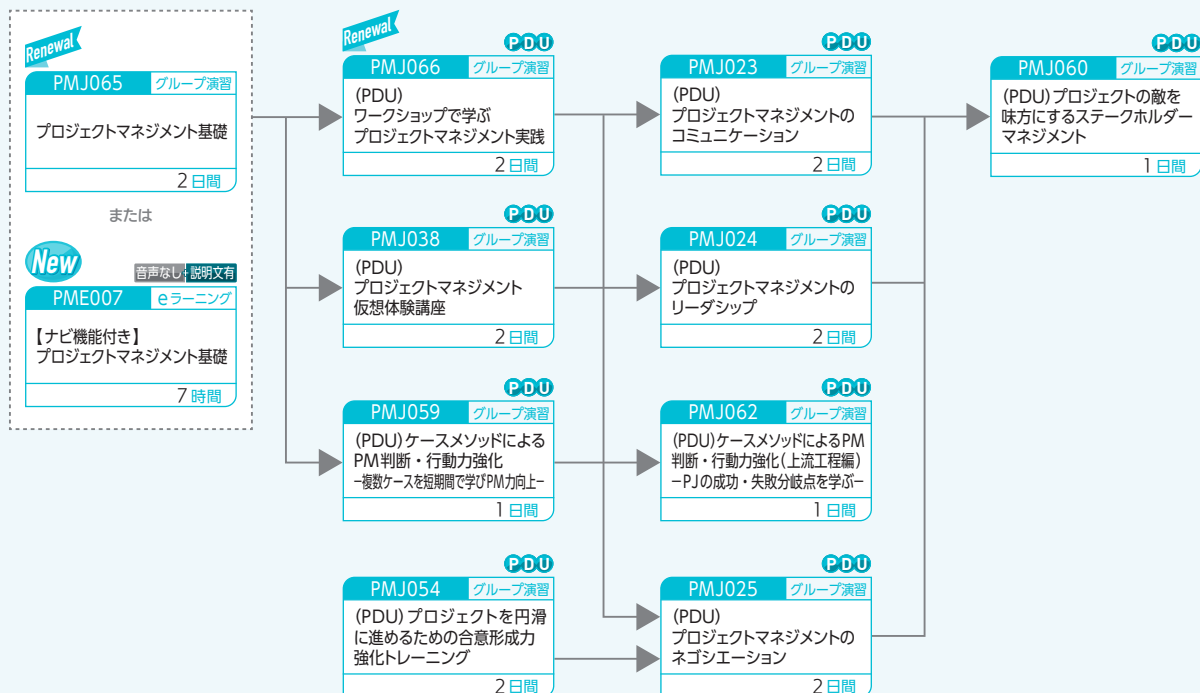
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

● プロジェクトマネージャをめざす方



● プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



目録テキスト
目音書による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMI

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発

Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

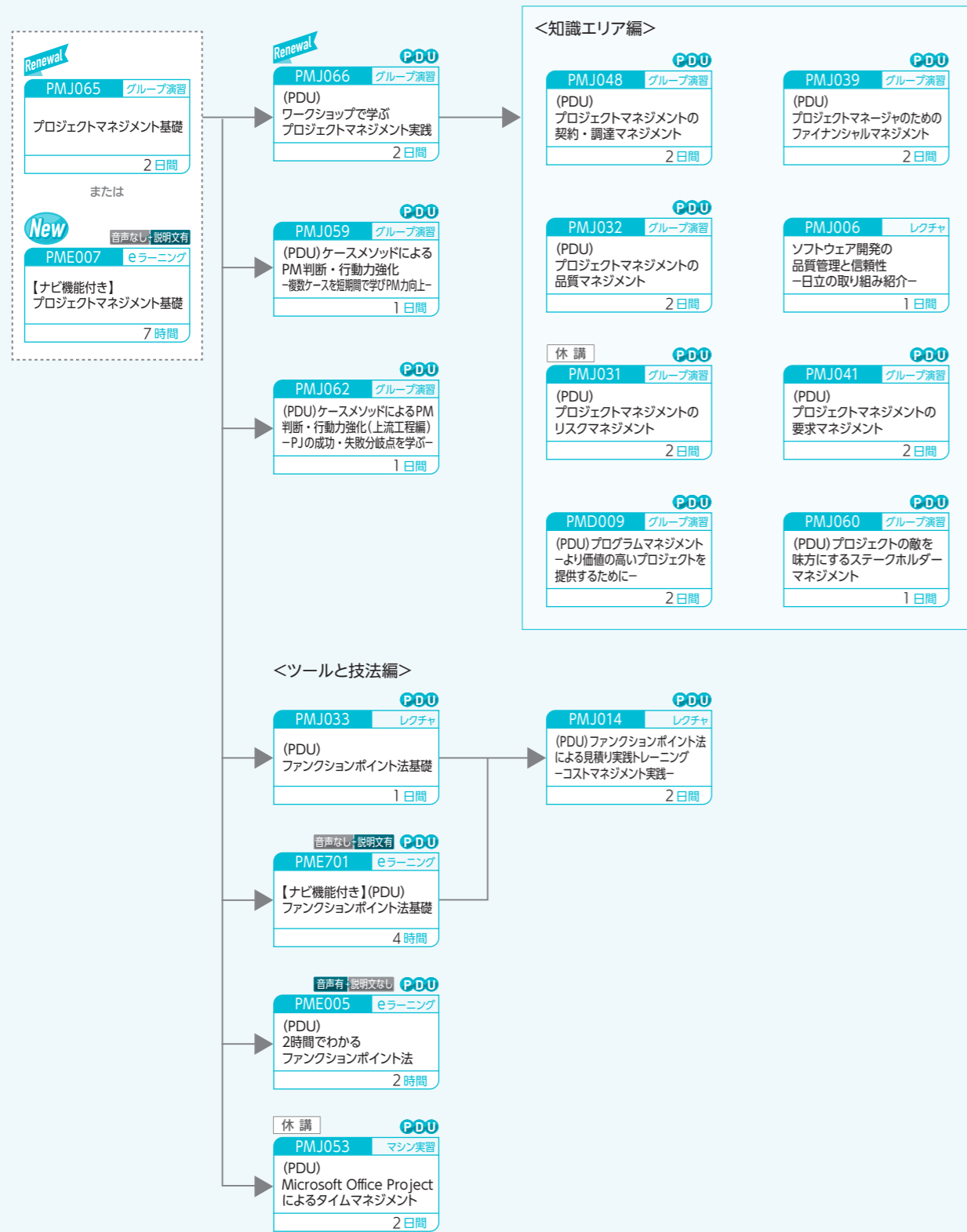
プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

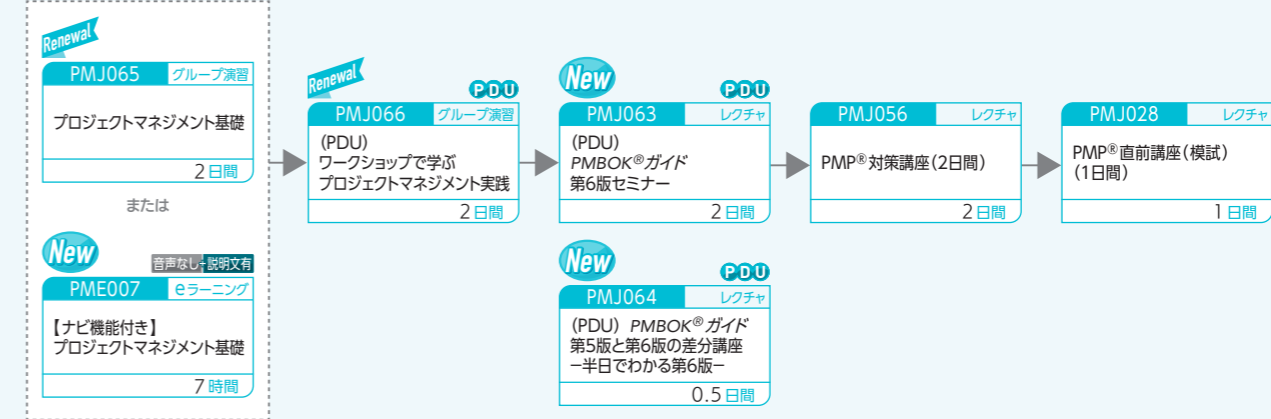
グローバル

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

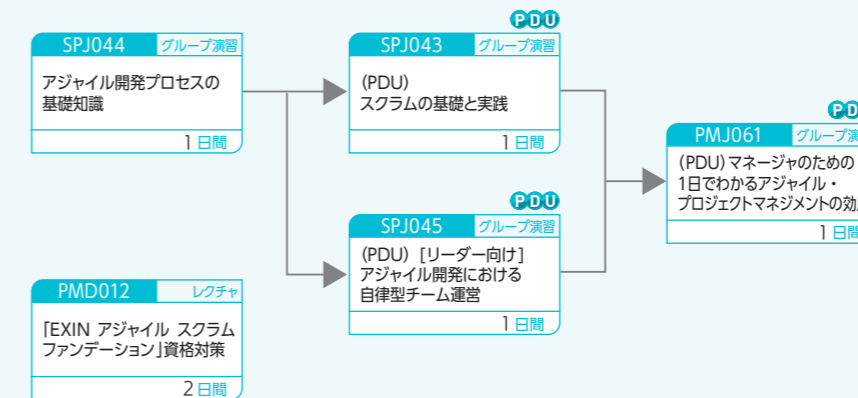


PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of Knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc) の登録商標です。

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



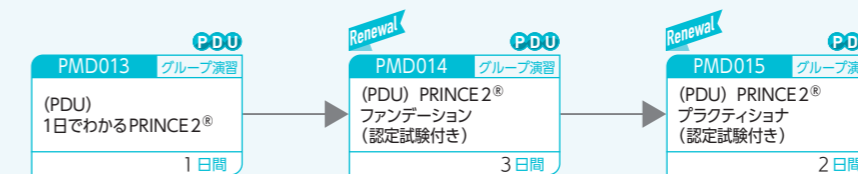
● アジャイル開発に携わる方、関心のある方



● PMP®資格維持を図る方 (PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。
 詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～



資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional(PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
●PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
●PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。



詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html

PDU 対象コース一覧

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Includes categories like ITサービスマネジメント, IT戦略・IS企画/システム設計, プロジェクトマネジメント.

New: 新設コース, Renewal: 改訂コース, 休講: 今期の定期開催はありません

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Includes courses like PMJ014, PME005, PMJ053, etc.

ビジネス/ヒューマン

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Includes courses like HSJ056, HSJ174, HSJ125, etc.

グローバル

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Includes courses like GBE010, GBE013, GBE014, etc.

*eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。



PMJ065 プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント基礎 Renewal

2日間

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。

到達目標 ・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内 容 1. プロジェクトマネジメントとは
2. プロジェクト立上げ(ケーススタディ、演習)
 (1) 上位マネジメントの役割
 (2) プロジェクト憲章
3. プロジェクト計画(ケーススタディ、演習)
 (1) プロジェクトマネジメント計画書
 (スコープ、WBS、スケジュール、コスト、品質、リソース、コミュニケーション、リスク、調達)
4. 実行とコントロール(ケーススタディ、演習)
 (1) ベースラインの確認
 (2) パフォーマンス評価
 (3) アンド・パリュウ・マネジメント
 (4) 実績報告書作成
5. プロジェクト完了

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

PME007 プロジェクトマネジメント

<eラーニング>[ナビ機能付き] プロジェクトマネジメント基礎 New

平均7時間

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方の基本を学習します。

到達目標 ・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内 容 1. プロジェクトとプロジェクトマネジメント
2. プロジェクトマネジメントの仕事の流れ
3. *PMBOK®* ガイドの考え方
4. 統合マネジメント
5. スコープ・マネジメント
6. タイム・マネジメント
7. コスト・マネジメント
8. 品質マネジメント
9. 人的資源マネジメント
10. コミュニケーション・マネジメント
11. リスク・マネジメント
12. 調達マネジメント
13. ステークホルダー・マネジメント
14. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
・このコースは、集合研修「プロジェクトマネジメント基礎」コース(PMJ065)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ066 プロジェクトマネジメント

(PDU) ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践 Renewal

2日間

プロジェクトマネジメントのベースとなるスコープ記述書の作成、WBSの作成、プロジェクトマネジメント計画書の作成、リスク登録簿の作成などプロジェクト計画のための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・スコープ記述書が作成できる。
・ステークホルダー分析ができる。
・プロジェクトマネジメント計画書が作成できる。
・リスク登録簿が作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. プロジェクトマネジメントの概要
2. *PMBOK®* ガイドの概要
 (1) 演習：ステークホルダー分析
3. スコープ記述書
 (1) 演習：スコープ記述書の作成
4. プロジェクト管理計画書
 (1) 演習：プロジェクト管理計画書の作成
5. リスクマネジメント
 (1) 演習：リスク登録簿の作成

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ038 プロジェクトマネジメント

(PDU) プロジェクトマネジメント 仮想体験講座 PDU

2日間

シミュレータを使って仮想プロジェクトを計画し、チーム編成を行い、プロジェクトを実行します。プロジェクト実行中に発生するさまざまな問題に対応し、解決する方法を学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 プロジェクト実行中に発生するさまざまな問題への対応方法を理解し実際のプロジェクト運営で活用、実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. シミュレーションツールの使い方
2. 期間1 (プロジェクト立上げから4週目まで)
 (1) 計画立案
 (2) シミュレーション実行
 (3) 進捗報告
 (4) 解説
3. 期間2 (5週目から8週目まで)
 (1) 計画立案
 (2) シミュレーション実行
 (3) 進捗報告
 (4) 解説
4. 期間3 (9週目からプロジェクト完了まで)
 (1) 計画立案
 (2) シミュレーション実行
 (3) 進捗報告
 (4) 解説
5. まとめ

備考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ059 プロジェクトマネジメント

(PDU) ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 複数ケースを短期間で学びPM力向上 PDU

1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組みむことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様々なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者 ・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダー、リーダー、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーの合意を得てスコープをコントロールする
3. ステークホルダーを巻き込んで品質を確保する
4. プロジェクトメンバーとのコミュニケーション(役割分担など)を行う
5. スコープとスケジュールのバランスを保つ
6. コストとスケジュールのバランスを保つ

備考 ・このコースは、9：00～17：30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ062 プロジェクトマネジメント

(PDU) ケースメソッドによる PM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ- PDU

1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程(企画・基本設計)を主なテーマとして、数多くの事例に取り組みむことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU:7ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・上流工程での複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様々なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者 ・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダー、リーダー、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーとの関係強化する
3. 要求仕様を明確にする
4. プロジェクトスコープを明確化・コントロールする
5. プロジェクト体制を構築する
6. 要求仕様がいままな状態で概算見積りをする
7. パッケージ適用開発を推進する

備考 ・このコースは、9：00～17：30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ003 プロジェクトマネジメント

(PDU) プロジェクト経験者のための プロジェクトマネジメント上級編 PDU

2日間

プロジェクトマネジャーが、失敗しない(成功する)プロジェクトをめざすために必要な計画・管理工程における各種ガイドラインについて、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 計画・管理工程における各種ガイドラインを用いて、プロジェクトマネジメントを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. モダンプロジェクトマネジメントの重要性
2. プロジェクトの立上げ、計画プロセスにおけるマネジメントと留意点
3. プロジェクト遂行プロセスにおけるマネジメントと留意点
4. プロジェクト完了プロセスにおけるマネジメントと留意点
5. 事例演習と講評

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ040 プロジェクトマネジメント

(PDU) トラブルプロジェクトの アセスメント PDU

2日間

問題の起きたプロジェクトや起きそうなプロジェクトを短期間でアセスメントし、最初の計画に戻すように回復・挽回する方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 プロジェクトを短期間でアセスメントし最初の計画に戻すように回復・挽回する方法について説明できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. 短期アセスメントと挽回プロセスの概要
2. アセスメントの確立と挽回
3. アセスメントの計画と実行
4. 挽回策の立案
5. 移行とプロジェクトの安定
6. トラブルプロジェクトを避ける

備考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ060 プロジェクトマネジメント

(PDU) プロジェクトの敵を味方にする ステークホルダーマネジメント PDU

1日間

プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーの協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースでは、ステークホルダーマネジメントと体系的に学び、具体的なツールを修得します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ステークホルダーマネジメントのプロセスを理解し、具体的な作業をイメージできる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。


内 容 1. ステークホルダーマネジメントの基本知識と実践方法を修得できる
2. ステークホルダのマネジメントを計画するポイントを理解する
3. ステークホルダーそれぞれの関心事と要求を把握することができる
4. ステークホルダー・エンゲージメントのポイントを理解する
5. ステークホルダーとの対立関係をコントロールすることができる


備考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| IT サービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|------------------|
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |


| | |
|---|---|
| PMJ024 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントのリーダーシップ PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシー、チーム内外でのコミュニケーションの基本、チームメンバーの動機付けおよび育成方法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシーを説明できる。 ・チーム内外でのコミュニケーション、チームメンバーの動機付けおよび育成方法について説明できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. リーダーシップとマネジメント (1) プロジェクトマネジメントにおけるリーダーシップの位置づけ (2) リーダーシップ・コンピテンシー など 2. 優秀なチームをリードする (1) チームが持つポジティブな側面とネガティブな側面 (2) グループから成功するチームへの発展 など 3. 変革への対応プロセスと倫理 (1) 行動科学とモチベーション (2) 価値観と対人関係スタイル など 4. 倫理とリーダーシップ (1) 変化に適應するプロセス (2) 倫理的行動のメリット など 5. リーダーシップとコーチング (1) なぜ今プロジェクトにおいてコーチングなのか (2) カウンセリング・コーチング・ティーチング など |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |


| | |
|---|--|
| PMJ054 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントの合意形成力強化トレーニング PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | 顧客やチームメンバーと合意形成するコミュニケーションのプロセスを理解しながら、自己のコミュニケーションの「クセ」ならびに、その改善・強化方法を学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：13ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・成功確率を高める交渉の原則を説明できる。 ・プロジェクトマネジメントに必要な交渉技法を身につけられる。 ・顧客と信頼関係を築くコミュニケーションをとることができる。 |
| 対象者 | 5年以上の業務経験がある方。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. ビジネスコミュニケーションとは 2. コミュニケーションプロセスの理解 (1) アイスブレイク (2) 自分の意見を説明する (3) 相手の意見を積極的に聞き出す (4) 解決ポイントを見出す (5) 協力して解決策を作成する (6) 合意を形成する 3. コミュニケーションプロセス理解のためのミニ演習 4. 総合ロールプレイングトレーニング 5. まとめ |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|--|--|
| PMJ025 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントのネゴシエーション PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | プロジェクトにおけるネゴシエーション能力の発揮面に重点を置き、ステークホルダー、顧客、チームメンバーとの効果的なネゴシエーション方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・ステークホルダー、顧客、チームメンバーとの効果的なネゴシエーション方法を説明できる。 ・プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. プロジェクトにおける交渉 2. 交渉とタイプ分析 3. 交渉プロセスと交渉技法 4. 協働的交渉プロセス 5. 複雑な交渉 6. 全体のまとめ |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|---|--|
| PMJ039 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | 財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識とプロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。 ・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを実践できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 財務の基本 (財務分析、管理会計、収益測定 (ROAなど)) 2. 契約上の利益 (価格戦略と戦略、利益計画、利益目標) 3. 資産マネジメント (キャッシュフロー、受取勘定、財産目録) 4. 契約条件 (価値、コスト、リスク・評価基準) 5. コスト見積り (コスト見積り法、計画策定とスケジューリング) |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |


| | |
|---|--|
| PMJ039 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | 財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識とプロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。 ・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを実践できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 財務の基本 (財務分析、管理会計、収益測定 (ROAなど)) 2. 契約上の利益 (価格戦略と戦略、利益計画、利益目標) 3. 資産マネジメント (キャッシュフロー、受取勘定、財産目録) 4. 契約条件 (価値、コスト、リスク・評価基準) 5. コスト見積り (コスト見積り法、計画策定とスケジューリング) |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |


| | |
|---|---|
| PMJ006 | プロジェクトマネジメント |
|  | ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 一日の取り組み紹介 |
| 1日間 | |
| 到達目標 | 情報システムの高品質化 (高信頼性化) を実現するための基本的考え方、および一連の施策について学習します。 |
| 対象者 | 情報システムの設計・開発を行う技術者の方、品質に関連する業務に携わる方。 |
| 前置知識 | ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。ソフトウェア開発経験があることが望ましい。 |
| 内容 | 1. はじめに 2. ソフトウェアの特徴 3. ソフトウェアの信頼性の定義 4. 信頼性向上技術 5. 実践的品質評価方法 6. プロジェクト管理における考え方 講師：日立製作所のSE部門品質保証部にて品質管理を実務として担当している専門家が講義します。 |
| 備考 | このコースは、「ソフトウェア開発の品質管理と信頼性」コースの名称を変更したものです。 |


| | |
|---|--|
| PMJ041 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | プロジェクト・スコープの基礎となり、スコープ変更の要因ともなる要求を適切にマネジメントする要求マネジメント・プロセス、ステークホルダーとの関係性構築について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・要求マネジメント・プロセスを説明できる。 ・要求マネジメントの手法を説明できる。 プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 対象者 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 前置知識 | プロジェクトに影響を及ぼす要求の諸要素 2. 要求マネジメント・プロセス 3. ステークホルダーと要求 4. 要求識別～要求抽出 5. 分析・レビュー・承認～要求変更管理～要素成果物テスト～要求プロセス終結 |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |


| | |
|---|--|
| PMJ048 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | 要求事項策定から最終まで全フェーズにおける契約の知識、契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任および契約者またはサブコントラクターが契約上の要求通りに実行することを確認するための有益なアクション策について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・契約・調達に関わる知識を説明できる。 ・契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任について説明できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 契約マネジメントプロセス 2. チームワーク・役割と責任 3. 契約法の概念と原則 4. 契約方法 5. 契約の価格協定 6. 契約前フェーズ 7. 締結フェーズ 8. 締結後フェーズ |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|---|--|
| PMJ032 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | プロジェクトにおける品質マネジメントの概念、品質計画、プロセス改善手法などプロジェクトの成功に不可欠な最先端の品質マネジメントの基礎的な知識と実践的なスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・品質マネジメントの基礎的な知識を説明できる。 ・品質マネジメントの実践的なスキルを実践できる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方。 |
| 前置知識 | プロジェクトへの参加経験があり、「[PDU]ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. 品質運動の歴史 2. 品質と品質マネジメントの基本 3. 品質計画 4. 品質管理 5. 品質保証 6. 変更管理 7. プロセス改善 8. 品質に対するコミットメント |
| 備考 | ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|--|---|
| PMD009 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) プログラムマネジメント より価値の高いプロジェクトを提供するために PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | プログラムマネジメントはプロジェクトマネジメントの上位概念となり、組織の戦略とプロジェクトを関連付け、個々のプロジェクトだけでは対応できないベネフィット (売上増加、品質向上など) を得るために、一連のプロジェクト群をマネジメントします。このコースでは、プロジェクトマネジメントとの違いを確認しながらプログラムマネジメントの特徴について学習します。また、戦略実現に直結するプログラムマネジメントの知識・スキル修得とプログラムマネージャとしての役割と重要なフレームワークの一部ケーススタディを使いながら学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：16ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・プログラムマネジメントのライフサイクル全般と特に重要なステークホルダーマネジメント、ベネフィットマネジメントを中心にプログラムマネージャとしての必要な知識とスキルを修得できる。 ・プロジェクトマネジメントの知識を持ったプログラムマネージャとして戦略的な価値を生み出すプロデューサー型人材のベーススキルを修得できる。 |
| 対象者 | 上位プロジェクト・マネージャやプログラム・マネージャの方、経営企画・戦略部門マネージャ、PMOメンバーの方。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. プログラムマネジメントとは 2. 組織戦略とプロジェクトとの関係 3. ベネフィットの定義 (ベネフィット・マップ) 4. プログラムアーキテクチャーとプログラムマネジメント計画 5. プログラムマネジメントの重要成功要因 (1) プログラム・ライフサイクル (2) 戦略との整合 (3) プログラム・ガバナンス (4) ベネフィット・マネジメント |
| 備考 | ・このコースは、株式会社富士ゼロックス総合研究所主催の「[プログラムマネジメント]」を実施するものです。 ・このコースは、9：30～18：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|---|---|
| PMJ033 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) ファンクションポイント法基礎 PDU |
| 1日間 | |
| 到達目標 | ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法の概要、計測手法の基本、他の見積技法との相違を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：6ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ファンクションポイント法の概要および手順を理解しファンクションポイントの計測ができる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法の適用を検討する方。 |
| 前置知識 | ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。 |
| 内容 | 1. ファンクションポイント法とは 2. FP算出手順 (Step1からStep7まで) 3. FPの性質と特徴 (1) ソフトウェアの開発見積り (2) FFPが目目される背景 (3) FPの性質 (4) ファンクションポイント法の利点 (5) ファンクションポイント法の適用分野 4. ファンクションポイント法と見積り (1) 見積技法 (2) プロジェクトライフサイクルと見積り (3) 生産性評価による見積精度向上 (4) 開発規模見積りの重要性 5. 演習・解説 |
| 備考 | PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|---|--|
| PME701 | プロジェクトマネジメント |
|  | <eラーニング> [ナビ機能付き] (PDU) ファンクションポイント法基礎 PDU |
| 平均4時間 | |
| 到達目標 | ソフトウェアの機能量を測る手段であり、顧客や開発発注先との価格交渉、見積りに効果的なファンクションポイント法の基本を学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：4ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ファンクションポイント法の基本について説明できる。 担当クラスの方。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法を用いて見積りを行う方、ファンクションポイント法を使用している提案を評価する方。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | 1. FFP算出方法 2. FFPの性質と特徴 3. FFP法と見積り 4. 修了試験 |
| 備考 | ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 ・このコースは、集合研修「(PDU)ファンクションポイント法基礎」コース (PMJ033) と同等の内容です。集合研修をご受講の方は、申し込まないようご注意ください。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| | |
|---|---|
| PMJ014 | プロジェクトマネジメント |
|  | (PDU) ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング —コストマネジメント実践— PDU |
| 2日間 | |
| 到達目標 | ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法を業務に適用するための考え方、および手法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU：12ポイント) の取得が可能です。 |
| 到達目標 | ・ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法の考え方、実践方法を説明できる。 ・ファンクションポイント法を用いて計測ができる。 |
| 対象者 | プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法を用いて見積りを行う方、ファンクションポイント法を使用している提案を評価する方。 |
| 前置知識 | ソフトウェア開発に関する基礎知識があり、「(PDU) ファンクションポイント法基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | 1. ファンクションポイント法による計測の手順 2. ソフトウェア開発プロジェクトの見積り上の留意点 3. 見積り演習 4. ファンクションポイント法の導入方法 5. 総合演習とまとめ 6. 組織としての見積りへの取り組み 7. ファンクションポイント法の動向 講師：日立製作所のSE部門で見積り技術の取りまとめを実務として担当している専門家が講義します。 |
| 備考 | PMI®、PMP®、 <i>PMBOK</i> ®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。 |

| |
|--------------|
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | |
|--------|--------------------------|
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |

| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |

| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |


| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |


| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |


| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |


| | |
|--------|--------------------------|
| eラーニング | インターネット接続による自己学習 |
| マシ演習 | マシンを使用しながらの研修 |
| グループ演習 | グループ演習を中心とした研修 |
| レクチャ | 座学による研修 |
| 演習環境 | 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| 研修室自習型 | 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |


| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |


| |
|---|
| PME005 プロジェクトマネジメント |
|  <eラーニング> (PDU) 2時間でわかる ファンクションポイント法 PDU |
| 平均2週間 |
| ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。 |
| 対象者 プロジェクトリーダー(マネージャ)の方、または今後めざす方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内 容 1. ファンクションポイント法の基本的な概念 2. ファンクションポイント算出手順 3. データファンクションの計測 4. トランザクションファンクションの計測 5. ファンクションポイントの算出 6. 修了試験 |
| 備 考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) <ul style="list-style-type: none">このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| |
|--|
| PMJ053 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) Microsoft Office Projectによる タイムマネジメント PDU |
| 2日間 |
| プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使って、計画段階のスケジュール作成・調整方法、実行段階での進捗管理方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使い計画段階のプロジェクトスケジュールの作成・調整、実行段階での進捗情報の入力、スケジュール調整ができる。 |
| 対象者 Microsoft Office Projectを修得したい方。 |
| 前置知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 1. Microsoft Office Projectの概要 2. 基本操作の理解 <ul style="list-style-type: none">(1)オプション設定の確認 (2)ビューの切り替え (3)ビューの分割 (4)カレンダーの設定 3. プロジェクト・スケジュールの作成 <ul style="list-style-type: none">(1)タスクの登録 (2)リンクの設定 (3)作業時間の見積り (4)リソース登録 (5)計画の調整 (6)基準計画の保存 4. 進捗管理 <ul style="list-style-type: none">(1)実績入力の準備 (2)実績入力 (3)計画の見直し (4)コストの確認 5. 便利機能の活用 <ul style="list-style-type: none">(1)ユーザ設定フィールド (2)テーブル/グループ/ビューの定義 (3)構成内容の変更 (4)その他便利機能 |
| 備 考 ・マシン実習は、Windows環境Microsoft Office Project 2010を使用します。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |


| |
|--|
| PMJ063 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) PMBOK®ガイド 第6版セミナー PDU |
| 2日間 |
| プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「 <i>PMBOK®ガイド</i> 」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 <i>PMBOK®ガイド</i> の概要を説明できる。 |
| 対象者 <i>PMBOK®ガイド</i> を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方、PMP資格取得をめざす方。 |
| 前置知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 1. 序論 2. プロジェクト・ライフサイクルと組織 3. 単一プロジェクトのプロジェクトマネジメント・プロセス 4. プロジェクトマネジメントの知識エリア <ul style="list-style-type: none">(1)統合マネジメント (2)スコープ・マネジメント (3)タイム・マネジメント (4)コスト・マネジメント (5)品質マネジメント (6)人的資源マネジメント (7)コミュニケーション・マネジメント (8)リスク・マネジメント (9)調達マネジメント (10)ステークホルダー・マネジメント |
| 備 考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">「<i>PMBOK®ガイド</i>」が受講料に含まれます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| |
|--|
| SPJ044 プロジェクトマネジメント |
|  アジャイル開発プロセスの基礎知識 |
| 1日間 |
| このコースは、アジャイル開発プロセスの概要を、ワークショップを通してそのメリットを体感しながら学習します。アジャイルには思想的な面がありますので、実際に現場に適用するには、具体的な実践項目として具体化する必要があります。この具体化のノウハウを紹介します。また、ワークショップや導入事例の紹介を通して、実際にどのような効果が出るのか、実際のプロジェクトの進め方、要素技術についても紹介していきます。ワークショップでは、チーム単位で、「計画-開発-レビュー-振り返り」の開発サイクル(イテレーション)を2回繰り返し、発表を通して受講者全員で気づきを共有します。 |
| 到達目標 ・アジャイルを現場に適用するための具体的なノウハウ/留意点を説明できる。 |
| 対象者 ・アジャイル開発プロセスの概要を知りたい方。 ・アジャイル開発プロセスの導入事例を知りたい方。 ・アジャイル開発プロセスの要素を体験したい方。 |
| 前置知識 ソフトウェア開発の経験をお持ちのこと。 |
| 内 容 1. アジャイル開発プロセス概要 <ul style="list-style-type: none">(1)アジャイル開発が登場した背景 (2)アジャイル開発の登場 (3)標準的なアジャイル開発の進め方 (4)アジャイル開発のメリット/デメリット 2. XP (Extreme Programming)の概観 <ul style="list-style-type: none">(1)XPの概要 (2)XPのプラクティス (3)XPの価値と原則 3. アジャイル開発の進め方(ワークショップ) 4. アジャイル開発の事例 <ul style="list-style-type: none">(1)アジャイル開発の採用状況 (2)アジャイル開発のプロセスモデル (3)ビジネス構造モデル (4)アジャイル開発導入時の考慮点 5. 振り返り |
| 備 考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 |


| |
|--|
| SPJ043 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) スクラムの基礎と実践 PDU |
| 1日間 |
| このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムをとりあげ、基礎知識の解説に加えて、簡単な仮想システム開発プロジェクトを題材にしたワークショップによって、アジャイル開発の全体像を学習します。ワークショップでは、具体的な開発状況を想定したケーススタディを用いて、「プロダクトバックログ(プロダクトの要件リスト)作成-スプリント(開発サイクルの単位)プランニング-スプリントの実行」を実践し、アジャイル導入への敷居を下げることをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 ・アジャイル開発における基礎事項を説明できる。 ・スクラムを利用したシステム開発の進め方を説明できる。 |
| 対象者 ・アジャイル開発の導入を検討されている方(組織)。 ・アジャイル開発プロジェクトにこれから携わる方。 |
| 前置知識 ・ウォーターフォールなど従来のシステム開発を経験していること。 ・なぜアジャイル開発が必要かというアジャイルの意義を理解していること。 |
| 内 容 1. アジャイル開発の背景 2. アイスブレイク(簡単なゲームを通じてアジャイルのメリットを体験) 3. スクラムの基礎 4. スクラムの実践(ワークショップ) <ul style="list-style-type: none">(1)初期の要求の洗い出し (2)プロジェクトプランニング (3)プロジェクトの運営 5. 実施イメージを深める 6. まとめ(質疑応答) |
| 備 考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| |
|---|
| SPJ045 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) [リーダー向け] アジャイル開発における 自律型チーム運営 PDU |
| 1日間 |
| アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもつとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていけない」「メンバーは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 ・リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。 ・アジャイルプラクティスの実践的な取り組み方を説明できる。 |
| 対象者 ・アジャイル開発に適したチームを作りたい方。 ・アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー(マネジャー)の方。 |
| 前置知識 ・一般的なソフトウェア開発プロセス(ウォーターフォール開発)を理解していること。 ・ソフトウェア開発の経験をお持ちのこと。 |
| 内 容 1. アジャイル開発におけるチームとは <ul style="list-style-type: none">(1)アジャイル開発とチーム (2)チームを構成するもの (3)チームを動かすもの (4)チームの成長 2. アジャイル開発における要件管理とは <ul style="list-style-type: none">(1)反復のサイクル (2)ストーリーとタスク (3)ストーリーの見積方法 3. ディスカッション演習：ユースストーリー 4. アジャイル開発における進捗管理とは <ul style="list-style-type: none">(1)タスクボード (2)バーンダウンチャート 5. ディスカッション演習：タスクボードの効果的な使い方 6. アジャイル開発における品質管理とは(CI) 7. アジャイル開発における「カイゼン」とは 8. ディスカッション演習：レトロスペクティブ ケーススタディ |
| 備 考 ・このコースは、10：00～17：00の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |


| |
|--|
| PMJ064 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) PMBOK®ガイド 第5版と第6版の差分講座 －半日でわかる第6版－ PDU |
| 0.5日間 |
| <i>PMBOK®</i> 第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。 <i>PMBOK®</i> 第5版と比較してどの程度改訂されたか、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:3ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 <i>PMBOK®</i> 第6版の改訂内容を説明できる。 |
| 対象者 <i>PMBOK®</i> の内容に関心があり、改訂内容を知りたい方。 |
| 前置知識 PMP®資格をお持ちであるか、または <i>PMBOK®</i> 第5版の内容をある程度理解していること。 |
| 内 容 1. <i>PMBOK®</i> 第6版の主な変更点 2. 1章から3章の変更点 3. マネジメント・プロセス群の変更点 4. 各知識エリアのプロセス比較 5. 各知識エリアの変更点 |
| 備 考 ・このコースは、13：00～17：30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">「<i>PMBOK®ガイド</i>」が受講料に含まれます。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| |
|---|
| PMJ056 プロジェクトマネジメント |
|  PMP®対策講座(2日間) |
| 2日間 |
| PMP®資格試験合格に必要な <i>PMBOK®ガイド</i> および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を学習します。テキストは、本番テストと各知識エリアのユニットに分かれて構成されています。各知識エリアのユニット終了毎に模擬演習問題を実施し、試験スタイルに慣れいただけます。付属の問題集(400問)で自己学習が可能です。 |
| 到達目標 PMP®資格試験合格に必要な <i>PMBOK®ガイド</i> および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を修得できる。 |
| 対象者 PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません) |
| 前置知識 プロジェクトへの参加経験があり、「(PDU) <i>PMBOK®ガイド</i> 第6版セミナー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 1. プロジェクト統合マネジメント 2. プロジェクト・スコープ・マネジメント 3. プロジェクト・タイム・マネジメント 4. プロジェクト・コスト・マネジメント 5. プロジェクト品質マネジメント 6. プロジェクト人的資源マネジメント 7. プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント 8. プロジェクト・リスク・マネジメント 9. プロジェクト調達マネジメント 10. ステークホルダー・マネジメント 11. プロフェッショナルの役割と責任 12. 受験ガイド(受験の手続き説明) |
| 備 考 ・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の14時間分の受講証明書を発行いたします。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、9：30～18：00の開催とさせていただきます。 <i>PMBOK®ガイド</i>をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。 受験料は含まれておりません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| |
|---|
| PMJ028 プロジェクトマネジメント |
|  PMP®直前講座(模試)(1日間) |
| 1日間 |
| PMP®資格試験合格のために出題数の多い分野を重点的に、得点力アップをめざして学習します。 |
| 到達目標 PMP®資格試験合格のために模擬試験を実施し得点力をアップできる。 |
| 対象者 PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません) |
| 前置知識 「PMP®対策講座(2日間)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 1. 全体おさらい 2. 模擬問題演習(200問) 3. 問題解答解説 4. 模擬問題演習(50問) 5. 合格への近道(受験ハウズワ) |
| 備 考 ・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の7時間分の受講証明書を発行いたします。 <ul style="list-style-type: none">計算用具(電卓)をご持参ください。 このコースは、9：30～18：00の開催とさせていただきます。 <i>PMBOK®ガイド</i>をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。 受験料は含まれておりません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| |
|--|
| PMJ061 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの 効用 PDU |
| 1日間 |
| マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。 |
| 対象者 アジャイル開発の導入を検討しているマネジャー、リーダーの方。プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 前置知識 マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。 |
| 内 容 1. アジャイルの背景 <ul style="list-style-type: none">(1)なぜアジャイルが生まれたのか (2)従来の「ウォーターフォール」との相違 2. アジャイルによるマネジメント <ul style="list-style-type: none">(1)アジャイルマネジメントの導入 (2)失敗例からの教訓 (3)アジャイルマネジメントの事例から 3. まとめ |
| 備 考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| |
|--|
| PMD012 プロジェクトマネジメント |
|  「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策 |
| 2日間 |
| EXIN(www.exin.com)本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)を用意しています。 |
| 到達目標 ・アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。 ・アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。 |
| 対象者 ・アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。 ・アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。 |
| 前置知識 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。 |
| 内 容 1. アジャイルとスクラム 2. 役割、儀式、タイムボックス 3. 手法とプラクティス 4. バックログ 5. 上級概念 6. 計画とリソース 7. モニタリング 8. アジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分) |
| 備 考 ・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「EXIN アジャイル スクラム ファンデーションコース」を実施するものです。 <ul style="list-style-type: none">コース実施に必要なご受講者の個人情報をご提供いたします。 このコースは、9：30～18：00の開催とさせていただきます。 |

| |
|---|
| PMD013 プロジェクトマネジメント |
|  (PDU) 1日でわかるPRINCE2® PDU |
| 1日間 |
| PRINCE2の概要を知りたい人向け。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:7ポイント)の取得が可能です。 |
| 到達目標 PRINCE2の概要を説明できる。 |
| 対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でPRINCE2の資格は不要だが、概要を知りたい方。 |
| 前置知識 特に必要としません。 |
| 内 容 1. プロジェクトとは <ul style="list-style-type: none">(1)プロジェクトの定義 (2)プロジェクトと通常の業務との違い (3)プロジェクトマネジメント手法の例 2. プロジェクトマネジメントの課題 <ul style="list-style-type: none">(1)どのような課題があると考えられるか (2)プロジェクトマネジメントでよくある課題 (3)課題に対してPM手法がどう対応できるか 3. PRINCE2 <ul style="list-style-type: none">(1)歴史・背景 (2)特徴 (3)コントロールの対象 (4)組織レベル (5)役割 (6)PRINCE2手法の流れ (7)プロセスモデル、成果物 4. まとめ |
| 備 考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● 全従業員に対しコンプライアンスやCSRの意識を啓発する

HSD011 レクチャ

(半日研修)
コンプライアンス研修
～組織における不祥事防止

0.5 日間

HSD012 レクチャ

(半日研修)コンプライアンス研修
～個人情報保護、情報セキュリティ、
SNSのリスクを知る編

0.5 日間

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
～高信頼性システム実現のために～

1 日間

HSJ018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
～ISMS・システム監査の
視点から～

2 日間

HSJ105 グループ演習

システム監査で学ぶ
開発・保守とリスク評価

2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有 説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBJ092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

2 日間

または

音声有 説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

音声有 説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシー
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

SCE701 eラーニング 【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 - セキュリティの必要性と対策 - 初心者におすすめ 4時間

SCE706 eラーニング 【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 - セキュリティポリシー、リスク管理の概要と対策 - 8時間

SCE703 eラーニング 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - 要素技術(暗号、認証)編 - 6時間

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

JPJ086 マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11) 2日間

JPE315 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11) 16時間

JPJ087/JPJ087T マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11) 2日間

JPE316 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11) 16時間

JPJ088/JPJ088T マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11) 4日間

JPJ089/JPJ089T マシン実習 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) 2日間

JPJ094/JPJ094T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11) 2日間

JPJ101/JPJ101T マシン実習 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11) 1日間

JPJ208/JPJ208T レクチャ JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11) 1日間

JPJ209/JPJ209T レクチャ JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11) 1日間

JPJ212/JPJ212T レクチャ JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11) 1日間

ITE701 eラーニング 【ナビ機能付き】運用管理概説 初心者におすすめ 6時間

ITJ008 グループ演習 情報システム運用入門 - 運用からITサービスへ - 1日間

ITJ009 グループ演習 IT運用における ヒューマンエラー予防 1日間

ITE006 eラーニング SLAにおける サービスレベル設計の基礎 4時間

ITJ004 グループ演習 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ 2日間

ITJ012 レクチャ ITIL® ファンデーション (認定試験付) 3日間

CLD001 グループ演習 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials - 2日間

音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習

HSD011 コンプライアンス (半日研修)コンプライアンス研修 ~組織における不祥事防止 0.5日間 事例をもとにコンプライアンスの問題点を考え、自分とるべき対策を検討します。また、普段のコンプライアンス意識をチェックリストで確認します。不祥事防止の行動指針を確認したうえで、明日から取り組むことを、具体的な行動レベルで考えます。

HSJ018 モニタリング システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から- 2日間 情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

HSJ018 モニタリング システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から- 2日間 情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

HSD012 コンプライアンス (半日研修)コンプライアンス研修 ~個人情報保護、情報セキュリティ、SNSのリスクを知る編 0.5日間 個人情報保護や情報セキュリティ、ソーシャルネットワークの取り扱いを紹介。コンプライアンスのポイントおよび社会の中で重要な規範を学習します。

HSJ105 モニタリング システム監査で学ぶ 開発・保守とリスク評価 2日間 システム監査の基礎知識から実務手順・技法まで、演習を通して理解し、業務に活用できる知識を学習できます。また、事例演習により知識や技法を学習できます。

HSJ105 モニタリング システム監査で学ぶ 開発・保守とリスク評価 2日間 システム監査の基礎知識から実務手順・技法まで、演習を通して理解し、業務に活用できる知識を学習できます。また、事例演習により知識や技法を学習できます。

HSJ062 システム運用管理 事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために- 1日間 情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して理解できます。

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービス マネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクト マネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

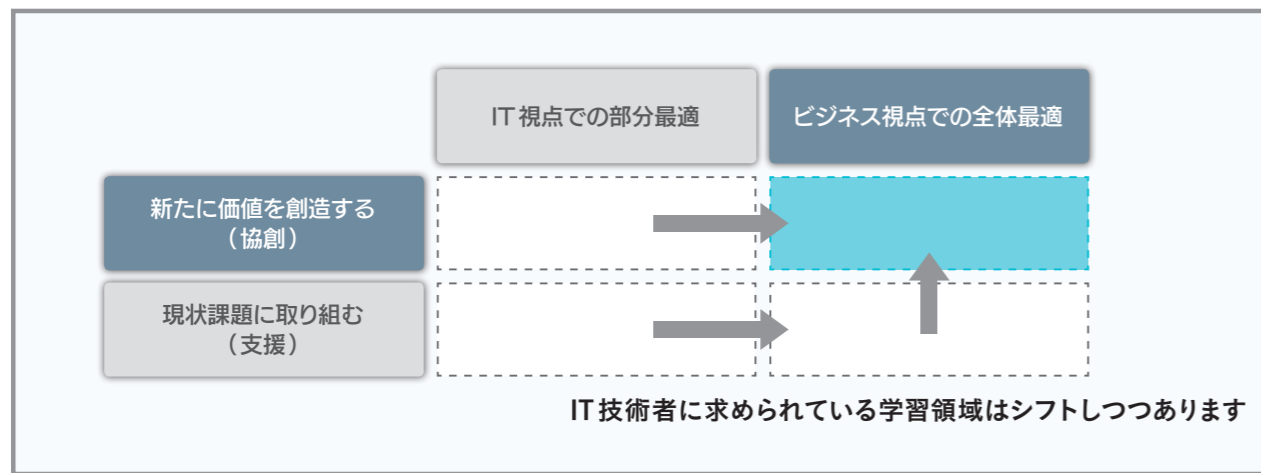
ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。

そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(コンセプトual、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.220以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

| 問題解決能力修得の共通ステップ | ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める | 各自のビジネスにおける問題解決を実行する | 先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く | |
|-----------------|--|--|--|----|
| レベル | 入門 | 基礎 | 応用・中級 | 上級 |
| 問題解決 | 思考法 HSJ116 / 2日間 ロジカルシンキング基礎 論理の可視化と論理チェックのポイント → HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- | ライティング HSE070 / 3時間 eL 文書作成力向上トレーニング(演習編) → HSJ141 / 1日間 文書作成力向上トレーニング(演習編) → HSE064 / 4時間 eL ロジカルライティング(基礎知識編) → HSJ140 / 1日間 ロジカルライティング(演習編) | 問題解決のための コンセプチュアル総合コース | |
| 人・組織・リーダーシップ | プレゼンテーション HSJ154 / 2日間 ロジカルプレゼンテーション基礎 | 定量的分析 HSJ108 / 2日間 定量的分析のスキル-問題解決の精度を高める- | コミュニケーション系総合コース (各人・各組織の価値観や、非言語部分までを含んだ、「人の情念の変容に踏み込む総合的ファンリテーション講座」) | |
| 財務 | 意思決定 HSE072 / 4時間 eL 意思決定のスキル-合理と心理を理解したうえでの意思決定- → HSJ137 / 1日間 意思決定のスキルII-ディジションマネジメントを実践するために- | 交渉 HSE711 / 4時間 eL 【ナビ機能付き】協創を生み出す交渉(基礎知識編) → HSJ145 / 1日間 協創を生み出す交渉(基礎演習編) → HSJ146 / 1.5日間 協創を生み出す交渉(実践演習編) | マネジメント/リーダーシップ HSJ079 / 1日間 コーチング基礎 → HSJ147 / 2日間 (PDU)目標達成のためのコーチング実践 休講 HSJ123 / 2日間 新任・若手マネージャのためのリーダーシップとマネジメント-個人と組織- → HSJ071 / 1日33日 個人と組織のマネジメント-部長・課長コース- 休講 HSJ114 / 1日間 リーダーシップの原理・原則 → HSJ166 / 1日間 マインドフルリーダーシップ基礎 | |
| 戦略・マーケティング | コミュニケーション HSE049 / 8時間 eL ビジネススキル基礎 → HSJ126 / 1日間 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 → HSJ127 / 2日間 情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロコ・パト・エトスを高める- → HSJ124 / 1日間 リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上- → HSJ125 / 1日間 (PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上- | マーケティング 仮説検証のためのリサーチ手法 → 戦略的思考基礎(コンサルタントの顧客対応ノウハウを学ぶ) → マーケティング基礎理論と応用 → 戦略基礎理論と応用 | 戦略 HSJ165 / 1日間 ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために- | |
| 財務 | ファイナンス HSE709 / 8時間 eL 【ナビ機能付き】WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編) → HSJ122 / 1日間 WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編) | ファイナンス 財務系総合コース | | |

：順次提供予定コース eL eラーニング

確実なスキルアップを促す4つの講座群

問題解決

ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。

戦略・マーケティングスキル

顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。

人・組織・リーダーシップスキル

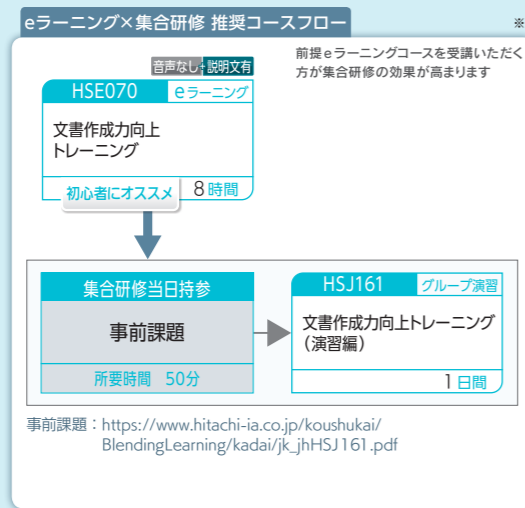
個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。

財務スキル

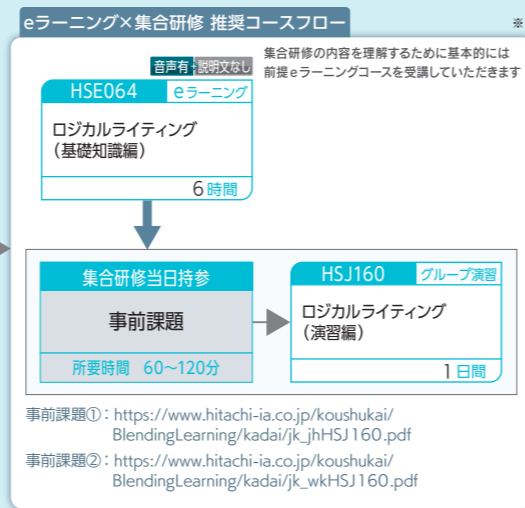
アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい

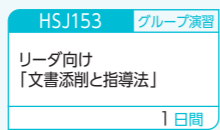


※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

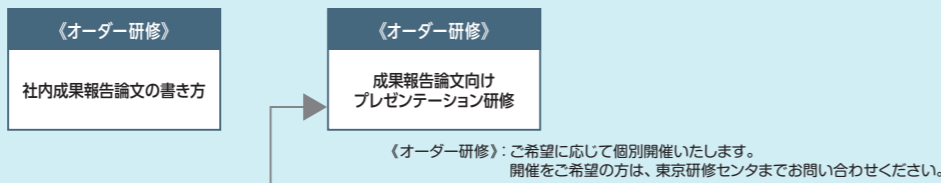


事前課題①: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_jhHSJ160.pdf
事前課題②: <https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/wkHSJ160.pdf>

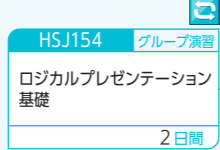
指導・添削のポイントが知りたい



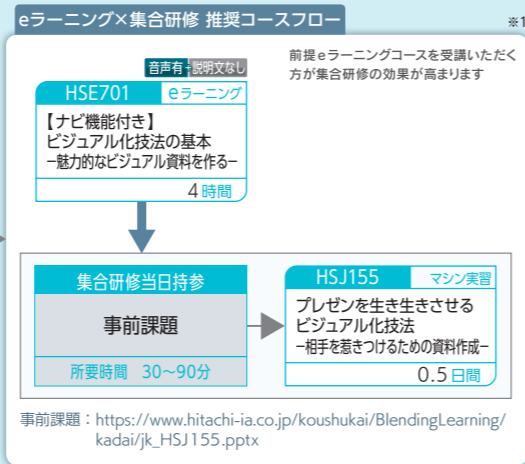
社内成果報告論文を書く



プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

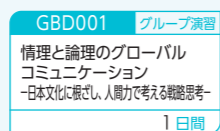


資料のデザインのポイントを知りたい



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

グローバルビジネスシーン

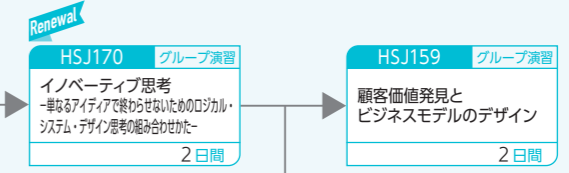


● イノベティブな考え・行動を強化したい方

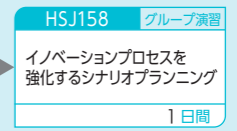
なぜイノベティブな思考が必要か、自分はどんな課題に向き合いたいかを考えたい



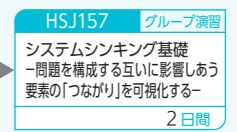
イノベティブな思考の進め方、思考法を知りたい



未来の社会の姿をどう想像するのか、その方法を知りたい



考えているエコシステムをどのように図で表現するとよいか知りたい

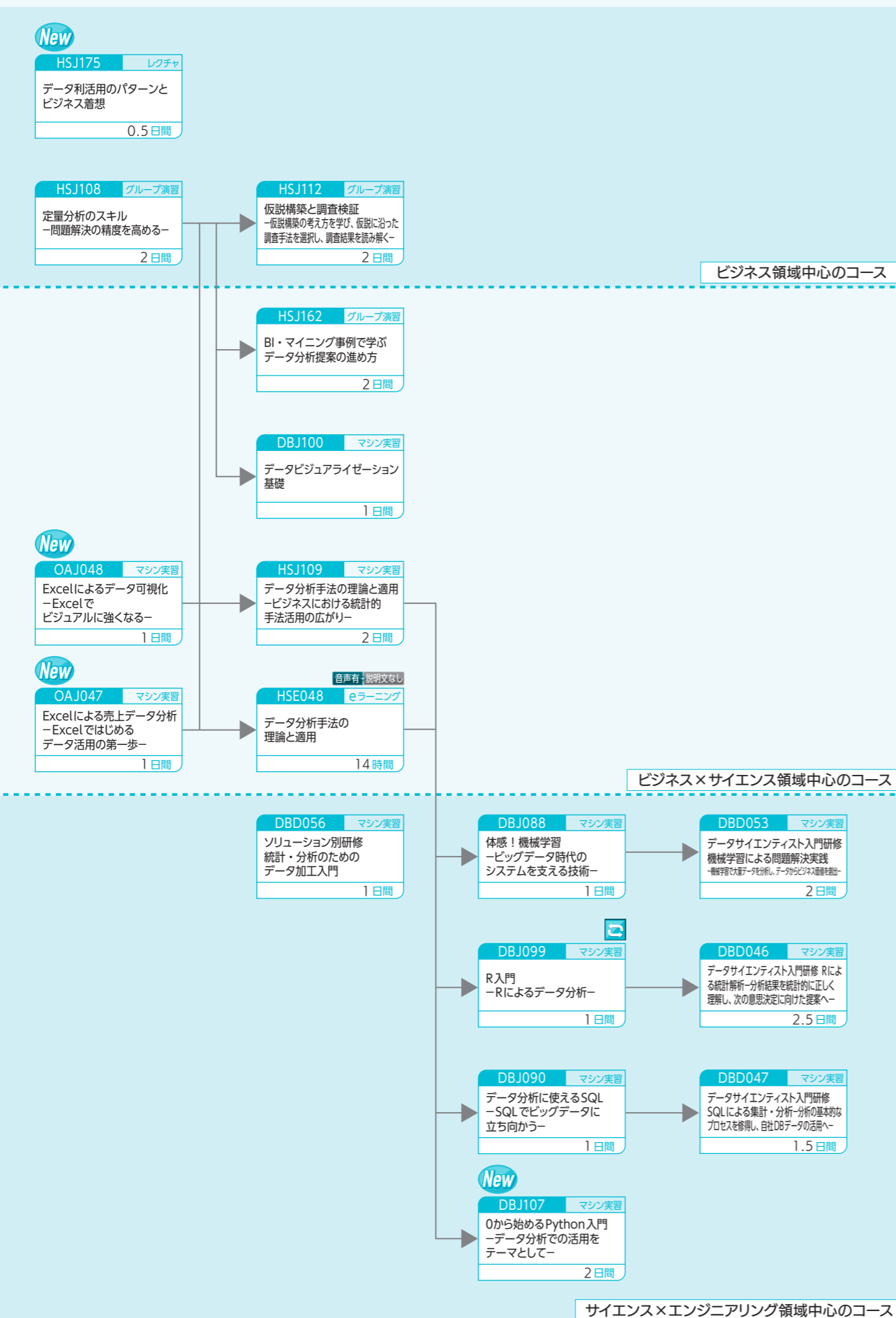


📺: 学び直しシリーズeラーニングとしてもご提供しています。過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

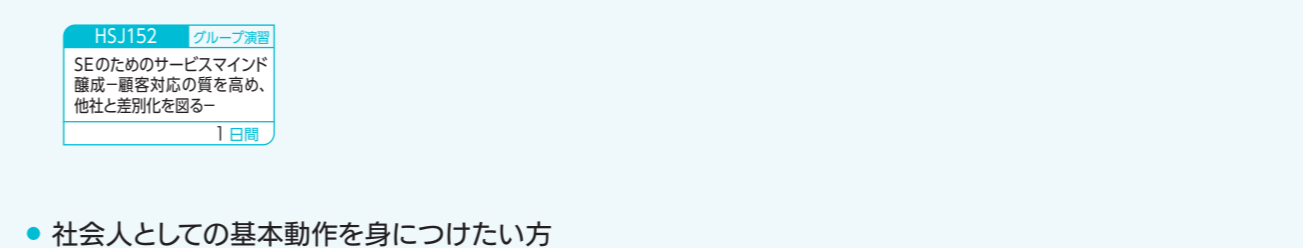
🗣️: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
🗣️: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
🗣️: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

👤: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● 定量的な分析能力を高めたい方



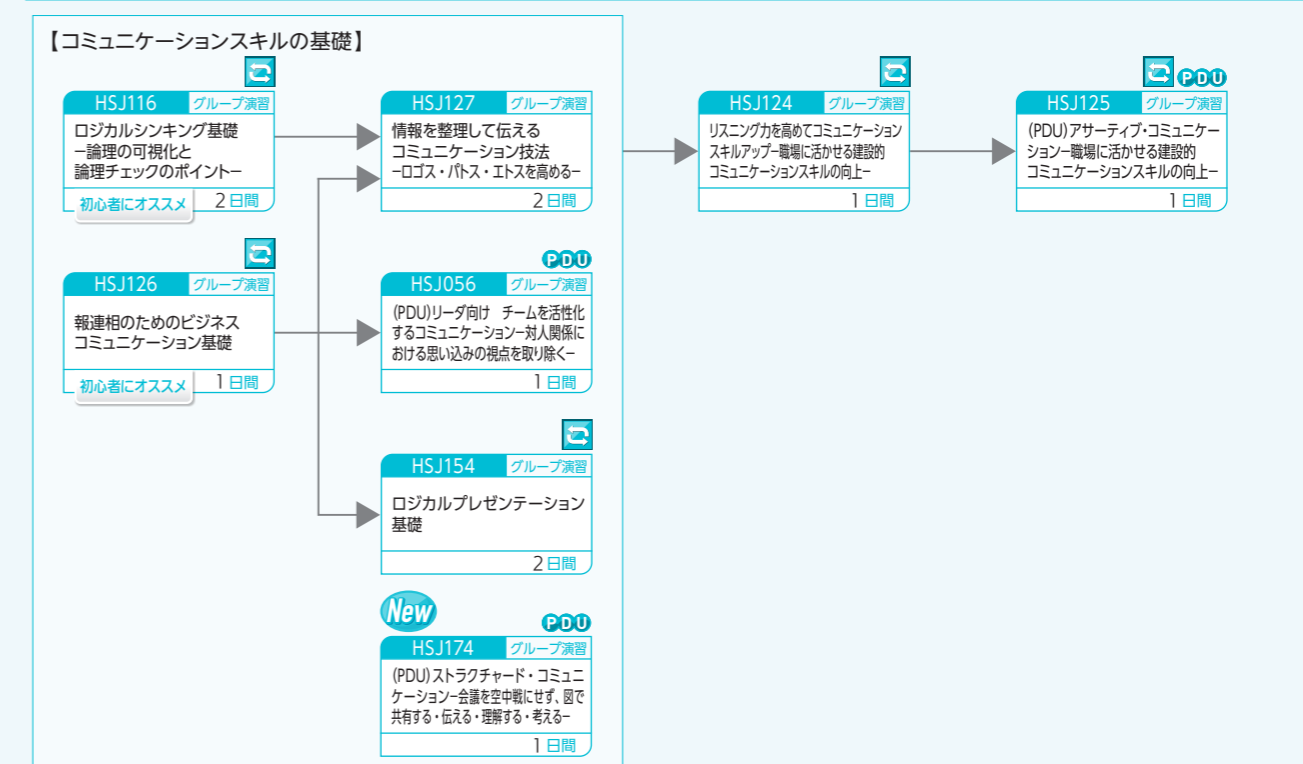
● サービスマインドを高めたい方



● 社会人としての基本動作を身につけたい方



● コミュニケーションスキルを高めたい方



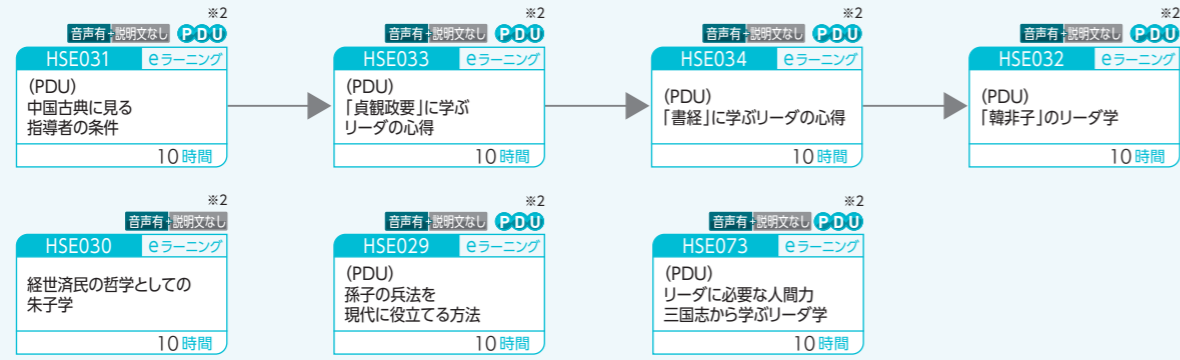
eラーニング : 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。
過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

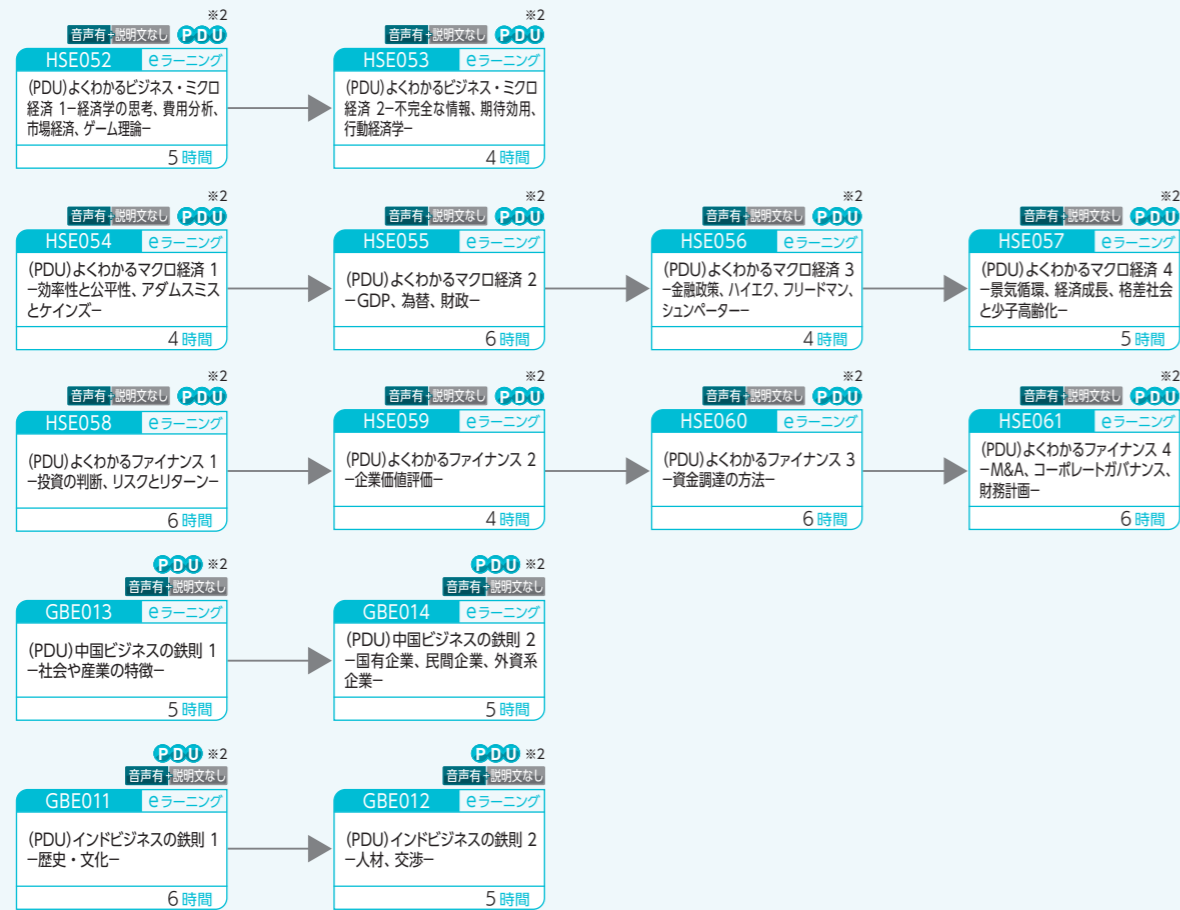
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方



※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方



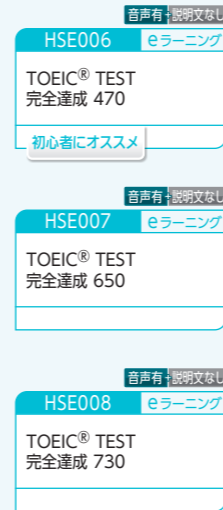
※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

- 音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● 英語力を高めたい方



| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| HSJ126 | 2Wayコミュニケーション |
|--|--|
| | 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 |
| 1日間 | |
| <p>社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる議論やロールプレイを行うことで学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 報連相の重要なポイントをふまえて、質の高いアウトプットで仕事ができる。 |
| 対象者 | 新入社員、または若手社員の方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 報連相の基本ポイント <ol style="list-style-type: none"> なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル 報連相とは 仕事における報連相のサイクル 報告 連絡 相談 コミュニケーションの基本とポイント <ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションとは何か コミュニケーションの手段 職場で求められるコミュニケーション能力 仕事に対する基本姿勢 言語と非言語コミュニケーション 話し方 <ol style="list-style-type: none"> ONEWAYでなくTWOWAYを心がける 話し方のポイント 話す技術 聴き方 <ol style="list-style-type: none"> 聴き方のポイント 聴く技術 良い聴き手となるために 質問 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| HSJ127 | 2Wayコミュニケーション |
|--|--|
| | 情報を整理して伝えるコミュニケーション技法ーロゴス・パトス・エトスを高めるー |
| 2日間 | |
| <p>論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 伝えたい情報を論理的に整理することができる。 状況や相手に合わせたコミュニケーションがとれる。 |
| 対象者 | コミュニケーション力を高めたい方。 |
| 前提知識 | 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> ロジカルコミュニケーションの必要性 情報の分析・整理法 分かりやすく伝えるために ロジカルコミュニケーションには根拠・感情・信頼が大切 ロジックだけでは人を動かさない 積極的傾聴 総合演習 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| HSJ056 | 2Wayコミュニケーション |
|--|---|
| | (PDU) リーダ向け チームを活性化するためのコミュニケーション技法ーロゴス・パトス・エトスを高めるー |
| 1日間 | |
| <p>職場で知らないうちに陥っている「思い込み」に気づき、バイアスのかかったコミュニケーションを修正しながら、リーダーとして組織活性化に必要なポイントを学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> リーダーとして組織を活かすために必要なことを知ることができる。 良好なコミュニケーションに必要な3つの要素を説明できる。 パーソナルタイプを認識して、対人関係に活かすことができる。 |
| 対象者 | 思い込みを排除し、職場やチームを活性化したいリーダーの方、リーダーまたはこれからリーダーになる方。 |
| 前提知識 | 3年以上の業務経験があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> リーダーとして組織を活かすために必要なこと <ol style="list-style-type: none"> 現代の職場事情と求められる意識とは 仕事を選じたコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションとは 仕事を通じたコミュニケーションの3要素 思い込みを排除し相手を尊重する、相手の可能性を見る 相手を主体とした双方向コミュニケーション バイアス・コミュニケーションの認識演習 バイアス・コミュニケーションからの脱却方法 まとめ |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSJ174 | 2Wayコミュニケーション |
|--|---|
| | (PDU) ストラクチャード・コミュニケーションー会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考えるー |
| 1日間 | |
| <p>このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解/パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通じて、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。 相手からヒアリングした情報を構造化し図にまとめるながら確認できる。 相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> 相手のやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。 お客様をはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。 部下・後輩(入社五年目まで)指導にあたられる方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 図解で伝える <ol style="list-style-type: none"> 代表的な情報の構造の基本パターン 情報の構造の図解表現を知る演習 自分の伝えたいことを図解で説明する演習 図解で聞く <ol style="list-style-type: none"> 相手の発言を書き出す演習 図解で考える <ol style="list-style-type: none"> 相手の考えを図解でまとめる演習 図解しやすいように質問を構造化する演習 情報を構造化してから文章にまとめる演習 振り返りとまとめ |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSJ124 | 2Wayコミュニケーション |
|---|---|
| | リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー |
| 1日間 | |
| <p>対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 傾聴のポイントを説明できる。 自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。 |
| 対象者 | 同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> リスニングとは なぜ人の話を聞けないのか 傾聴 質問 リスニング演習 批判を受け止める 振り返り |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 「(PDU) アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。 |

| HSJ125 | 2Wayコミュニケーション |
|---|---|
| | (PDU) アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー |
| 1日間 | |
| <p>自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> アサーティブの考えを理解できる。 自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。 対話をスムーズにするための、自分の日頃の伝え方・聴き方を認識できる。 |
| 対象者 | コミュニケーション能力を高めたい方。 |
| 前提知識 | 4年以上の業務経験があること。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> アサーティブとは なぜアサーティブにできないのか それぞれの自己表現の特徴からみた考察 考え方をアサーティブにする なぜアサーティブを身につけるのか アサーティブ行動になるために アサーティブ演習 振り返り |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------|----------------------|
| | | | | | |
| マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習を 中心とした研修 | 座学による 研修 | 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | インターネット接続 による自己学習 |

| HSJ052 | リーダーシップ |
|--|--|
| | メンバーシップとチームワークーチーム力向上のために大切なことー |
| 1日間 | |
| <p>チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。さらにチーム力向上のために必要な要素を、体験演習で学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 組織の一員であるメンバーとしての行動基準を実践できる。 チーム力向上のための、重要な要素を説明できる。 |
| 対象者 | 新入社員、若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> メンバーシップの基本 <ol style="list-style-type: none"> メンバーシップとは フォローアップ 仕事に取り組む姿勢 情報共有 コミュニケーションの基本 <ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションの3V 効果的なコミュニケーションのために 仕事の本質(PDCAサイクル) チームワーク <ol style="list-style-type: none"> チームとは 欲求とモチベーション チームワークとは チームビルディング まとめ(振り返りとフィードバック) |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| HSJ071 | リーダーシップ |
|---|---|
| | 個人と組織のマネジメントー部長・課長コースー |
| 1泊3日 | |
| <p>MBAでは「組織行動学」の範疇に入り、「個人と組織の効率を最大化し、かつ生き甲斐を持って活動できる」ために必要な知識・スキル・ノウハウを、講義と演習を通じて学習します。さらに、管理職が組織リーダーとして果たすべき役割とそのために必要な行動の基本原則と知識を学習します。</p> | |
| 到達目標 | 人とチームを生き生きと運営するとともに最大の効率を上げるための知識・スキル・ノウハウおよびリーダーシップを修得できる。 |
| 対象者 | ベテラン課長から新任部長の方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 時代の変化と管理職のスタンスの変化 組織と個人 人組織のマネジメントーリーダーシップ理論 業務の遂行 人材育成の考え方と方法 まとめ |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースでは、研修で学習する原論以外に、IT産業特有の事情に関わる対応・ノウハウ集(例：年上の部下への対応)を、研修終了後にホームページからアクセスできるようにしています。 このコースは、研修2日目において宿泊(1泊3日)が付いております。宿泊先は当社が用意しておりますので、宿泊に必要な物は各自にご用意ください。なお、宿泊代は受講料に含まれていません。 このコースは、[1日目]13：00～18：30、[2日目]9：00～夕食後進捗により継続あり、[3日目]9：00～13：00の開催とさせていただきます。[1日目]18：30以降に懇親会を予定しております。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| | |
|----------------|--------------------------|
| | 休 講 |
| 自習書による 自己学習 | 休 講 今期の定期開催は ありません |

| HSJ114 | リーダーシップ |
|--|---|
| | リーダーシップの原理・原則 |
| 1日間 | |
| <p>リーダーシップの原理・原則を理解し、状況に合致した行動のノウハウを学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性に富む組織の中で、リーダーシップを自分なりに高められる。 リーダーとして部下/上司との関係の中で適切な組織行動を取れる。 部下および自分自身が如何にして成長していくかのポイントを理解できる。 |
| 対象者 | リーダーシップの原理・原則を理解したい方。リーダーまたは、これからリーダーになる方。 |
| 前提知識 | 業務経験2年以上のこと。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 経験の共有「成長できた上司」「成長できなかった上司」の特徴を共有する <ol style="list-style-type: none"> 「成長できた上司」「成長できなかった上司」の特徴を共有する リーダーシップとは SL II の理解と自分自身のスタイル把握 <ol style="list-style-type: none"> 状況対応型リーダーシップとは 自分のリーダーシップスタイルを知る 相手の成長レベルに合わせたアプローチを知る 演習 アクションプラン作成 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| HSJ123 | リーダーシップ |
|---|--|
| | 新任/若手マネージャのためのリーダーシップとマネジメントー個人と組織の効率と成果を最大化するチーム作りのためにー |
| 2日間 | |
| <p>IT産業をはじめとする技術進化が著しい業界において、「個人と組織の効率と成果を最大化し、かつ生き甲斐を持って活動できる」ために必要な知識・スキル・ノウハウを、講義と演習を通じて学習します。このような業界においては若手が上司が持たない最新の知識を持つこと、また経験豊富な上司は知識のないことをジャッジしなければならぬことが発生します。その時にどうすれば一人ひとりが生き生きと仕事ができ、またチームとしての効率と成果を最大化するかが非常に困難な課題となります。このような中で、人と組織をマネジメントし、リードするために必要な基本原則とノウハウを学習します。</p> | |
| 到達目標 | 若手マネージャ、リーダーにとって必要な、人とチームが生き生きと活動するとともに最大の効率と成果を上げるための知識・スキル・ノウハウ、およびリーダーシップを修得できる。 |
| 対象者 | 係長等初級管理職、およびその補佐にあたる方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> 時代の変化とリーダーシップ・マネジメントの変化 人の欲求と動機付け 最小限踏まえておきたい人組織のマネジメントーリーダーシップ理論 PDCAサイクルをまわす(調整を含む) 学習理論に基づく現代の人材育成と方法 まとめ |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースでは、研修で学習する原論以外に、IT産業特有の事情に関わる対応・ノウハウ集(例：年上の部下への対応)を、研修終了後にホームページからアクセスできるようにしています。 このコースは、9：00～18：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| | |
|---|--|
| <p>コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ia.co.jp/</p> | |
|---|--|

| HSJ166 | リーダーシップ |
|--|--|
| | マインドフルリーダーシップ基礎 |
| 1日間 | |
| <p>忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靱なリーダーシップが発揮できるようになるための手がかりです。グループやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。</p> | |
| 到達目標 | マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようにする。 |
| 対象者 | ビジネスリーダーを志す方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> はじめに <ol style="list-style-type: none"> 全体像 ウォーミングアップ マインドフルネスの定義 マインドフルネスの必要性 <ol style="list-style-type: none"> 「成長できた上司」「成長できなかった上司」の特徴を共有する マインドフルネスの実践1 <ol style="list-style-type: none"> フォーマルな訓練とインフォーマルな訓練 アテンショントレーニング 注意力を高める 意思決定の科学 <ol style="list-style-type: none"> ポジティブティと創造性 情動と意思決定 レジリエンスが生まれるプロセス マインドフルネスの実践2 <ol style="list-style-type: none"> アテンショントレーニング 情動を制御するエクササイズ これからの仕事へのヒント これからのセルフマネジメントに向けて <ol style="list-style-type: none"> マインドフルワークの練習 マインドフルコミュニケーション アクションプラン |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| HSJ079 | リーダーシップ |
|--|---|
| | コーチング基礎 |
| 1日間 | |
| <p>コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ演習を中心とした内容です。部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。</p> | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> コーチングの基本概念を説明できる。 コーチングが有効である場面を説明できる。 コーチングスキルを部下指導に活用できる。 |
| 対象者 | 部下または新規配属者などを指導する立場の方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"> コーチングとは コーチングの活用場面 コーチングの基本スキル <ol style="list-style-type: none"> 傾聴 確認 承認 質問 提案 コーチング演習ミニワーク GROWモデル ロールプレイング コーチングスキルをOJTに活かすポイント 振り返り |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 |

| | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------|----------------------|
| | | | | | |
| マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習を 中心とした研修 | 座学による 研修 | 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | インターネット接続 による自己学習 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| IT戦略・IS企画/システム設計 |
|------------------|
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

| | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------|----------------------|
| | | | | | |
| マシンを使用し ながらの研修 | グループ演習を 中心とした研修 | 座学による 研修 | 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習 | 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習 | インターネット接続 による自己学習 |

| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIR/DB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |

| HSJ147 | リーダーシップ |
|--|--|
| | (PDU) 目標達成のためのコーチング実践 PDU |
| 2日間 | |
| 部下後輩の目標達成を支援するためのコーチングのスキルを学習します。また、キャリアコーチングを学習することで、部下後輩の中長期的キャリア達成を支援できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 部下後輩が目標を達成するためのコーチングの方法を身につけることができる。 部下後輩との面談や、中長期的キャリア支援に活用することができる。 メンバーの能力や可能性を最大限に引き出すビジネスコーチングのスキルを身につけることができる。 |
| 対象者 | メンパの指導、育成に携わる方。 |
| 前提知識 | 「コーチング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 自身のコーチングの現状を振り返る コーチングに必要なスキル 目標達成のために必要なこと パフォーマンスコーチング <ol style="list-style-type: none"> 目標設定のコーチング 目標達成につながる行動へのフィードバック 中間の達成状況確認コーチング 振り返りのコーチング コーチング演習 キャリアコーチング <ol style="list-style-type: none"> メンパのキャリアの考え方 キャリアコーチング キャリアプランニング キャリア面談 キャリアコーチング演習 ロールプレイング アクションプランの作成 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは、「(PDU) 個を活かし、チームをまとめるコーチングスキルアップ研修-コーチングを学びファシリテーションスキルを活かした協働の場づくり」コースの内容改訂および名称を変更したものです。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSJ148 | リーダーシップ |
|---|--|
| | (PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 PDU |
| 2日間 | |
| 効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的な会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 会議やミーティングにおけるファシリテーションの基礎ならびに一対多型のコミュニケーションスキルを改善し、強化することができる。 成果を上げる会議とは何かを理解し、効率的・効果的な会議運営に必要なノウハウを修得できる。 |
| 対象者 | 会議/プロジェクト運営に悩んでいる方。 |
| 前提知識 | 業務経験が2年以上あること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 成果を上げる会議とは 効果的な「伝え方」 効果的な「聴き方」 効果的な「場づくり」 効果的な会議の進め方(会議進行編) 効果的な会議の進め方(問題解決編) |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSJ152 | リーダーシップ |
|---|---|
| | SEのためのサービスマインド醸成一顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る |
| 1日間 | |
| CSやサービスとは何か、そして満足とは何かを、サービスサイエンスと心理学と経験則から学び、お客様や組織内の人間同士でのサービス対応スキルを学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> CS(お客様の満足)向上の必要性を認識できる。 CS向上対策/付加価値戦略を認識し、対策を立てられる。 サービス対応の質による他社との差別化ができる。 |
| 対象者 | システムエンジニアまたは営業の方で、顧客と接する機会がある方。 |
| 前提知識 | 3年以上の業務経験があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 満足のモデル/サービスの特徴 サービスサイエンスとCSとは 苦手なお客様(グループ研究) 心に残るサービス(グループ研究) 自己管理 満足感を与えるためのロールプレイング 4つの状態に対する交流スキル 交流の終わりにすること 状態ごとのロールプレイング 対応ルール |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| HSE709 | 業務知識 |
|--|--|
| | <eラーニング>[ナビ機能付き] WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編) |
| 平均8時間 | |
| 「なぜ(Why)」の問いかけを通じて、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。 財務諸表の諸数値の意味を理解できる。 |
| 対象者 | 財務の視点をお持ちになりたい方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> なぜアカウンティングか なぜ財務三表か B/S、P/L、CF B/S - 資産、負債、純資産の意味と構造 P/L - 売上、費用、利益の意味と構造 CF - キャッシュフローの意味と構造 キャッシュフロー-経営 管理会計 - 固定費、変動費、損益分岐点 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編)」コース(HSJ122)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修の事前課題に取り組むための知識を修得します。 このコースには、事前課題がありますのでご受講前にお取り組みください。 詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| HSJ122 | 業務知識 |
|---|---|
| | WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編) |
| 1日間 | |
| 「なぜ(Why)」の問いかけを通して、実企業の財務諸表を読み、各要素についてその意味と本質を捉えるための基礎知識を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。 財務諸表の諸数値の意味を理解できる。 上記をベースに実際の企業の財務諸表を理解・把握することができる。 |
| 対象者 | 財務の視点を持ちたい方。 |
| 前提知識 | 【「ナビ機能付き」WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> はじめに 演習1：あるベンチャー企業への提言 <ol style="list-style-type: none"> 財務諸表から企業の問題点と解決策を考える 経営とキャッシュフロー 演習2：実在企業の財務諸表分析 <ol style="list-style-type: none"> 実在企業の財務諸表を使い分析の視点と考察する力を高める |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 【「ナビ機能付き」WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE709)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの基礎知識、およびこのコースの事前課題に取り組むための知識を修得します。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 計算用具(電卓)をご持参ください。 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

| HSE710 | 業務知識 |
|---|---|
| | <eラーニング>[ナビ機能付き] 業務に活かす簿記入門 |
| 平均8時間 | |
| 簿記の基礎概念を学習します。また、取引、仕訳から決算処理までの一連の流れと仕組みを学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 企業活動と財務活動の関係をふまえて業務に取り組むことができる。 財務諸表が作成されるプロセスを説明できる。 簿記の学習を始めたいとお考えの方。 財務、経理の概要を知りたい方。 |
| 対象者 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 企業会計と簿記 会社の設立 取引 記帳 決算 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 計算用具(電卓)をご用意ください。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| HSE028 | 戦略・マーケティング |
|---|--|
| | <eラーニング> 知っておくべきビジネスモデルの基本 -顧客のビジネスをより理解するために- |
| 平均10時間 | |
| 実際の成功事例(1次産業：農業、2次産業：メッキ工場、3次産業：レストラン、通信販売)から、各事業の顧客価値の提供、価値を高めたりリニューアールの箇所、工夫された仕組み、事業成功要因の知識を学習します。 | |
| 到達目標 | 顧客の仕事、仕事上の課題を事業的視点で見るとの知識を得ることができる。 |
| 対象者 | 顧客のITシステム提案に携わる方、自社の業務改善に関わる方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> ビジネスモデル企画による成功例/失敗例 アウトソーシング型 ダイレクト型 ユーザー型 顧客サービス型 垂直/水平統合型 事業拡張モデル 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ロジカルシンキング、アカウンティングの基礎知識があるとより理解が深まります。 このコースは、経営に関する基礎知識があることを前提としています。前提知識に不安がある方は、ご受講時にはビジネスフレームワーク等の知識を得られる一般書籍やWebサイトと共に学習いただくことを推奨します。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| HSJ156 | 戦略・マーケティング |
|--|---|
| | ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- |
| 1日間 | |
| 経営・事業戦略を踏まえたITソリューション提案をするための、経営・事業・情報戦略の基本的な考え方、フレームワーク、つなげ方を学習します。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 経営・事業戦略の考えるフレームワークを理解、使い分けができる。 顧客業務を利益・顧客価値・業務プロセスの観点で捉えたうえで、ITソリューション提案をする考え方が理解できる。 |
| 対象者 | ITソリューション提案する必要があり、まずは顧客の事業を理解する基本的な経営・事業戦略の考え方やフレームワークを知りたい方。 |
| 前提知識 | 「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 経営における戦略 <ol style="list-style-type: none"> 経営環境分析によって重要成功要因を決める流れ <ul style="list-style-type: none"> 外部環境分析(5フォース分析、PESTLE分析) 内部環境分析(VRIO分析、VRIO分析) 外部内部環境分析を踏まえたクロスSWOT分析 事業戦略と情報戦略との連携 <ol style="list-style-type: none"> バランスドスコアカードによる財務目標と業務施策の結び付け 戦略マップによる可視化 さまざまな戦略フレームワーク <ul style="list-style-type: none"> アンゾフの成長マトリクス、パーシーの3つの競争の型、PPM、ライフサイクル仮説、コトラーの競争地位別戦略など |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

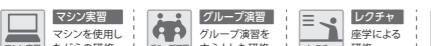
| HSJ165 | 戦略・マーケティング |
|---|--|
| | ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために- |
| 1日間 | |
| ポジショニングやリソースベースビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して有力な競合として参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。IT分野におけるイノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤となります。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 事業戦略の理論について理解し、自らの事業について適用することができる。 ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業への適用について考えることができる。 |
| 対象者 | 技師・主任クラス以上の方(自安)。事業戦略や企業戦略、あるいはイノベーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。 |
| 前提知識 | ロジカルシンキングやフレームワーク思考等ビジネス系コンピュータスキルを一通り踏まえていることが望ましい。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 事業戦略、企業戦略とは <ol style="list-style-type: none"> 事業における戦略とは 戦略論の系譜 自事業にとっての意味合い 戦略の最新動向 <ol style="list-style-type: none"> ITビジネス戦略の最新動向 その他の注目すべき動向 自事業にとっての意味合い ケーススタディ <ol style="list-style-type: none"> グループ討議 全体討議 まとめ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ165_11799.zip 指定の回答用紙はご入力後、2部印刷のうえ、研修当日にご持参ください。 このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 |

※別途ご案内いたします。

| HSE705 | 業務知識 |
|---|---|
| | <eラーニング>[ナビ機能付き] (PDU) 財務諸表の基礎知識 PDU |
| 平均4時間 | |
| 財務諸表の目的(役割)と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 4ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 財務諸表の基礎を理解し分析のための前提知識が説明できる。 経済の時事、動向に興味を持ち、業務に活かせる。 |
| 対象者 | 財務諸表の構成、内容を知りたい方、財務の入門知識を簡単に確認したい方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 財務諸表の概念 貸借対照表 損益計算書 キャッシュフロー-計算書 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSE052 | 業務知識 |
|--|---|
| | <eラーニング>(PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済 1 -経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- PDU |
| 平均5時間 | |
| ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 5ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。 |
| 対象者 | ビジネスにミクロ経済学を活用したい方。 |
| 前提知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 経済学の思考法をビジネスに活かす【エコカー導入のケース】 誤った費用分析が誤った判断を引き起こす【受注可否判断のケース】 市場経済の機能と限界【アウトソーシング判断のケース】 ライバルとの駆け引き「ゲーム理論」【価格戦略・出店戦略に関するケース】 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ※「よくわかるビジネス・ミクロ経済 1-2」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお勧めします。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |

| HSE053 | 業務知識 |
|--|---|
| | <eラーニング>(PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済 2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU |
| 平均4時間 | |
| ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 4ポイント)の取得が可能です。 | |
| 到達目標 | ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。 |
| 対象者 | ビジネスにミクロ経済学を活用したい方。 |
| 前提知識 | 【(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済 1-経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 情報不完全が現実経済をこう変える【大手ブランドのケース】 人はなぜ保険に入るのか<期待効用理論>【成型型金身体系の導入検討のケース】 合理性と非合理性が入り交じる相場の世界<行動経済学>【ネット証券の新サービス企画のケース】 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ※「よくわかるビジネス・ミクロ経済 1-2」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお勧めします。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 |



| |
|---------------------------------------|
| 日立製品 |
| JP1 |
| uCosminexus Application Server |
| HIR/DB |
| OpenTP1 |
| VOS3/VOS1/VOSK |
| XDM/PDM II |
| Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム |
| IoT |
| ビッグデータ |
| クラウド/サーバ仮想化 |
| ITサービスマネジメント |
| システム基盤 |
| UNIX/Linux |
| Microsoft |
| ネットワーク |
| セキュリティ |
| データベース |
| IT戦略・IS企画/システム設計 |
| IT戦略・IS企画 |
| システム設計 |
| アプリケーション開発 |
| Webアプリケーション |
| スマートデバイス |
| オブジェクト指向/UML |
| 言語 |
| IT基本 |
| IT基本 |
| ハードウェア |
| 情報処理資格 |
| 情報リテラシ |
| プロジェクトマネジメント |
| コンプライアンス |
| ビジネス/ヒューマン |
| グローバル |

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

HSE030 ビジネスセンスアップ

<eラーニング>
経世済民の哲学としての朱子学

平均10時間

朱子学を通じてモラルセンスの向上を学習します。経世済民(世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと)をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。

到達目標 ・朱子学で使われる主要な用語を理解できる。
・朱子学の概要を理解できる。
・朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。

対象者 自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方、リーダーとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 朱子学の誕生
(1) 朱子学とは
2. 朱子学から見た宇宙
(1) 世の中を構成する理と気を知る
3. 朱子学から見た人間
(1) 自分自身の法則を知り、道心にしたがう
4. 朱子学から見た人生
(1) 天命を果たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える
5. 朱子学から見た学問
(1) モラルセンスのある人になるために学ぶ
6. 朱子学から見た教育
(1) 本当の意味で豊かな社会を実現するための教育
7. 朱子学の展開
(1) これからのトップやリーダーに求められる素質とは
8. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE029 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU)
孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU

平均10時間

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは、「孫武の兵法」に加え、戦国時代の「孫びんの兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 10ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・孫子の兵法の概要を理解できる。
・孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。

対象者 「孫子の兵法」に興味のある方、これから戦略を学びはじめる方で古典を知っておきたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 孫武の兵法 始計から謀攻まで
(1) 中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫武の兵法 軍形から虚实まで
(1) 戦わずして勝つ方法
3. 孫武の兵法 軍争から行軍まで
(1) 戦わずして勝つ方法
4. 孫武の兵法 地形から用間まで
(1) 状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫びんの兵法 掃ウ涓から殺士まで
(1) 成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫びんの兵法 延気から将義まで
(1) イマジネーションを働かせて活用方法を考える
7. 孫びんの兵法 将徳から奇正まで
(1) 事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
・PMI®、PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE073 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU)
リーダーに必要な人間力
三国志から学ぶリーダー学 PDU

平均10時間

正史「三国志」にもとづき、主な登場人物-魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダーとしてどんな長所を持っていたのかを紹介いたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 10ポイント)の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた「三国志」のリーダーから、現代を生きる知略と勇気を学ぶ。

対象者 3年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としませんが、「三国志」ならびに登場人物に関して、基本知識があると理解が深まります。

内容 1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿
8. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の「守屋洋の『三国志』」をカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
・PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE006 英語

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 470

TOEIC® TESTに向けてListening, Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア400点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア500点台突破をめざす初級者の方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening, Reading, Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE007 英語

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 650

TOEIC® TESTに向けてListening, Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア500点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア600点台突破をめざす初級者の方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening, Reading, Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE008 英語

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 730

TOEIC® TESTに向けてListening, Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア600点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア700点台突破をめざす初級者の方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening, Reading, Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

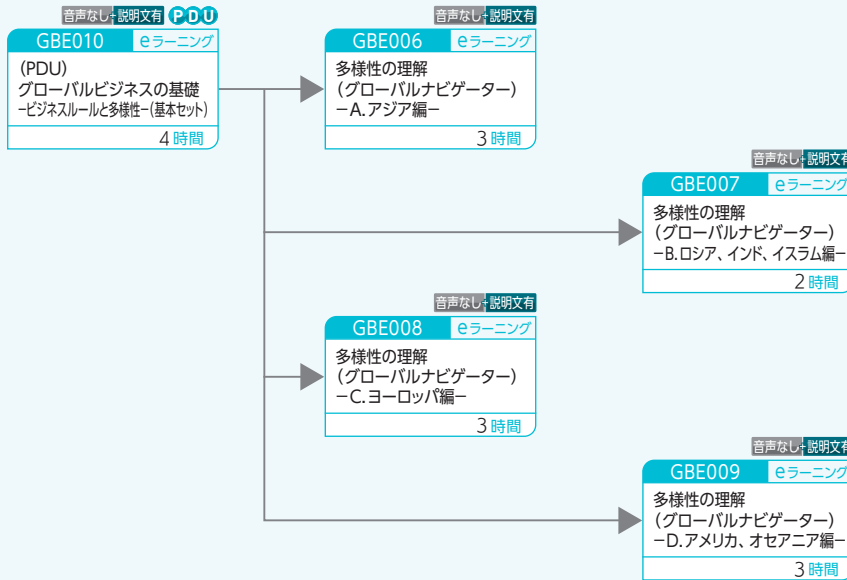
マンシ実習 マンシを使用したマンシ演習
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ レクチャによる研修
演習環境 職場、ご自宅などのマンシ演習環境を使用した自己学習
研修室自習型 研修室でのマンシ演習環境を使用した自己学習

eラーニング インターネット接続による自己学習

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方



● グローバルなコミュニケーション力をつけたい方

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション-日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-
1 日間

● 中国ビジネスを学びたい方

GBE013 eラーニング (PDU)中国ビジネスの鉄則 1
-社会や産業の特徴- 5 時間

GBE014 eラーニング (PDU)中国ビジネスの鉄則 2
-国有企業、民間企業、外資系企業- 5 時間

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

GBE011 eラーニング (PDU)インドビジネスの鉄則 1
-歴史・文化- 6 時間

GBE012 eラーニング (PDU)インドビジネスの鉄則 2
-人材、交渉- 5 時間

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。





- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル


| GBE010 | グローバル |
|---|--|
|  | <eラーニング> グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性- (基本セット) PDU |
| 平均4時間 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールが分かる。 民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。 グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。 |
| 対象者 | グローバルビジネスに関わる方。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> グローバル時代のモデルチェンジ -新しい方程式へのコベルニクスの転換を！- グローバルマインドの設定 <ul style="list-style-type: none"> 世界市場で競争力を持つ3つの思考パターンを身に付ける 文化の世界地図 <ul style="list-style-type: none"> 70億の多様な人たちの心の構図を読み解く グローバルナビゲーター <ul style="list-style-type: none"> 国別理解による事例の分析→心の中の世界地図に具体性を持たせる→ <ol style="list-style-type: none"> 米国 中国 日本 グローバル人材度アセスメント <ul style="list-style-type: none"> 30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック (解説付き) |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 |


| GBE006 | グローバル |
|---|--|
|  | <eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編 |
| 平均3時間 | |
| 到達目標 | 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」(コースコード：GBE010)のオプションです。 |
| 対象者 | グローバルビジネスに現在または将来関わる方。 |
| 前置知識 | 「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」を修了していること。 |
| 内容 | 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイそれぞれについての、 <ol style="list-style-type: none"> 史的文化層 カルチュラル・モティベータ カルチュラル・デモティベータ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| GBE007 | グローバル |
|--|--|
|  | <eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編 |
| 平均2時間 | |
| 到達目標 | ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」(コースコード：GBE010)のオプションです。 |
| 対象者 | ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。 |
| 前置知識 | 「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」を修了していること。 |
| 内容 | ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアそれぞれについての、 <ol style="list-style-type: none"> 史的文化層 カルチュラル・モティベータ カルチュラル・デモティベータ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| GBE008 | グローバル |
|---|--|
|  | <eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編 |
| 平均3時間 | |
| 到達目標 | ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」(コースコード：GBE010)のオプションです。 |
| 対象者 | グローバルビジネスに現在または将来関わる方。 |
| 前置知識 | 「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」を修了していること。 |
| 内容 | ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、 <ol style="list-style-type: none"> 史的文化層 カルチュラル・モティベータ カルチュラル・デモティベータ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |


| GBE009 | グローバル |
|---|--|
|  | <eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編 |
| 平均3時間 | |
| 到達目標 | カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」(コースコード：GBE010)のオプションです。 |
| 対象者 | グローバルビジネスに現在または将来関わる方。 |
| 前置知識 | 「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性- (基本セット)」を修了していること。 |
| 内容 | カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、 <ol style="list-style-type: none"> 史的文化層 カルチュラル・モティベータ カルチュラル・デモティベータ |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| GBD001 | グローバル |
|--|--|
|  | 情理と論理の グローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考- |
| 1日間 | |
| 到達目標 | 一般的な「勝つ」ためのディベートではなく、情理と論理を総動員しながら相手の意見を尊重し、学びながら自分の意見もしっかりと主張する体験の場を提供します。講師の深い経験と実践に裏づけされたファシリテーションにより、グローバルビジネスパーソンとして無理なくレベルアップできます。キーワードは、空(くう)(ハラ)で考えることであり、日本文化に根ざした、お互いを啓発しあうディベートを通じて新たなビジネス領域(道)を切り拓きます。 |
| 対象者 | 中堅のITエンジニア職、営業職新事業、新サービス創出、グローバル事業に関わる方。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> はじめに <ol style="list-style-type: none"> 日本のビジネスパーソンに求められるもの グローバルコミュニケーション能力とは 論理の基本を体感する <ol style="list-style-type: none"> 「Why Because」の解説 「Why Because」ゲーム 情理と論理が融合するディベート <ol style="list-style-type: none"> 情理と論理が融合するディベート体験 納得をめざす六角ディベート体験 まとめ <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:00～17:20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは日本語、英語(TOEIC500点程度(目安)両方で実施されます。 |
| 備考 | |

| GBE013 | グローバル |
|---|---|
|  | <eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則 1 -社会や産業の特徴- PDU |
| 平均5時間 | |
| 到達目標 | 中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとし、中国ビジネス成功の鍵は、中国でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは、中国ビジネスを理解するために、まず中国の社会・経済の特色について学習します。そして中国企業の企業形態や株式市場を詳しく見ていきながら、中国でのビジネスについて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。 |
| 対象者 | 中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を修得できる。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 企業を取り巻く社会環境 産業の特徴 企業形態と株式市場の成長 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| GBE012 | グローバル |
|---|---|
|  | <eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則 2 -人材、交渉- PDU |
| 平均5時間 | |
| 到達目標 | インドにビジネス進出をするに必要な考え方について学習します。このコースは、PMP資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。 |
| 対象者 | グローバルビジネスに関わる方。 |
| 前置知識 | 特に必要としませんが、「(PDU)インドビジネスの鉄則 1-歴史と文化-」eラーニングコースの後続コースのため、前提として同コースの受講を推奨します。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 日印関係 インドの国際取引関係 ケーススタディとビジネスの将来 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| GBE014 | グローバル |
|---|---|
|  | <eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則 2 -国有企業、民間企業、外資系企業- PDU |
| 平均5時間 | |
| 到達目標 | 中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとし、中国ビジネス成功の鍵は、中国でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは、中国ビジネスを理解するために、国有企業、民間企業、外資系企業それぞれについて特徴を詳しく見ていきながら、グローバルな環境で活動を行うための組織の政治的風土・文化について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。 |
| 対象者 | 中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を修得できる。 |
| 前置知識 | 特に必要としませんが、「(PDU)インドビジネスの鉄則 1-歴史と文化-」eラーニングコースの後続コースのため、前提として同コースの受講を推奨します。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 国有企業 民間企業 外資系企業 中国企業のグローバル経営 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

| GBE011 | グローバル |
|---|---|
|  | <eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則 1 -歴史と文化- PDU |
| 平均6時間 | |
| 到達目標 | インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースでは、インドにビジネス進出をするに必要な考え方(歴史・文化・宗教等)について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。 |
| 対象者 | インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。 |
| 前置知識 | 特に必要としません。 |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> インドの紹介、歴史 インドの各地域の文化とビジネスの関係 インドの宗教とビジネスの関係 インドの優秀な人材を作る、教育制度 修了試験 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 |

東京地区

東京(大森)

大森ベルポートD館5階・12階・13階

(株)日立インフォメーションアカデミー
東京研修センター

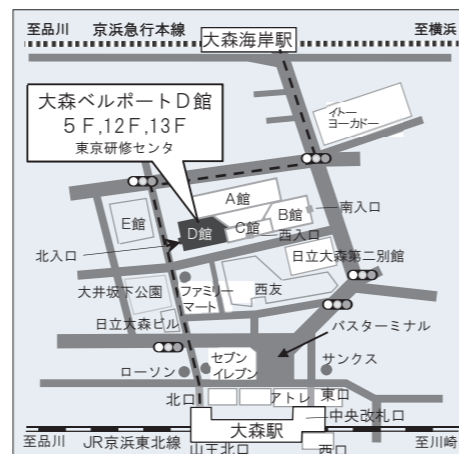
品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)
電話(03)5471-8962
FAX(03)5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際はご注意ください。

■12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
■5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。

※「日立講習会受講ご案内(受講券)」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



大阪地区

大阪

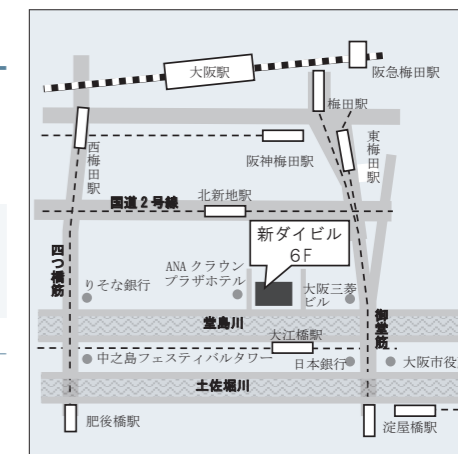
新ダイビル6階

(株)日立インフォメーションアカデミー
大阪研修センター

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)
電話(06)4797-7360
FAX(06)4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

会場地図は、当社Webサイト(<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/bureau/index.html>)よりご確認ください。

| 開催地区 | 住所・会場名 |
|---------------|--|
| 六本木(FXLI) | 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ14階 (株)富士ゼロックス総合教育研究所 |
| 白金台(BrainPad) | 〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階 (株)ブレインパッド |
| 浜松町(GSX) | 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社 |
| 神保町(インソース) | 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-20 第2龍名館ビル2階【第2龍名館ビル会場】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-23 神田近江屋ビル4階【神田近江屋ビル会場】 (株)インソース |
| 茅場町(アイ・ラーニング) | 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル2階、5~7階 (株)アイ・ラーニング |
| 築地(KSK) | 〒104-0045 東京都中央区築地2-7-10 築地シティプラザ6階 (株)KSKアナリティクス |
| 麹町(ITプレナーズ) | 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階 (株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック |

名古屋地区

名古屋

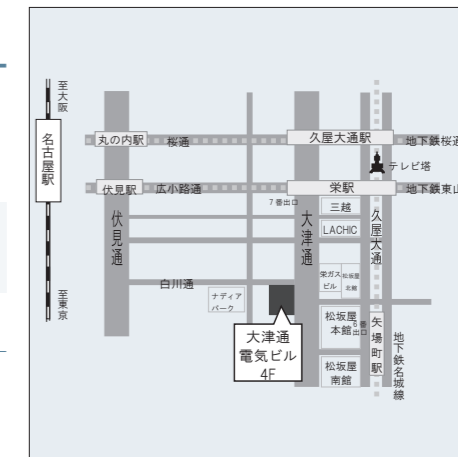
大津通電気ビル4階

(株)日立インフォメーションアカデミー
名古屋研修センター

名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)
電話(052)269-8940
FAX(052)261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



広島地区

広島

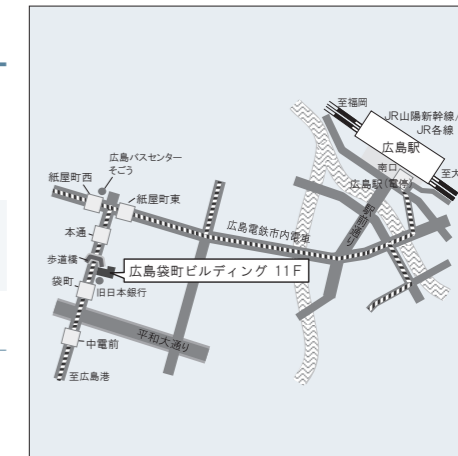
広島袋町ビルディング11階

(株)日立インフォメーションアカデミー
広島研修センター

広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)
電話(082)546-6172
FAX(082)546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



福岡地区

福岡

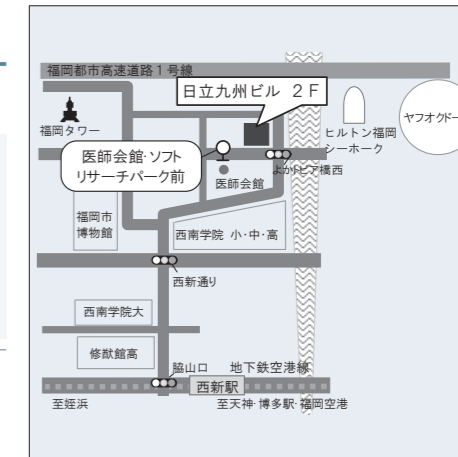
日立九州ビル2階

(株)日立インフォメーションアカデミー
福岡研修センター

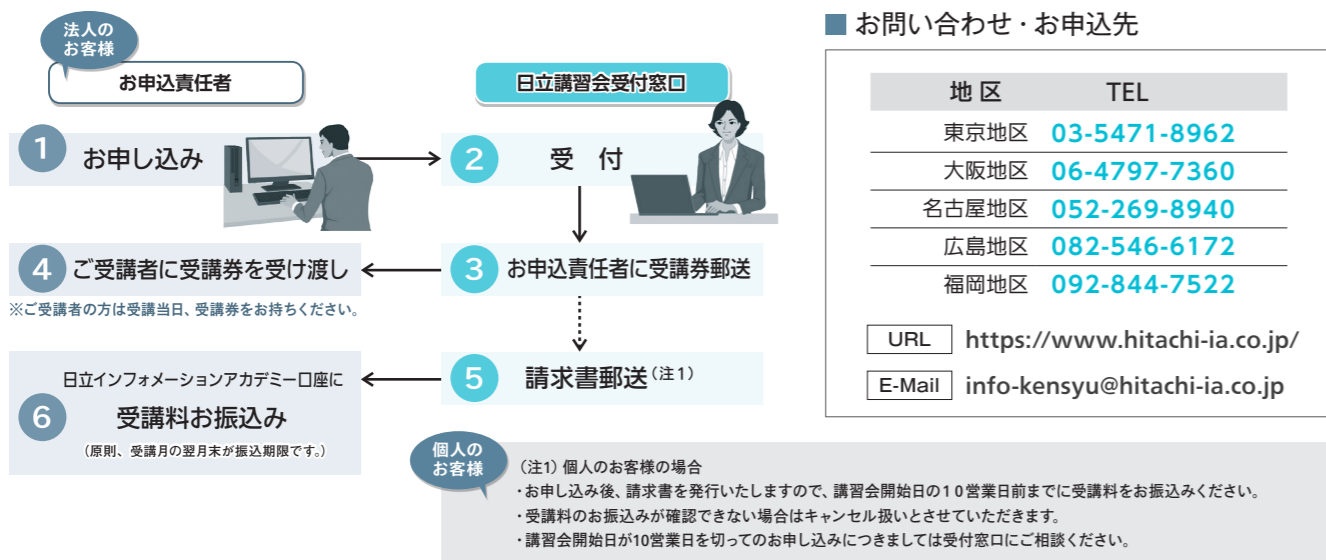
福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)
電話(092)844-7522
FAX(092)844-7580

- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で「日立講習会受講ご案内」(受講券)を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(集合研修用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。ホームページをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

■日立製品研修(P.18参照)

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

■IT/ビジネス研修(P.18参照)

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
- お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み期限(原則、受講月の翌月末)までに下記口座にお振込みください。
個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の10営業日前までに受講料を下記口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。講習会開始日が10営業日を切ったお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。

振込先銀行：三菱東京UFJ銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立インフォメーションアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講券」といいます。)をお申込責任者の方へお送りします。
- 「受講券」には、お申込地区の地図や会場(研修室)、開催時間等を記載しておりますので、内容をご確認のうえ、ご受講当日に必ずお持ちください。
- 「受講券」が講習会開始日の1週間前までに到着しない場合には、お申し込みの受付窓口まで、お問い合わせください。
- 「受講券」発送後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
- 講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお引き渡しは行っていません。
- 駐車場はありませんので、車のご来場はご遠慮ください。
- ご受講中の方との連絡は「ご伝言」とさせていただきます。お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に携帯電話等の使用は、他のお客様へのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
- 研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
- あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

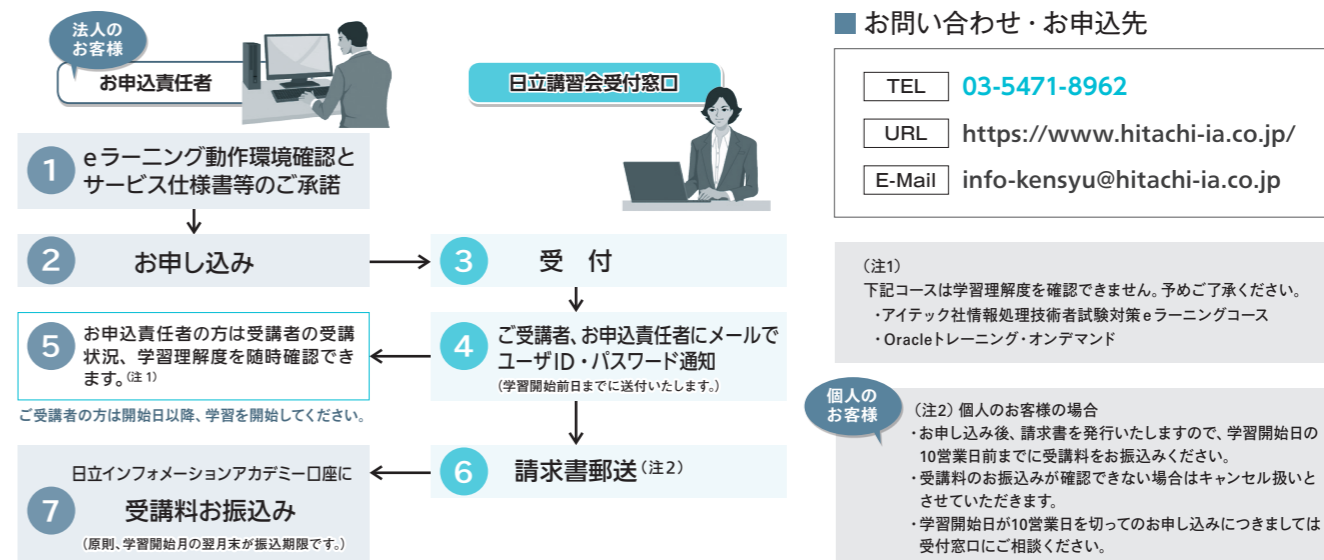
| 学習形態 | 受講者、受講日変更およびキャンセル締切日 |
|--------|----------------------|
| 集合研修 | 講習会開始日の10営業日前 |
| eラーニング | 学習開始日の10営業日前 |

- なお、変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・VMware社認定コース
- ・グローバルセキュリティエキスパート社コース
- ・事前課題/事前学習ありコース

講習会標準開催時間

- 講習会の開始時間は9:30、終了時間は16:30が標準となっております。コースによっては時間が異なる場合がありますので、「受講券」にてご確認ください。
なお、講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。
- 開催時間が変更になる場合には「受講券」にてお知らせいたします。

日立講習会 eラーニングのお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(eラーニング用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書(上記ホームページに掲載)、および以下についてご確認ください。

■日立製品研修(P.18参照)

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

■IT/ビジネス研修(P.18参照)

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- 動作環境はコースによって異なりますので、上記ホームページから各コースの動作環境をご確認ください。
- お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までにお願いいたします。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み期限(原則、学習開始月の翌月末)までに下記口座にお振込みください。
個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、学習開始日の10営業日前までに受講料を下記口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。学習開始日が10営業日を切ったお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。
- ご入金の確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- eラーニングの中止・変更等(株)日立製作所および(株)日立インフォメーションアカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱東京UFJ銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立インフォメーションアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、学習開始日の前日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
- 「ユーザID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急上記のお申込先までお問い合わせください。
- お申込責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。なお、下記コースにつきましては、学習理解度を確認できません。予めご了承ください。
・アイテック社情報処理技術者試験対策eラーニングコース
・Oracleトレーニング・オンデマンド
- eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客様のご負担をお願いいたします。
- 演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客様の責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客様のご負担をお願いいたします。
- ヘルプデスクのサービス内容は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

| 学習形態 | 受講者、受講日変更およびキャンセル締切日 |
|--------|----------------------|
| 集合研修 | 講習会開始日の10営業日前 |
| eラーニング | 学習開始日の10営業日前 |

- なお、変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。

基本動作環境

- eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）のP.18の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「日立IA」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申し込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「**■ 日立製品研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（日立IAが発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のP.18のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、日立IAが提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「**2 IT／ビジネス研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1-1 日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

1-2 お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1-3 受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、日立製品研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

1-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様は日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様でお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

1-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合にはお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1-6 責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

1-7 著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または日立IA、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

1-8 損害賠償

日立製品研修に関してお客様が被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかにかわらず、お客様に当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

1-9 暴力団等の排除

日立は、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様が日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

1-10 受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

1-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立は、日立製品研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたくお願い申し上げます。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取ります。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
- ・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2-1 IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、日立IAが指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立IAが指定するものに限られます。ただし、日立IAは、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

2-2 お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立IAがこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立IAはお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2-3 受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における日立IA所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、IT／ビジネス研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

2-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様はIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様でお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。IT／ビジネス研修が、日立IAの責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

2-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合にはお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2-6 責任の制限

日立IAは、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立IAは、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものですが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立IAはサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立IAは、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2-7 著作権・その他知的財産権

日立IAがIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立IA、または日立IAがテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立IAの事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2-8 損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客様が被った損害に対する日立IAの損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかにかわらず、お客様に当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立IAは、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、日立IAは、当該損害賠償責任に代えて、日立IAが合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2-9 暴力団等の排除

日立IAは、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立IAおよび講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立IAまたは日立IAの利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様がIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と日立IAが判断した場合。

2-10 受講規約の変更

日立IAは、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客様と日立IAとの契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立IAは、IT／ビジネス研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたくお願い申し上げます。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取ります。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立IA担当営業にお問い合わせください。
- ・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)

Privacy Notice Highlights

制定日 2005年4月1日
改定日 2010年4月1日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
東原 敏昭

1. 個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報ははじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3. プライバシーマークについて

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4. 適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

5. 個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

- 「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
- 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

6. 個人情報の取扱い方針(取得・利用目的、第三者提供)

- 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
- 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
- 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

7. 個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

8. その他重要事項

- ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
- 「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
- ウェブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
- ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただいております。
- 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

9. 認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体[※]は、下記となります。

認定個人情報保護団体名
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
個人情報保護苦情相談室

所在地
〒106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル 12F
電話番号
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10. 連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡
〒100-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 IT 統括本部 IT セキュリティ統括部

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)
詳細は当社ホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html>
をご覧ください。

株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004年6月23日
最終改定年月日 2017年4月1日
株式会社 日立インフォメーションアカデミー
取締役社長 石川 拓夫

個人情報保護の理念

株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「当社」といいます。）は IT を中核に戦略的人材育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。

そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客様にとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。また、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立インフォメーションアカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供

当社は、事業活動において、お客様の情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守します。また、これらの法令及び指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守致します。

3. 安全対策の実施

当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関する本人から求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情及び相談を求められた時は、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意を持って対応致します。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善

当社は、役員及び従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善致します。

開示対象個人情報に関する事項

当社は「開示対象個人情報」に関して下記の通り本人の知り得る状態に置きます。

(1) 開示対象個人情報の利用目的 (個人情報保護法第 18 条第 4 項第 1 号から第 3 号までに該当する場合を除きます。)

当社が提供する研修サービスをご利用いただくために開示いただいた個人情報は、当社が提供する各種サービスの運用業務・改善、研修サービスガイド等の送付、メールでの研修サービスご案内、ニーズ調査、製品・ソリューション情報のご案内などに利用させていただきます。

(2) 開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出先

開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出については、下記までご連絡ください。
株式会社 日立インフォメーションアカデミー コンプライアンス推進センタ E-Mail : hia-privacy@hitachi-ia.co.jp

(3) 開示等の手続き

当社ホームページ〈<https://www.hitachi-ia.co.jp/>〉をご覧ください。

その他個人情報の取扱いについて

- お客様の申込状況、受講実績、受講履歴、受講成績、受講進捗状況をお客様のお申込責任者の方に提供する場合がございます。
- 当社が契約を締結している他社教育機関の講習会については、講習会実施及び資格管理・維持に必要となるお客様の個人情報項目（例えば、会社名、氏名、E-Mail アドレス、お電話番号など）を、受講される教育機関に提供致します。
- 当社からの受講券、教材、請求書、研修サービスガイドなどの発送作業や研修の運営等について、お客様の個人情報を業務委託先に委託する場合がございます。
- 日立講習会受講お申し込みのためにご入力いただきました個人情報の取扱いについては、お申込責任者の方が受講されるご本人の同意をいただいたものと致します。
- 日立講習会受講お申し込みによって受講者の個人情報取扱いをお申込責任者の方から、株式会社 日立製作所及び株式会社 日立インフォメーションアカデミーに委託されたものと致します。
- 当社のホームページからリンクされている当社外のホームページにおけるご本人の個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
- 当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、及びその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載致しております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社のホームページにてご確認いただきますようお願い致します。

個人情報に関するお問い合わせ先 (個人情報保護管理者)

株式会社 日立インフォメーションアカデミー
コンプライアンス推進センタ センタ長
(所在地) : 〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 2 番 3 号
大森ベルポート D 館 1 3 階
(E-Mail) : hia-privacy@hitachi-ia.co.jp

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (略称: JIPDEC) より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。



雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

2017年4月1日からキャリア形成促進助成金は人材開発支援助成金と名前が変更となりました。

雇用する労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、職務に関連した専門的な知識及び技能の普及に対して助成する制度です。

●人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
(厚生労働省ウェブサイト)

※上記は2017年12月1日現在の内容です。

最新情報は、日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/support/crjo/index.html>

他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
 - ・ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ BABOK® および Business Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP® は、International Institute of Business Analysis の登録商標です。
 - ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
 - ・ Ethernet は、米国 Xerox Corp. の商品名称です。
 - ・ Hadoop は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における商標です。
 - ・ IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, DataStage は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
 - ・ ITIL®, PRINCE2®, AXELOS Limited の登録商標です。The Swirl logo は AXELOS 社の商標です。
 - ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
 - ・ NVIDIA は、米国 NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ OCUP, オーカップ, UML 技術者資格試験は、(株) UML 教育研究所の商標、または登録商標です。
 - ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UML ロゴ, UML Certification ロゴ, MDA, Model Driven Architecture は、Object Management Group Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solaris は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ PMI®, PMP®, PMBOK® ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.) の登録商標です。
 - ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。
 - ・ SAP は、SAP AG のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ TOEIC® は、Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
 - ・ UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
 - ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware View は、VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

HITACHI
Inspire the Next

